

根 室 市
市民意識調査報告書

令和5年11月

根 室 市

目 次

1. 調査の目的	1
2. 調査の方法	1
3. 調査の結果	1
3. 1 調査票の回収結果	1
3. 2 回答者の属性.....	1
3. 3 根室市の印象についての市民意識.....	6
3. 4 居住の満足度についての市民意識.....	8
3. 5 保健医療について	14
3. 6 少子化・子育て支援について	27
3. 7 高齢者支援について.....	34
3. 8 社会福祉全般について	45
3. 9 交通について.....	47
3. 10 生活環境について.....	54
3. 11 防災・減災対策について.....	64
3. 12 学校教育・社会教育について.....	68
3. 13 スポーツ・レクリエーション・文化について	77
3. 14 産業の振興について	82
3. 15 情報の共有化について（行政からどのような情報提供を望むか）	86
3. 16 市民協働について（「誰もが何か1つを受け持つ」とした場合に参加する活動）	90
3. 17 市民参画の方法について（まちづくりのための市民参加の方法）	92
3. 18 男女共同参画について	94
3. 19 「ワーク・ライフ・バランス」の認知度	95
4. 市民意識調査結果のまとめ.....	96
5. 総合計画における成果目標及び総合戦略におけるK P Iの動向	102
6. 根室市創生総合戦略の評価.....	106
6. 1 基本目標別の施策実施効果の評価検討.....	106
6. 2 まとめ.....	127
資 料 編.....	131
資料1. 市民意識調査自由回答	132
資料2. 市民意識調査票	147

1. 調査の目的

根室市では、平成 26 年度に「第 9 期根室市総合計画」を、翌平成 27 年度には「根室市創生総合戦略」を、さらに令和 3 年には「第 2 期根室市創生総合戦略」（対象期間：令和 3 年度～令和 6 年度）を策定し、将来のまちづくりの目標や将来像を定め、根室市の一層の発展と豊かで活力のある市民生活の実現を図るための施策を推進しているところである。

これらの計画を着実に推進していくためには、その進捗度合いや有効性を逐次確認し、必要に応じて見直しをしていくなど、実情に応じて対応していくことが不可欠である。

本調査は、根室市民約 3,000 名を対象として根室市の住みよさや市政に関する意識調査を実施することにより、これまでの施策の進捗度合いや市民による有効性等の評価を確認し、今後の計画推進に資することを目的として平成 28 年度から毎年実施しているものである。

2. 調査の方法

本調査は、16 歳以上の市民を対象として、無作為に約 3,000 名を抽出し、第 9 期根室市総合計画の成果目標指標のうち市民意識に関する指標及び根室市創生総合戦略における市民意識に関する KPI（Key Performance Indicator：重要業績評価指標；事業の目標達成度合いを示す指標）に係る設問を中心としたアンケート調査を実施した。

なお、今年度調査は、昨年度までの調査票を基本とし、施策認知度に関する設問に関しては、新たな施策を勘案して入れ替え等を行っている。

ただし、各計画策定時からの満足度や達成度を示す指標の比較については、これまでの調査との継続性を確保するために同じ設問設定とし、その達成状況と課題について検討した。

3. 調査の結果

3. 1 調査票の回収結果

アンケート調査の有効回収数は 651 票であり、有効回収率は 21.5%であった。

配布数	回収数	有効回収数	有効回収率
3,030	651	651	21.5%

3. 2 回答者の属性

(1) 地区別構成

回答者数の構成は、市街地地区住民が全体の 88.0%を占め、西部地区住民及び東部地区住民はそれぞれ 5.8%、5.1%であった。

	市街地	西部地区	東部地区	地区不明	全体
地区別件数	573	38	33	7	651
	88.0%	5.8%	5.1%	1.1%	100.0%

なお、市街地、西部地区、東部地区の区分は以下のとおりである。

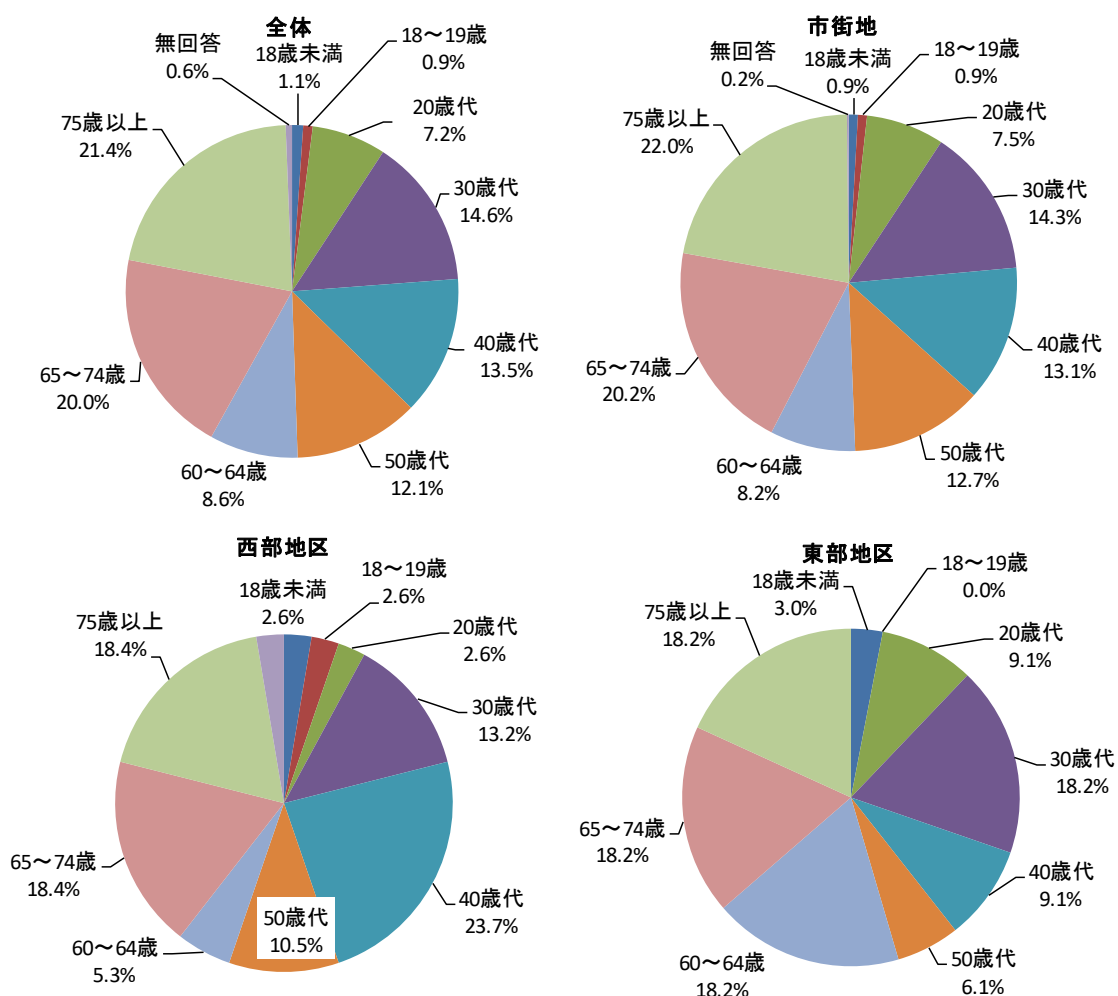
地区区分

地区	居住地区名
市街地	北浜町、琴平町、弁天町、駒場町、汐見町、海岸町、千島町、栄町、月見町、明治町、曙町、宝町、有磯町、朝日町、鳴海町、本町、花咲町、松ヶ枝町、弥栄町、幸町、大正町、常盤町、緑町、梅ヶ枝町、弥生町、清隆町、光和町、北斗町、平内町、岬町、定基町、松本町、敷島町、花園町、西浜町、月岡町、宝林町、昭和町、光洋町、桂木、花咲港
西部地区	穂香、幌茂尻、温根沼、東梅、酪陽、東和田、西和田、長節、浜松、昆布盛、落石東、落石西、別当賀、初田牛、東厚床、厚床、西厚床、明郷、湖南、川口、槍昔
東部地区	友知、双沖、歯舞、瑠瑠瑠、納沙布、温根元、豊里、牧の内

(2) 年齢別構成

回収票の年齢階層別構成をみると、今年度調査も各年齢階層から回答が得られている状況となっており、その中で全体では75歳以上の割合が最も多かった。

回答者の割合をみると、平成28年度調査以降、60歳以上は増加基調にあるものの、30歳代以下、40～50歳代では減少基調となっている。



	件数				
	市街地	西部地区	東部地区	地区不明	全体
18歳未満	5	1	1	0	7
18～19歳	5	1	0	0	6
20歳代	43	1	3	0	47
30歳代	82	5	6	2	95
40歳代	75	9	3	1	88
50歳代	73	4	2	0	79
60～64歳	47	2	6	1	56
65～74歳	116	7	6	1	130
75歳以上	126	7	6	0	139
無回答	0	0	0	4	4
計	572	37	33	9	651

	構成比				
	市街地	西部地区	東部地区	地区不明	全体
18歳未満	0.9%	2.7%	3.0%	0.0%	1.1%
18～19歳	0.9%	2.7%	0.0%	0.0%	0.9%
20歳代	7.5%	2.7%	9.1%	0.0%	7.2%
30歳代	14.3%	13.5%	18.2%	22.2%	14.6%
40歳代	13.1%	24.3%	9.1%	11.1%	13.5%
50歳代	12.8%	10.8%	6.1%	0.0%	12.1%
60～64歳	8.2%	5.4%	18.2%	11.1%	8.6%
65～74歳	20.3%	18.9%	18.2%	11.1%	20.0%
75歳以上	22.0%	18.9%	18.2%	0.0%	21.4%
無回答	0.0%	0.0%	0.0%	44.4%	0.6%
計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

調査年度	回答者の年齢層別構成の推移		
	30歳代以下	40～50歳代	60歳以上
令和5年度調査	23.8%	25.7%	49.9%
(増減率(ポイント))	(-4.9)	(+0.1)	(+4.5)
令和4年度調査	28.8%	25.5%	45.5%
(増減率(ポイント))	(-1.4)	(-4.0)	(+5.5)
令和3年度調査	30.1%	29.6%	40.0%
(増減率(ポイント))	(+2.1)	(+2.5)	(-4.8)
令和2年度調査	28.0%	27.0%	44.8%
(増減率(ポイント))	(-1.8)	(+0.2)	(+2.3)
令和元年度調査	29.8%	26.8%	42.5%
(増減率(ポイント))	(+0.4)	(-2.8)	(+2.2)
平成30年度調査	29.4%	29.7%	40.3%
(増減率(ポイント))	(-0.4)	(+2.4)	(-2.0)
平成29年度調査	29.8%	27.3%	42.3%
(増減率(ポイント))	(-1.4)	(-3.4)	(+4.5)
平成28年度調査	31.2%	30.7%	37.9%

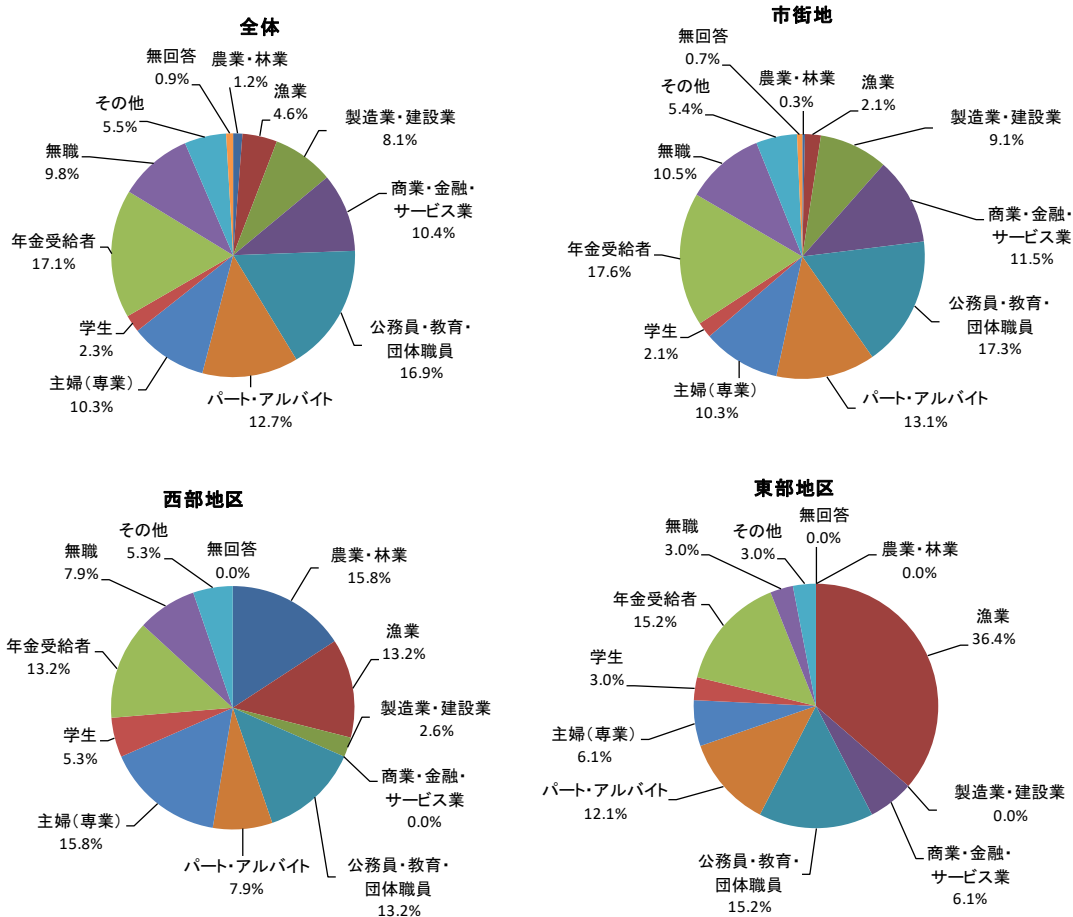
注：無回答を除く

(3) 職業別構成

職業別構成をみると、全体では年金受給者、公務員・教育・団体職員、パート・アルバイト、商業・金融サービス業、専業主婦の順で多くなっているが、地区別で差がみられている。

回答者の88.0%を占める市街地は、ほぼ全体と同様の構成であるが、西部地区では、農業・林業、漁業の構成が高く、特に、農業・林業の割合が他地区に比して高い。また、東部地区は漁業が36.4%と最も多くなっているなど、それぞれの地区で特徴がみられている。

このような地区別の職業構成はこれまでの調査結果とほぼ同様となっている。

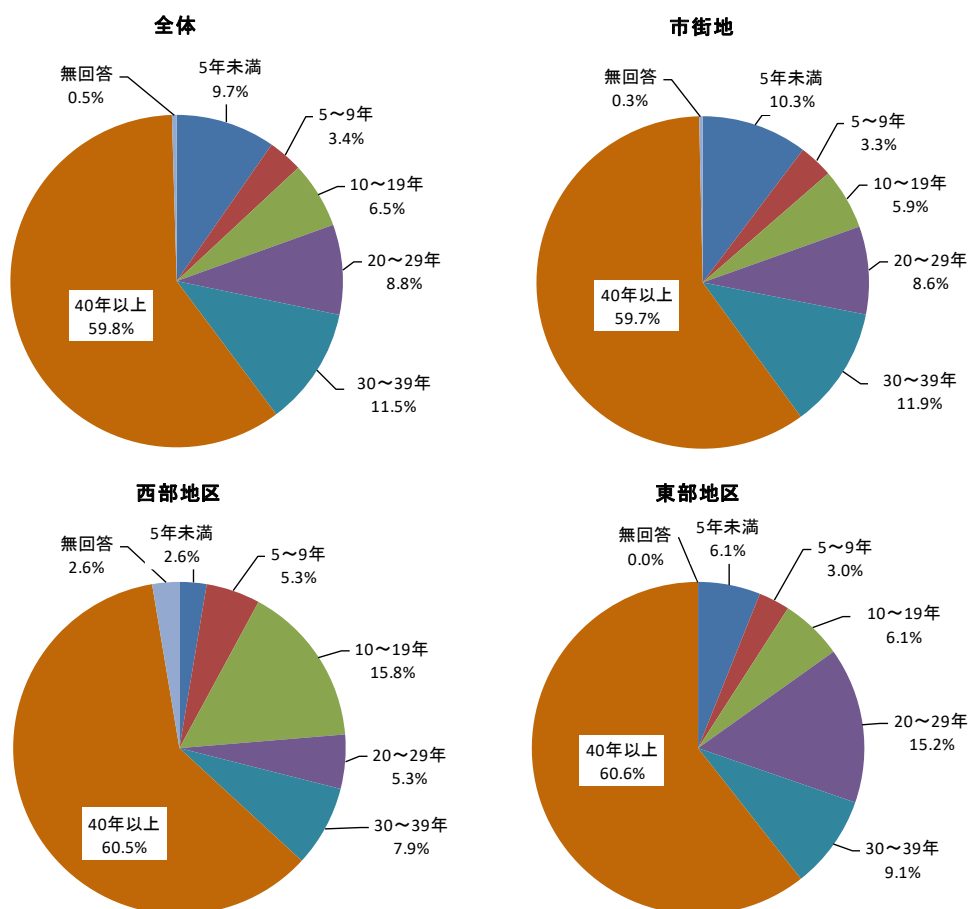


	件数				
	市街地	西部地区	東部地区	地区不明	全体
農業・林業	2	6	0	0	8
漁業	12	5	12	1	30
製造業・建設業	52	1	0	0	53
商業・金融・サービス業	66	0	2	0	68
公務員・教育・団体職員	99	5	5	1	110
パート・アルバイト	75	3	4	1	83
主婦(専業)	59	6	2	0	67
学生	12	2	1	0	15
年金受給者	101	5	5	0	111
無職	60	3	1	0	64
その他	31	2	1	2	36
無回答	4	0	0	2	6
計	573	38	33	7	651

	構成比				
	市街地	西部地区	東部地区	地区不明	全体
農業・林業	0.3%	15.8%	0.0%	0.0%	1.2%
漁業	2.1%	13.2%	36.4%	14.3%	4.6%
製造業・建設業	9.1%	2.6%	0.0%	0.0%	8.1%
商業・金融・サービス業	11.5%	0.0%	6.1%	0.0%	10.4%
公務員・教育・団体職員	17.3%	13.2%	15.2%	14.3%	16.9%
パート・アルバイト	13.1%	7.9%	12.1%	14.3%	12.7%
主婦(専業)	10.3%	15.8%	6.1%	0.0%	10.3%
学生	2.1%	5.3%	3.0%	0.0%	2.3%
年金受給者	17.6%	13.2%	15.2%	0.0%	17.1%
無職	10.5%	7.9%	3.0%	0.0%	9.8%
その他	5.4%	5.3%	3.0%	28.6%	5.5%
無回答	0.7%	0.0%	0.0%	28.6%	0.9%
計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

(4) 居住年数

回答者の根室市での居住年数についてみると、これまでの調査結果と同様に、いずれの地区も40年以上居住している回答者の割合が最も高い。また、市街地と東部地区では5年未満の回答者の割合も比較的高い。



	件数				
	市街地	西部地区	東部地区	地区不明	全体
5年未満	59	1	2	1	63
5～9年	19	2	1	0	22
10～19年	34	6	2	0	42
20～29年	49	2	5	1	57
30～39年	68	3	3	1	75
40年以上	342	23	20	4	389
無回答	2	1	0	0	3
計	573	38	33	7	651

	構成比				
	市街地	西部地区	東部地区	地区不明	全体
5年未満	10.3%	2.6%	6.1%	14.3%	9.7%
5～9年	3.3%	5.3%	3.0%	0.0%	3.4%
10～19年	5.9%	15.8%	6.1%	0.0%	6.5%
20～29年	8.6%	5.3%	15.2%	14.3%	8.8%
30～39年	11.9%	7.9%	9.1%	14.3%	11.5%
40年以上	59.7%	60.5%	60.6%	57.1%	59.8%
無回答	0.3%	2.6%	0.0%	0.0%	0.5%
計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

3. 3 根室市の印象についての市民意識

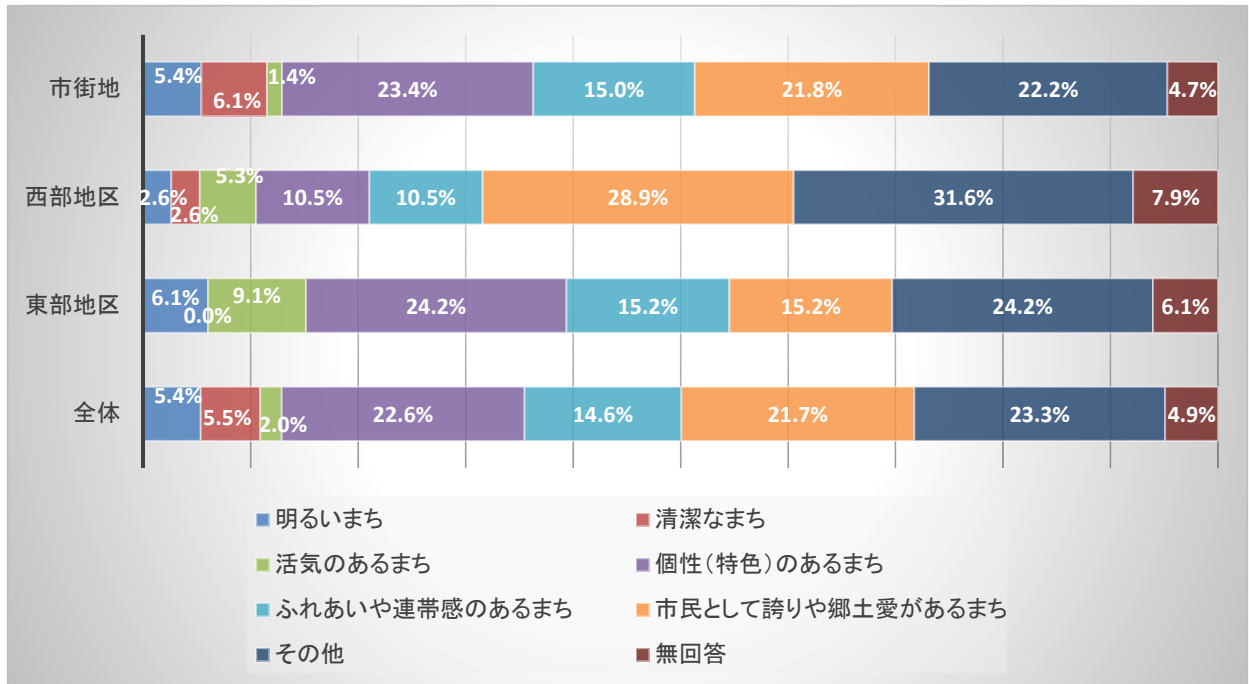
根室市のイメージとして最も回答割合が高かった項目は、市民全体では「その他」であり、次いで、「個性（特色）のあるまち」、「市民として誇りや郷土愛があるまち」であった。

地区別にみると、市街地では、「個性（特色）のあるまち」が23.4%と最も高く、次いで、「その他」が22.2%、「市民として誇りや郷土愛があるまち」が21.8%となっている。

西部地区では、「その他」が31.6%と最も高く、次いで、「市民として誇りや郷土愛があるまち」が28.9%、「個性（特色）のあるまち」と「ふれあいや連帯感のあるまち」が共に10.5%となっている。

東部地区では、「個性（特色）のあるまち」と「その他」が共に24.2%と最も高く、次いで「ふれあいや連帯感のあるまち」と「市民として誇りや郷土愛があるまち」が共に15.2%となっている。

「その他」の内容をみると、これまでの調査結果とほぼ同じで、「活気がない」「何もない」「寂しい」「暗い」「若い人が減っている」といったマイナスイメージをあげる回答が多かった。一方、数は少ないものの、「自然の豊かさ」「食べ物が美味しい」といったプラスイメージをあげる回答もみられる。こうした「その他」の回答内容は、これまでの調査と概ね同様の結果となっている。



過去の調査結果（平成28年、29年調査結果は得点換算）

	平成28年度調査得点				平成29年度調査得点			
	市街地	西部地区	東部地区	全体	市街地	西部地区	東部地区	全体
明るいまち	2.07	2.24	2.32	2.12	1.98	2.22	2.04	2.00
清潔なまち	2.40	2.36	2.31	2.39	2.35	2.48	2.02	2.33
活気のあるまち	1.72	1.91	1.89	1.76	1.56	1.83	1.53	1.58
個性(特色)のあるまち	2.45	2.47	2.70	2.48	2.47	2.52	1.84	2.42
ふれあいや連帯感のあるまち	2.73	2.74	2.81	2.74	2.48	2.52	2.40	2.47
市民として誇りや郷土愛があるまち	2.93	3.05	2.68	2.93	2.84	2.85	2.70	2.82

	平成30年度調査結果				令和元年度調査結果			
	市街地	西部地区	東部地区	全体	市街地	西部地区	東部地区	全体
明るいまち	4.2%	3.8%	3.8%	4.1%	3.5%	2.0%	5.2%	3.5%
清潔なまち	5.7%	0.0%	1.9%	5.1%	6.7%	4.0%	1.3%	6.1%
活気のあるまち	1.4%	1.9%	15.1%	2.3%	1.8%	2.0%	5.2%	2.3%
個性(特色)のあるまち	17.3%	35.8%	20.8%	18.9%	20.6%	16.0%	22.1%	20.3%
ふれあいや連帯感のあるまち	15.2%	9.4%	13.2%	14.5%	14.7%	18.0%	15.6%	14.7%
市民として誇りや郷土愛があるまち	21.6%	24.5%	17.0%	21.3%	23.2%	24.0%	11.7%	21.8%
その他	29.3%	17.0%	17.0%	27.7%	25.0%	26.0%	32.5%	25.6%

	令和2年度調査結果				令和3年度調査結果			
	市街地	西部地区	東部地区	全体	市街地	西部地区	東部地区	全体
明るいまち	3.3%	3.6%	4.6%	3.4%	2.7%	8.5%	7.4%	3.4%
清潔なまち	6.8%	7.3%	6.2%	6.8%	6.9%	5.6%	0.0%	6.3%
活気のあるまち	1.3%	0.0%	4.6%	1.5%	2.4%	5.6%	3.7%	2.9%
個性(特色)のあるまち	24.6%	21.8%	20.0%	24.0%	21.5%	16.9%	16.7%	20.7%
ふれあいや連帯感のあるまち	15.6%	20.0%	26.2%	16.7%	15.7%	11.3%	20.4%	15.6%
市民として誇りや郷土愛があるまち	20.0%	23.6%	15.4%	19.9%	23.2%	16.9%	18.5%	22.1%
その他	23.6%	18.2%	15.4%	22.6%	23.4%	28.2%	27.8%	24.2%

	令和4年度調査結果				令和5年度調査結果			
	市街地	西部地区	東部地区	全体	市街地	西部地区	東部地区	全体
明るいまち	4.4%	1.8%	3.8%	4.3%	5.4%	2.6%	6.1%	5.4%
清潔なまち	5.3%	1.8%	5.8%	5.1%	6.1%	2.6%	0.0%	5.5%
活気のあるまち	1.5%	0.0%	0.0%	1.3%	1.4%	5.3%	9.1%	2.0%
個性(特色)のあるまち	24.9%	25.5%	15.4%	24.1%	23.4%	10.5%	24.2%	22.6%
ふれあいや連帯感のあるまち	15.7%	14.5%	13.5%	15.3%	15.0%	10.5%	15.2%	14.6%
市民として誇りや郷土愛があるまち	20.2%	18.2%	30.8%	20.6%	21.8%	28.9%	15.2%	21.7%
その他	23.4%	30.9%	23.1%	24.4%	22.2%	31.6%	24.2%	23.3%

注：平成28年度及び29年度調査は、イメージごとに、そう思うかどうかを問う設問であったため、「そう思う」を5点、「やや思う」を4点、「さほど思わない」を2点、「思わない」を1点、「わからない」を3点として、平均得点を算出した。

：黄色マーカーは、「その他」以外の項目の中で最も回答割合が高い数値であることを示す。

3. 4 居住の満足度についての市民意識

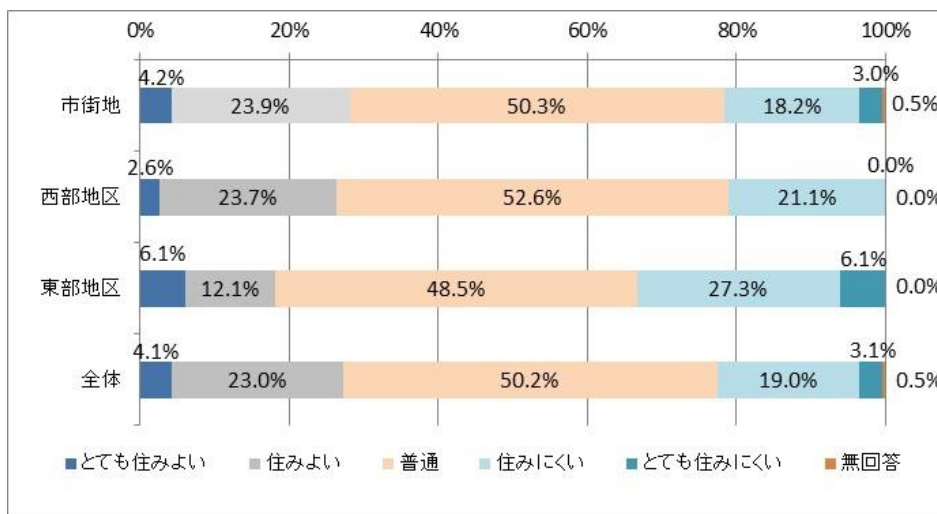
(1) 居住の満足度（住みやすいと思っているか）

根室市を住みよいまちと思っているかについてみると、市民全体では「とても住みよい」「住みよい」を合わせた割合は27.1%となっており、昨年度の調査結果からやや向上している。

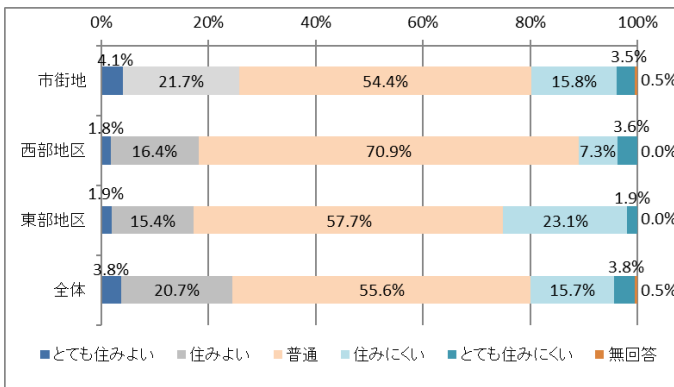
地区別にみると、市街地地区、西部地区、東部地区の全てが昨年度調査を上回っており、特に市街地地区はこれまでの調査で最も高くなった。

一方、住みにくいとする回答の理由をみると、「病院が遠い・少ない」、「交通の便が悪い」「買物する場所が少ない」「遊ぶところが少ない」「公共料金が高い」「家賃が高い」といった回答があり、特に、医療体制、市外との交通の利便性、買物、娯楽に対する不安を挙げる回答が多くみられた。

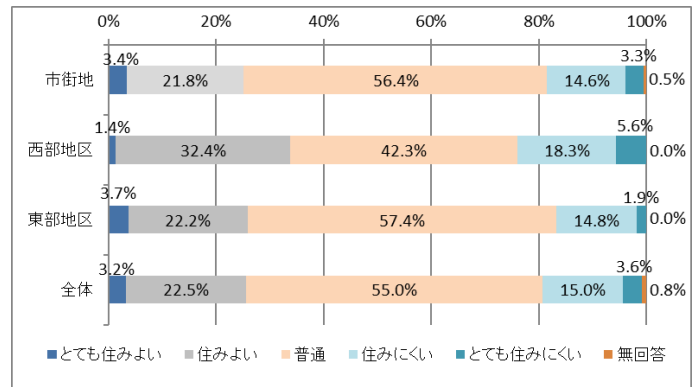
<令和5年度調査>



<令和4年度調査>



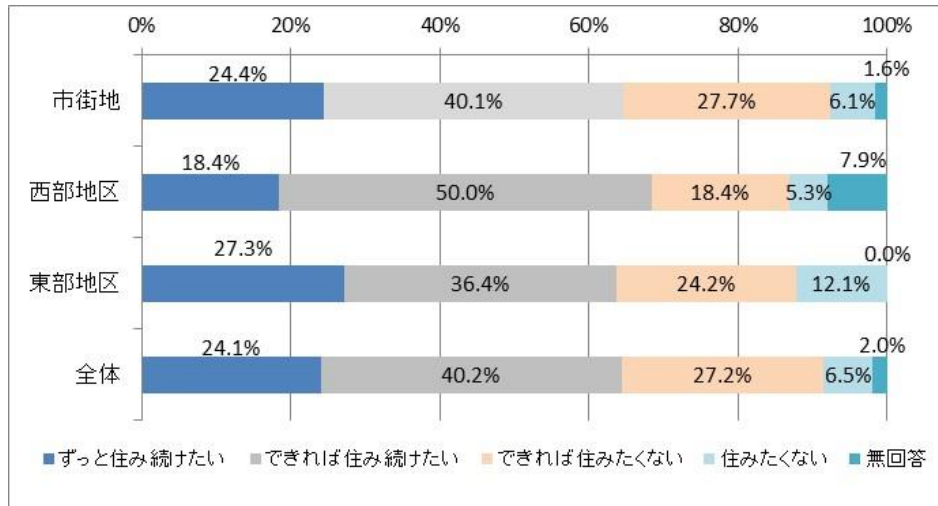
<令和3年度調査>



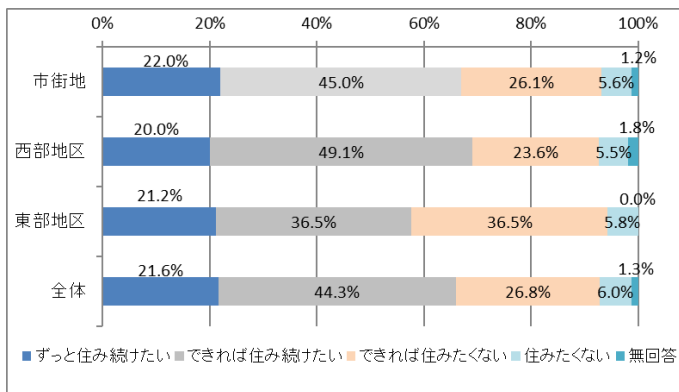
(2) 定住度について（根室に住み続けたいと思うか）

根室市の住みやすさについては、例年、肯定的な回答が少ないものの、住み続けたいかどうかについては、「ずっと住み続けたい」と「できれば住み続けたい」を合わせた「住み続けたい」との回答が多く、今年度調査においても市民全体で64.3%となっており、これまでの調査と同様に定住意向の高さがうかがえる。

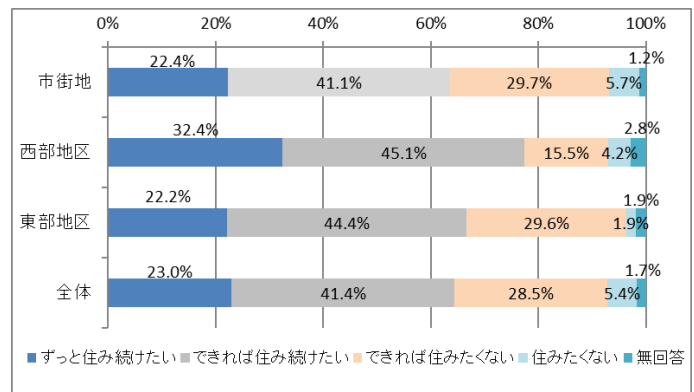
＜令和5年度調査＞



＜令和4年度調査＞



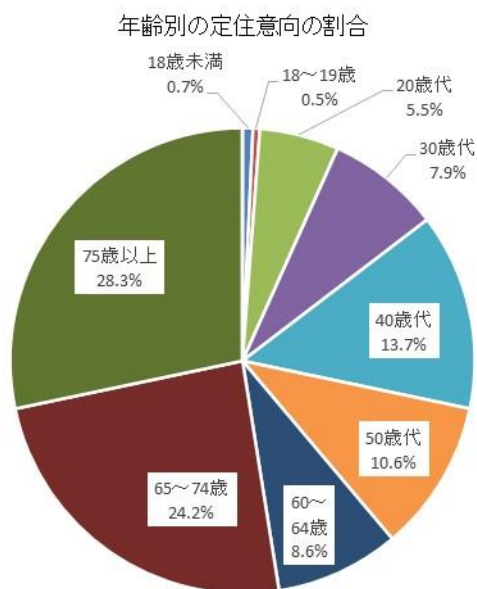
＜令和3年度調査＞



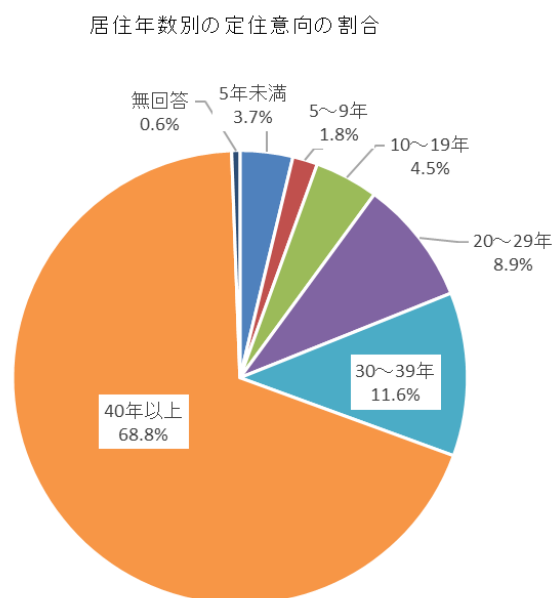
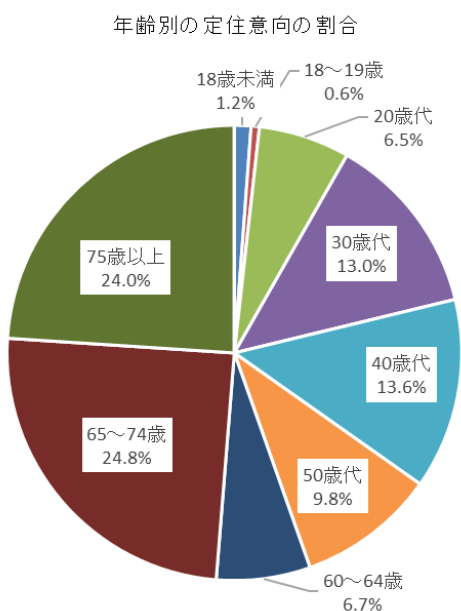
この「住み続けたい」とする市民を年齢別で見ると 60 歳以上ではほぼ 6 割を占め、居住年数が「40 年以上」の市民が 70.9%を占める。

この結果は、昨年度調査とほぼ同様となっている。

<令和 5 年度調査>



<令和 4 年度調査>



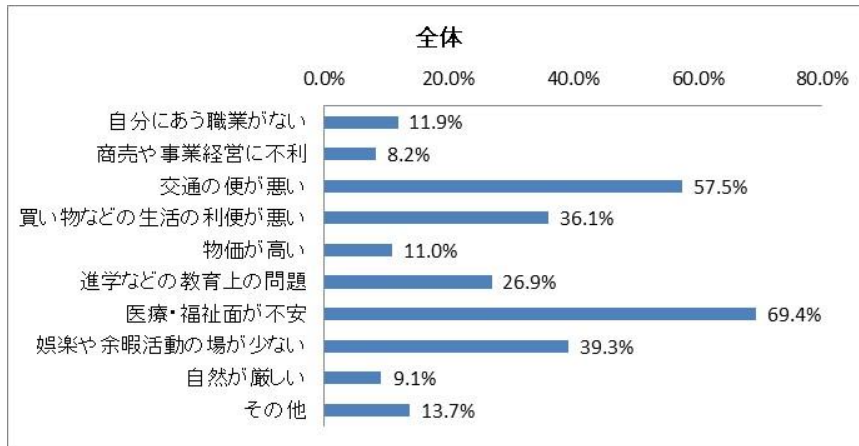
(3) 住み続けたくない理由

①市民全体

定住度に関する回答結果では、根室市に住み続けたくないとする住民割合は、市民全体で33.7%となっており、昨年度結果をやや上回っているものの、過去5年の調査とほぼ同じような水準となっている。

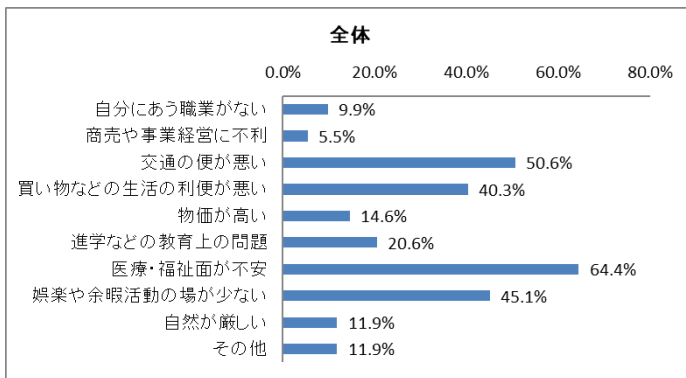
この住み続けたくない理由をみると、「医療・福祉面が不安」とする回答割合が69.4%と最も多く、次いで「交通の便が悪い」、「娯楽や余暇活動の場が少ない」、「買い物などの生活の利便が悪い」の順となっており、これら4項目が上位にあげられている状況は、これまでの調査結果とほぼ同じ結果となっている。

<令和5年度調査>



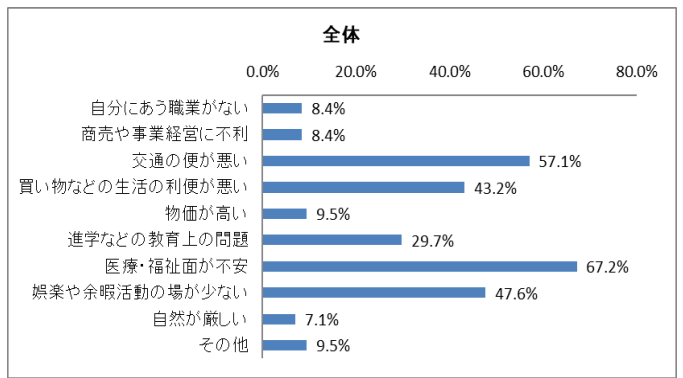
住み続けたくないとする回答数：全体 219（地区不明含む）

<令和4年度調査>



住み続けたくないとする回答数：全体 253（地区不明含む）

<令和3年度調査>



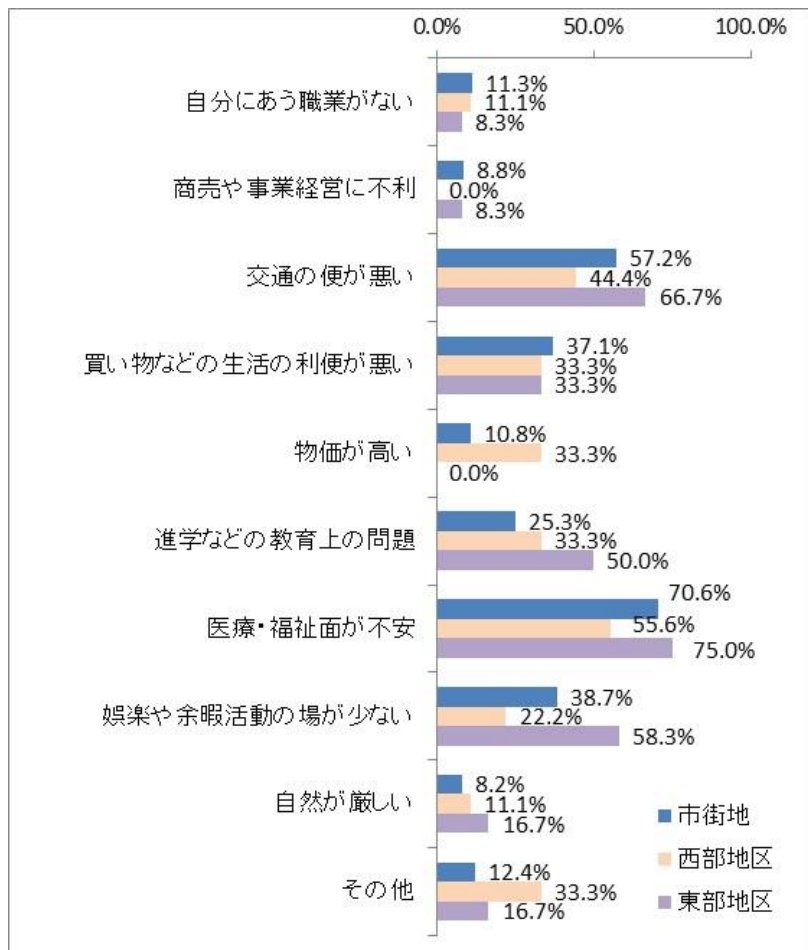
住み続けたくないとする回答数：全体 296（地区不明含む）

②地区別

地区別にみると、「医療・福祉面での不安」や「交通の便が悪い」は、前回までの調査結果と同様に各地区とも高いが、特に市街地と東部地区で理由にあげる市民の割合が高まっている傾向がうかがえる。

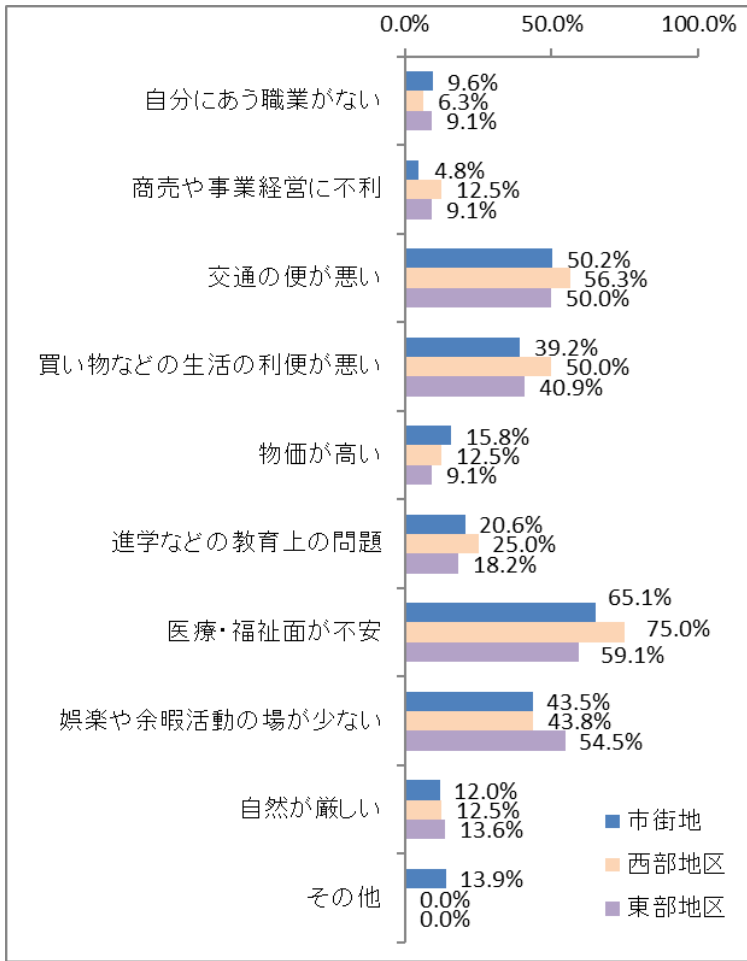
その他、「買い物等の生活利便性が悪い」や「娯楽や余暇活動の場が少ない」を住み続けたくないとする理由にあげる割合も各地区とも上位にあがっているものの、理由にあげる市民の割合は徐々に少なくなっている傾向がうかがえる。

<令和5年度調査>

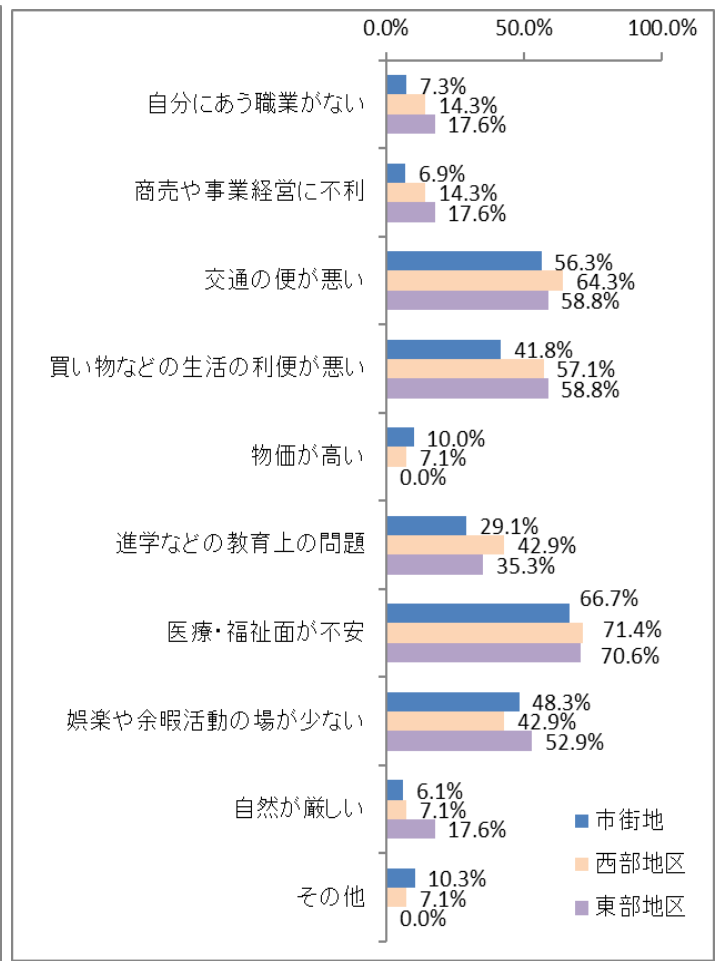


住み続けたくないとする回答数
 市街地 : 194 件
 西部地区 : 9 件
 東部地区 : 12 件

<令和4年度調査>



<令和3年度調査>



住み続けたくないと
する回答数

市街地 : 209 件
西部地区 : 16 件
東部地区 : 22 件

住み続けたくないと
する回答数

市街地 : 261 件
西部地区 : 14 件
東部地区 : 17 件

注：本設問は3つまでの選択を求めている

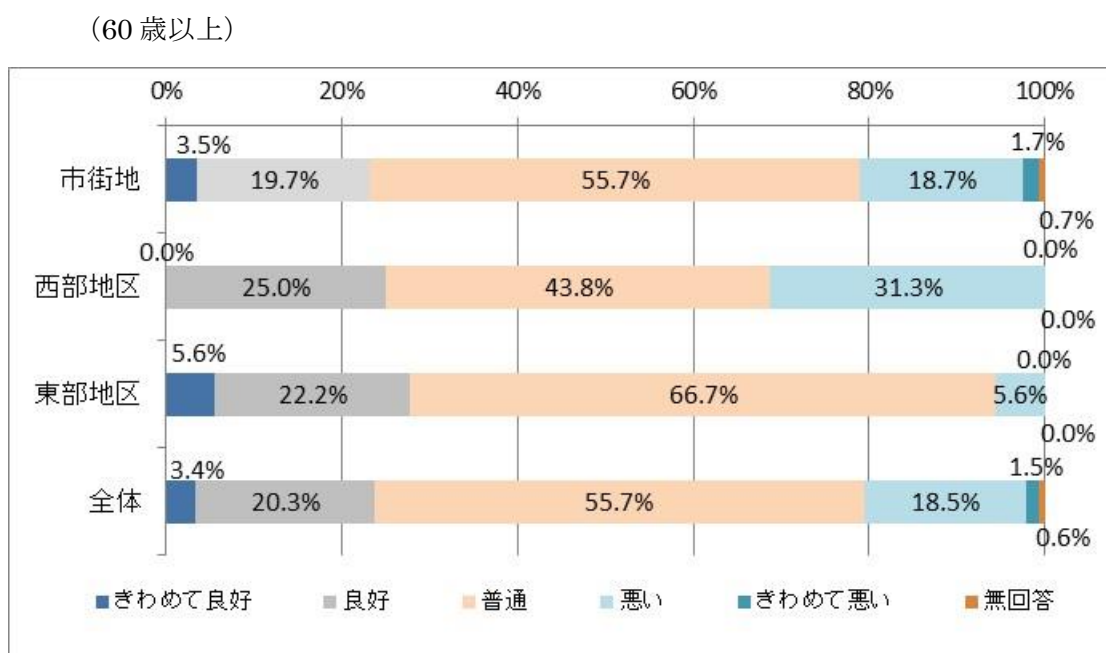
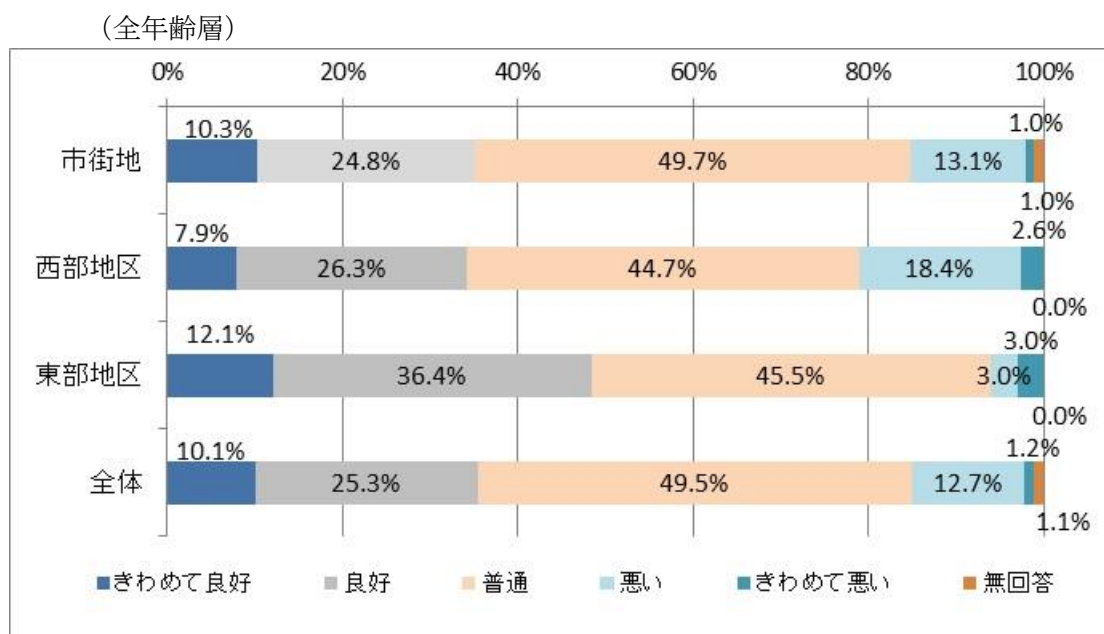
3. 5 保健医療について

(1) 現在の健康状態

現在の健康状態についてみると、「きわめて良好」と「良好」を合わせた割合は、回答者全体で 35.4% となっている。これに対して「悪い」と「きわめて悪い」を合わせた割合は 13.9% となっている。昨年度の調査結果と比較すると、健康状態を良好な状態とする回答の割合が減少している。

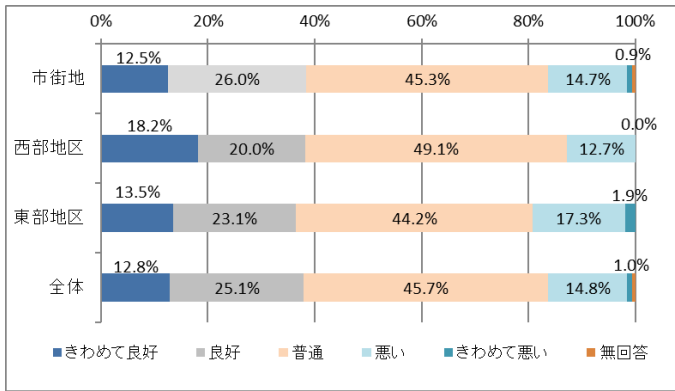
60 歳以上の回答者についてみると、各地区とも健康状態を良好な状態とする回答の割合がやや増加している。

<令和 5 年度調査>



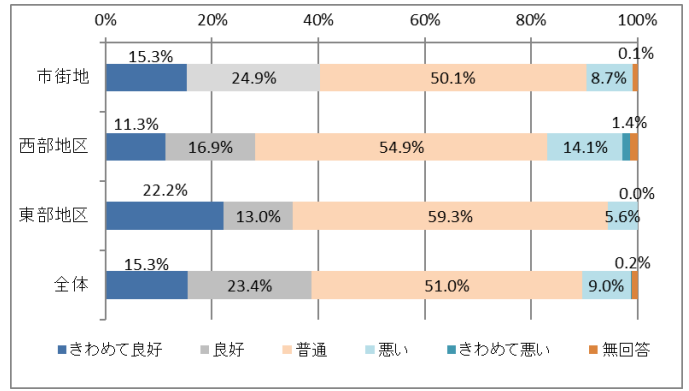
< 令和4年度調査 >

(全年齢層)

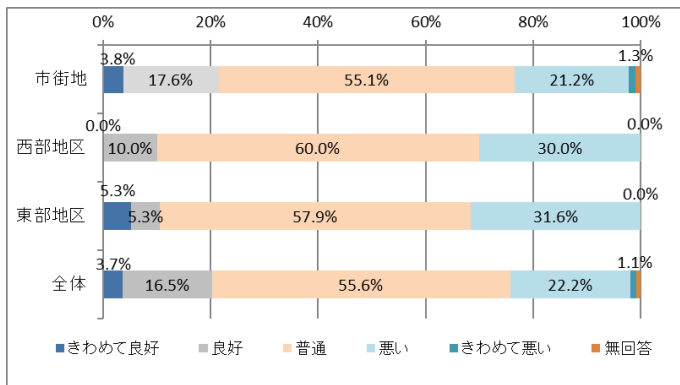


< 令和3年度調査 >

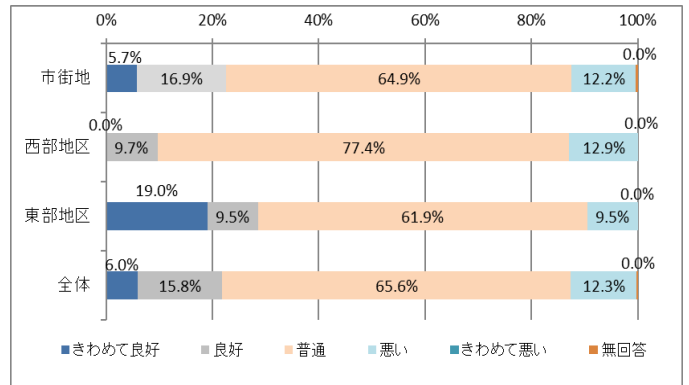
(全年齢層)



(60歳以上)



(60歳以上)

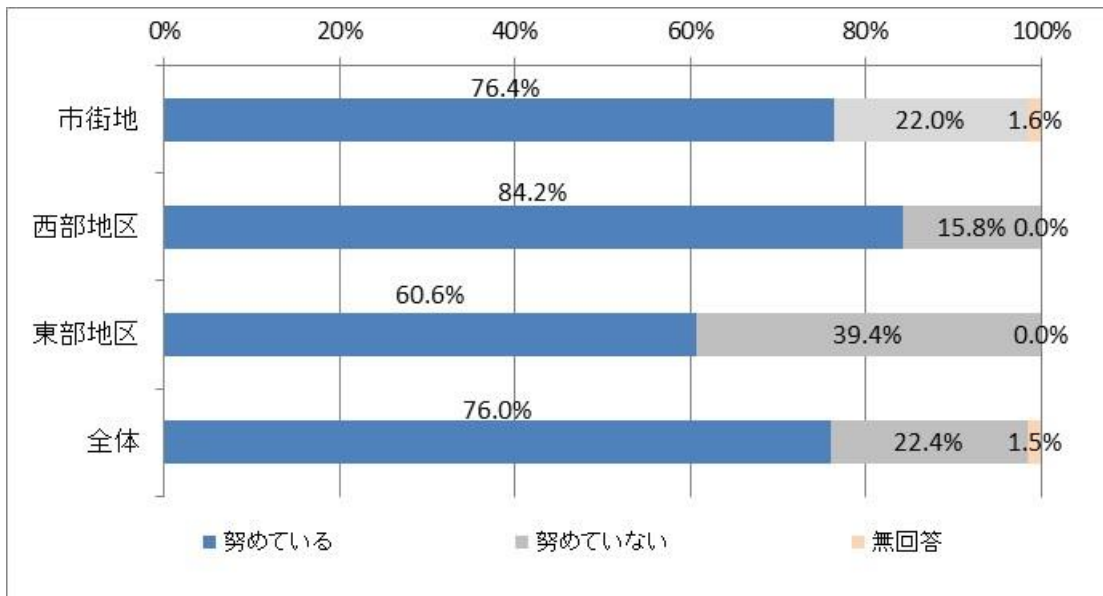


(2) 健康管理

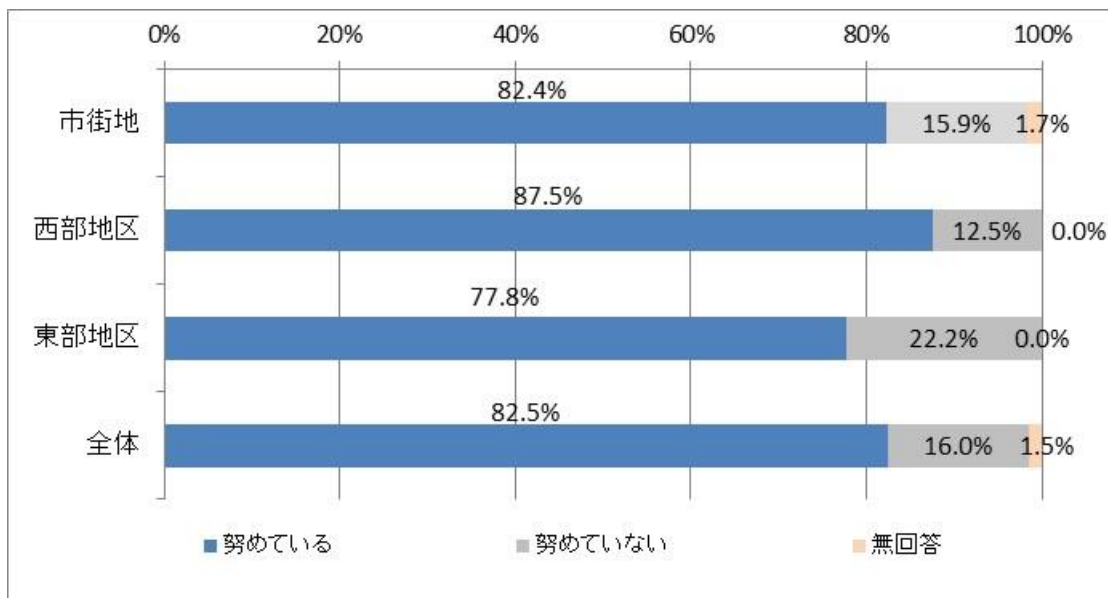
日常の健康管理の状況についてみると、回答者全体では76.0%が、60歳以上の回答者では82.5%が「努めている」としているなど、これまでの調査結果と同様、健康管理への意識が高い状況がうかがえる。

<令和5年度調査>

(全年齢層)

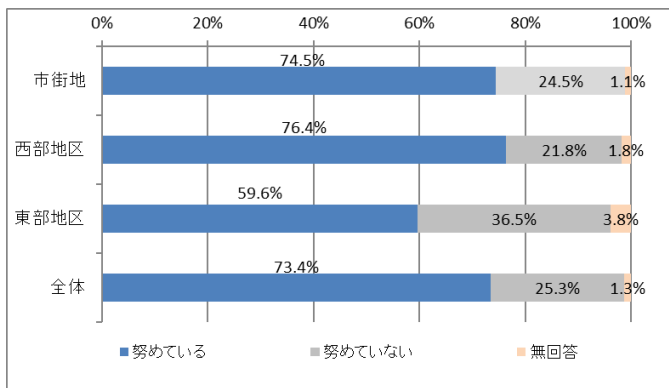


(60歳以上)



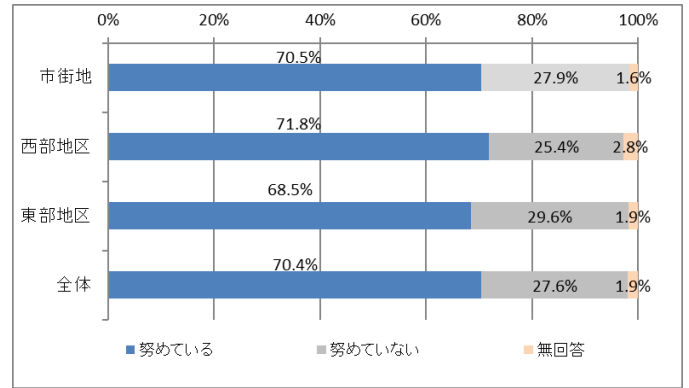
<令和4年度調査>

(全年齢層)

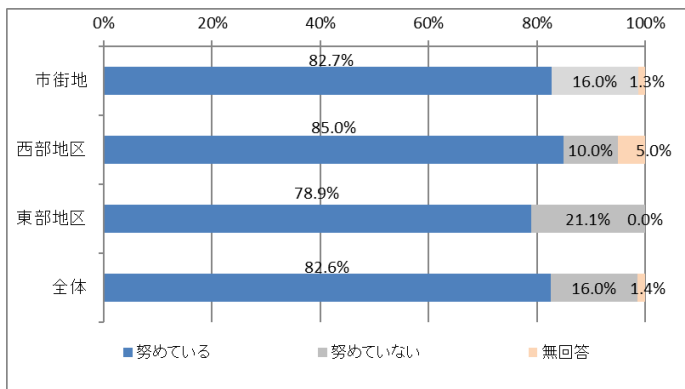


<令和3年度調査>

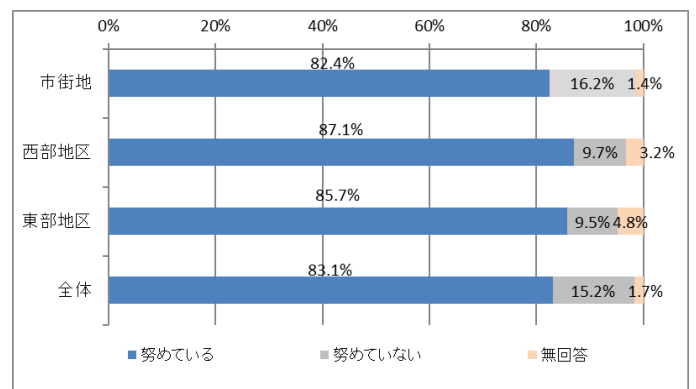
(全年齢層)



(60歳以上)



(60歳以上)



(3) 30分以上の運動の実施状況

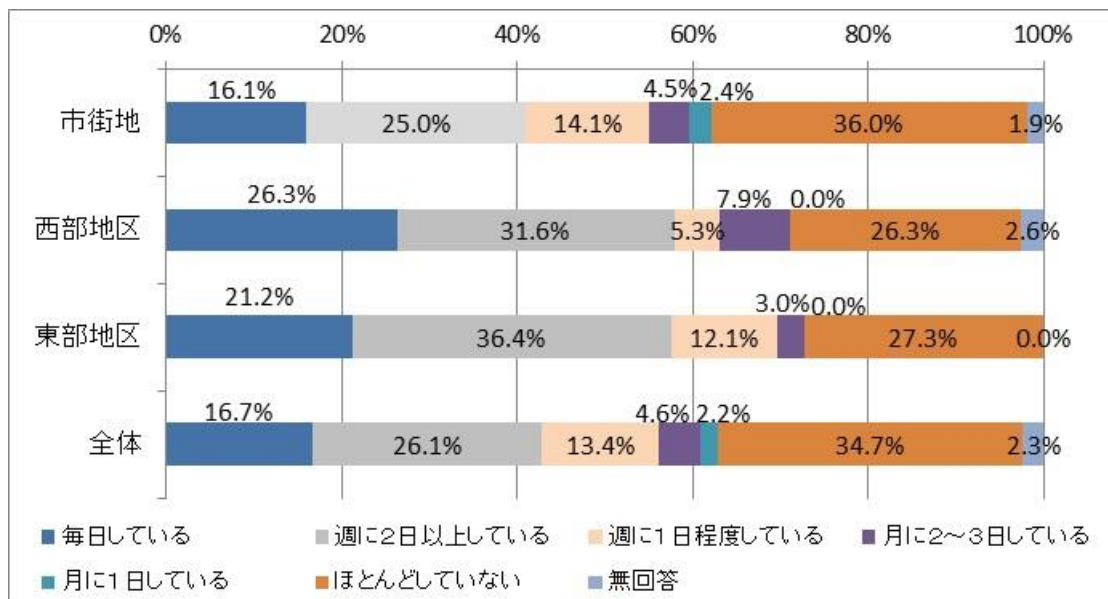
1日30分以上の運動を行っている頻度についてみると、全年齢層では「ほとんどしていない」が最も多く34.7%となっている。一方、週に1日以上（「毎日」「週に2日以上」「週に1日程度」の合計）運動している割合は、56.2%と半数以上を占めている。

60歳以上の回答者についてみると、「ほとんどしていない」が28.9%と最も多くなっているものの、週に1日以上運動している割合は62.2%と、全体よりも高い割合を示している。

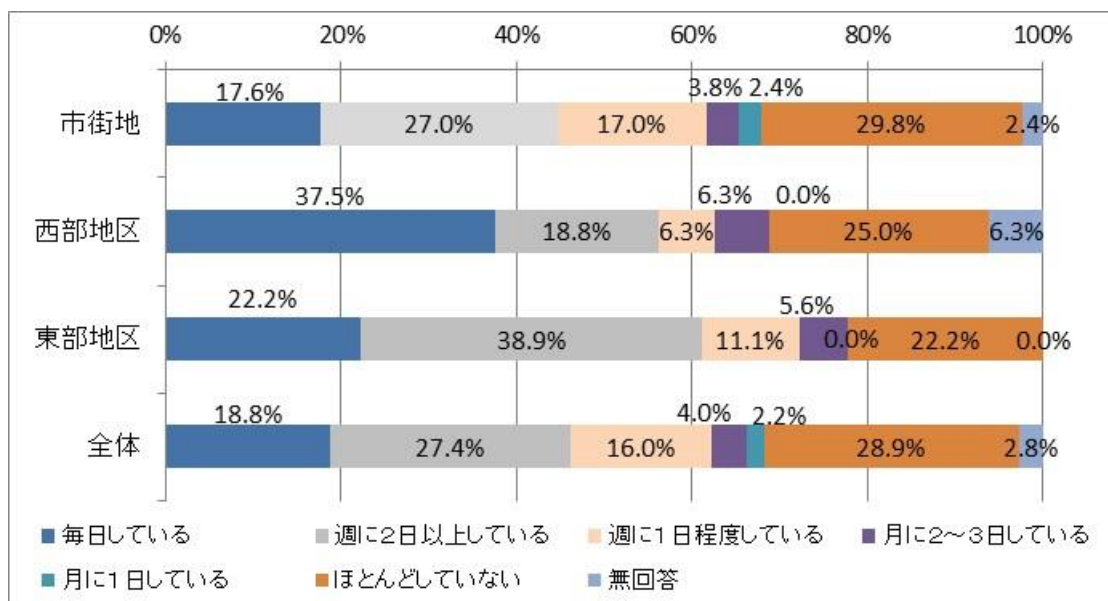
総じて30分以上の運動を週1日以上実施している市民の割合は、全年齢層、60歳以上とも、昨年度調査の結果よりも増加している。

<令和5年度調査>

(全年齢層)

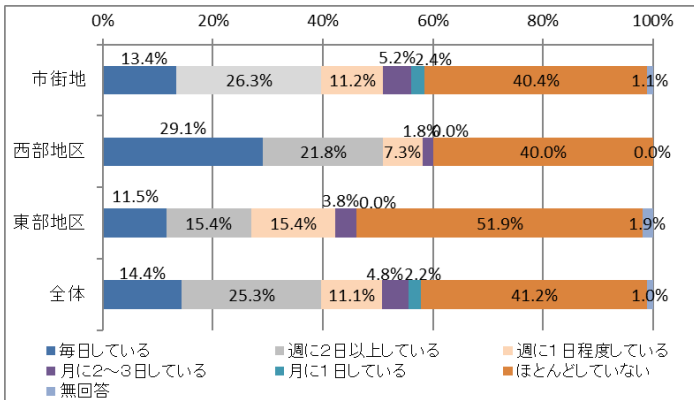


(60歳以上)



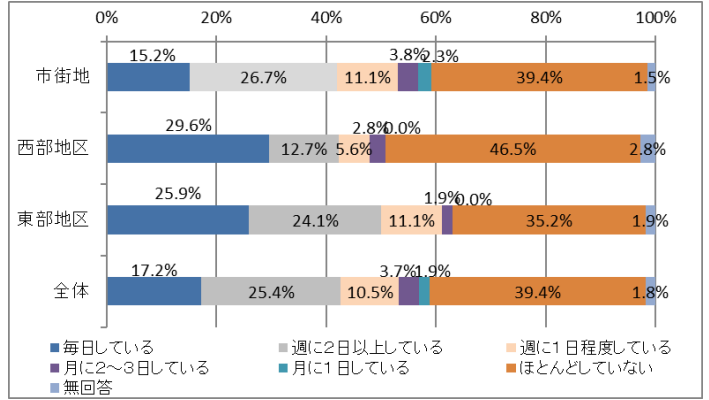
<令和4年度調査>

(全年齢層)

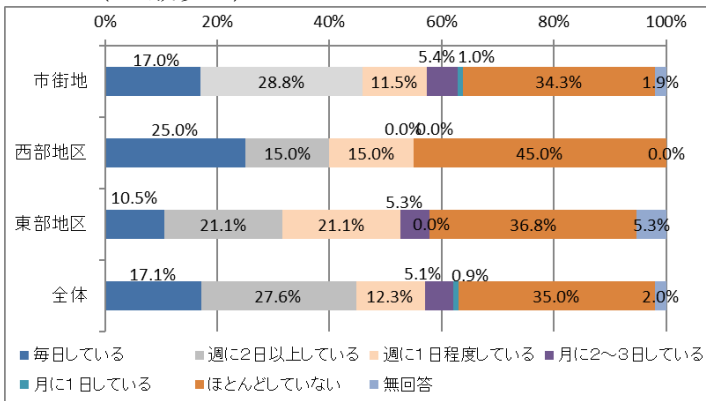


<令和3年度調査>

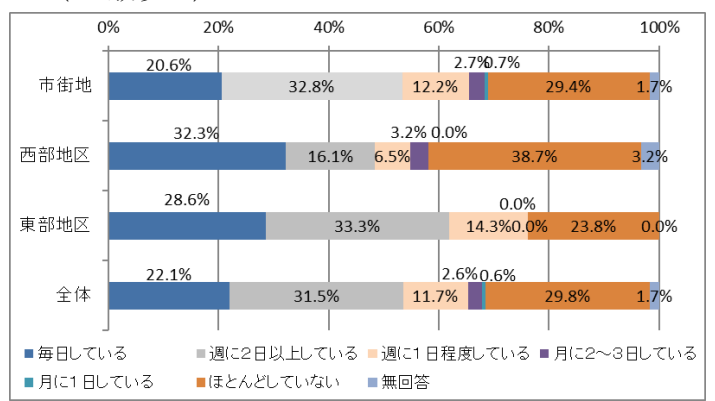
(全年齢層)



(60歳以上)



(60歳以上)



(4) 市立根室病院の分娩再開の認知度について

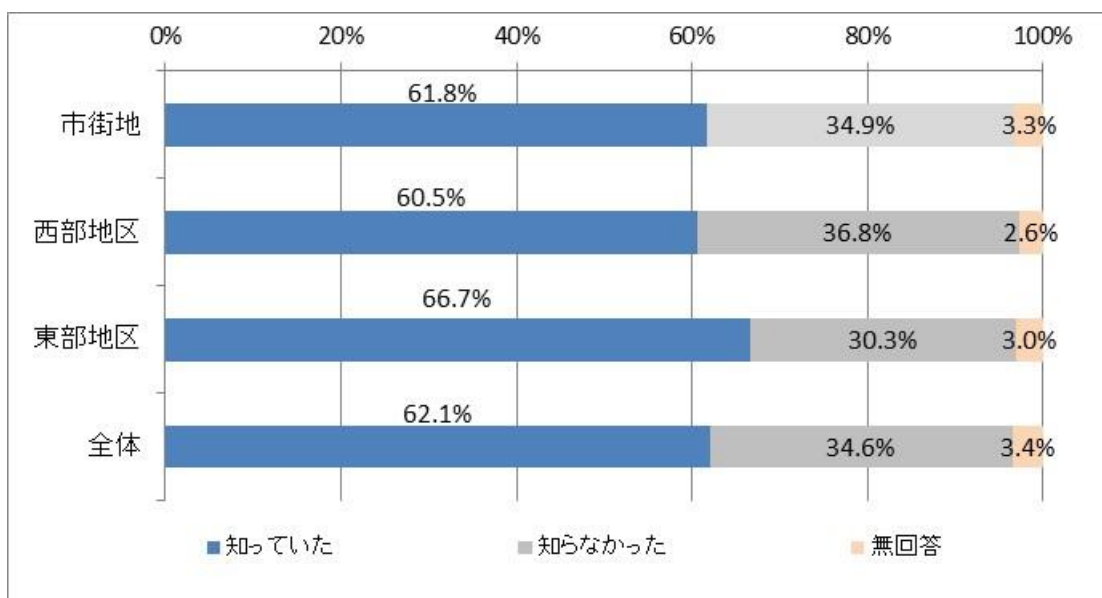
本設問は、平成 30 年度調査から追加した項目で、今年度は分娩が再開されてから 7 年目となる。

根室市では、平成 29 年 4 月 1 日から経産婦の方を対象に分娩を再開しているが、そうした状況を市民が認知しているかどうかについて調査した結果、62.1%の方が「知っていた」としており、過去 3 年間の結果においても、認知度は概ね 60%程度にとどまる状況となっている。

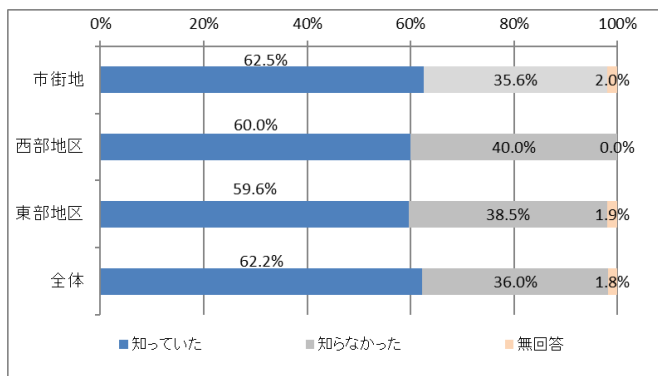
年齢階層別でみると、30 代をピークに年齢が上がるほど、認知度が低くなる傾向がみられる。20 歳代～40 歳代の子育て世代の認知度は、69.6%となっており、概ね 70%前後の認知度となっている。一方、20 歳未満の認知度は 69.2%となっており、過去の調査と比べて認知度が大きく増加している。

市立根室病院の分娩再開の認知度

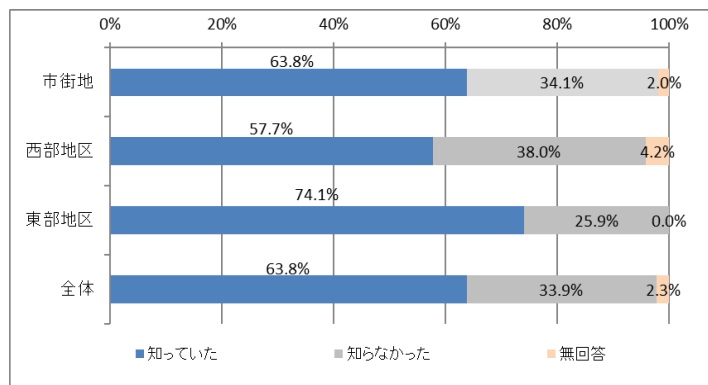
<令和 5 年度調査>



<令和 4 年度調査>



<令和 3 年度調査>



年齢階層別分娩開始の認知度

(令和5年度調査)

	年齢階層								
	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上	不明	全体	子育て世代 (20歳代～40歳代)
知っていた	9	23	75	62	48	185	2	404	160
知らなかった	4	21	19	25	28	126	2	225	65
無回答	0	3	1	1	3	14	0	22	5
計	13	47	95	88	79	325	4	651	230
	構成比								
	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上	不明	全体	子育て世代 (20歳代～40歳代)
知っていた	69.2%	48.9%	78.9%	70.5%	60.8%	56.9%	50.0%	62.1%	69.6%
知らなかった	30.8%	44.7%	20.0%	28.4%	35.4%	38.8%	50.0%	34.6%	28.3%
無回答	0.0%	6.4%	1.1%	1.1%	3.8%	4.3%	0.0%	3.4%	2.2%
計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

(令和4年度調査)

	年齢階層								
	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上	不明	全体	子育て世代 (20歳代～40歳代)
知っていた	5	37	95	79	56	207	1	480	211
知らなかった	15	31	36	30	31	134	1	278	97
無回答	0	1	2	0	1	10	0	14	3
計	20	69	133	109	88	351	2	772	311
	構成比								
	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上	不明	全体	子育て世代 (20歳代～40歳代)
知っていた	25.0%	53.6%	71.4%	72.5%	63.6%	59.0%	50.0%	62.2%	67.8%
知らなかった	75.0%	44.9%	27.1%	27.5%	35.2%	38.2%	50.0%	36.0%	31.2%
無回答	0.0%	1.4%	1.5%	0.0%	1.1%	2.8%	0.0%	1.8%	1.0%
計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

(令和3年度調査)

	年齢階層								
	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上	不明	全体	子育て世代 (20歳代～40歳代)
知っていた	10	43	112	108	70	214	0	557	263
知らなかった	23	40	32	39	38	123	1	296	111
無回答	1	1	1	1	2	12	2	20	3
計	34	84	145	148	110	349	3	873	377
	構成比								
	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上	不明	全体	子育て世代 (20歳代～40歳代)
知っていた	29.4%	51.2%	77.2%	73.0%	63.6%	61.3%	0.0%	63.8%	69.8%
知らなかった	67.6%	47.6%	22.1%	26.4%	34.5%	35.2%	33.3%	33.9%	29.4%
無回答	2.9%	1.2%	0.7%	0.7%	1.8%	3.4%	66.7%	2.3%	0.8%
計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

(5) 施策に対する認知度

①市民全体

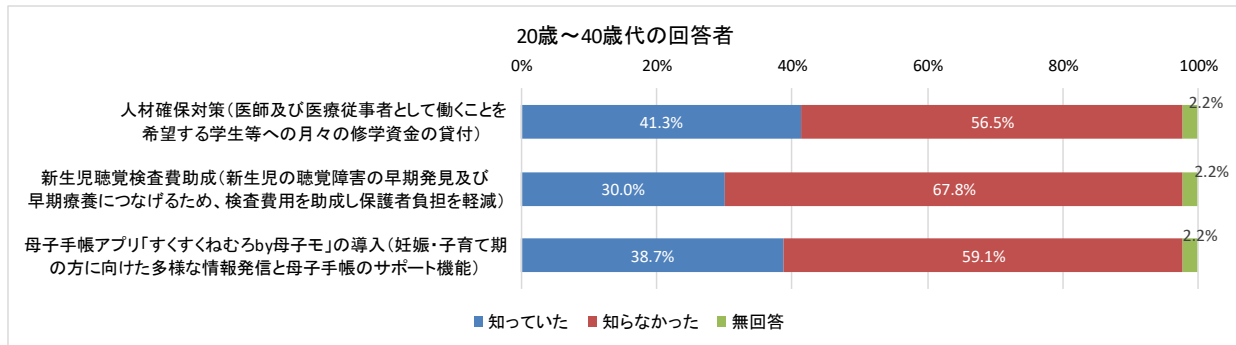
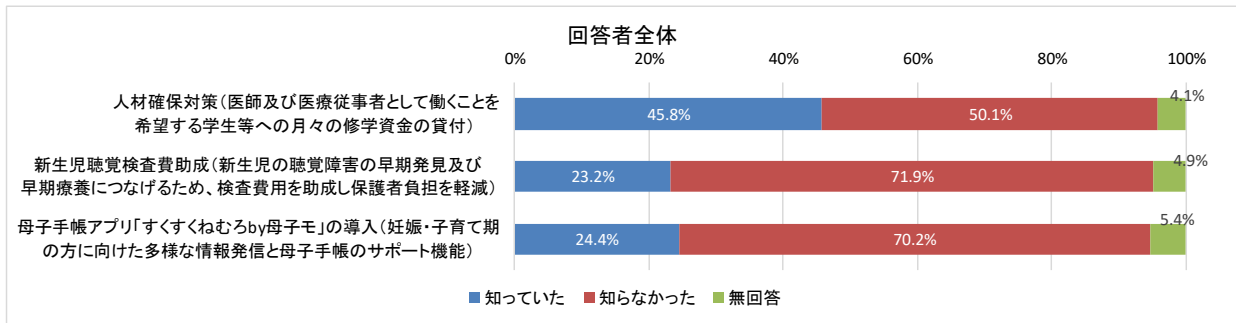
根室市で実施している保健医療に関する施策の認知度についてみると、市民全体の認知度は、人材確保対策については、45.8%が知っていたとしており、昨年度よりも認知度はやや低下した。

新生児聴覚検査費助成、母子手帳アプリの導入に関しては、昨年度と同程度となっている。

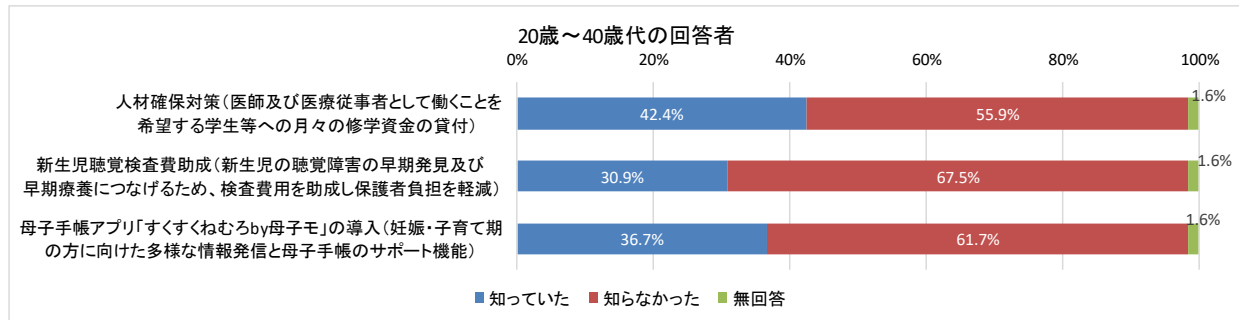
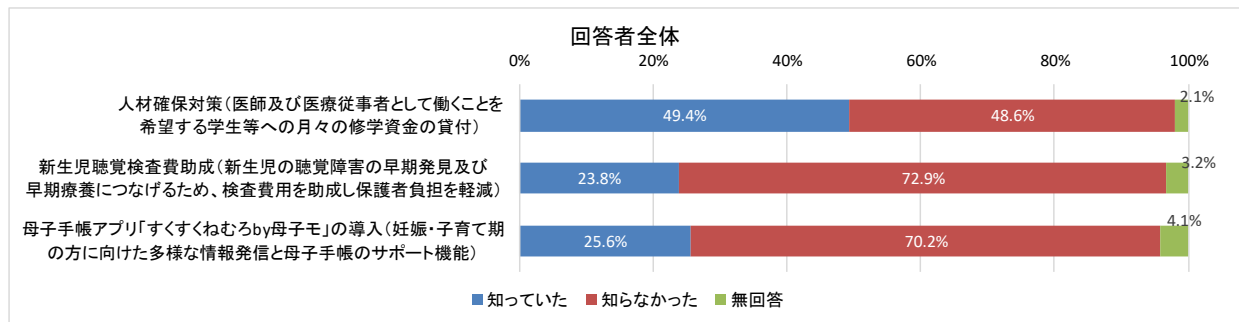
20歳代～40歳代の子育て世代の認知度についてみると、人材確保対策、新生児聴覚検査費助成が昨年度と同程度になっている一方で、母子手帳アプリの導入は、昨年度をやや上回っている。

保健医療に関する施策の認知度

(令和5年度調査)



(令和4年度調査)

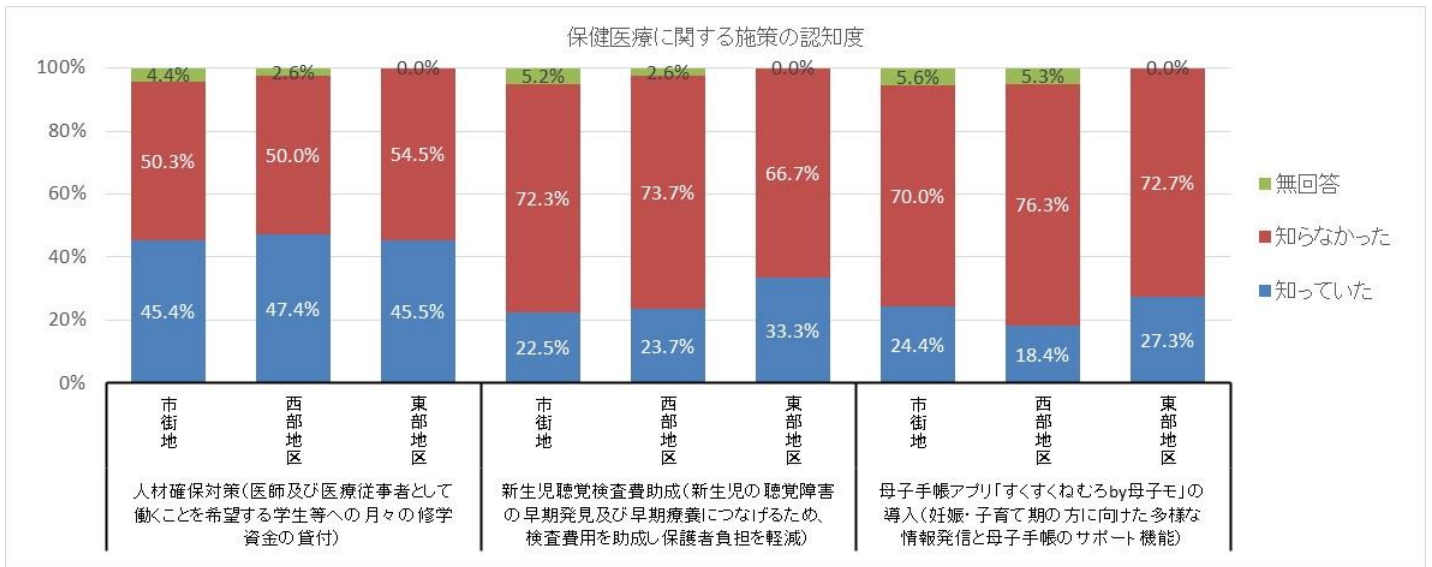


②地区別

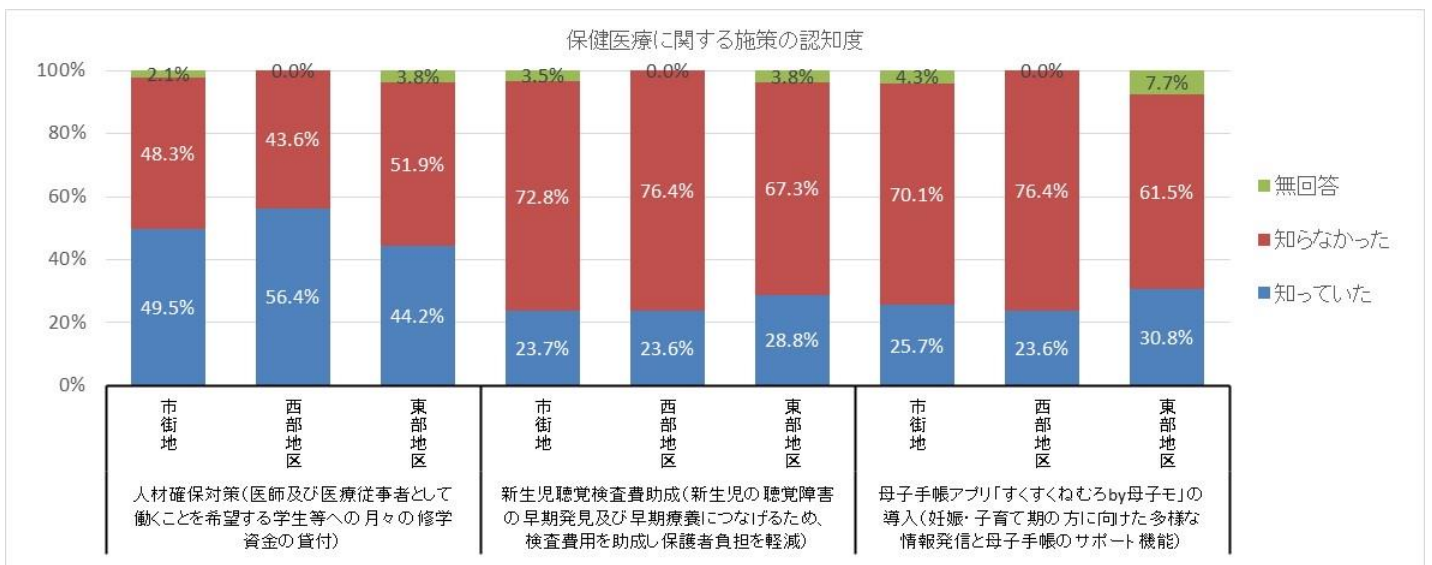
保健医療関連施策の認知度を地区別にみると、昨年度の結果と同様、それぞれの施策に対する認知度について地区別の特性はみられない。

昨年度との比較では、全体的に施策の認知度がやや低くなる傾向がみられるが、人材確保対策、新生児聴覚検査費助成に対する東部地区の認知度は昨年度よりもやや高くなっている。

<令和5年度調査>



<令和4年度調査>



(6) 根室市の医療環境の状況について

①医療環境に対する満足度

市内の病院などの医療環境に対する回答者全体の満足度をみると、「満足」と「やや満足」を合わせた割合は、8.9%となっており昨年度よりもやや低下している。

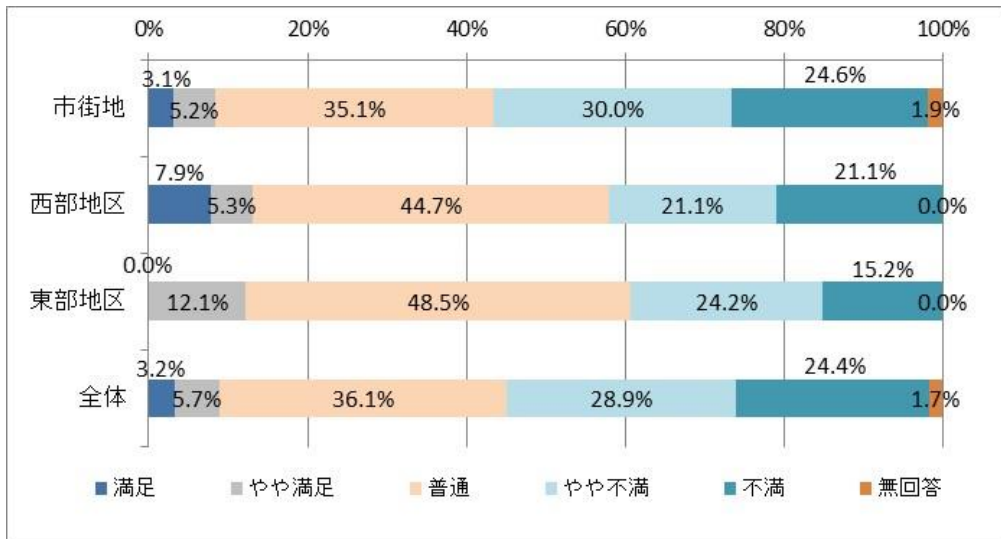
地域別では、「満足」と「やや満足」を合わせた割合は、西部地区が13.2%、東部地区が12.1%と昨年度よりもやや高くなっているものの、市街地は8.3%と昨年度よりも低下している。

これまでの調査結果を比較すると、市立病院での分娩が可能となった平成30年度調査以降、「普通」の回答割合が高くなっており（平成28年度調査で17.0%、平成29年度調査で21.9%）、普通以上の満足度を感じている住民が概ね50%を超えていた。

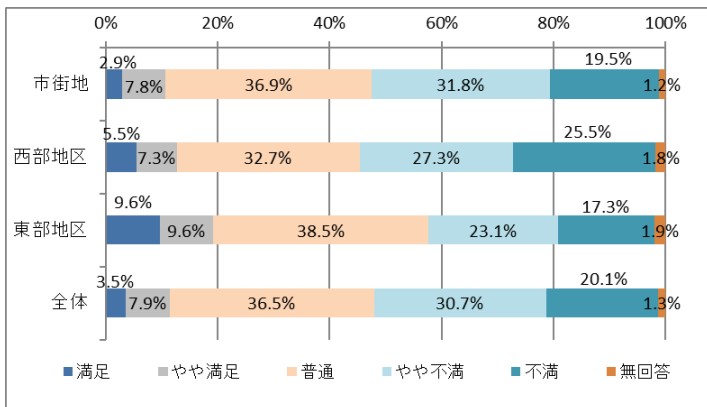
しかし、昨年度からは、普通以上の満足度を感じている市民の割合が50%以下に低下しており、不満意識が高くなっている傾向がうかがえる。

根室市の医療環境に対する満足度

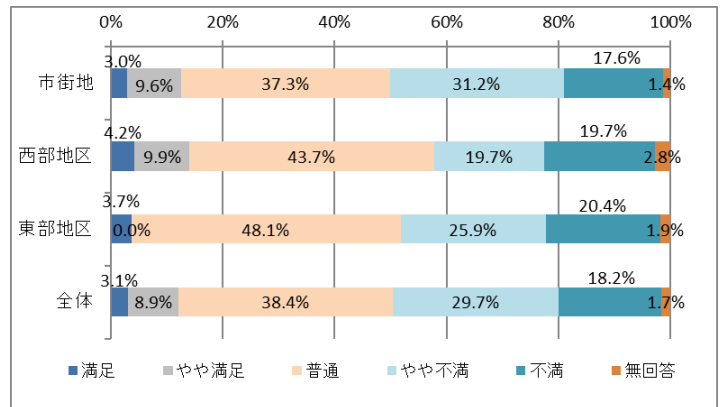
<令和5年度調査>



<令和4年度調査>



<令和3年度調査>



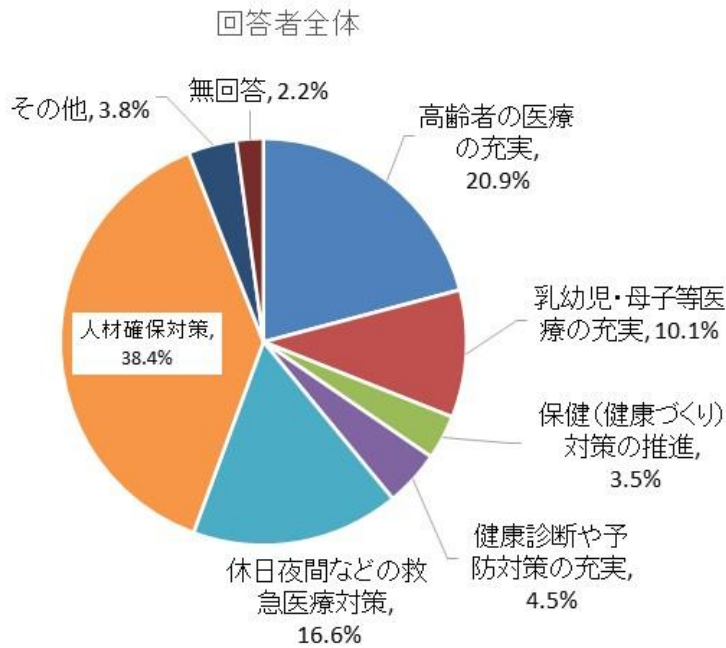
(7) 保健医療政策について

①市民全体

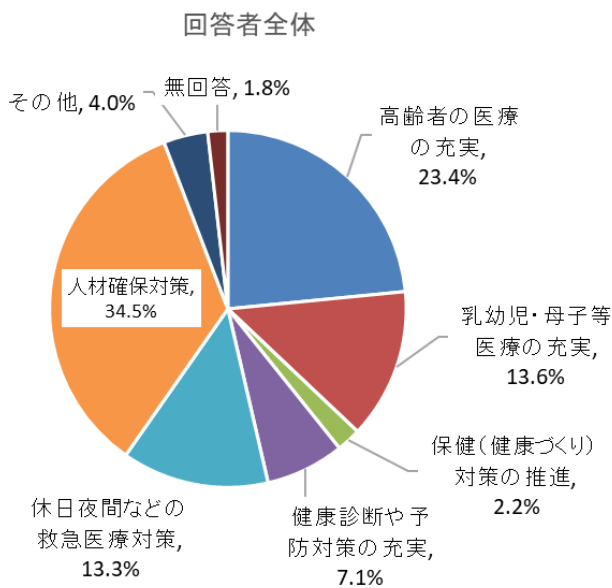
根室市の保健医療に関して、今後重点的に取り組むべきと考える政策を1つだけ回答してもらった結果、回答者全体では、これまでの調査結果と同様、「人材確保対策」が最も多く、38.4%を占めている。

これに次いで、「高齢者の医療の充実」、「休日夜間などの救急医療対策」、「乳幼児・母子等医療の充実」が続いており、「人材確保対策」に次いで上位にあげられている項目は、順位に変動はみられるものの、これまでの調査の結果と同様であった。

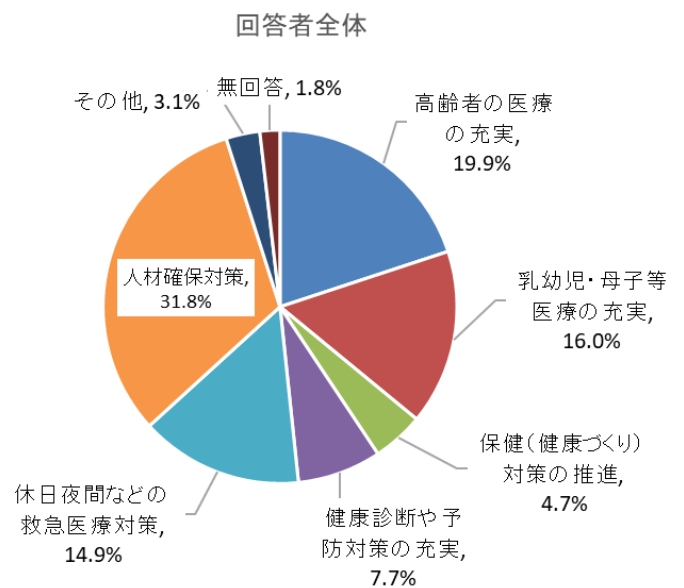
<令和5年度調査>



<令和4年度調査>

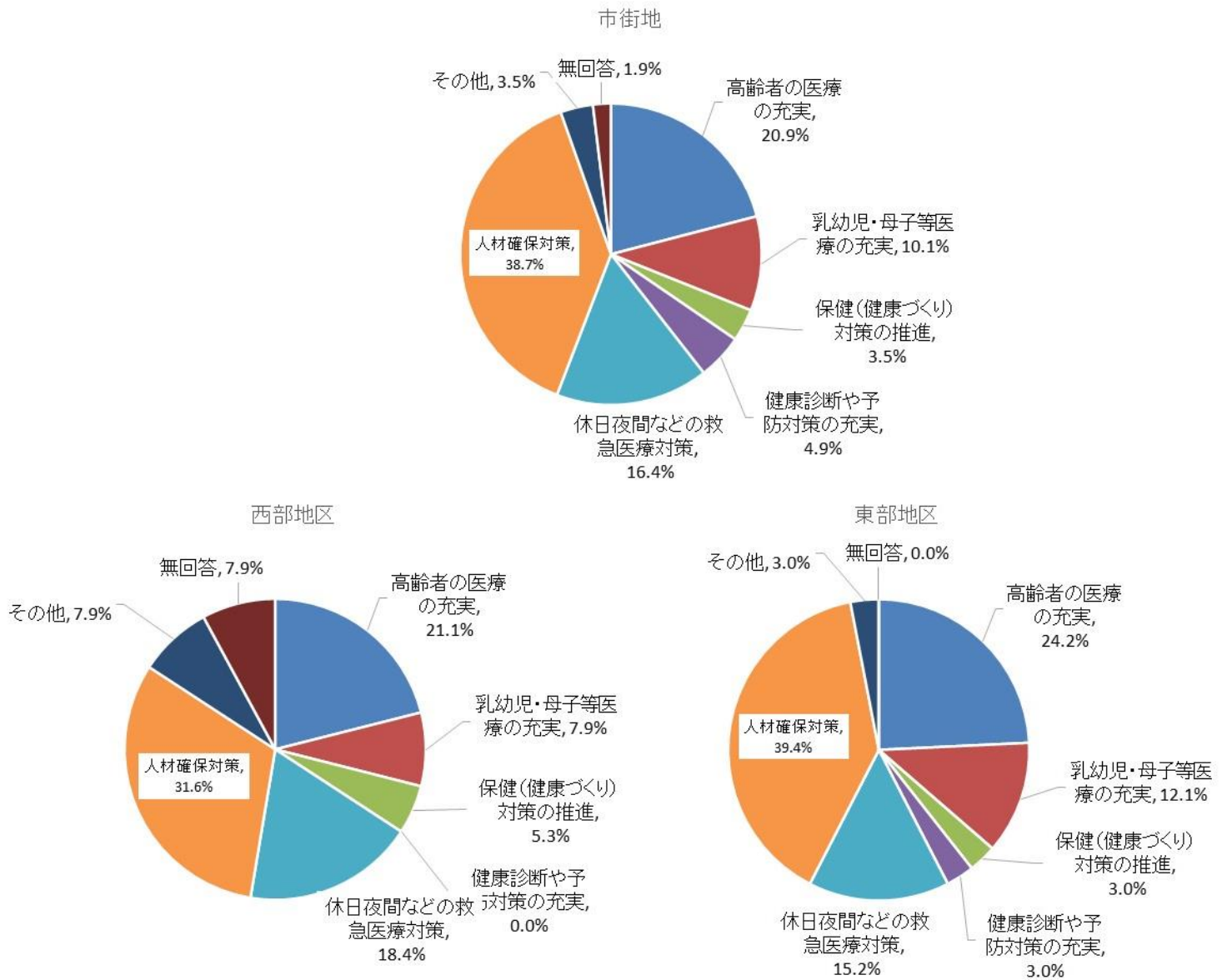


<令和3年度調査>



②地区別

地区別に重要と考える保健医療政策についてみると、各地区とも「人材確保対策」、「高齢者の医療の充実」、「休日夜間などの救急医療対策」、「乳幼児・母子等医療の充実」が上位となっており、これまでの調査と同様の結果となっている。



3. 6 少子化・子育て支援について

(1) 施策に対する認知度

①市民全体

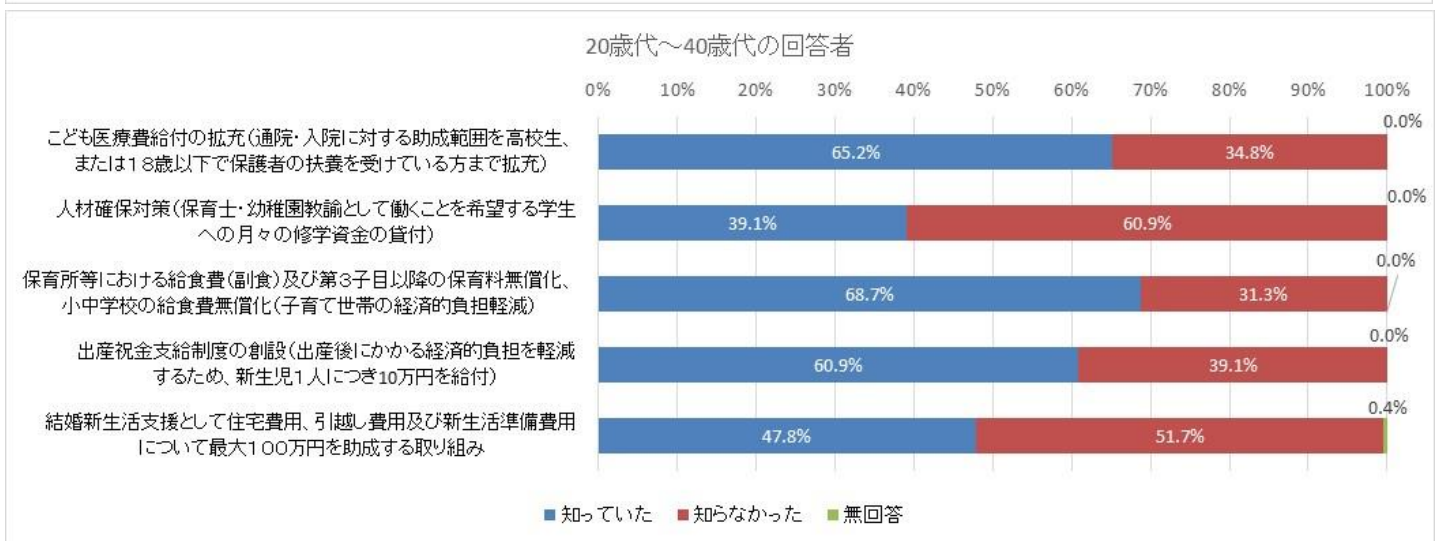
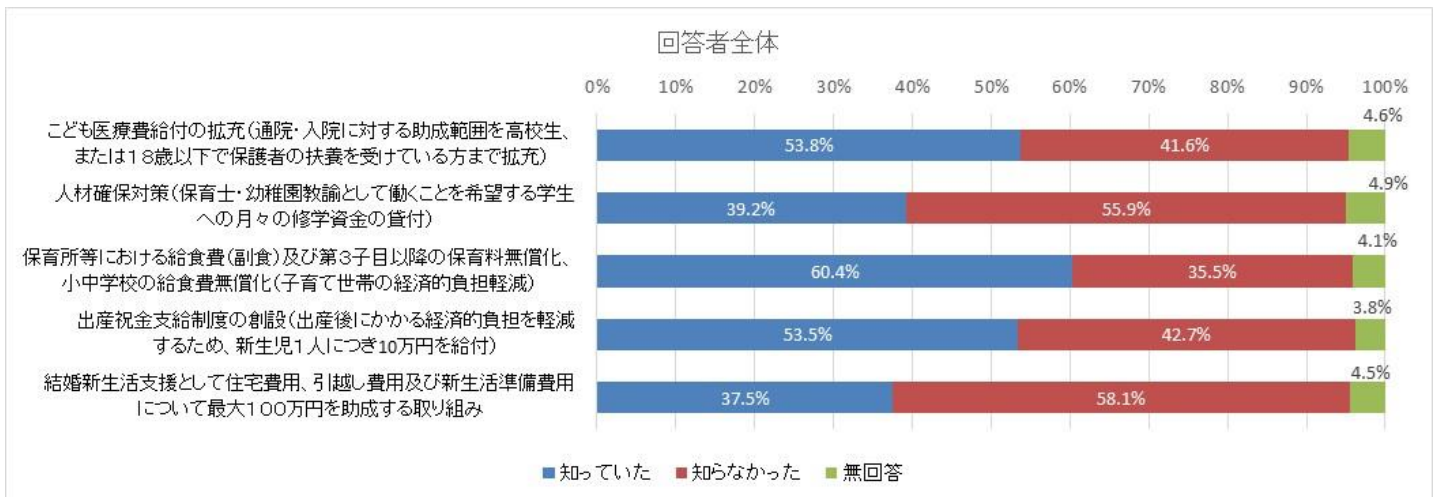
根室市で実施している少子化・子育て支援に関する施策の認知度についてみると、市民全体の認知度は、「保育所の給食費及び第3子目以降の保育料・学校給食費の無償化」の認知度が最も高く60.4%となっており、昨年度と同程度となっている。

「こども医療費給付の拡充」「人材確保対策」「出産祝金支給制度の創設」については昨年度よりも認知度がやや上回っている。

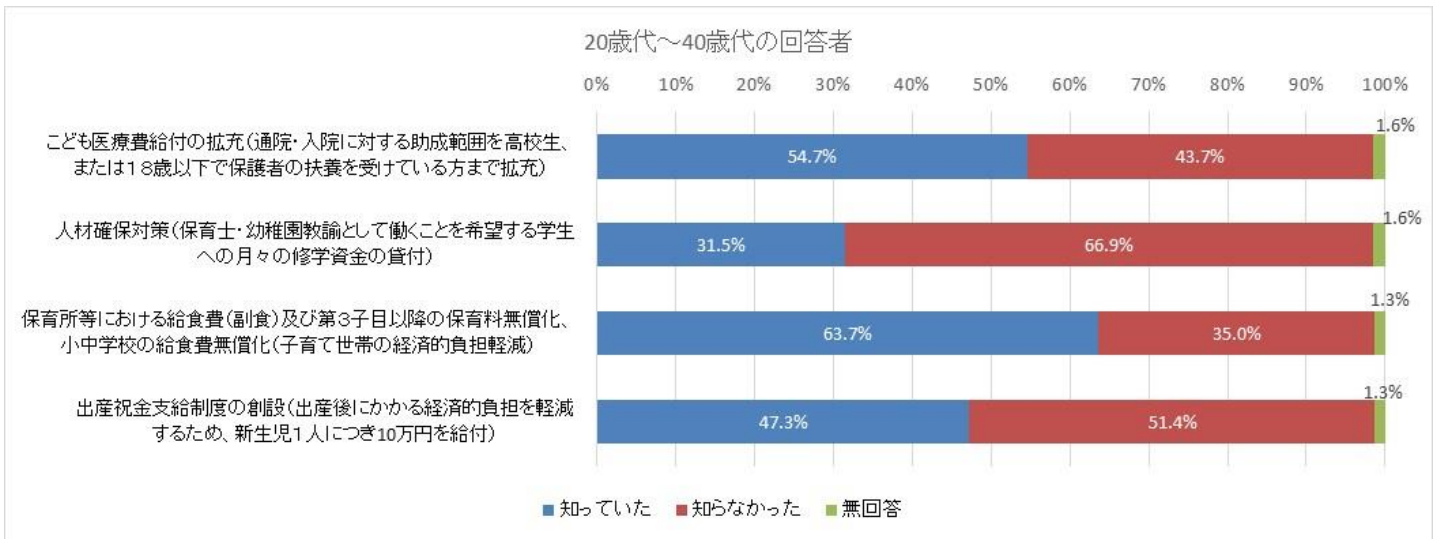
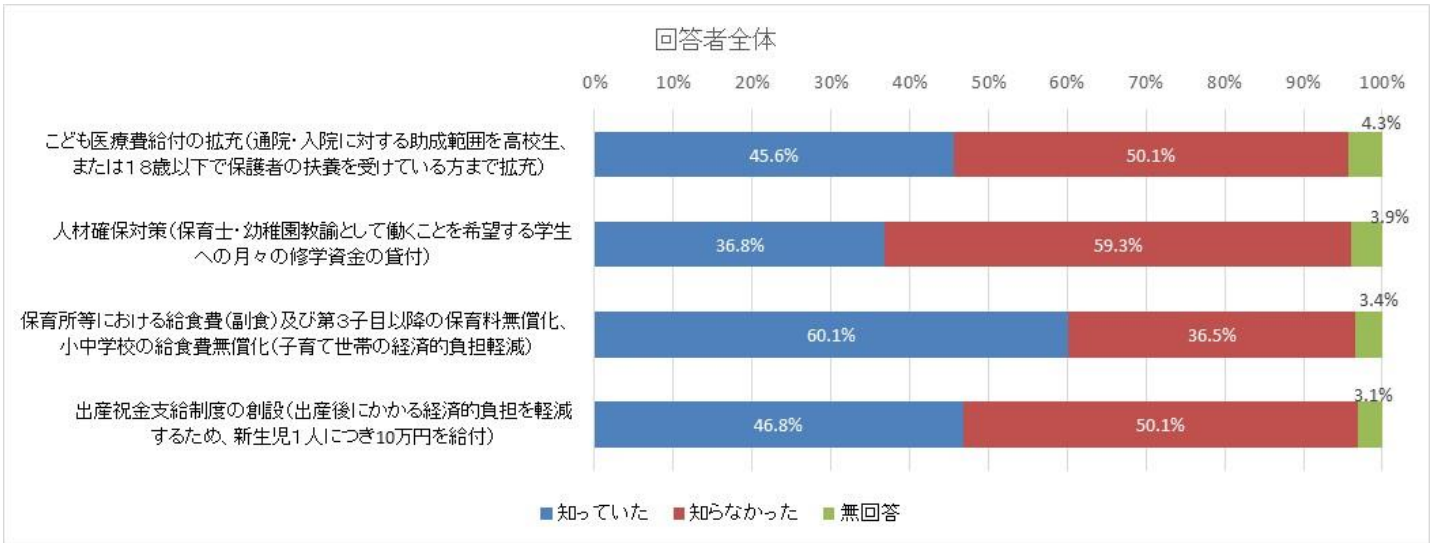
また、今年度から項目に加わった「結婚新生活支援として住宅費用、引越し費用及び新生活準備費用について最大100万円を助成する取り組み」は認知度が37.5%となっている。

20歳代～40歳代の子育て世代についてみると、全ての項目で全体の認知度を上回っており、昨年度と比較可能な4項目についても昨年度よりも認知度が上昇している。

<令和5年度調査>



<令和4年度調査>

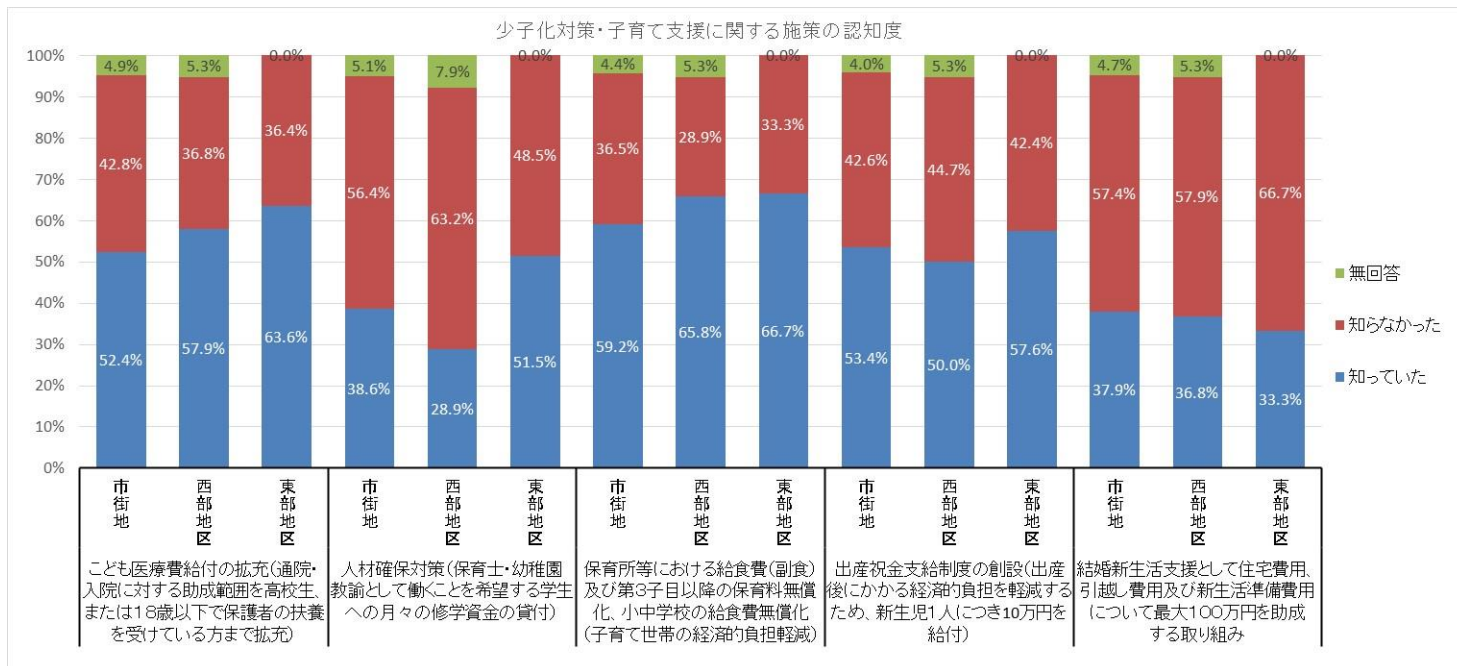


②地区別

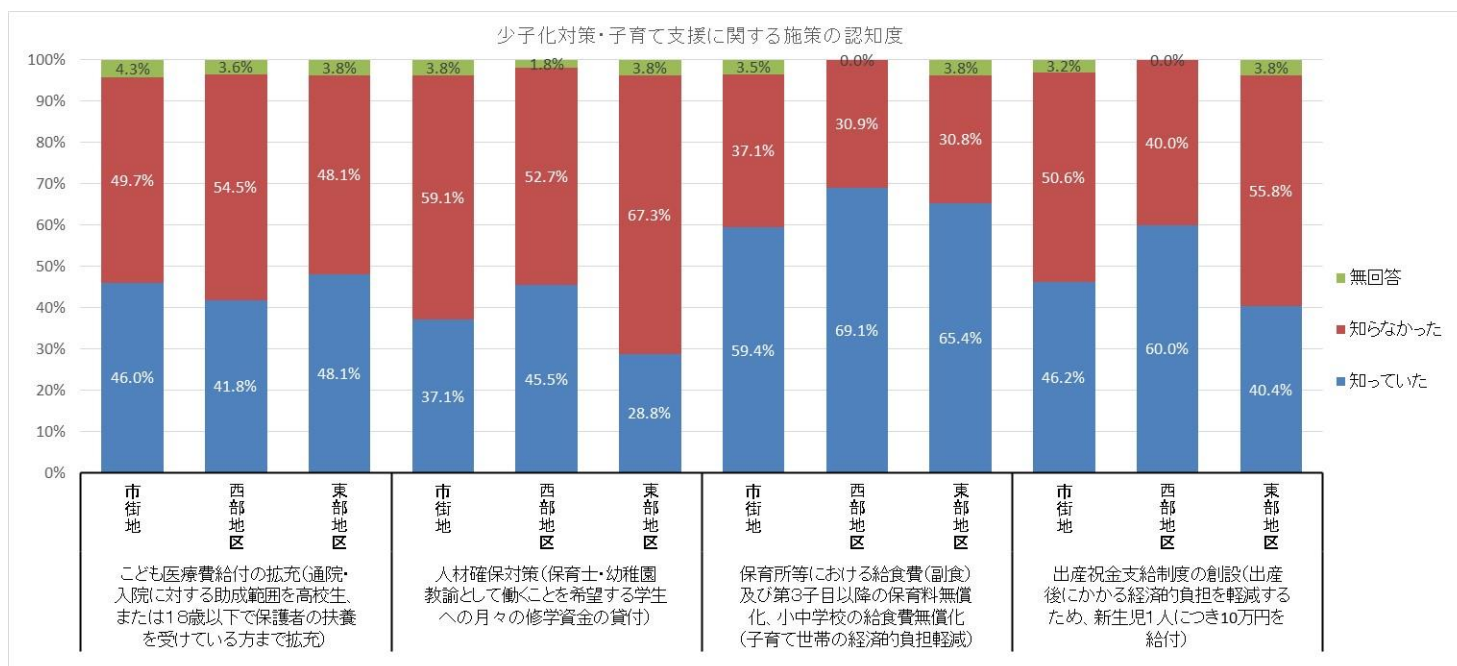
「少子化対策」、「地域の子育て支援」に関する主要施策の認知度を地区別で見ると、各地区とも「保育所の給食費及び第3子目以降の保育料・学校給食費の無料化」に対する認知度がこれまでの調査結果と同様に最も高くなっている。

昨年度との比較では、総じて施策の認知度がやや上回る結果となっている。

<令和5年度調査>



<令和4年度調査>



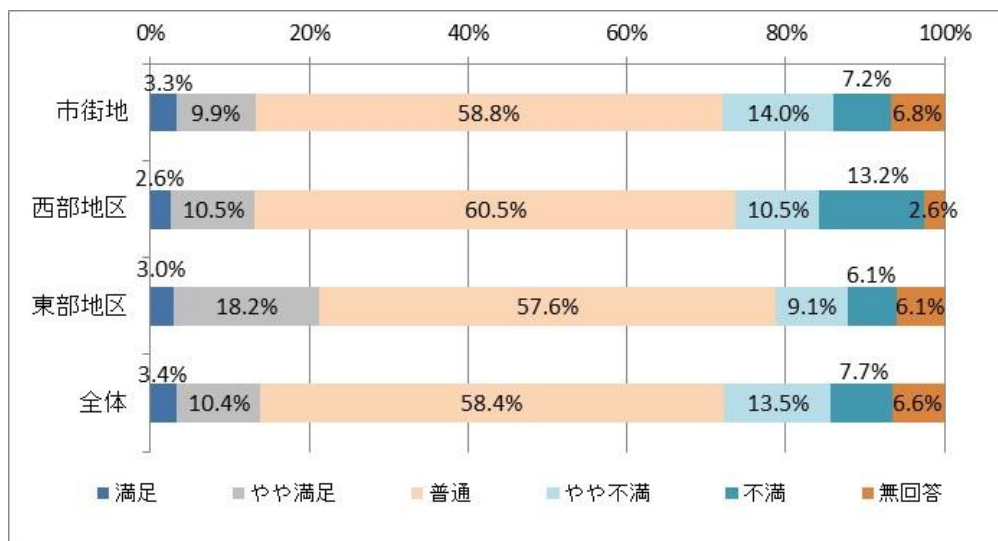
(2) 乳幼児や子どものための福祉施設の状況に対する満足度

乳幼児や子どものための福祉施設の状況に対する回答者全体の満足度をみると、「満足」と「やや満足」を合わせた割合は、13.8%となっており、昨年度の調査の結果をやや上回った。

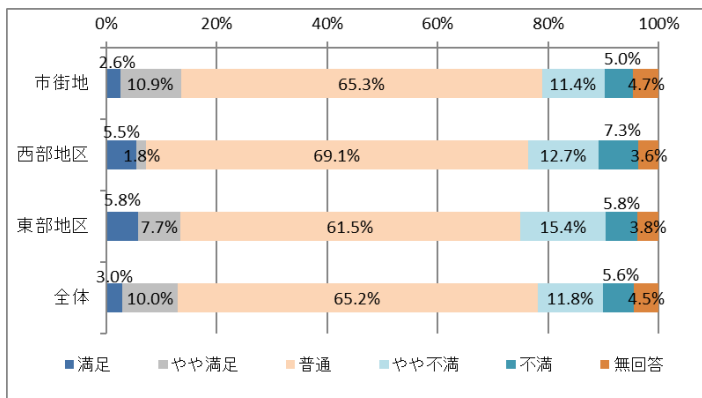
地域別でみると、「満足」と「やや満足」を合わせた割合は、市街地で昨年度と同程度、西部地区、東部地区で昨年度をやや上回っている。

乳幼児や子どものための福祉施設の状況に対する満足度

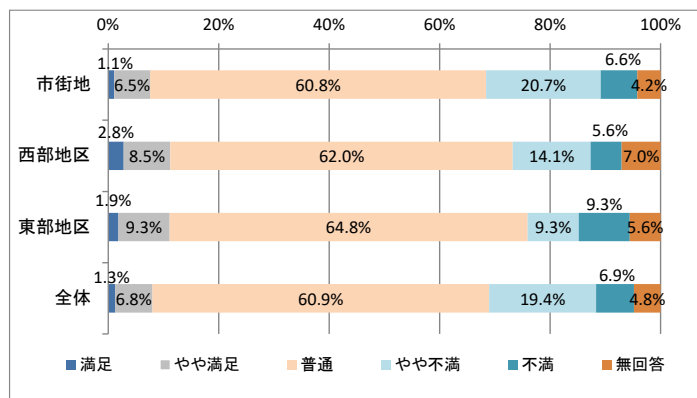
<令和5年度調査>



<令和4年度調査>



<令和3年度調査>



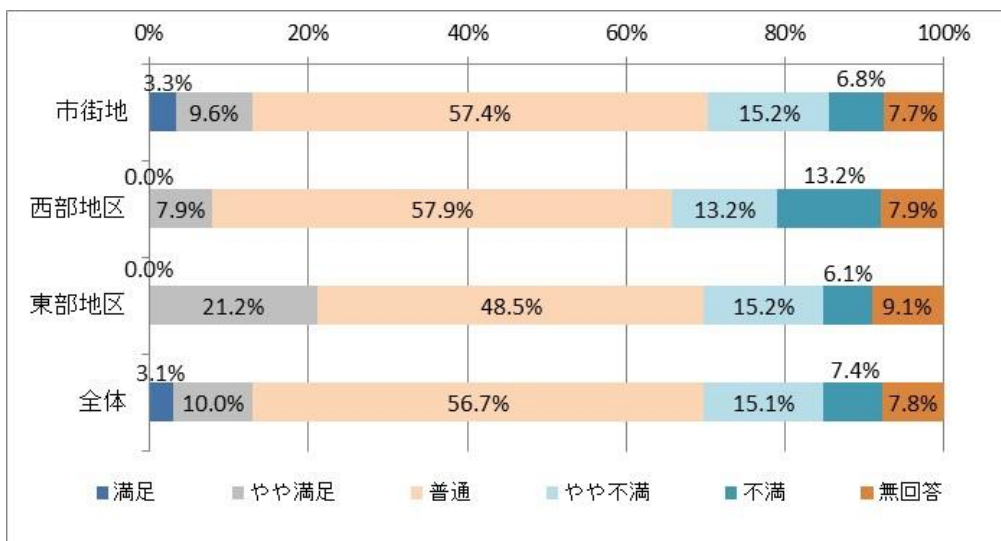
(3) 子育てのための環境や支援に対する満足度

子育てのための環境や支援に対する回答者全体の満足度をみると、「満足」と「やや満足」を合わせた割合は、13.1%となっており、調査を開始した平成28年度(5.2%)から一貫して増加基調にある。

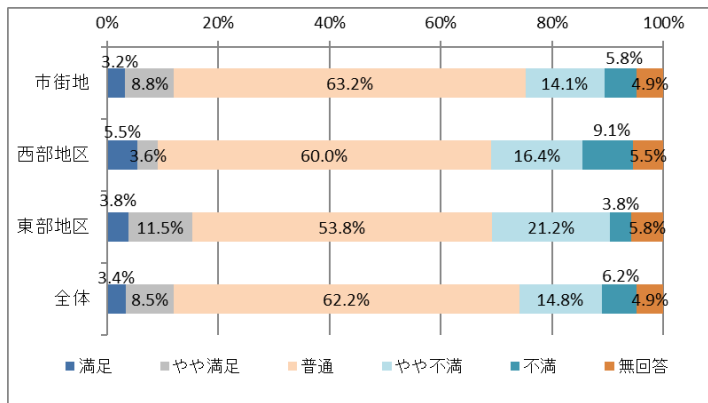
地域別でみると、「満足」と「やや満足」を合わせた割合は、市街地では一貫した増加をみせているが、回答者数の少ない西部地区および東部地区では、調査年によって増減がみられている。

子育てのための環境や支援に対する満足度

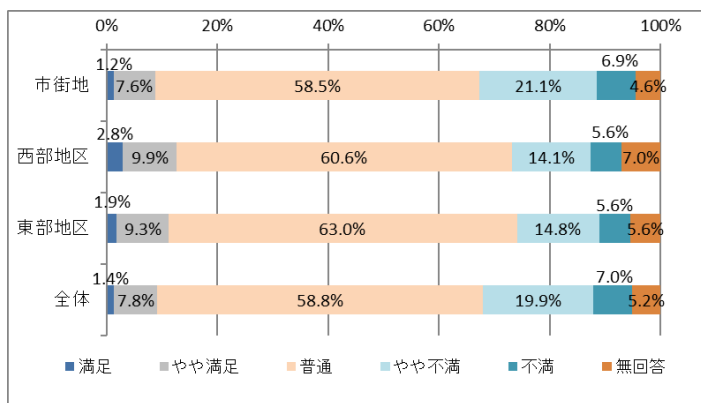
<令和5年度調査>



<令和4年度調査>



<令和3年度調査>



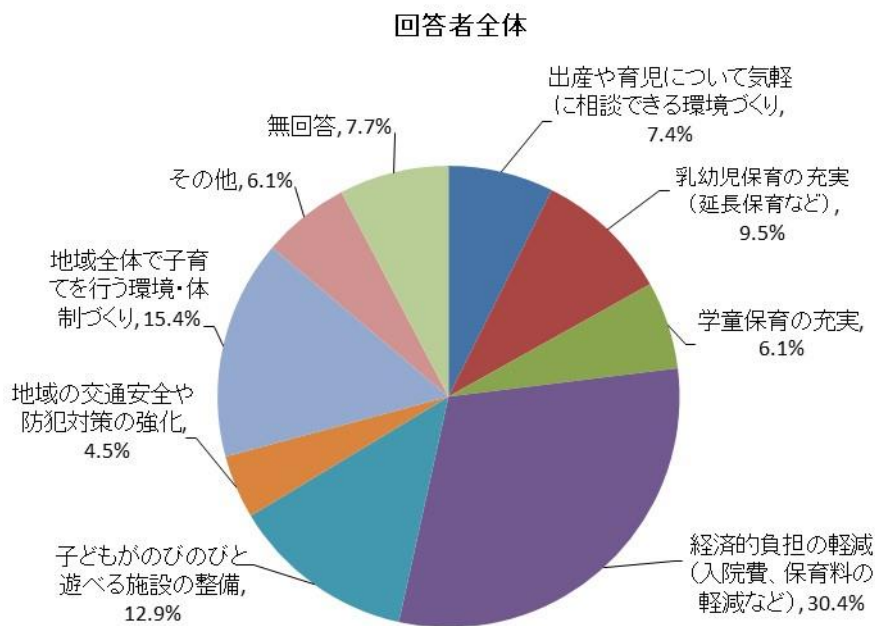
(4) 少子化・子育て支援策

①市民全体

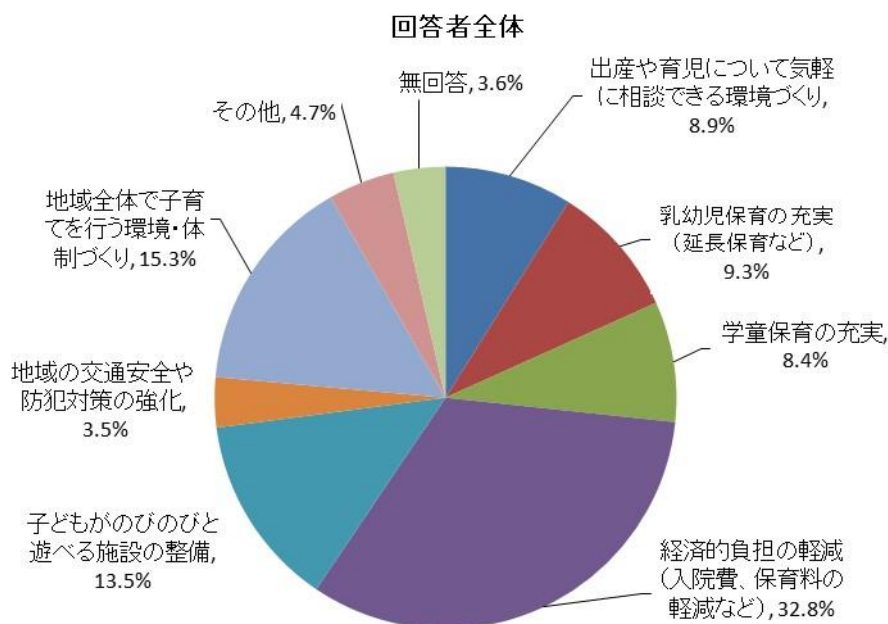
根室市の少子化・子育て支援に関して、今後重点的に取り組むべきと考える政策を1つだけ回答してもらった結果、回答者全体では、「経済的負担の軽減」が最も多く、30.4%を占めた。次いで、「地域全体で子育てを行う環境・体制づくり」が15.4%、「子どもがのびのびと遊べる施設の整備」が12.9%、「乳幼児保育の充実（延長保育など）」が9.5%の順であった。

「経済的負担の軽減」の割合は令和2年初頭からの新型コロナウイルスの感染拡大に伴う経済停滞を反映して、これまで増加傾向にあったが、新型コロナウイルス感染症の影響が収まりつつあることもあって、昨年度よりも回答割合がやや低下している。ただし、昨年来のロシアによるウクライナ侵攻・円安等を背景にした物価高騰が続いていることなどから、引き続き回答に占める割合の高い状況が続いている。

<令和5年度調査>

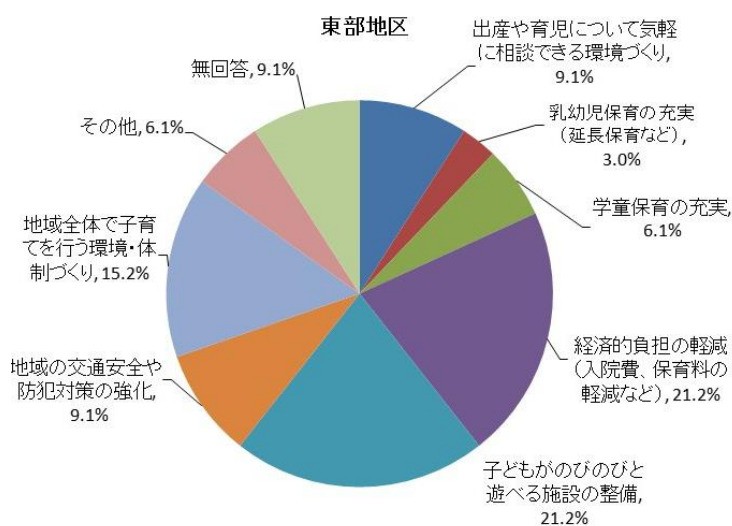
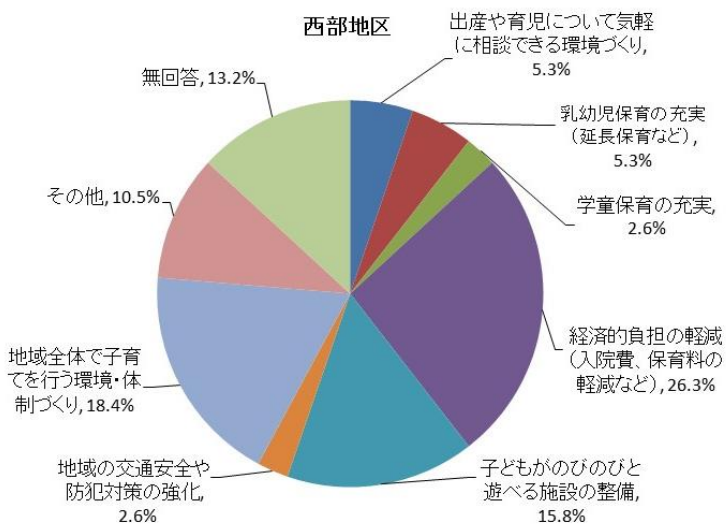
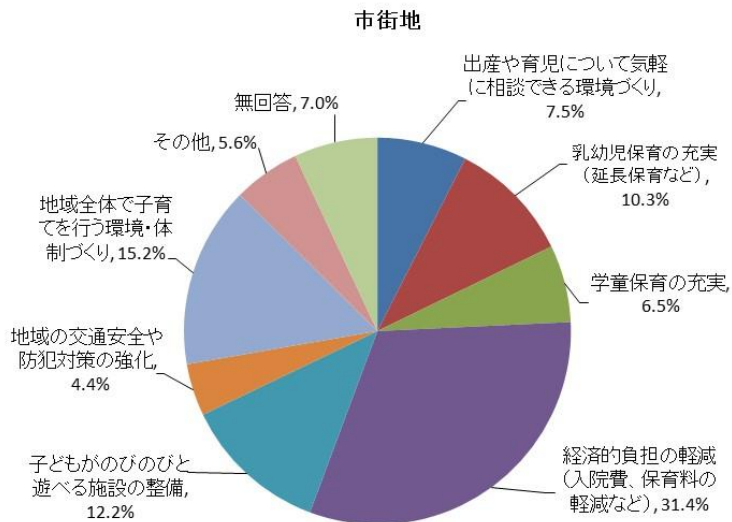


<令和4年度調査>



②地区別

各地区とも、「経済的負担の軽減」の割合が最も高く、次いで、市街地地区及び西部地区では「地域全体で子育てを行う環境・体制づくり」、西部地区では「子どもがのびのびと遊べる施設の整備」の回答割合が高くなっている。



3. 7 高齢者支援について

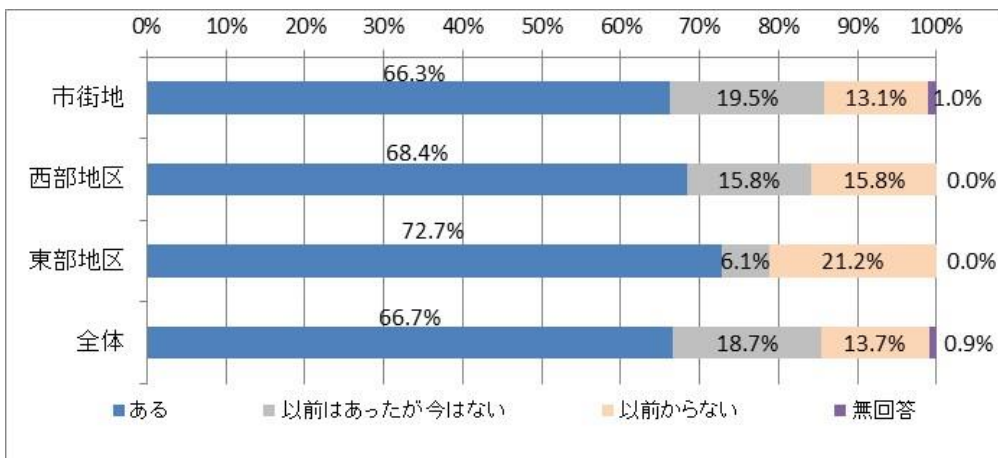
(1) 趣味・楽しみ、生きがいの有無

趣味・楽しみ、生きがいの有無を、回答者全体でみると66.7%が「ある」としており、昨年度調査を上回っている。地区別にみても、各地区とも昨年度調査よりも上回っている。

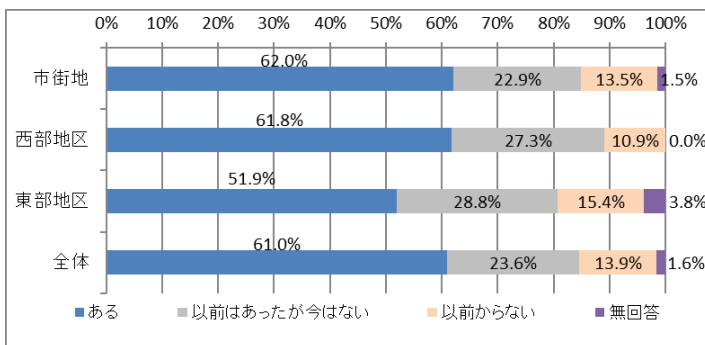
60歳以上の回答者でみると、回答者全体よりも「ある」の回答割合が低くなっており、こうした傾向は昨年度までの結果と同様となっている。ただし、昨年度までと比べると、「ある」の回答割合が全体的に増加している。

市民全体の趣味・楽しみ・生きがいの有無

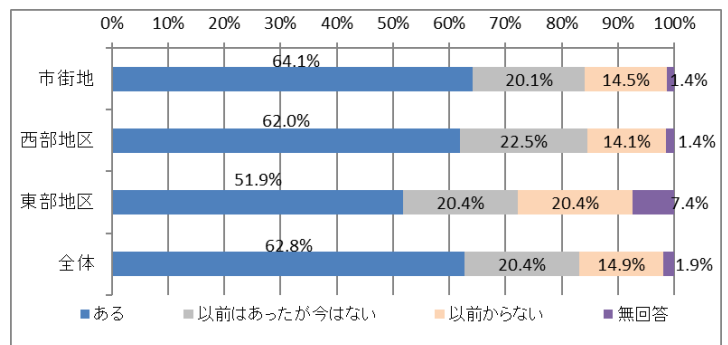
<令和5年度調査>



<令和4年度調査>

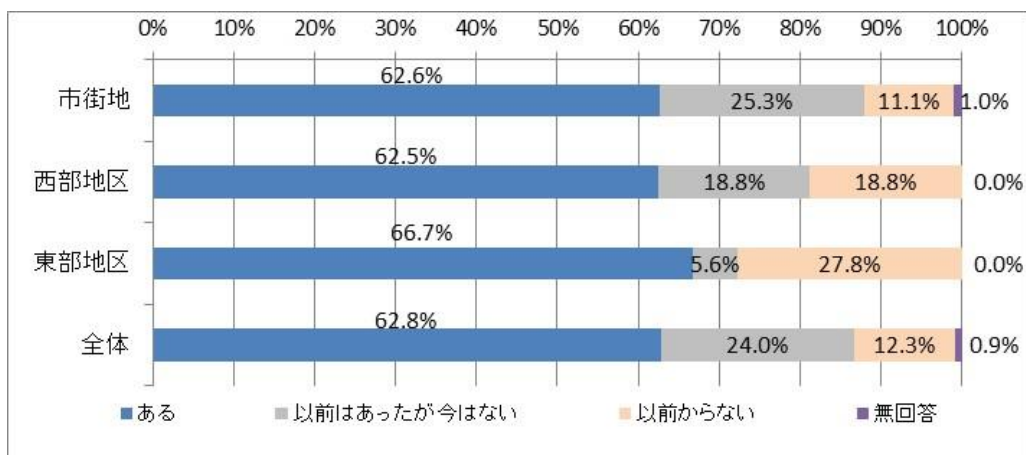


<令和2年度調査>

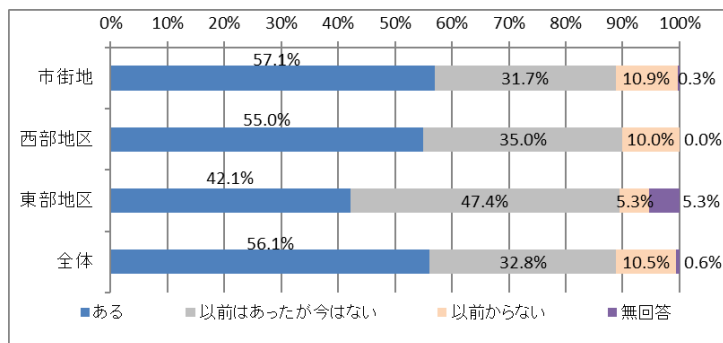


60歳以上住民の趣味・楽しみ・生きがいの有無

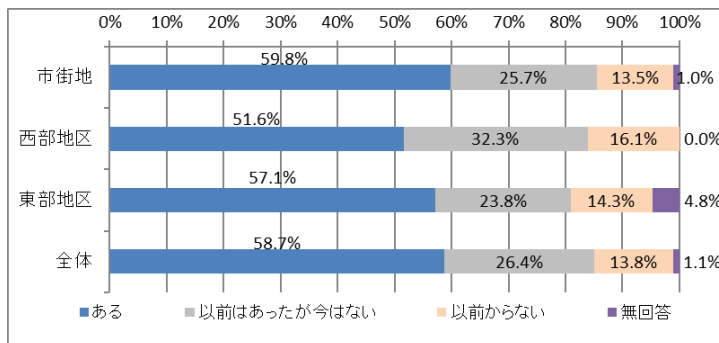
<令和5年度調査>



<令和4年度調査>



<令和3年度調査>



(2) 町会等の行事、サークル、地域イベントへの参加状況

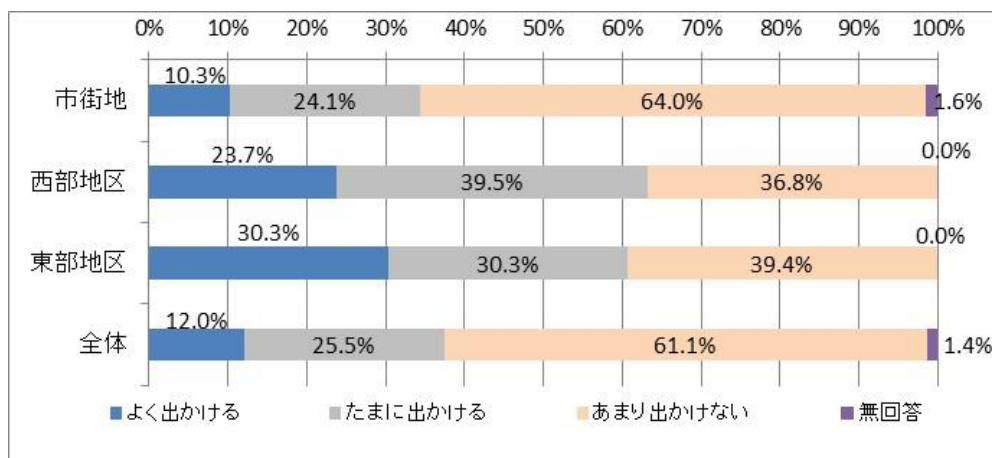
町会等の行事、サークル、地域イベントに出かけるかどうかについて、回答者全体で見ると、「よく出かける」は12.0%となっており、昨年度調査を上回っている。

地区別で見ると、「よく出かける」の割合は、市街地では昨年度と同程度となっているものの、西部地区、東部地区では昨年度を大きく上回っている。新型コロナウイルスの影響が収まりつつあることで、以前の状況に回復している状況がうかがえる。

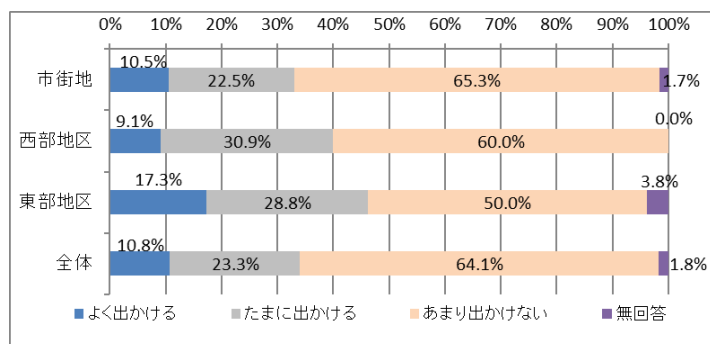
60歳以上の回答者で見ると、回答者全体よりも「よく出かける」の回答割合が高くなっており、こうした傾向は昨年度までの結果と同様となっている。

市民全体の町会等の行事、サークル、地域イベントへの参加状況

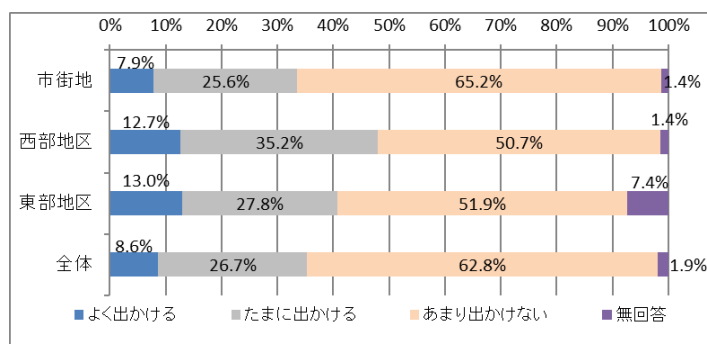
<令和5年度調査>



<令和4年度調査>

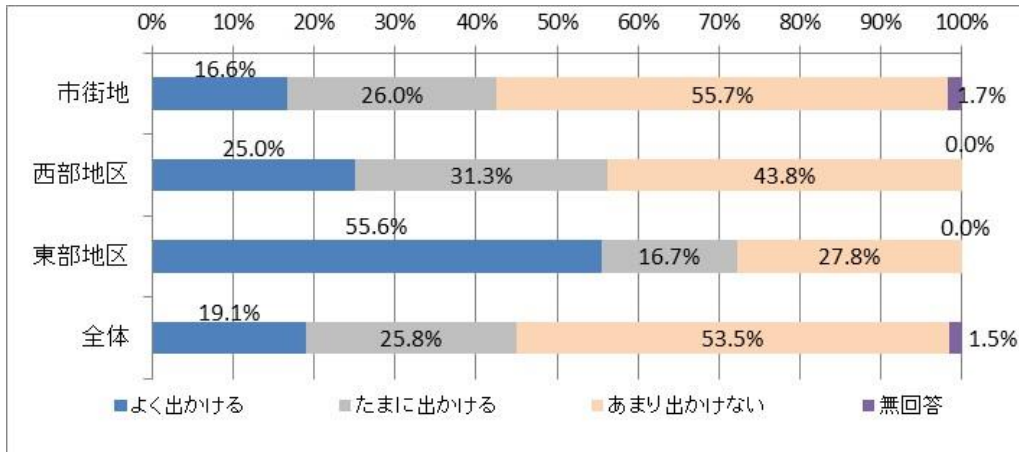


<令和3年度調査>

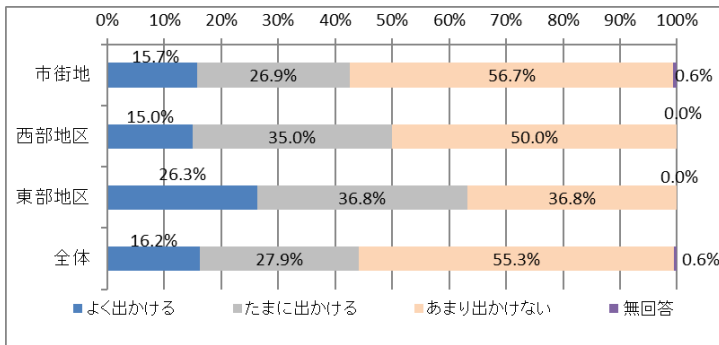


60歳以上住民の町会等の行事、サークル、地域イベントへの参加状況

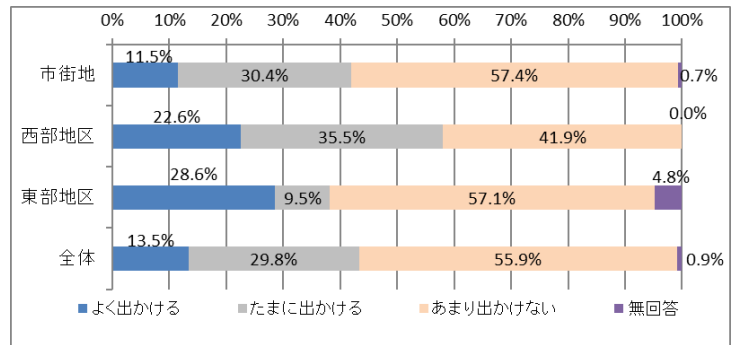
<令和5年度調査>



<令和4年度調査>



<令和3年度調査>



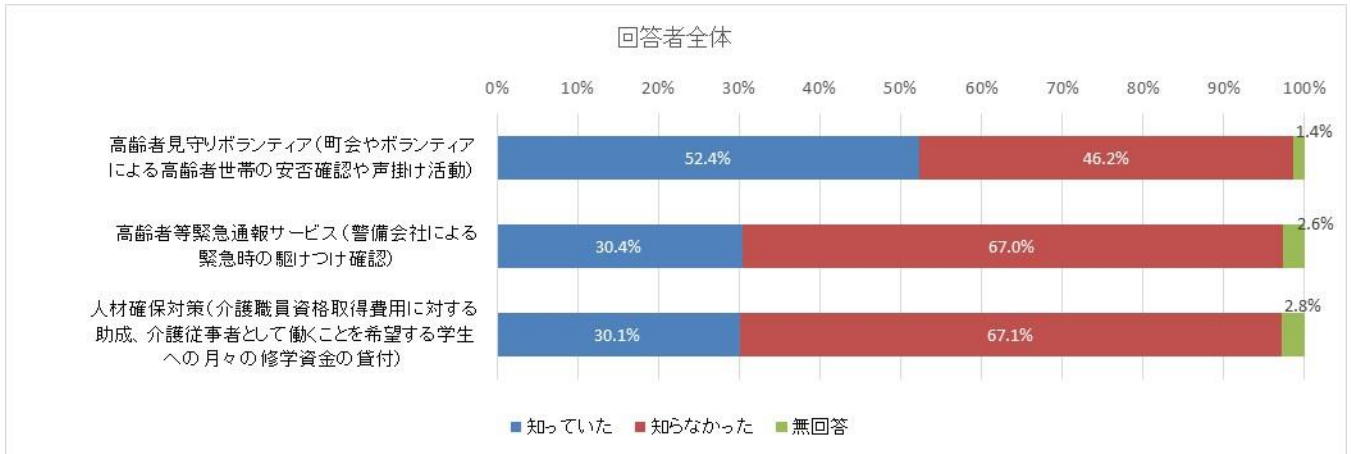
(3) 施策に対する認知度

①市民全体

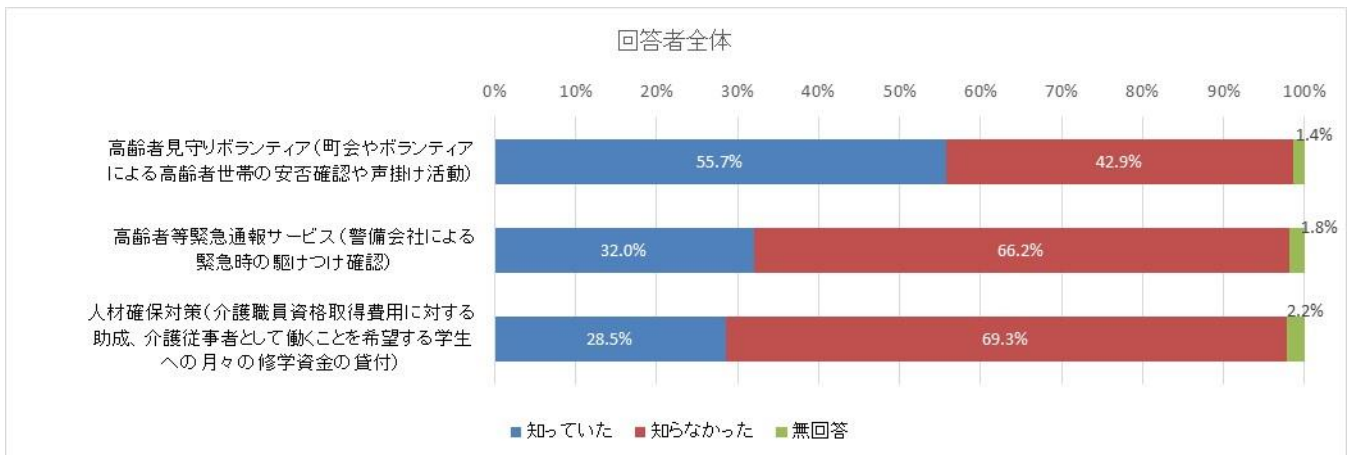
根室市で実施している「高齢者支援」に関する主要施策についての認知度をみると、市民全体では、「高齢者見守りボランティア事業」が52.4%の認知度となっており、「高齢者等緊急通報サービス事業」、「人材確保対策」に関しては30%程度の認知度にとどまっているなど、ほぼ昨年度と同様の傾向となっている。昨年度調査の結果と比較すると、「高齢者見守りボランティア事業」と「人材確保対策」の認知度がやや低くなっているものの、「高齢者等緊急通報サービス事業」の認知度は昨年度よりもやや上回っている。

一方、65歳以上の回答者の認知度をみると、「高齢者等緊急通報サービス事業」が32.0%と回答者全体と同じ認知度となっている一方で、「高齢者見守りボランティア事業」が50.9%、「人材確保対策」が23.4%の認知度となっており、回答者全体よりも認知度が低くなる状況がみられた。ただし、昨年度と比較すると、各施策とも65歳以上の回答者の認知度は増加している。

市民全体における「高齢者支援」に関する主要施策についての認知度
 <令和5年度調査>

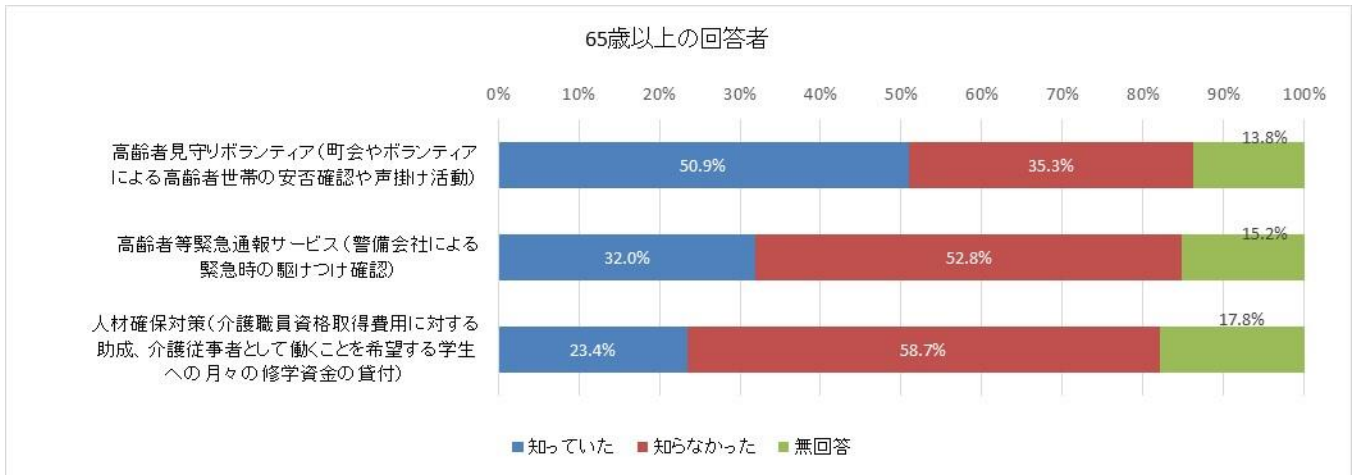


<令和4年度調査>

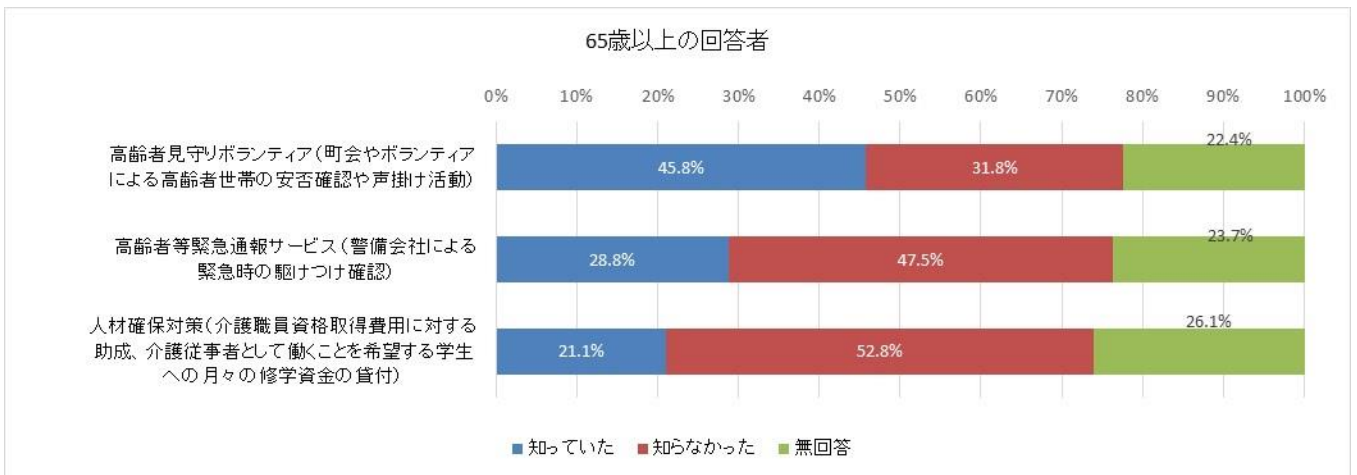


65歳以上住民における「高齢者支援」に関する主要施策についての認知度

<令和5年度調査>



<令和4年度調査>

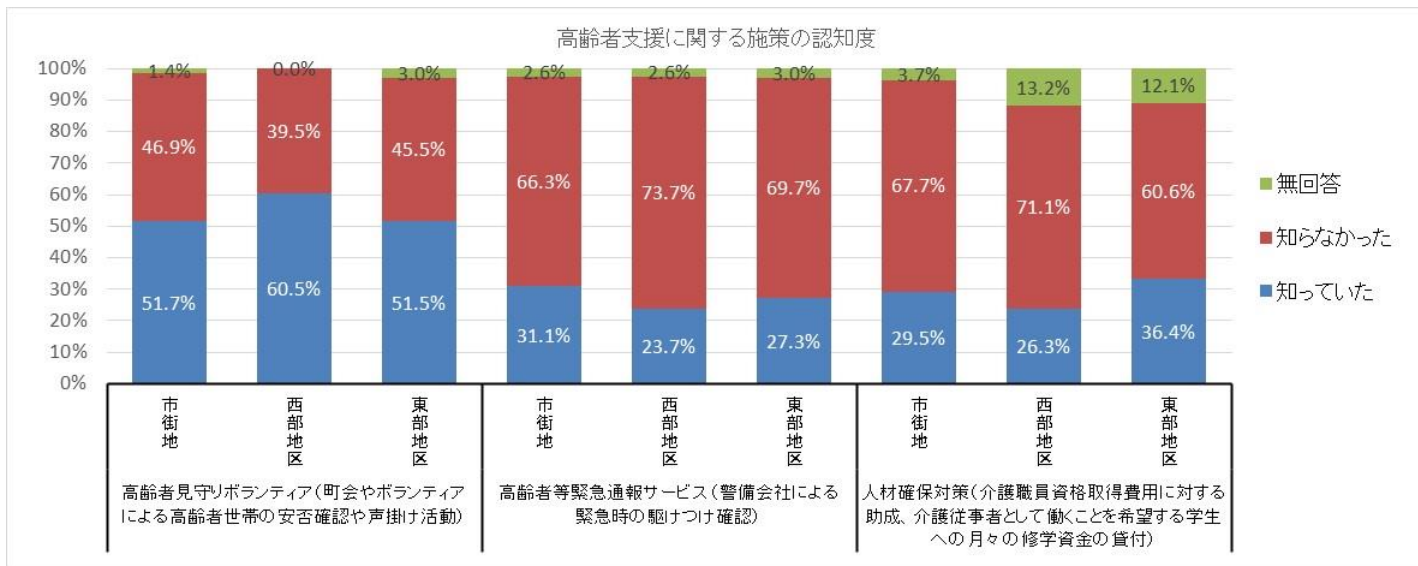


②地区別

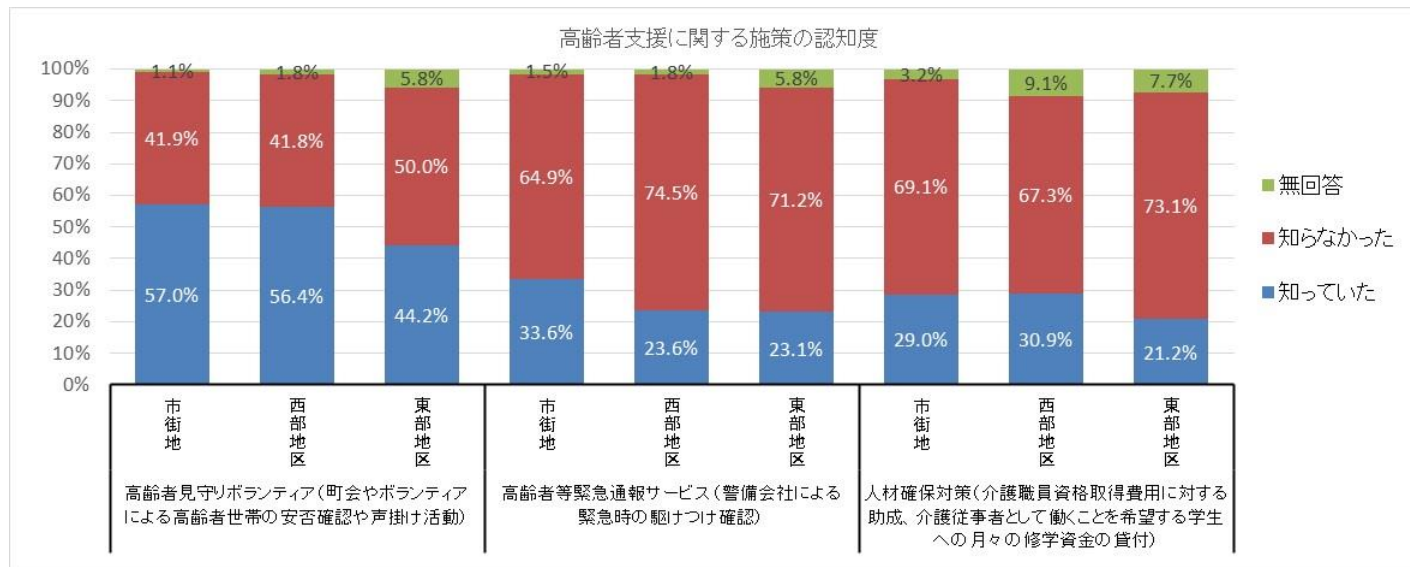
高齢者支援に関する主要施策についての認知度を地区別にみると、いずれの地区も「高齢者見守りボランティア事業」が最も認知度が高く、50%を超えている。ただし、東部地区の認知度が昨年度よりも上回る一方で、市街地及び西部地区住民の認知度は昨年度を下回っている。

一方、「高齢者等緊急通報サービス事業」や「人材確保対策」に関しては、東部地区で認知度がやや高くなる傾向がみられたものの、総じて例年と同水準の認知度となっている。

<令和5年度調査>



<令和4年度調査>



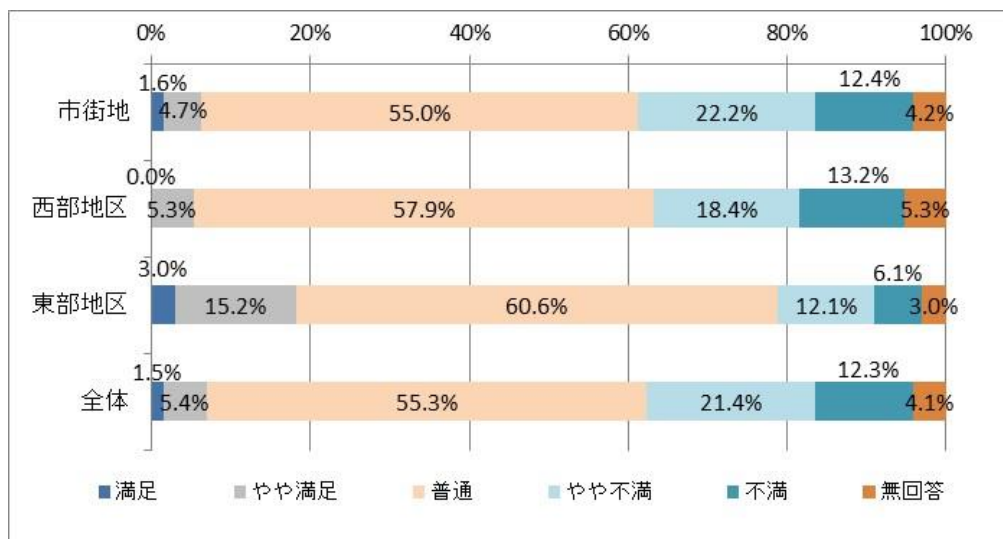
(4) 高齢者のための福祉施設の状況に対する満足度

高齢者のための福祉施設の数や内容等の状況に対する回答者全体の満足度をみると、「満足」と「やや満足」を合わせた割合は、6.9%となっており、昨年度までの調査の結果とほぼ同水準であった。

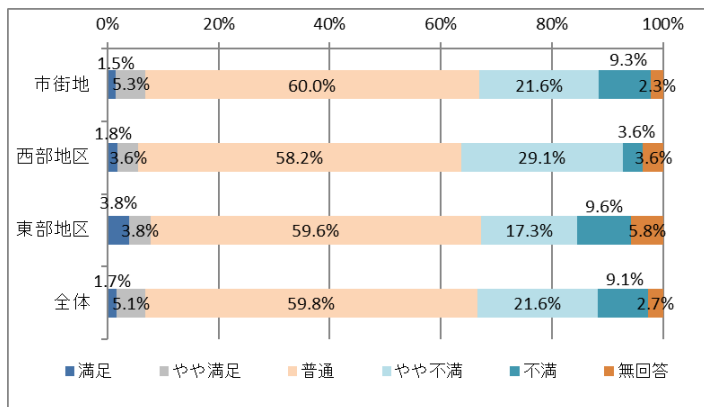
地区別でみると、「満足」と「やや満足」を合わせた割合は、市街地と西部地区が昨年度と同程度となっているものの、東部地区が大きく増加しており、これまでの調査で最も高い水準となっている。

高齢者のための福祉施設の状況に対する満足度

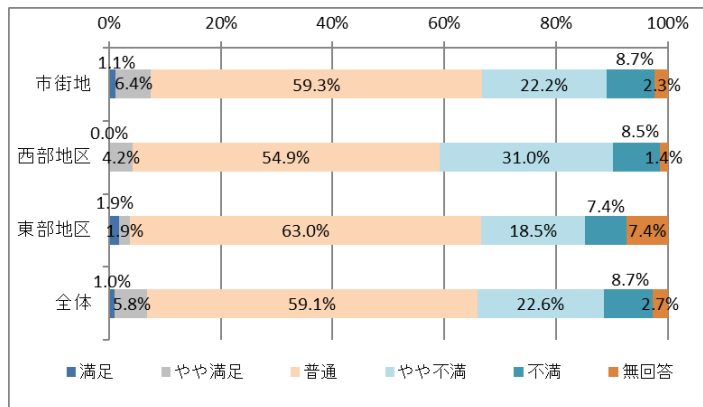
<令和5年度調査>



<令和4年度調査>



<令和3年度調査>



(5) 高齢者の健康や生活の安全の・安心をサポートするための福祉制度の状況に対する満足度

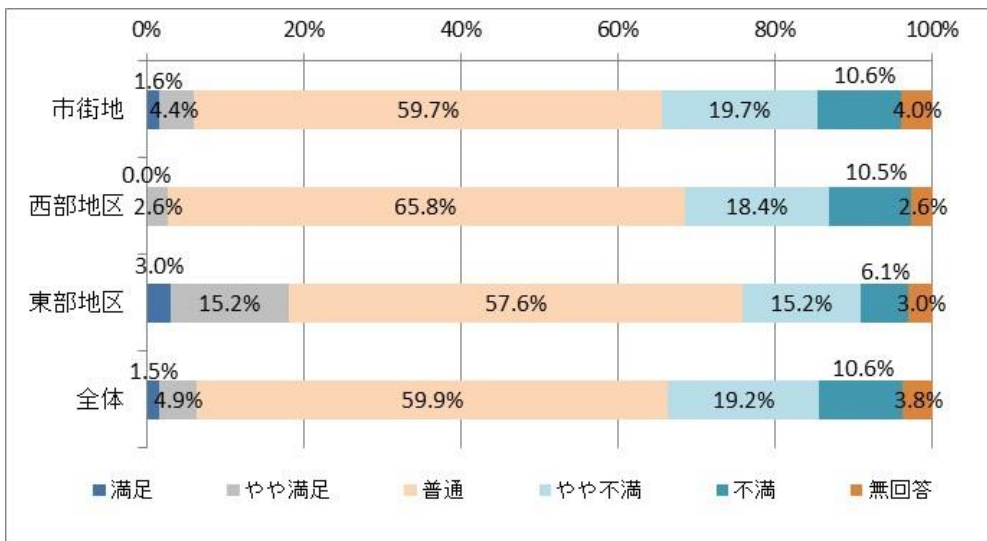
高齢者の健康や生活の安全・安心をサポートするための福祉制度の状況に対する満足度をみると、「満足」と「やや満足」を合わせた割合は、6.4%となっており、昨年度調査の結果よりやや低下した。

また、「不満」と「やや不満」を合わせた割合が29.8%と昨年度よりもやや上回っており、全体的に満足度がやや低下している状況がうかがえる。

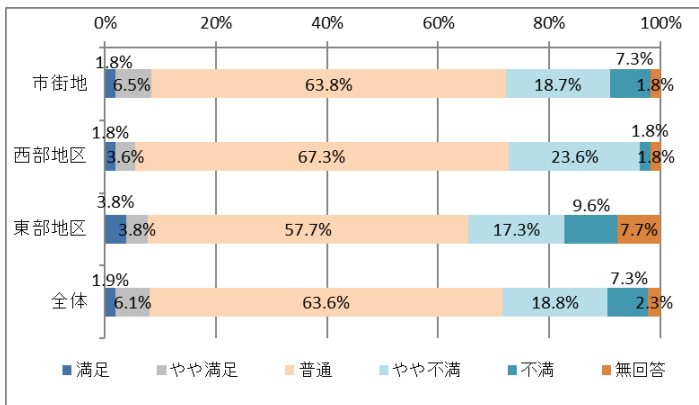
地区別でみると、「満足」と「やや満足」を合わせた割合は、市街地と西部地区が昨年度よりも減少している一方で、東部地区が大きく増加しており、これまでの調査で最も高い水準となっている。

高齢者の健康や生活の安全の・安心をサポートするための福祉制度の状況に対する満足度

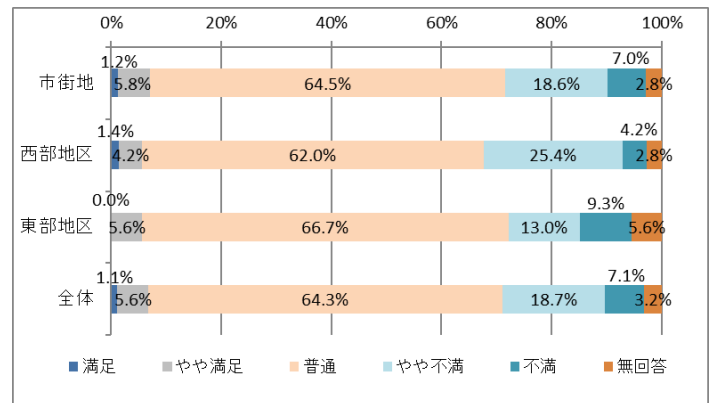
<令和5年度調査>



<令和4年度調査>



<令和3年度調査>

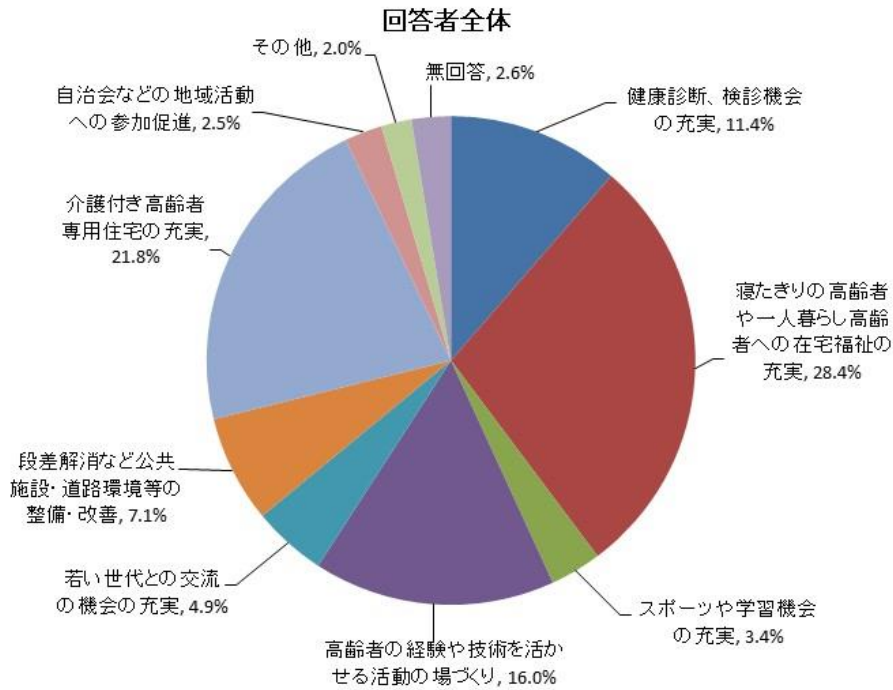


(6) 高齢者にとって重要と思う施策について

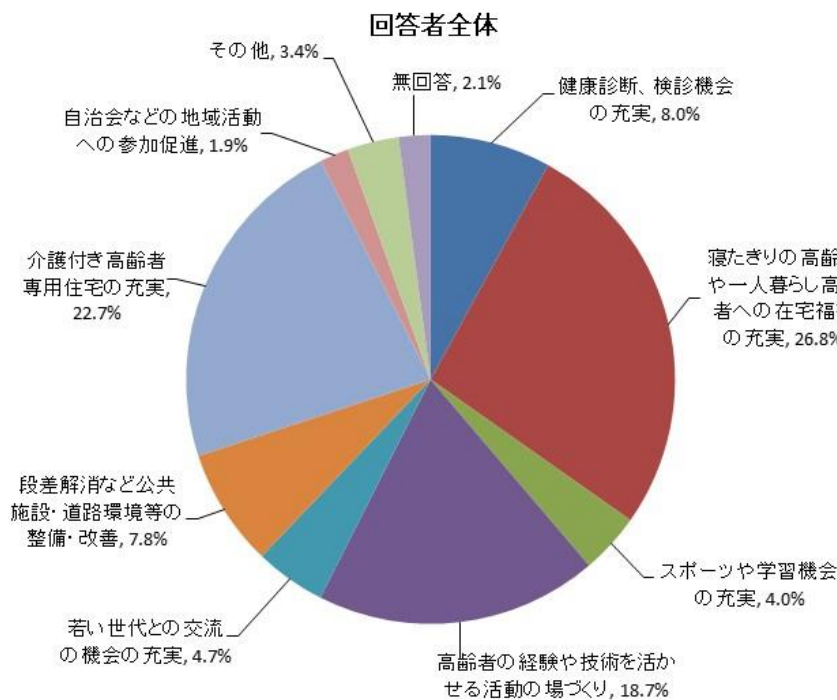
①市民全体

今後の高齢化に向けた支援施策として重要であるとする項目をみると、「寝たきりの高齢者や一人暮らし高齢者への在宅福祉の充実」が28.4%と最も多く、次いで、「介護付き高齢者専用住宅の充実」、「高齢者の経験や技術を活かせる活動の場づくり」となっており、昨年度調査と同様の結果となっている。

<令和5年度調査>



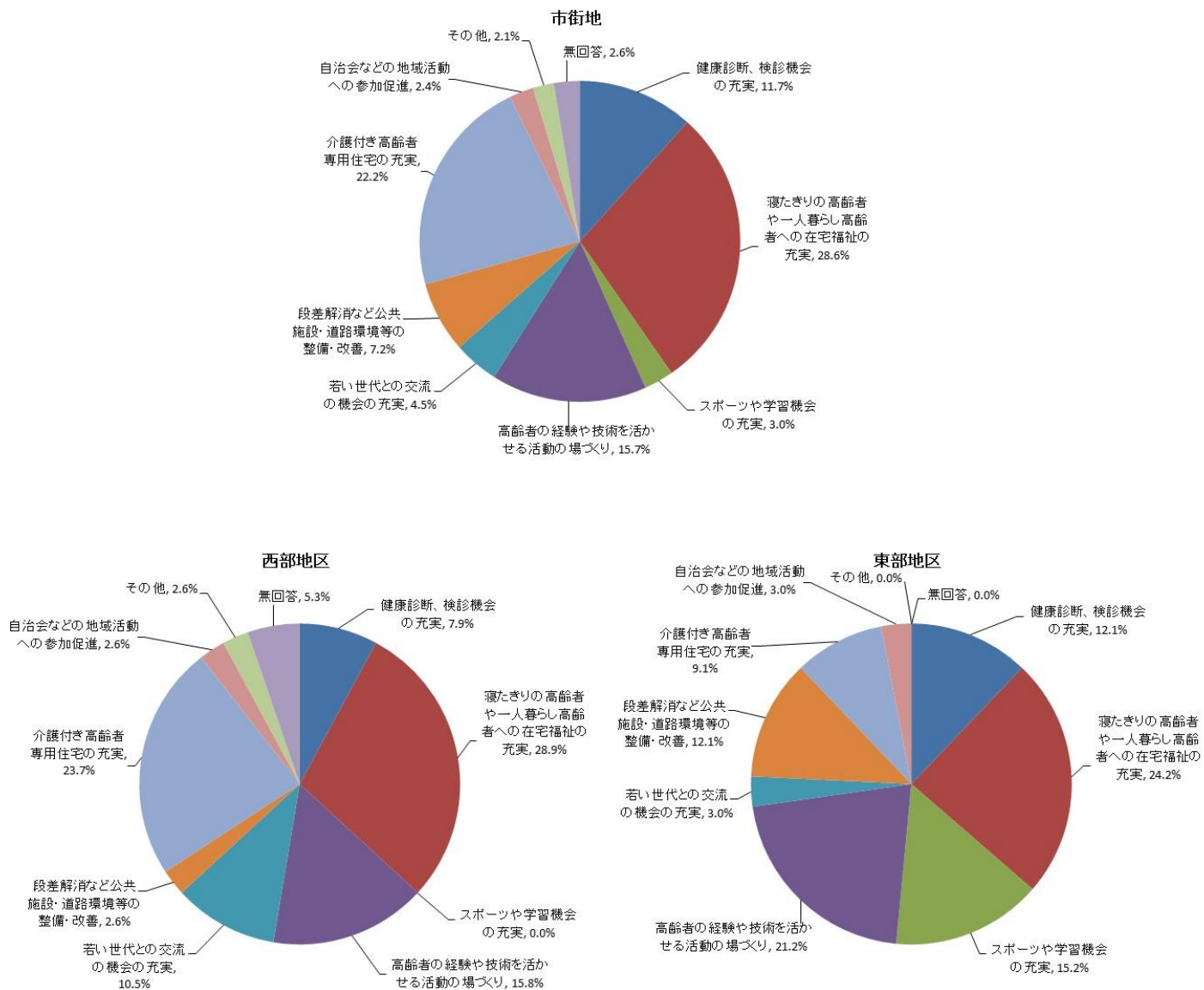
<令和4年度調査>



②地区別

市街地、西部地区では、回答者全体と同様に「寝たきりの高齢者や一人暮らし高齢者への在宅福祉の充実」、「介護付き高齢者専用住宅の充実」、「高齢者の経験や技術を活かせる活動の場づくり」が上位にあがっている。

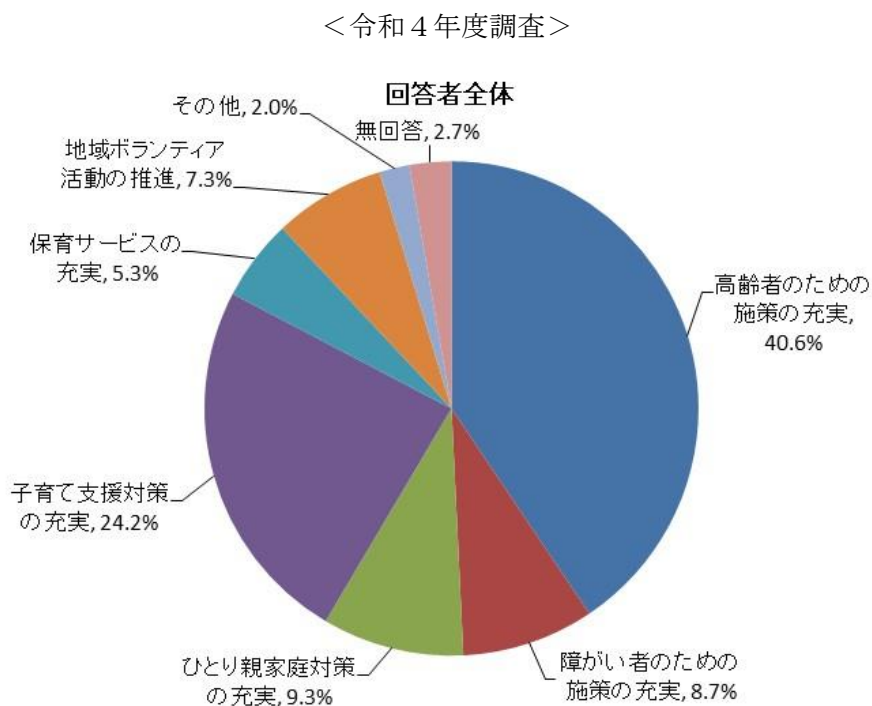
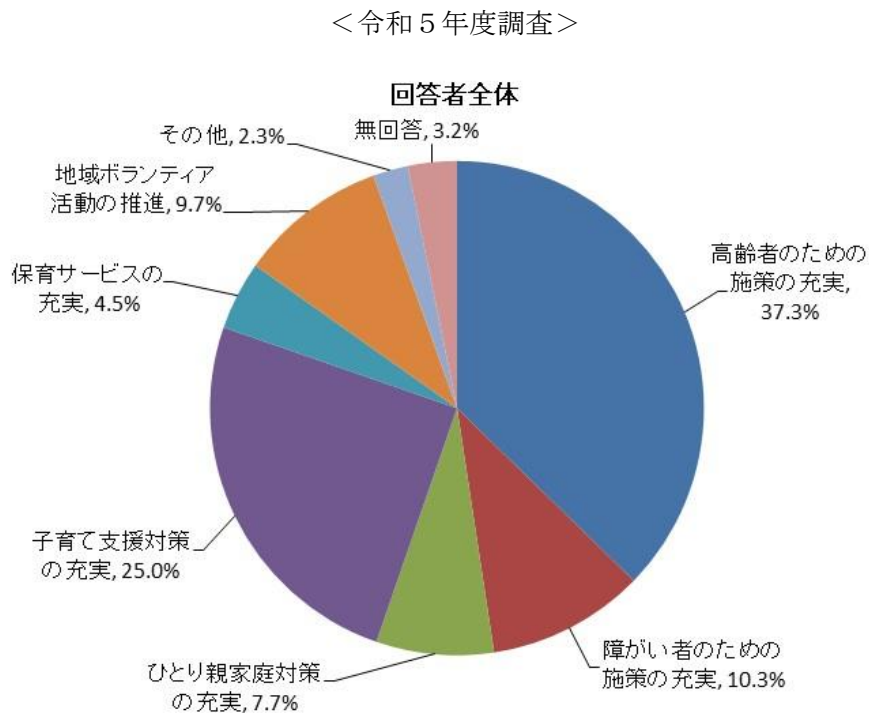
一方、東部地区では、「寝たきりの高齢者や一人暮らし高齢者への在宅福祉の充実」、「高齢者の経験や技術を活かせる活動の場づくり」が高い割合となっているのは同様であるが、「介護付き高齢者専用住宅の充実」をあげる割合がやや少なくなっている。



3. 8 社会福祉全般について

(1) 市民全体

社会福祉に関して重要と考えている項目についてみると、昨年度調査までの結果と同様に、「高齢者のための施策の充実」をあげる回答者の割合が最も高く、次いで、「子育て支援対策の充実」の順となっている。

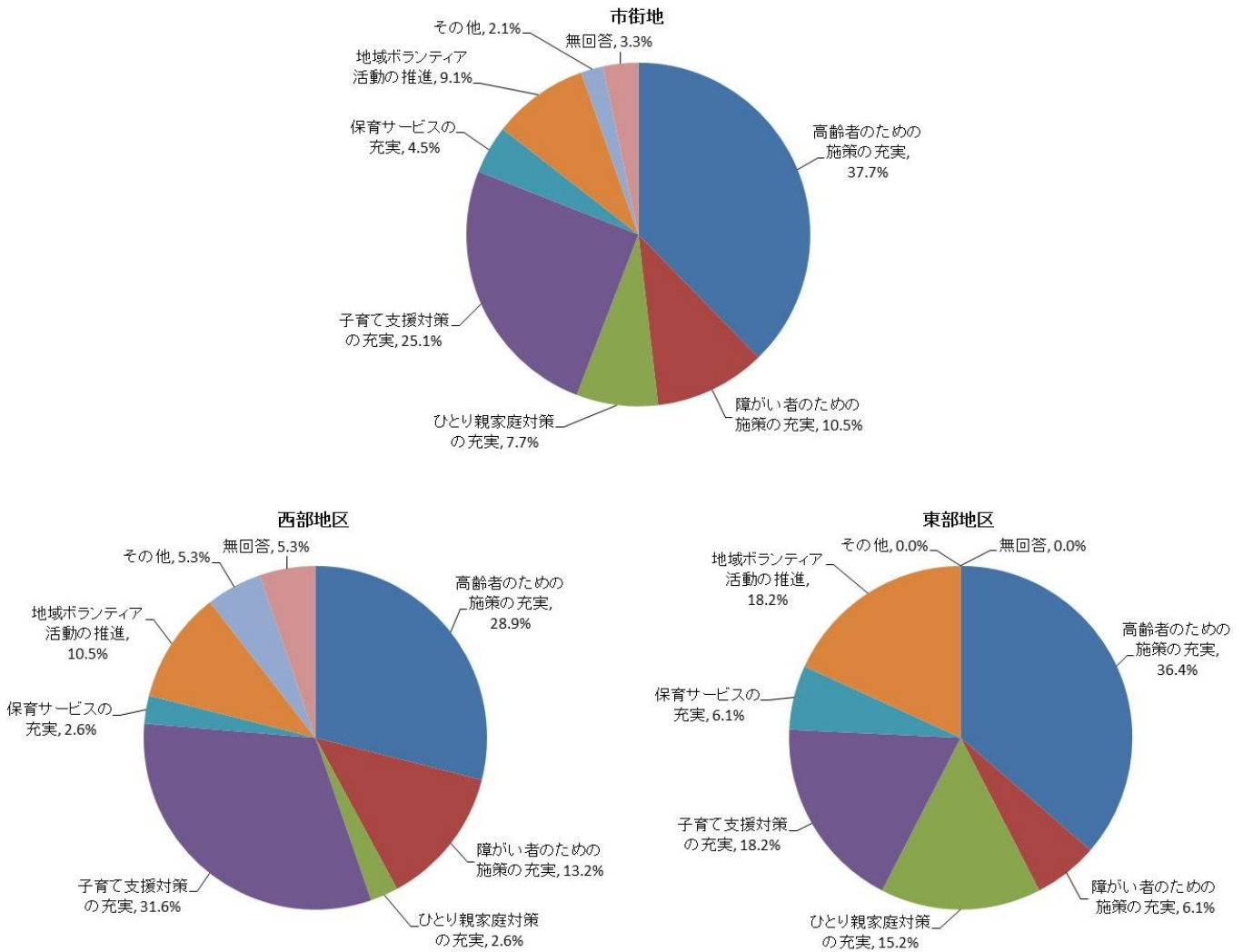


(2) 地区別

地区によって順位は異なっているものの、いずれの地区も「高齢者のための施策の充実」、「子育て支援対策」が上位にあがっている。

一方、東部地区では、他地区と比べて「地域ボランティア活動の推進」、「ひとり親家庭対策の充実」をあげる回答割合の割合が高くなっている。

昨年度調査の結果と順位の変動がみられる地区もあるが、「高齢者のための施策の充実」、「子育て支援対策」の2項目が上位になっているのは例年と同様である。



3. 9 交通について

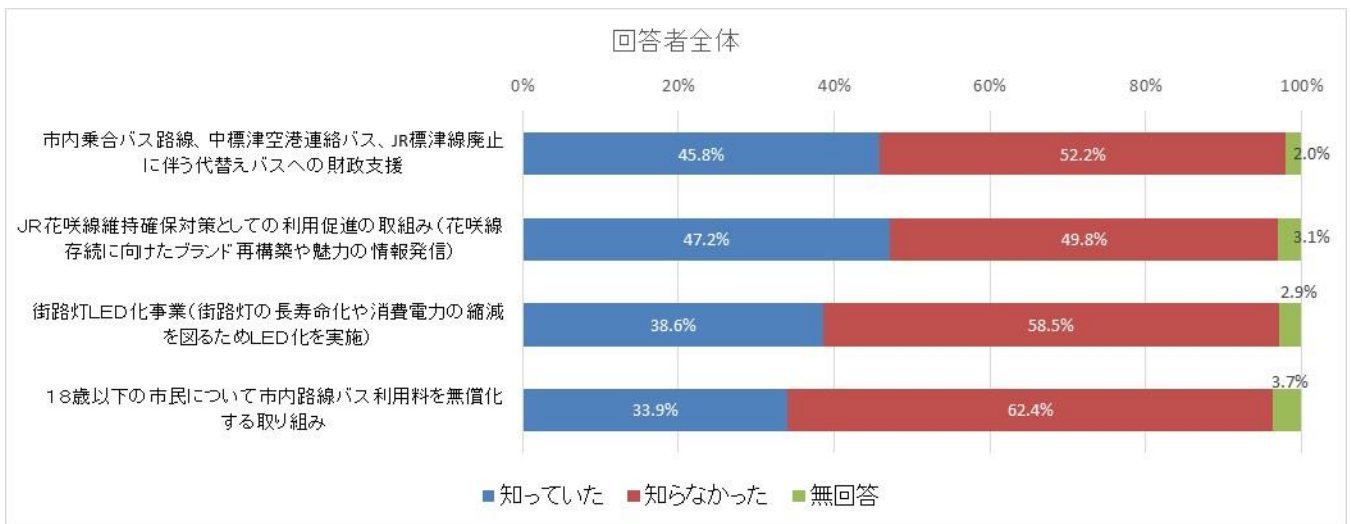
(1) 施策に対する認知度

①市民全体

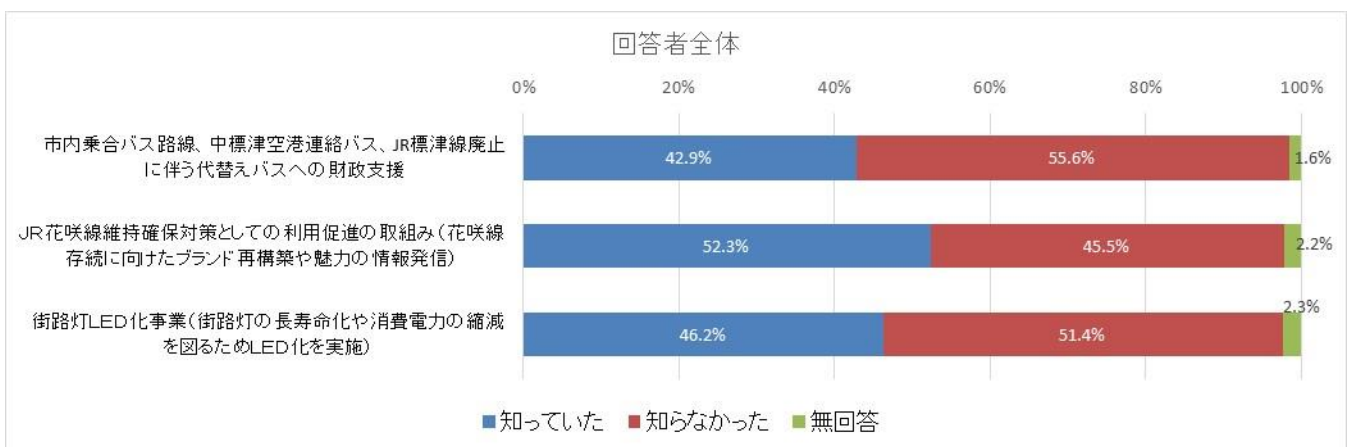
根室市で実施している交通に関する主要施策についての認知度をみると、「JR 花咲線維持確保対策としての利用促進の取組み」が 47.2%と最も高く、次いで「市内乗合バス路線、中標津空港連絡バス、JR 標津線廃止に伴う代替えバスへの財政支援」が 45.8%、「街路灯 LED 化事業」が 38.6%となっている。また、今年度から項目に加わった「18歳以下の市民について市内路線バス利用料を無償化する取組み」は認知度が 33.9%となっている。

昨年度調査の結果と比較すると、「市内乗合バス路線、中標津空港連絡バス、JR 標津線廃止に伴う代替えバスへの財政支援」の認知度が昨年度よりもやや高くなっているものの、「JR 花咲線維持確保対策としての利用促進の取組み」と「街路灯 LED 化事業」の認知度は昨年度よりも低くなっている。

<令和5年度調査>



<令和4年度調査>

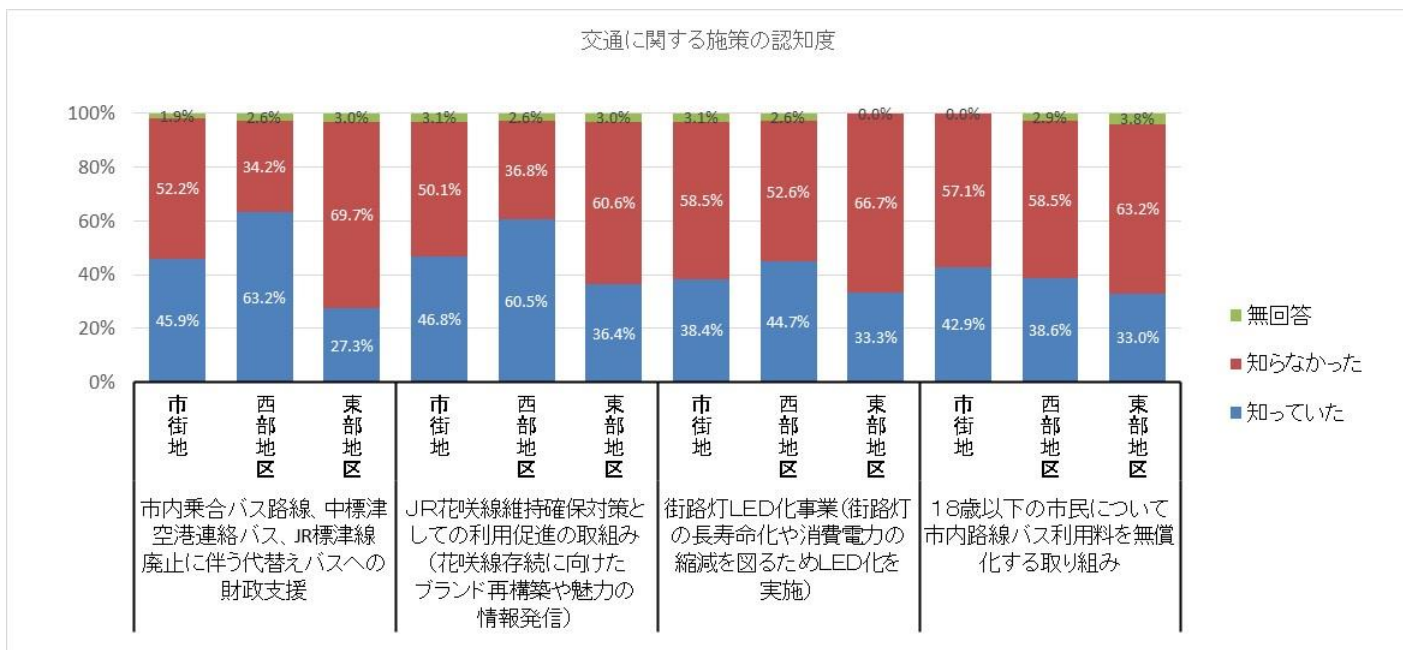


②地区別

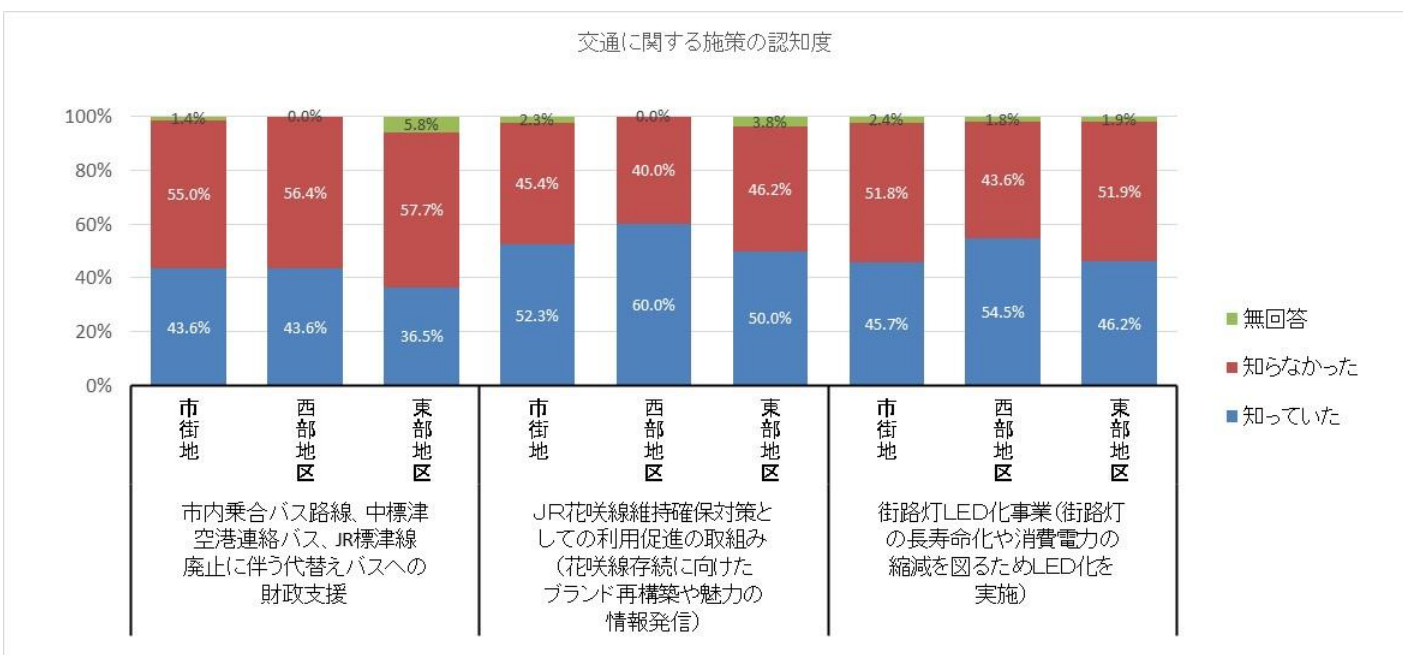
交通に関する主要施策についての認知度を地区別にみると、「市内乗合バス路線、中標津空港連絡バス、JR 標津線廃止に伴う代替バスへの財政支援」、「JR 花咲線維持確保対策としての利用促進の取組み」、「街路灯 LED 化事業」の3事業に関しては、いずれも西部地区の認知度が最も高く、東部地区の認知度が最も低くなっている。一方、今年度から項目に加わった「18歳以下の市民について市内路線バス利用料を無償化する取組み」に関しては、市街地での認知度が最も高くなっている。

昨年度調査の結果と比較すると、西部地区での認知度は総じて昨年度の結果よりも向上しているものの、市街地、東部地区での認知度は総じて昨年度よりも低下している。

<令和5年度調査>



<令和4年度調査>

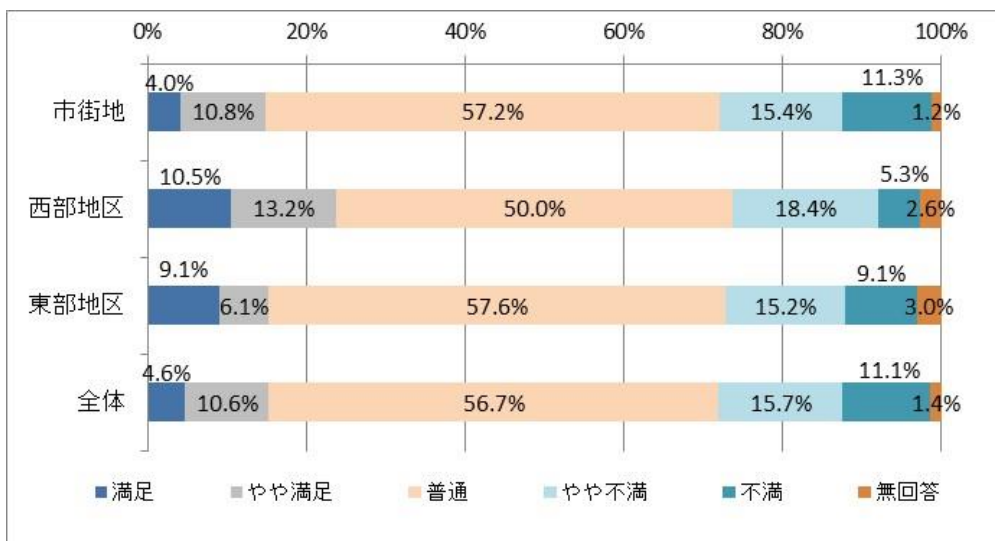


(2) 市内の幹線道路の整備状況に対する満足度

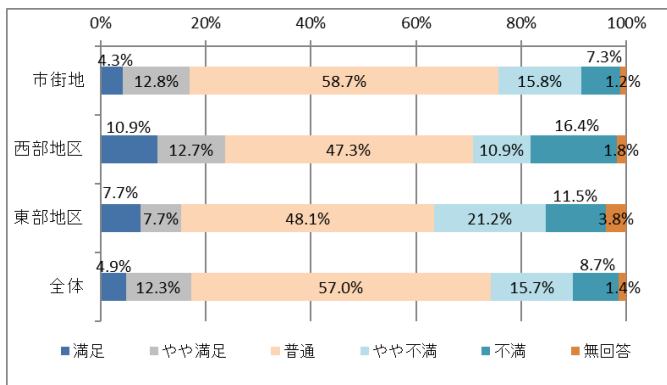
市内の幹線道路の整備状況に対する市民全体の満足度についてみると、「満足」と「やや満足」を合わせた満足とする割合は15.2%となっており、昨年度調査の結果よりもやや低下している。

地区別でみると、「満足」と「やや満足」を合わせた割合は、西部地区と東部地区は昨年度と同程度となっているものの、市街地でやや低下している。昨年度と比べると、各地区とも総じて同程度の満足度となっている。

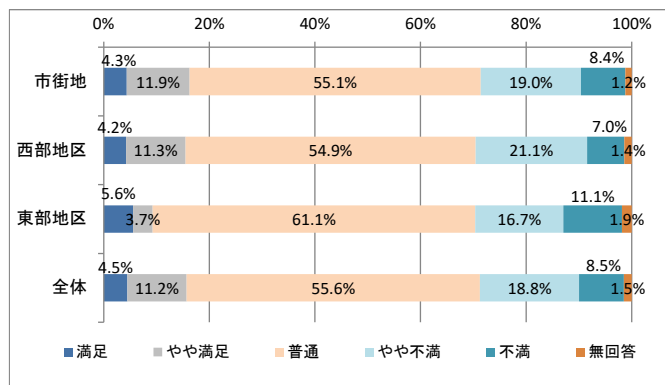
＜令和5年度調査＞



＜令和4年度調査＞



＜令和3年度調査＞

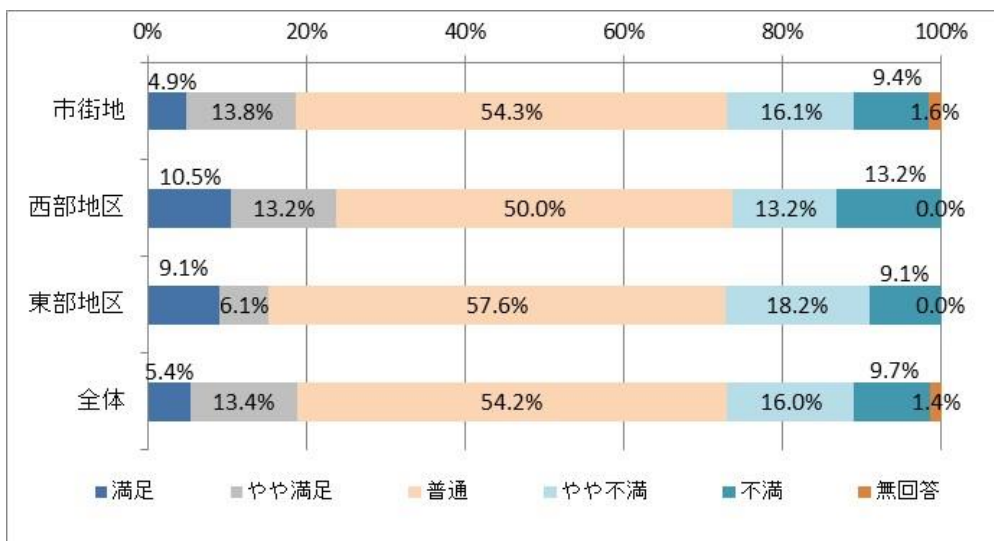


(3) 市外へ通じる道路の整備状況に対する満足度

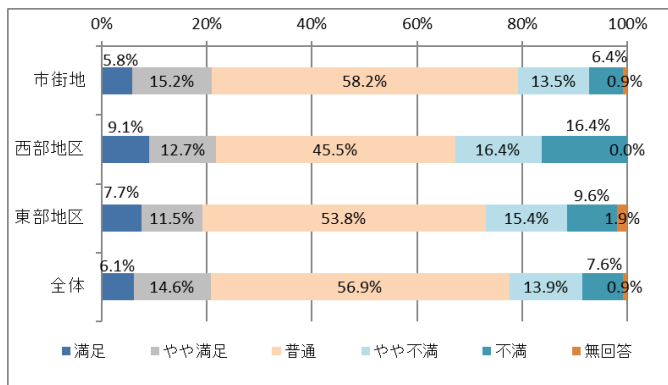
市外へ通じる道路の整備状況に対する満足度についてみると、「満足」と「やや満足」を合わせた割合は18.8%となっており、昨年度調査の結果よりやや低下している。

地区別でみると、「満足」と「やや満足」を合わせた割合は、西部地区が最も高く、東部地区が最も低くなっている。昨年度と比べると、市街地と西部地区は同程度となっている一方で、東部地区での落ち込みがやや目立っている。

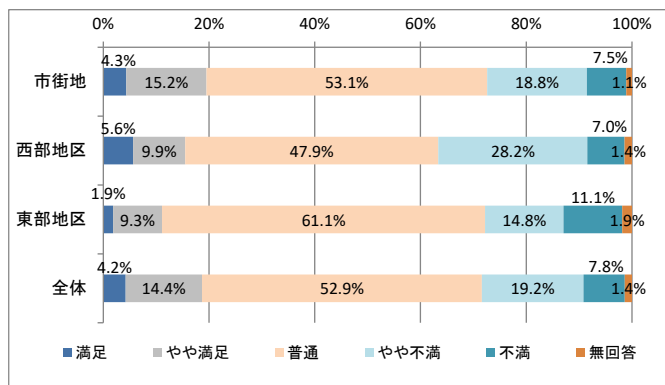
＜令和5年度調査＞



＜令和4年度調査＞



＜令和3年度調査＞

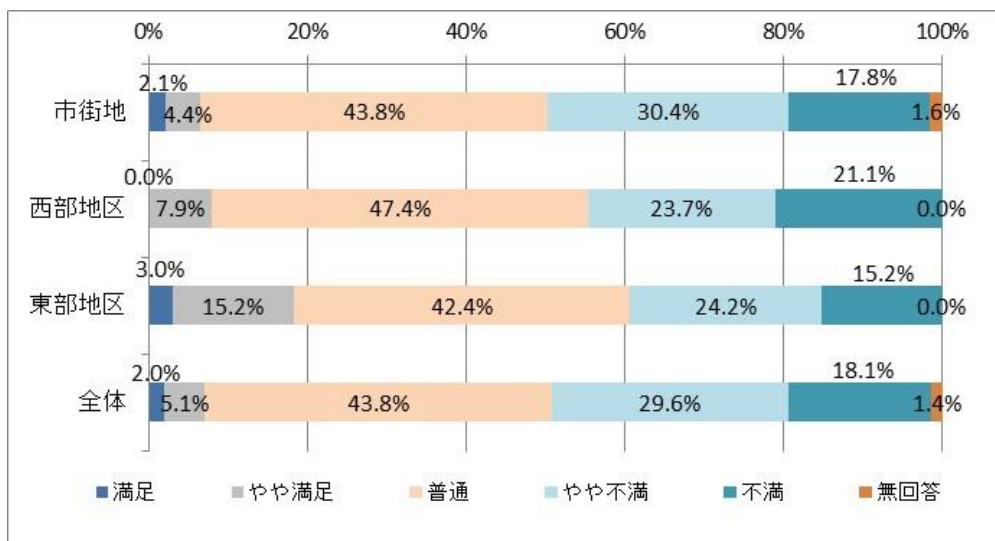


(4) 公共交通機関の利便性に対する満足度

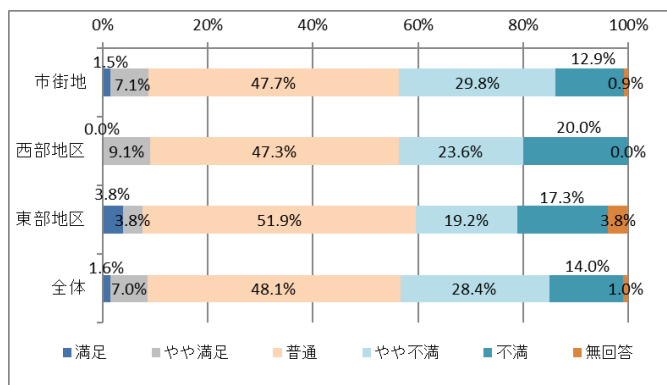
公共交通機関の利便性に対する満足度についてみると、「満足」と「やや満足」を合わせた割合は7.1%となっており、昨年度の調査結果より低下している。

地区別でみると、「満足」と「やや満足」を合わせた割合は、東部地区が最も高く、市街地が最も低くなっている。昨年度と比べると、市街地と西部地区は昨年度よりも低下しているものの、東部地区での伸びが目立っている。

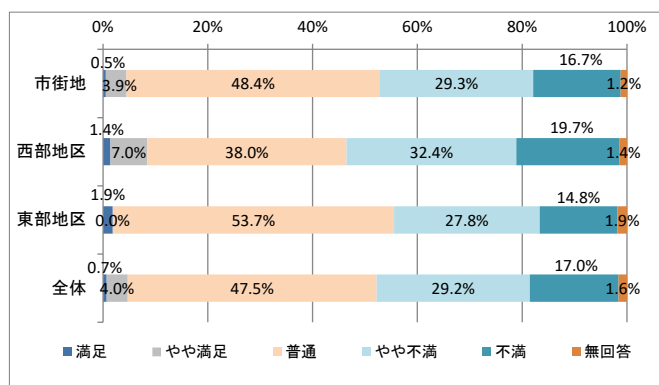
<令和5年度調査>



<令和4年度調査>



<令和3年度調査>



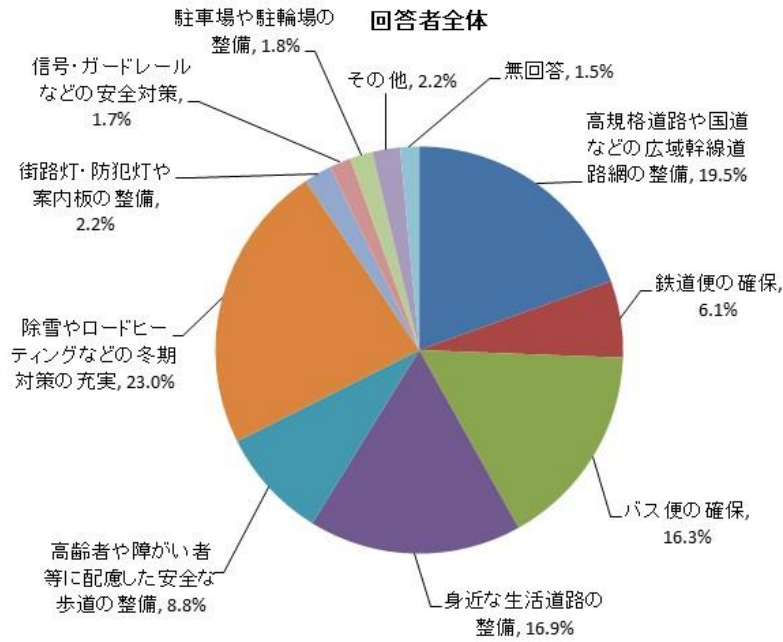
(5) 交通に関する施策について

①市民全体

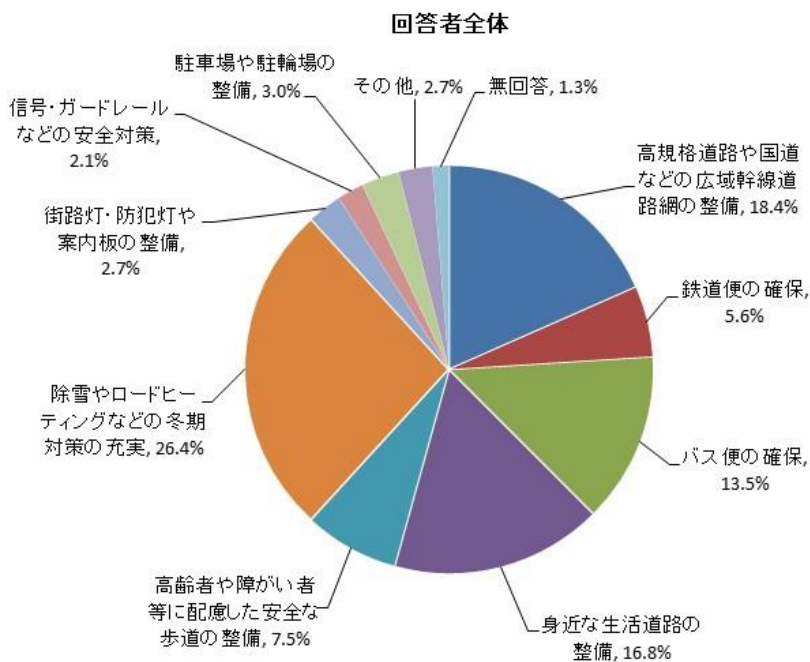
今後重点的に取り組むべきと考える交通施策については、「除雪やロードヒーティングなどの冬期対策の充実」が最も多く、次いで、「高規格道路や国道などの広域幹線道路網整備」、「身近な生活道路の整備」、「バス便の確保」の順となっており、昨年度までと同様の結果となっている。

昨年度調査の結果と比べると、「バス便の確保」を望む回答の割合がやや増加している。

<令和5年度調査>



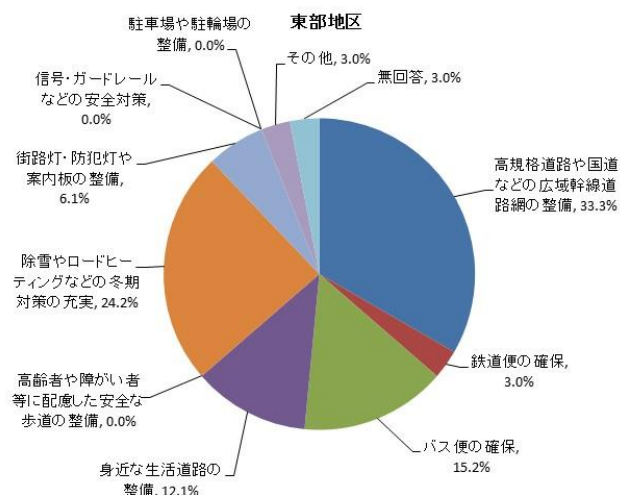
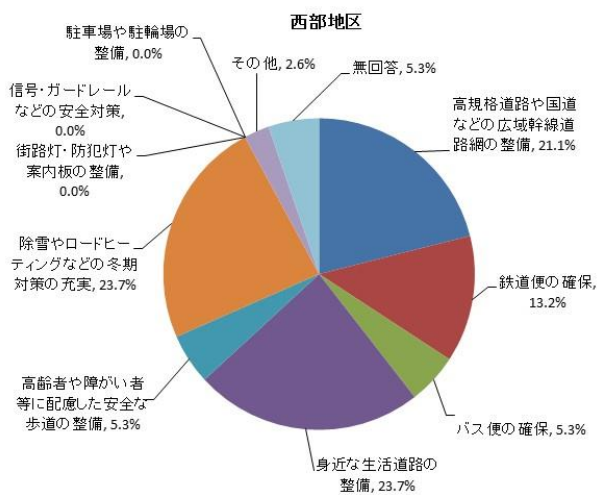
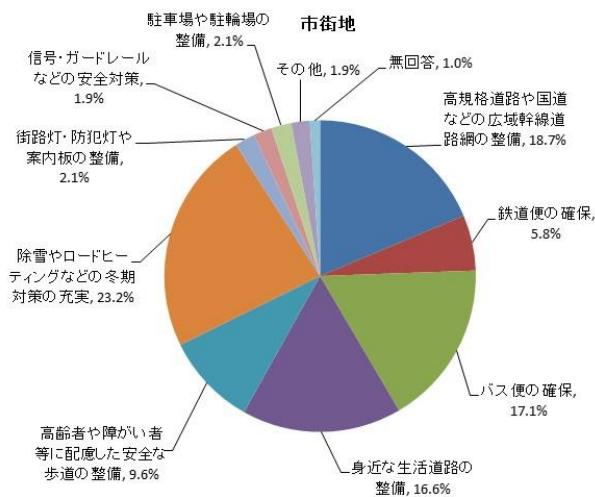
<令和4年度調査>



②地区別

地区によって順位は異なっているものの、いずれの地区も「高規格道路や国道などの広域幹線道路網の整備」、「身近な生活道路の整備」、「除雪やロードヒーティングなどの冬期対策の充実」が上位にあがっている。

「鉄道便の確保」と「バス便の確保」に関しては、地区によって状況が異なっており、市街地、東部地区では「バス便の確保」の回答割合が高く、西部地区では「鉄道便の確保」の回答割合が高くなっている。



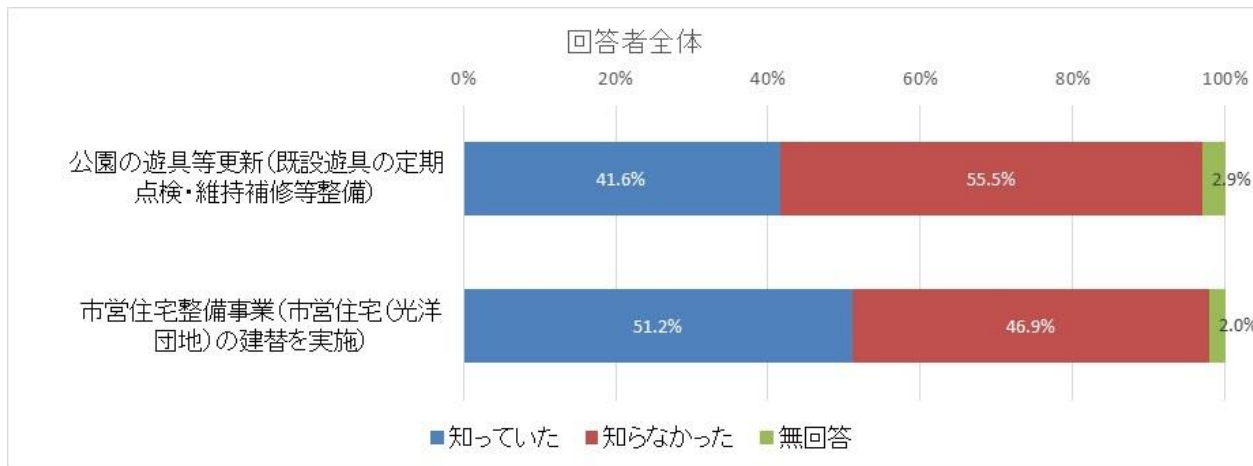
3. 10 生活環境について

(1) 施策に対する認知度

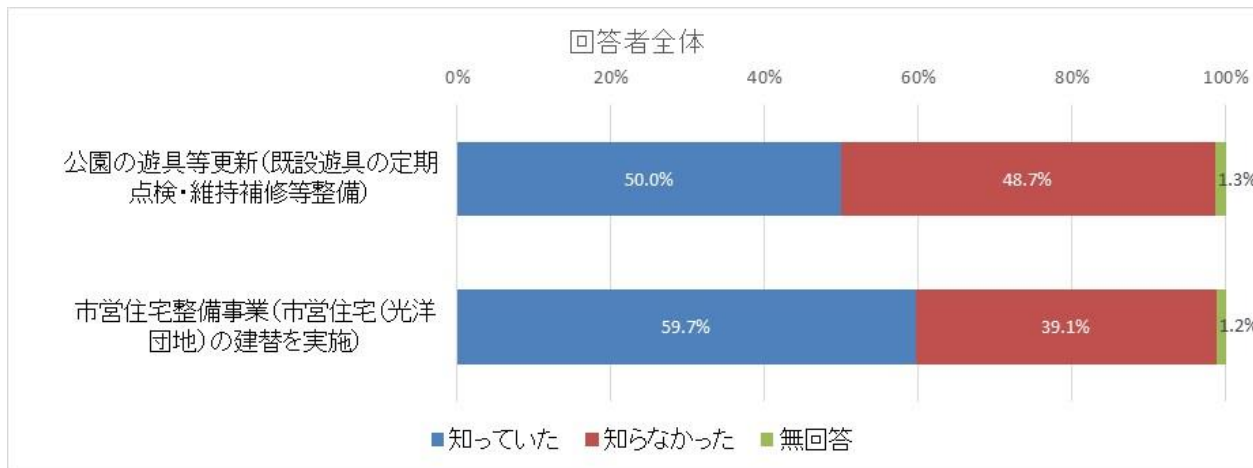
①市民全体

根室市で実施している生活環境に関する主要施策についての認知度をみると、「市営住宅整備事業」で51.2%、「公園の遊具等更新」で41.6%となっている。2事業とも過去最高の認知度となった昨年度調査を10%近く下回る結果となっている。

<令和5年度調査>



<令和4年度調査>

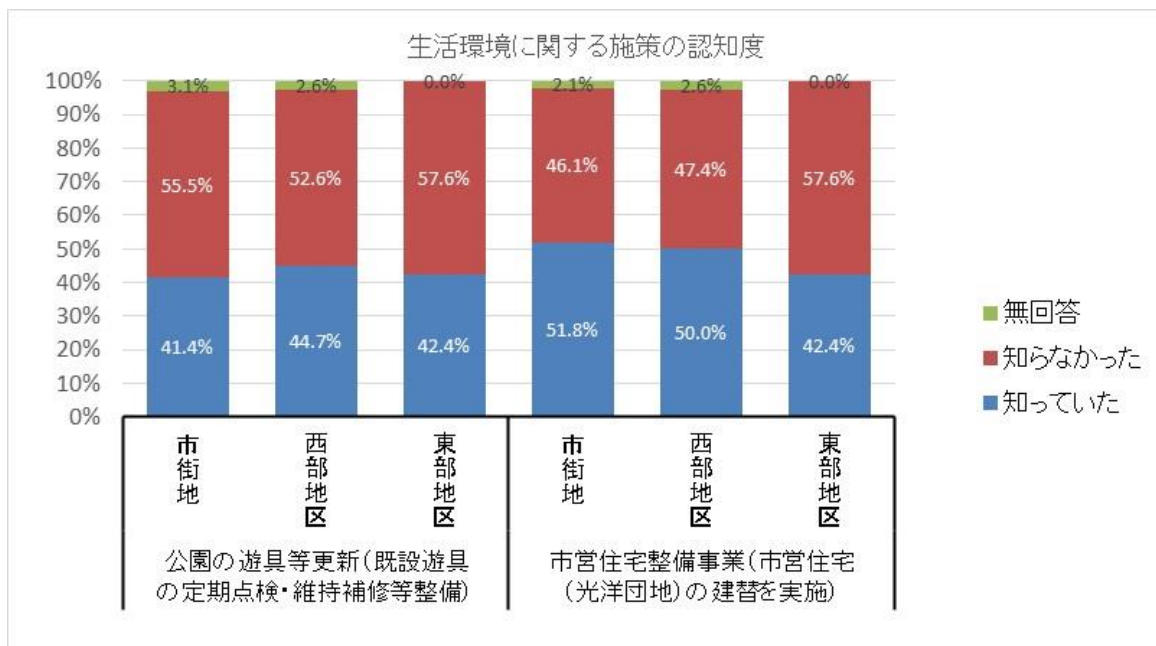


②地区別

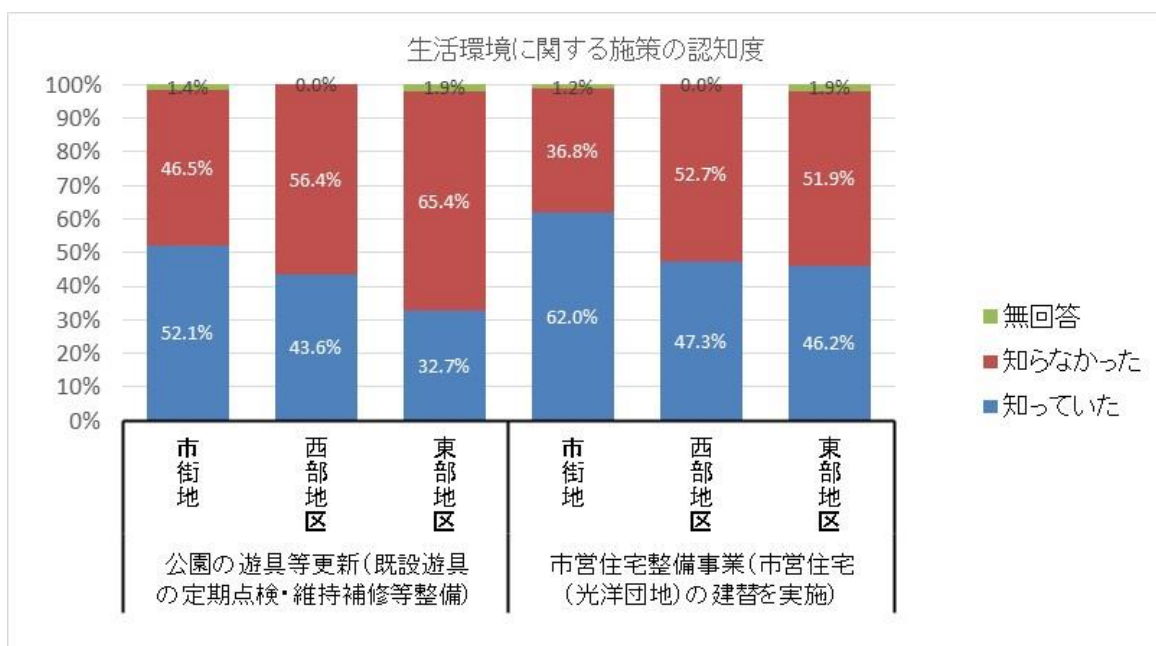
生活環境に関する主要施策についての認知度を地区別にみると、2事業とも東部地区での認知度が低くなっている。また、市街地では「市営住宅整備事業」の認知度が高くなっている一方で、「公園の遊具等更新」の認知度が低くなっている。

昨年度調査の結果と比べると、2事業とも西部地区での認知度がやや向上しているものの、市街地と東部地区での認知度が低下する状況がみられる。

<令和5年度調査>



<令和4年度調査>

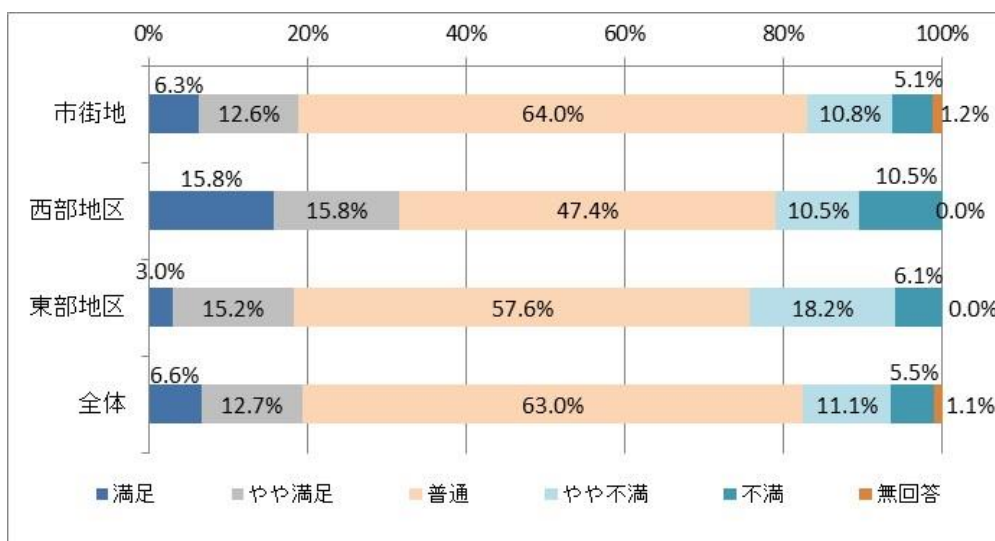


(2) 郊外の森林環境に対する満足度

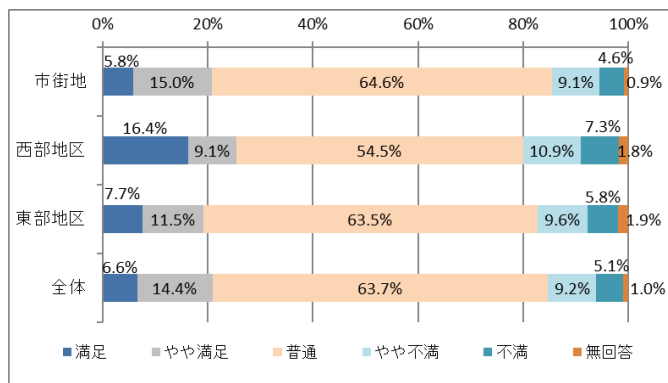
郊外の森林環境に対する満足度についてみると、「満足」と「やや満足」を合わせた割合は 19.3% となっており、昨年度までの調査結果とほぼ同水準であった。

地域別でみると、「満足」と「やや満足」を合わせた割合は、西部地区が 31.6% と高く、市街地と 東部地区を 10% 以上上回っている。昨年度と比べると、市街地と 東部地区が同水準となっている一方で、西部地区での向上が目立っている。

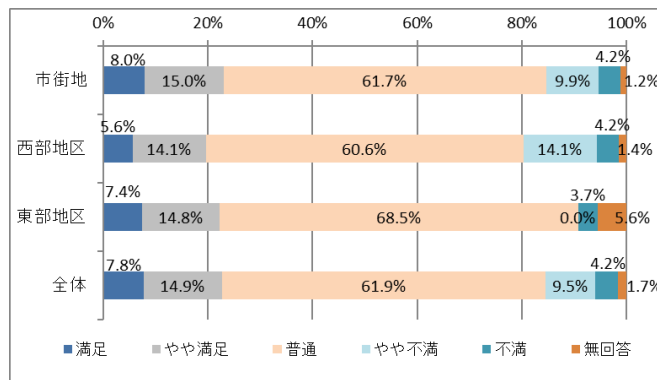
<令和 5 年度調査>



<令和 4 年度調査>



<令和 3 年度調査>

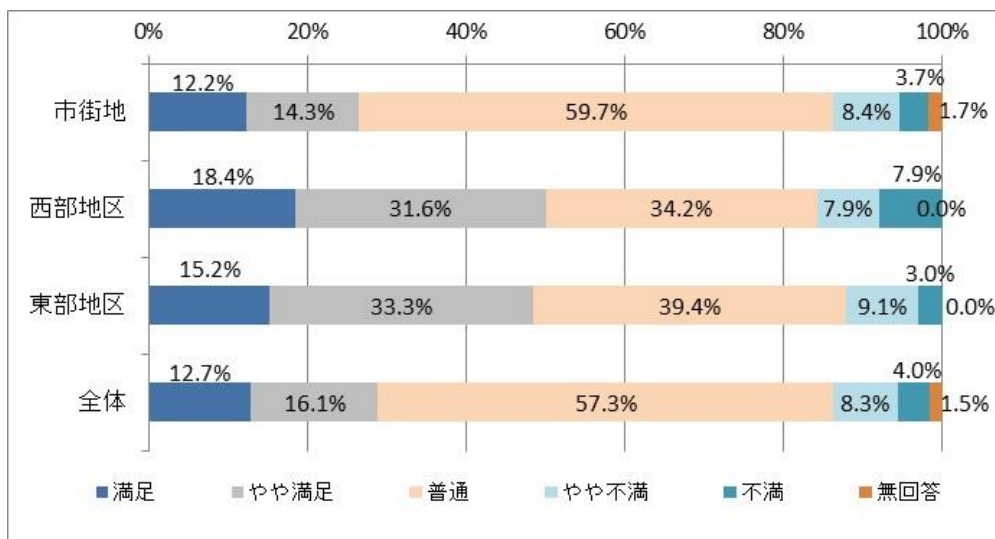


(3) 住んでいる地域の緑の豊かさに対する満足度

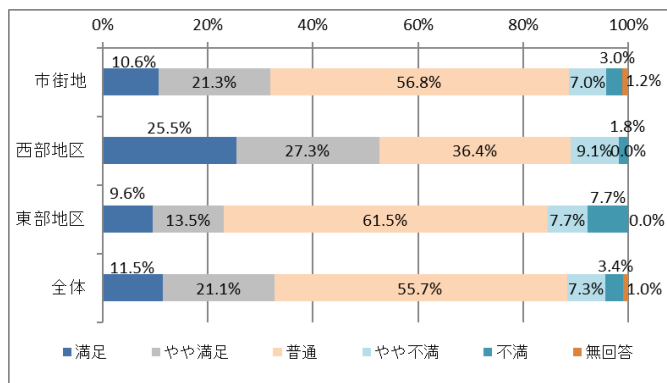
住んでいる地域の緑の豊かさに対する満足度についてみると、「満足」と「やや満足」を合わせた割合は28.8%となっており、昨年度調査の結果より低下している。

地区別でみると、「満足」と「やや満足」を合わせた割合は、西部地区と東部地区が50%程度と高くなっている一方で、市街地は26.5%と満足度の低さが目立つ結果となっている。昨年度と比べると、市街地と西部地区は昨年度よりもやや低下しているものの、東部地区で大きく向上している。

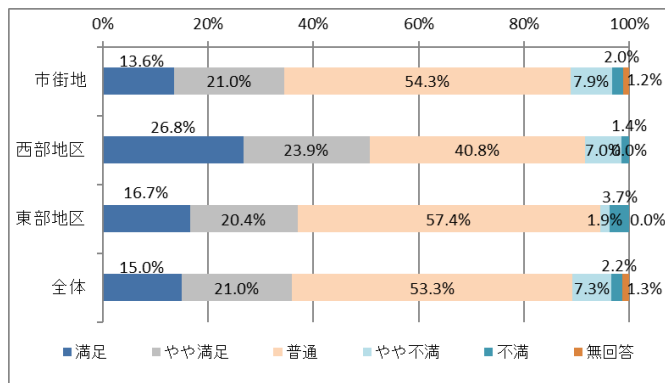
<令和5年度調査>



<令和4年度調査>



<令和3年度調査>

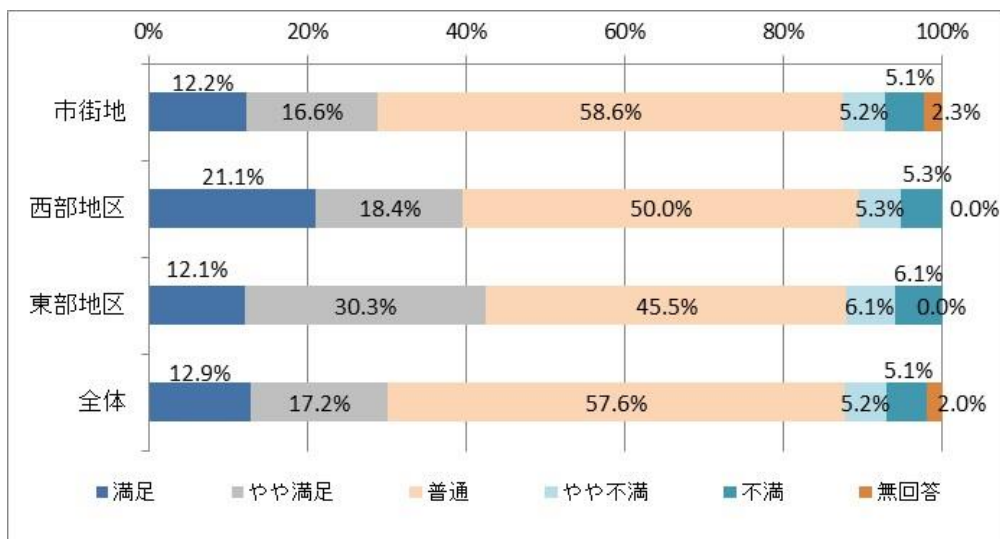


(4) 上水道の整備状況に対する満足度

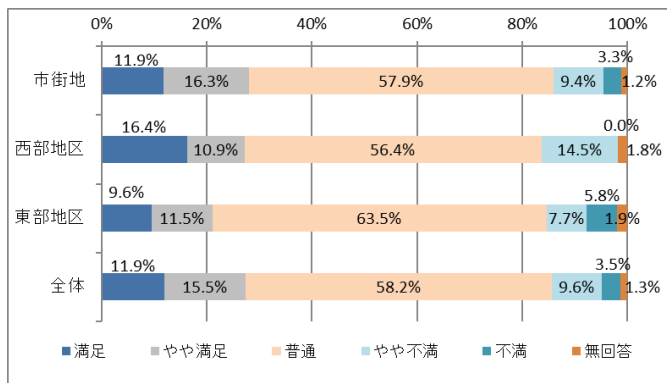
市内の上水道の整備状況に対する満足度についてみると、「満足」と「やや満足」を合わせた割合は市民全体で30.1%となっており、昨年度の調査結果よりやや向上した。

地区別でみると、「満足」と「やや満足」を合わせた割合は、西部地区と東部地区の満足度が高くなっている一方で、市街地での満足度が低くなっている。昨年度と比べると、西部地区と東部地区で昨年度よりも向上しているものの、市街地は昨年度と同水準となっている。

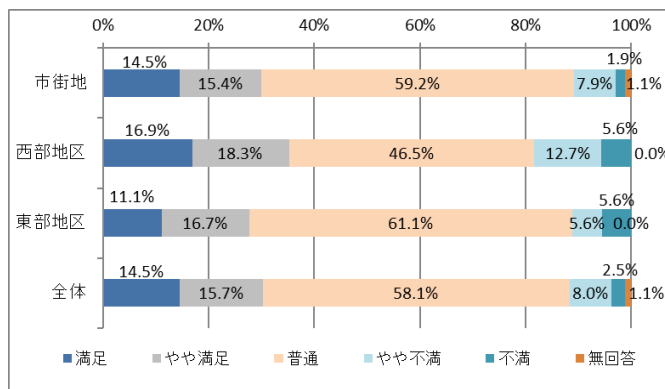
<令和5年度調査>



<令和4年度調査>



<令和3年度調査>

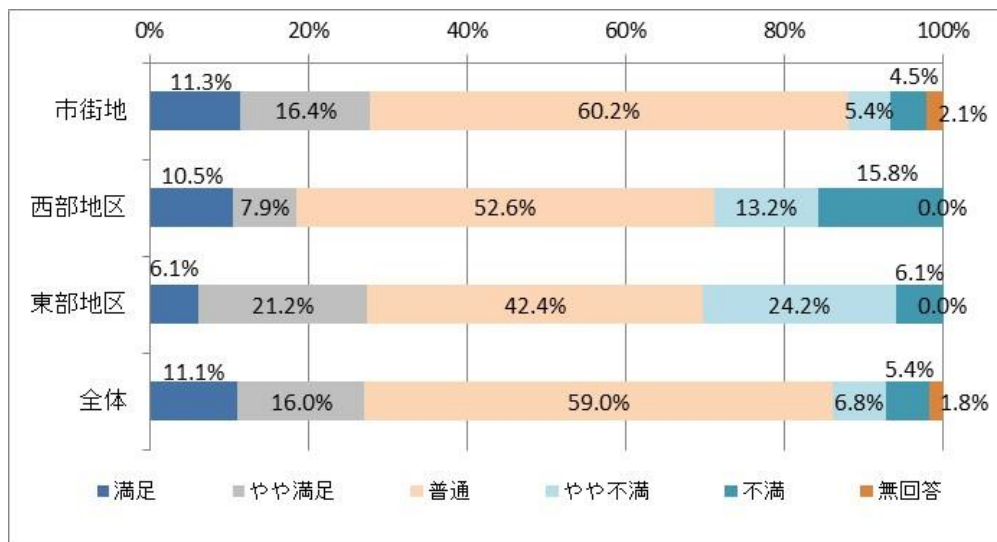


(5) 下水道の整備状況に対する満足度

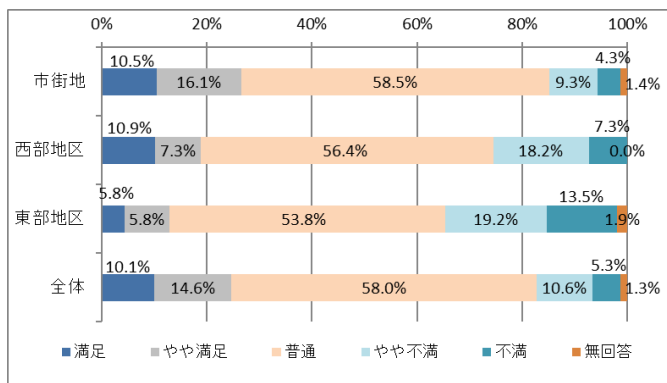
市内の下水道の整備状況に対する満足度についてみると、「満足」と「やや満足」を合わせた割合は、市民全体で27.1%となっており、昨年度の調査結果よりやや増加し、一昨年度と同様の水準となっている。

地区別でみると、「満足」と「やや満足」を合わせた割合は、市街地と東部地区は全体と同様の水準にあるものの、西部地区の満足度が低くなっている。昨年度と比べると、市街地と西部地区は同様の水準となっているのに対して、東部地区で大きく向上している。

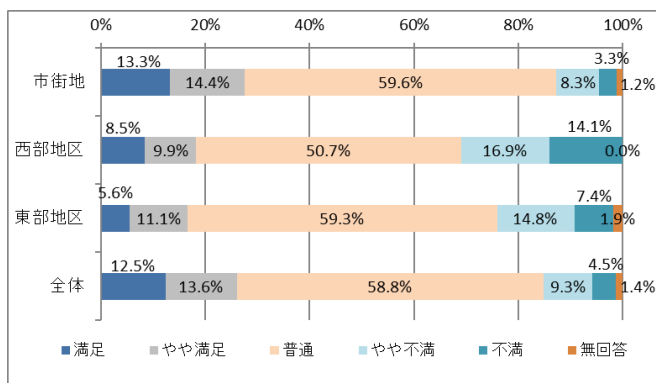
＜令和5年度調査＞



＜令和4年度調査＞



＜令和3年度調査＞

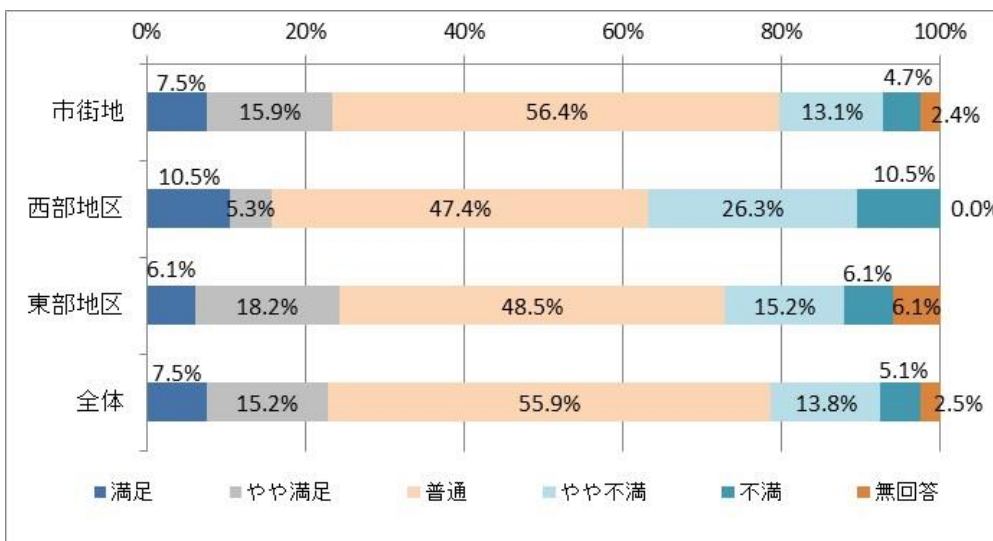


(6) 公園や広場の利用のしやすさに対する満足度

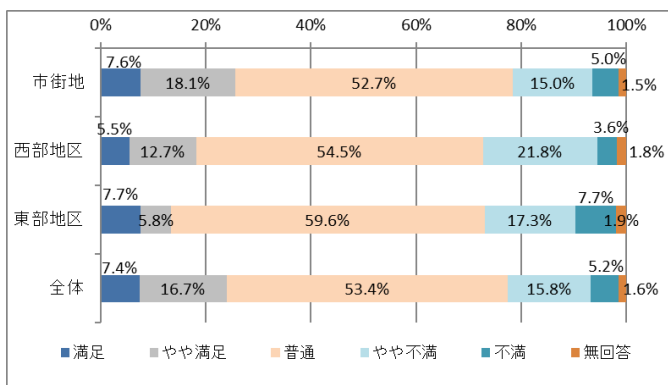
市内の公園や広場の利用のしやすさに対する満足度についてみると、「満足」と「やや満足」を合わせた割合は、市民全体で22.7%となっている。近年、「ふるさと遊びの広場」(愛称：わんぱーく)が令和3年12月にオープンしたこともあって、満足度が年々向上する傾向がみられていたが、効果が一巡したためか、昨年度の満足度よりもやや低下することとなった。

地区別でみると、「満足」と「やや満足」を合わせた割合は、市街地と東部地区は全体と同様の水準にあるものの、西部地区の満足度が低くなっている。昨年度と比べると、市街地と西部地区は同様の水準となっているのに対して、東部地区で大きく向上している。

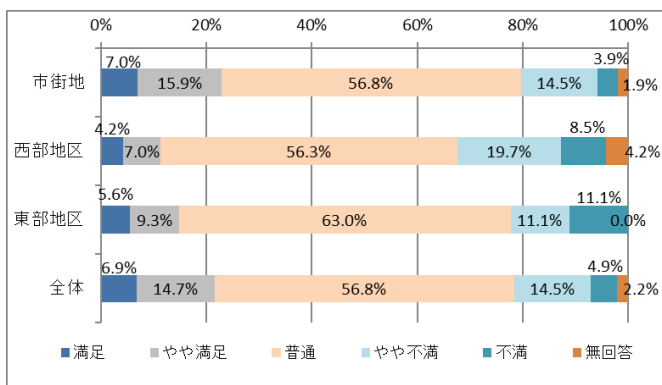
<令和5年度調査>



<令和4年度調査>



<令和3年度調査>

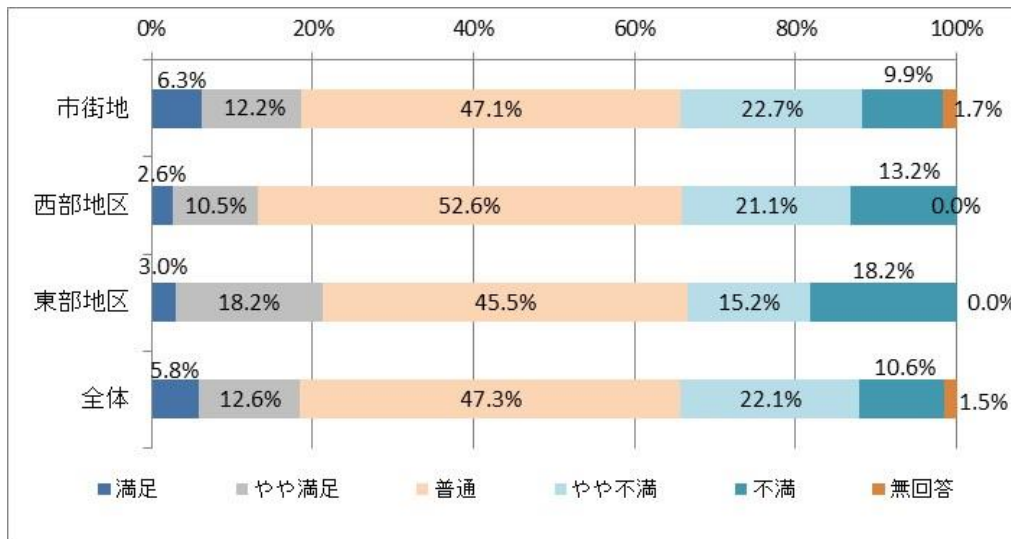


(7) 買い物の利便性に対する満足度

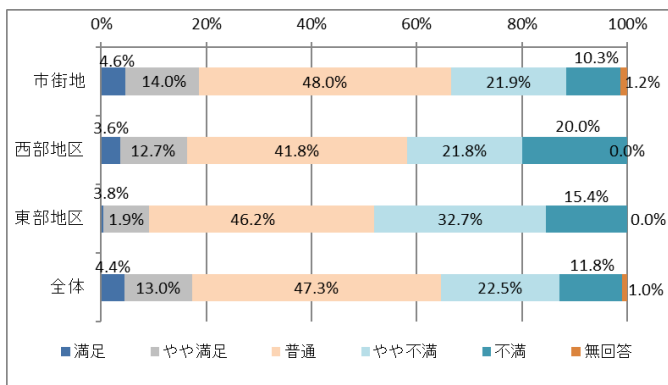
市内の買い物の利便性に対する満足度についてみると、「満足」と「やや満足」を合わせた割合は、市民全体で18.4%となっている。昨年度の調査結果よりもやや向上しているものの、全体的にはこれまでの調査と同様の水準となっている。

地区別でみると、「満足」と「やや満足」を合わせた割合は、東部地区がやや高くなっている一方で、西部地区がやや低くなっている。昨年度と比べると、東部地区が向上しているほか、市街地が同様の水準となっている一方で、西部地区がやや低下している。

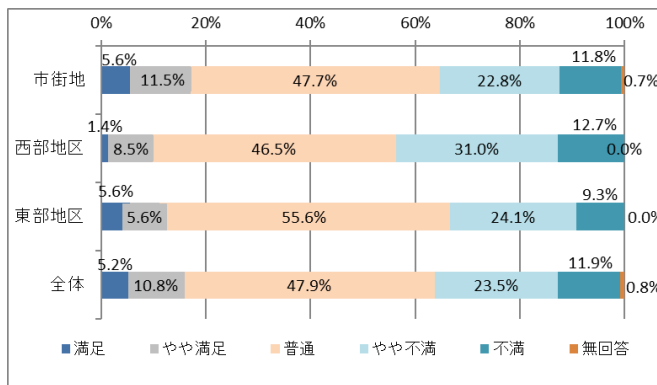
<令和5年度調査>



<令和4年度調査>



<令和3年度調査>



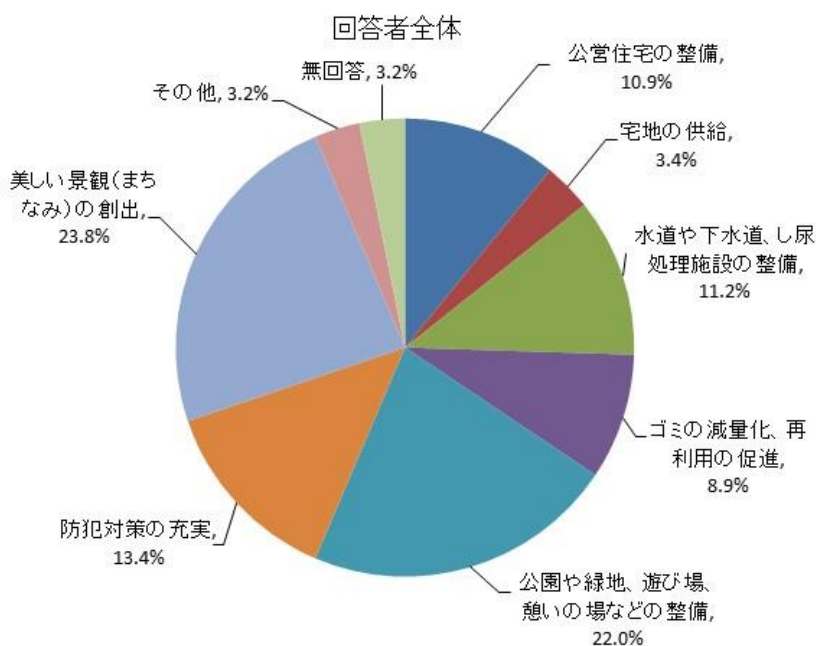
(8) 生活環境に関する施策について

①市民全体

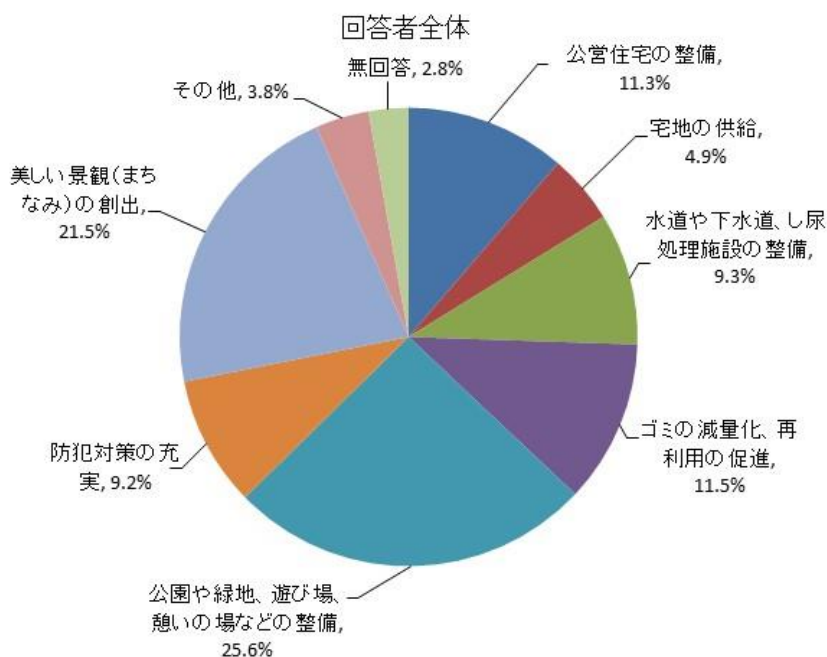
生活環境について、今後重点的に取り組むべきと考える施策を1つ回答してもらった結果、「美しい景観（まちなみ）の創出」が23.8%と最も多く、次いで、「公園や緑地、遊び場、憩いの場などの整備」、「防犯対策の充実」、「公営住宅の整備」の順となっている。

昨年度までの調査結果と比べると、これまでは「公園や緑地、遊び場、憩いの場などの整備」が最も多くなっていたが、徐々に重要度が低下している。一方、「美しい景観（まちなみ）の創出」の重要度が徐々に向上しており、今年度調査で初めて順位が1位となった。

<令和5年度調査>



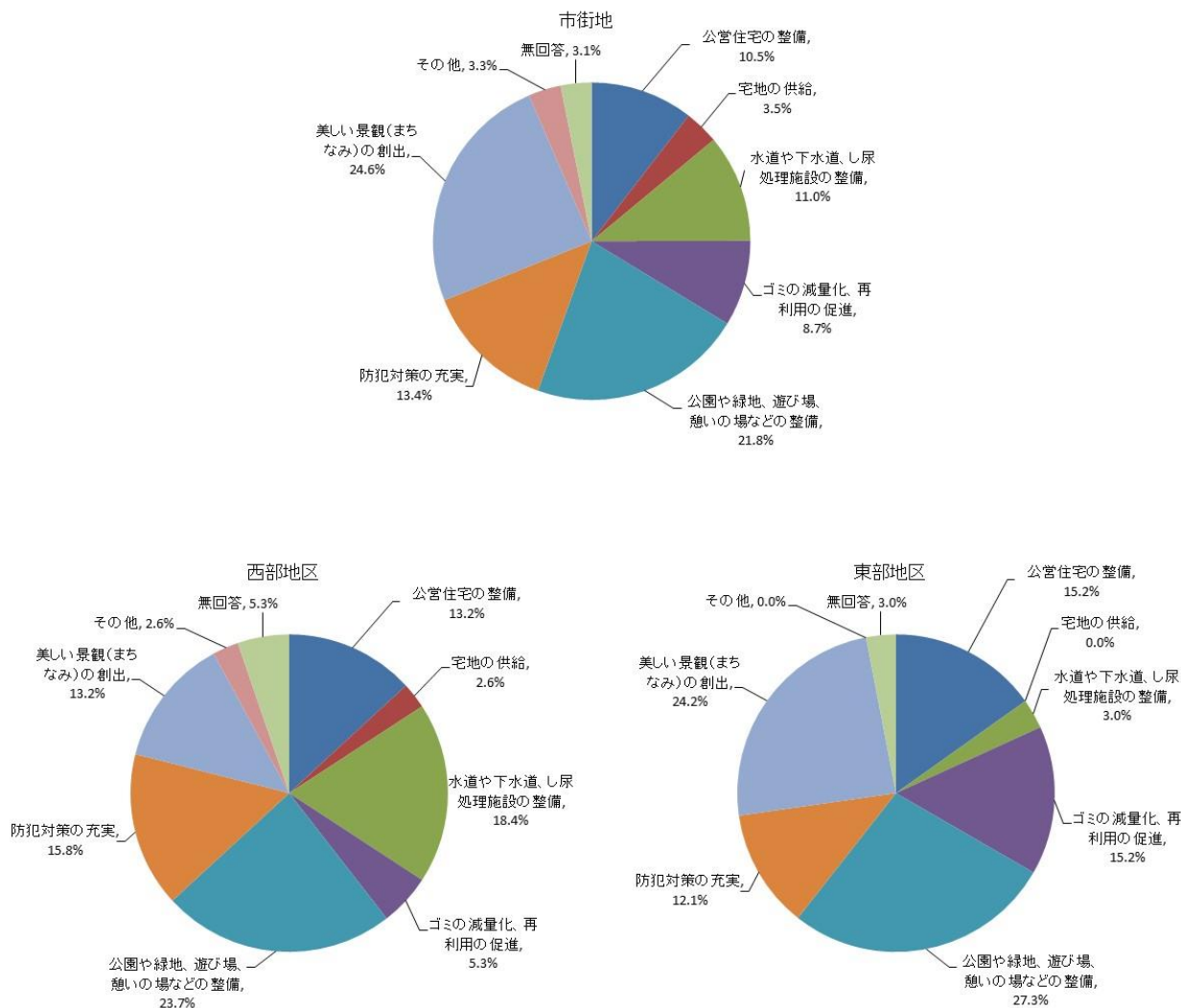
<令和4年度調査>



②地区別

地区によって順位は異なっているものの、いずれの地区も「美しい景観（まちなみ）の創出」が最も多く、次いで、「公園や緑地、遊び場、憩いの場などの整備」、「防犯対策の充実」、「公営住宅の整備」が上位にあがっている。

「美しい景観（まちなみ）の創出」は市街地と東部地区で回答割合が高くなっている一方で、西部地区の回答割合が低くなっている。そのほか特徴的な点としては、西部地区では「水道や下水道、し尿処理施設の整備」の回答割合が高く、東部地区では「ゴミの減量化、再利用の促進」の回答割合が高くなっている。



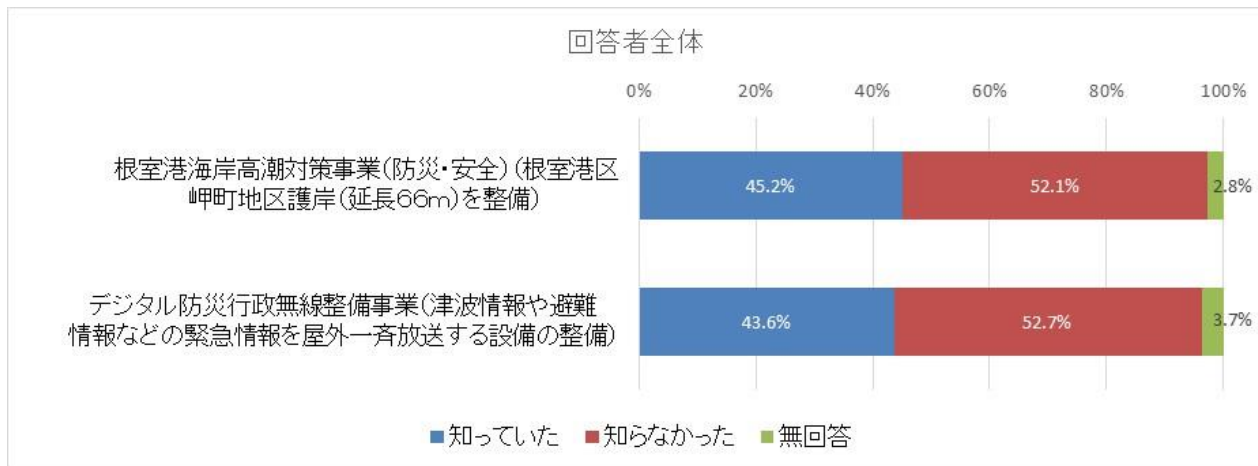
3. 1 1 防災・減災対策について

(1) 施策に対する認知度

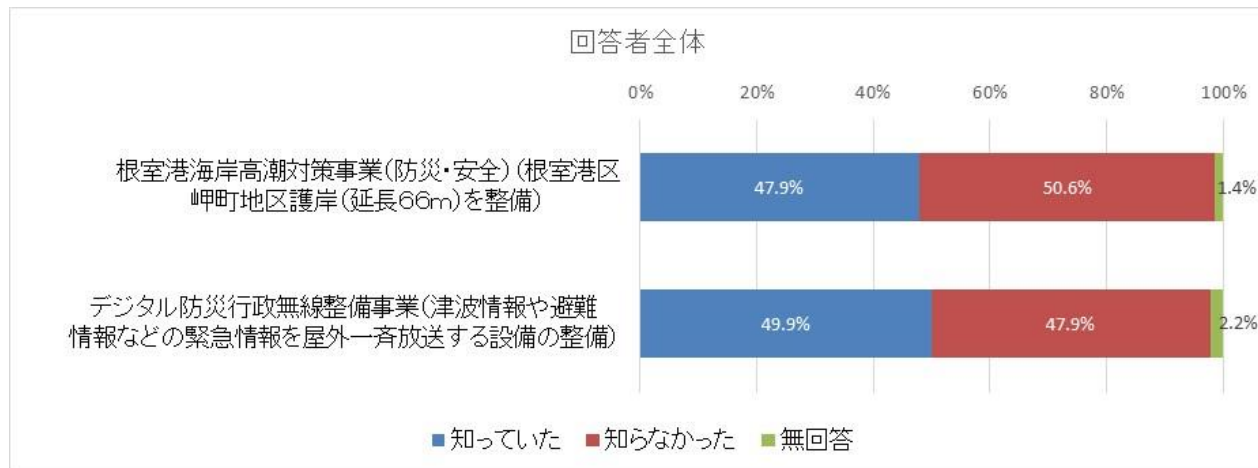
①市民全体

根室市で実施している防災・減災に関する主要施策についての認知度をみると、「根室港海岸高潮対策事業」で45.2%、「デジタル防災行政無線整備事業」で43.6%となっている。2事業とも昨年度調査をやや下回る結果となっている。

<令和5年度調査>



<令和4年度調査>

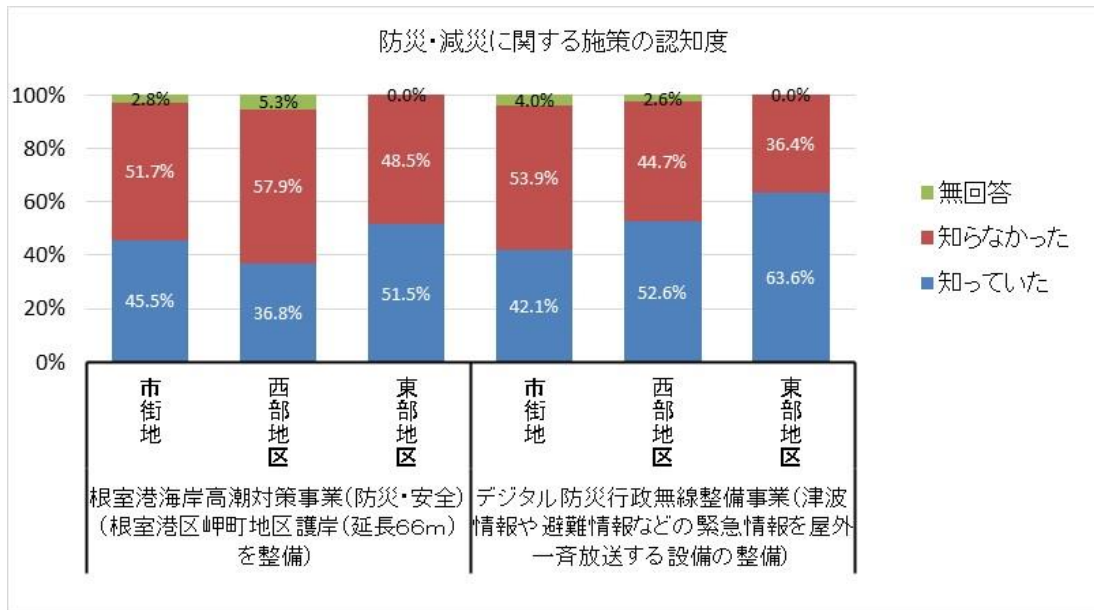


②地区別

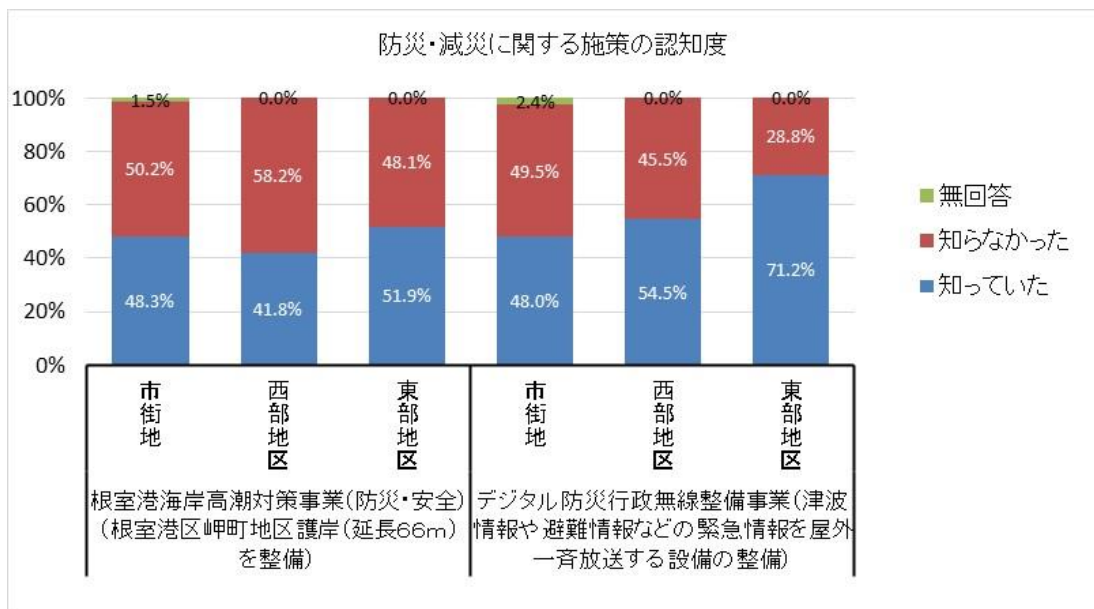
防災・減災に関する主要施策についての認知度を地区別にみると、2事業とも漁業者の多い東部地区での認知度が高くなっている。また、西部地区では「デジタル防災行政無線整備事業」の認知度が高くなっている一方で、「根室港海岸高潮対策事業」の認知度が低くなっている。

昨年度調査の結果と比べると、東部地区における「根室港海岸高潮対策事業」の認知度が昨年度と同程度になっているものの、それ以外の認知度は全て低下している。

<令和5年度調査>



<令和4年度調査>

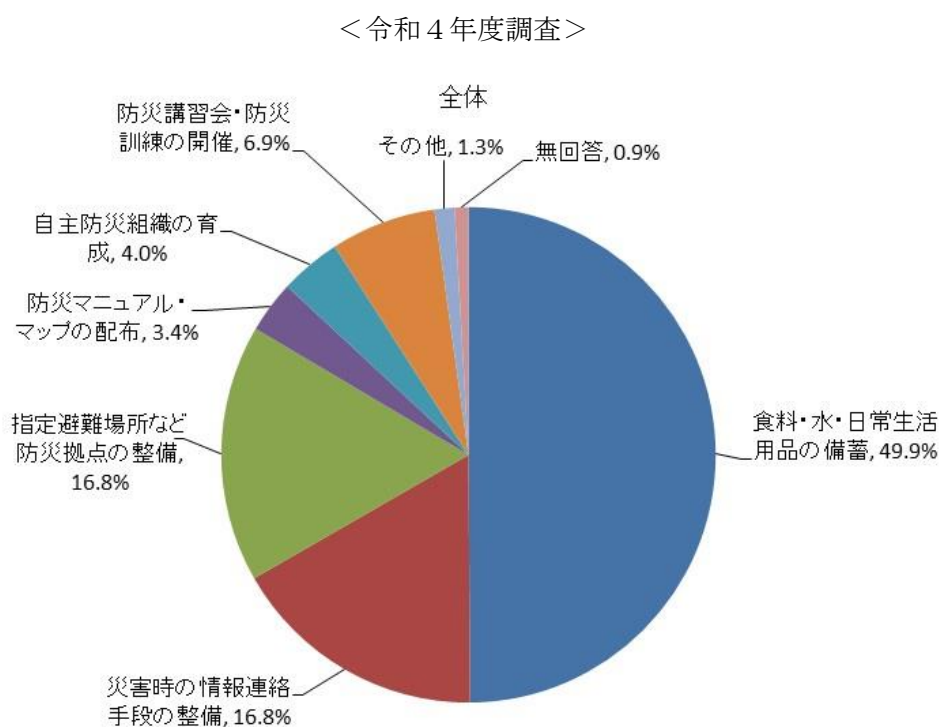
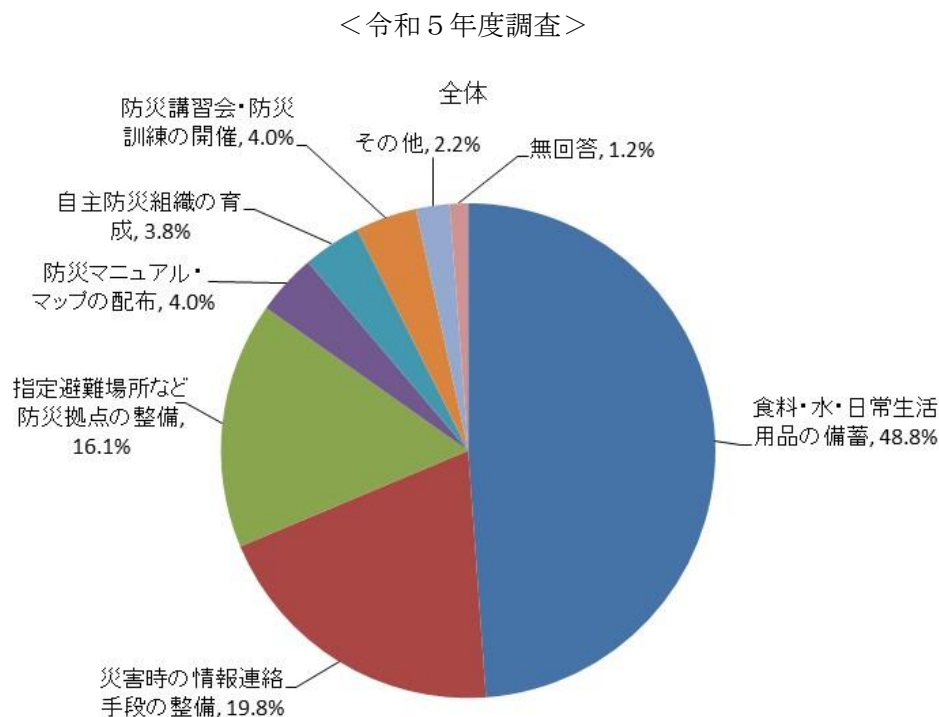


(2) 防災対策に関する施策について

①市民全体

防災・減災対策として重要であると考える項目を1つ回答してもらった結果をみると、「食料・水・日常生活用品の備蓄」が48.8%と最も多く、次いで、「災害時の情報連絡手段の整備」、「指定避難場所など防災拠点の整備」と続いている。

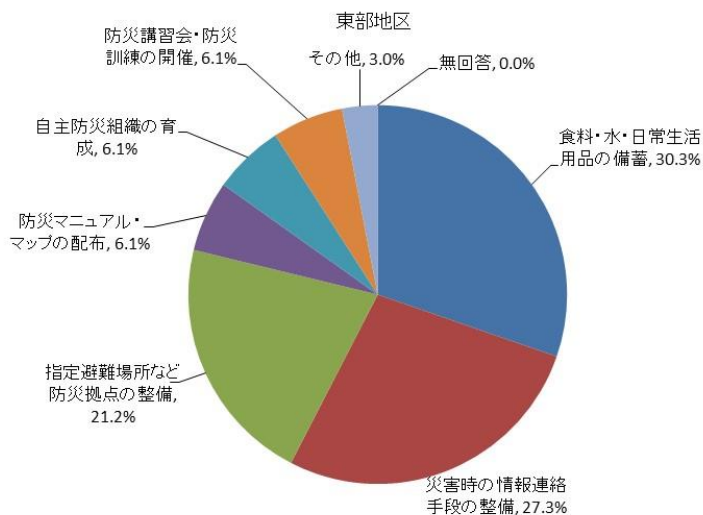
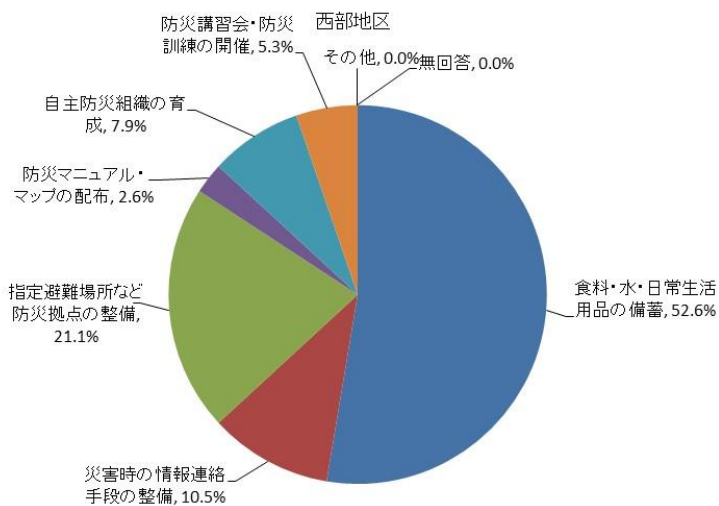
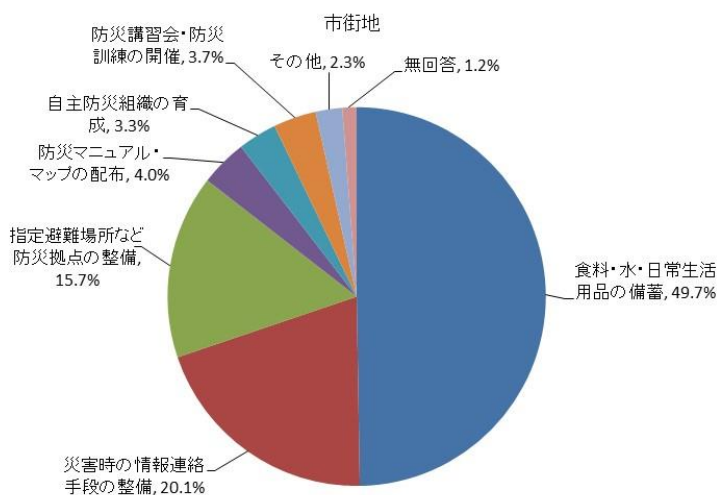
これは、昨年度とほぼ同様の結果となっている。



②地区別

各地区とも「食料・水・日常生活用品の備蓄」、「災害時の情報連絡手段の整備」、「指定避難場所など防災拠点の整備」の3項目が上位にあがっている。

「食料・水・日常生活用品の備蓄」はいずれの地区でも回答割合が最も高くなっているものの、市街地と西部地区が50%前後を占める一方で、東部地区は30%程度にとどまっている。「災害時の情報連絡手段の整備」は東部地区で回答割合が高くなっている一方で、西部地区で回答割合が低くなっている。



3. 1 2 学校教育・社会教育について

(1) 施策に対する認知度

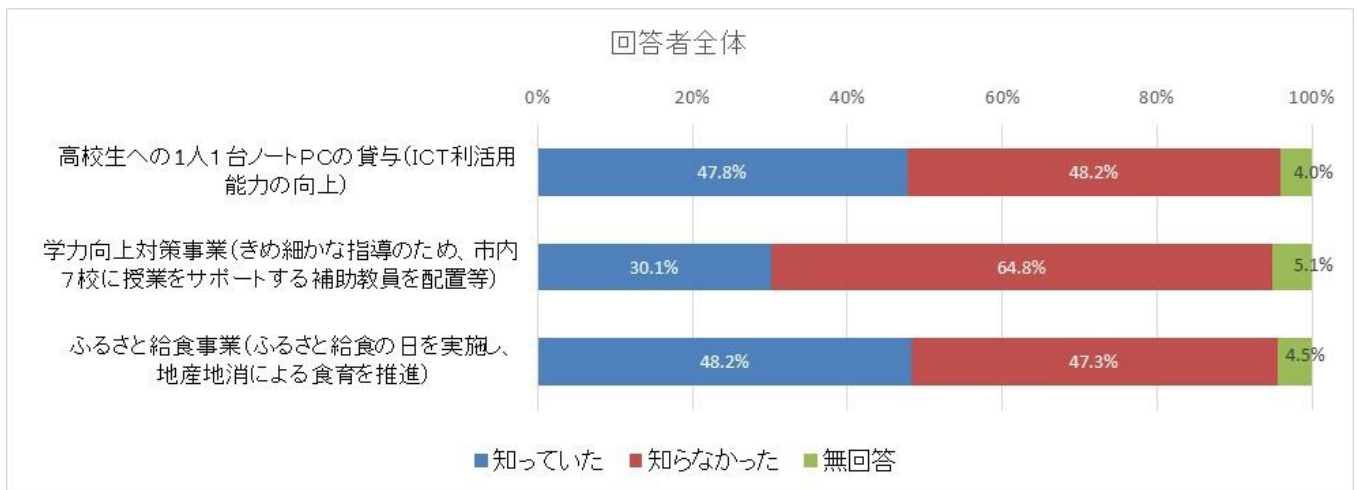
①市民全体

根室市で実施している学校教育に関する主要施策の認知度をみると、「ふるさと給食事業」が48.2%と最も高く、次いで「高校生への1人1台ノートPC貸与」が47.8%であった。「学力向上対策事業」については、30.1%と最も認知度は低かった。

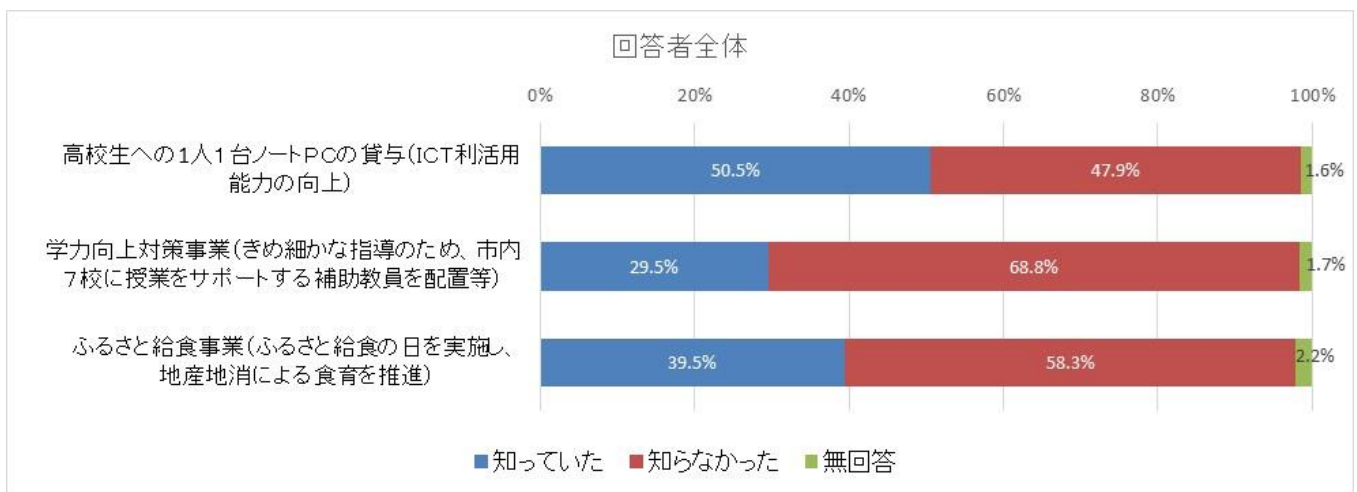
昨年度の結果と比較すると、昨年度認知度が大きく低下した「ふるさと給食事業」は認知度が向上しており、令和3年度と同様の水準まで回復した。他の施策は「高校生への1人1台ノートPC貸与」がやや低下しているものの、前年度と同様の傾向となっている。

一方、子育て世代である20歳代～40歳代の回答者についてみると、3つの事業とも市民全体の認知度を上回っている。昨年度結果と比較すると「ふるさと給食事業」の認知度が大きく向上しているほか、他の事業も前年度と同様の認知度となっている。

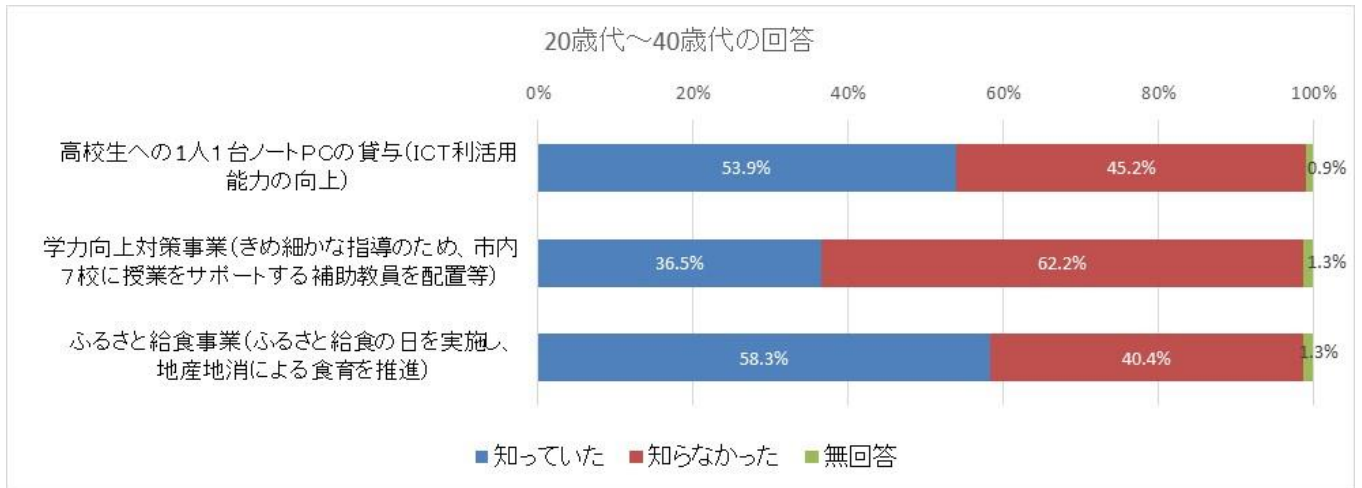
市民全体における「学校教育」に関する主要施策についての認知度
 <令和5年度調査>



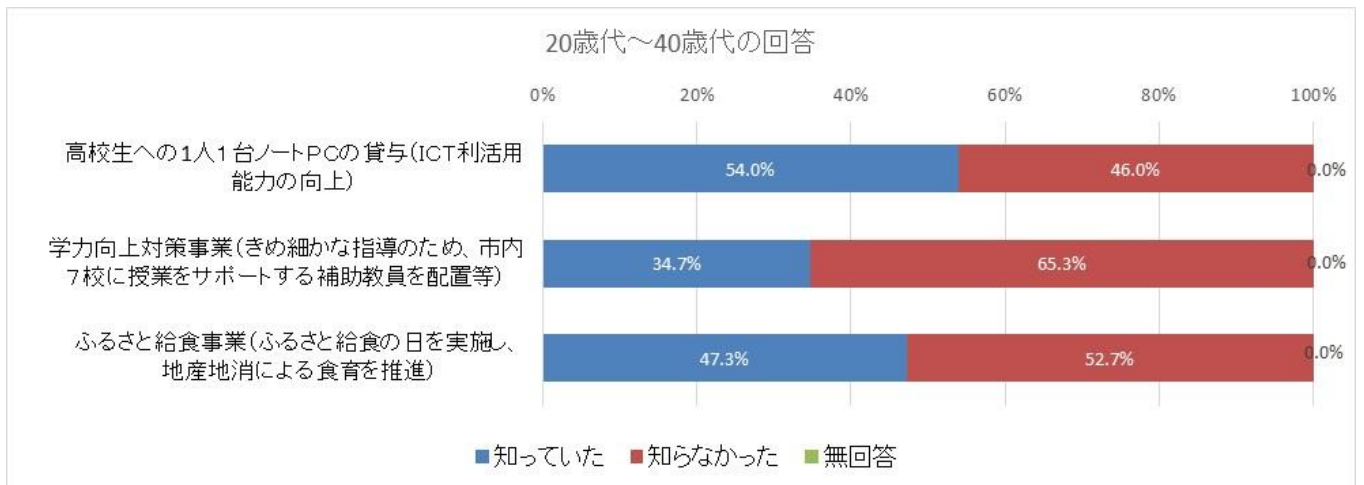
<令和4年度調査>



20歳代～40歳代の住民における「学校教育」に関する主要施策についての認知度
 <令和5年度調査>



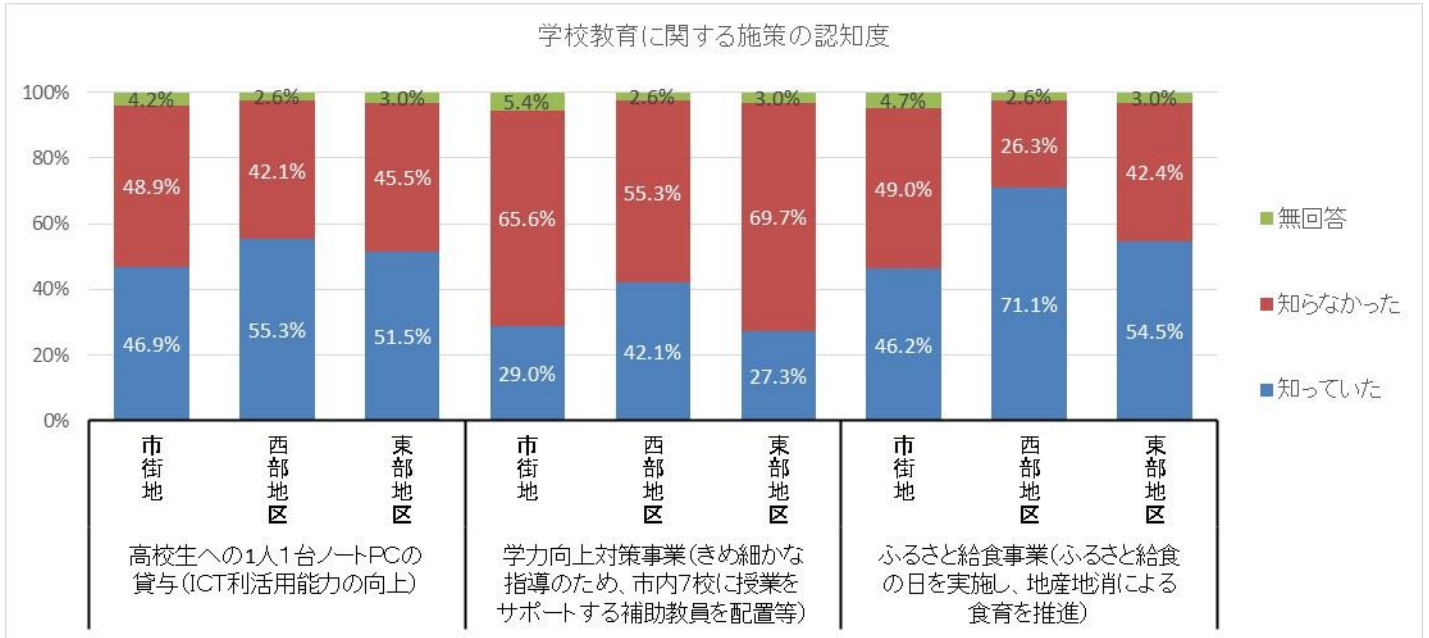
<令和4年度調査>



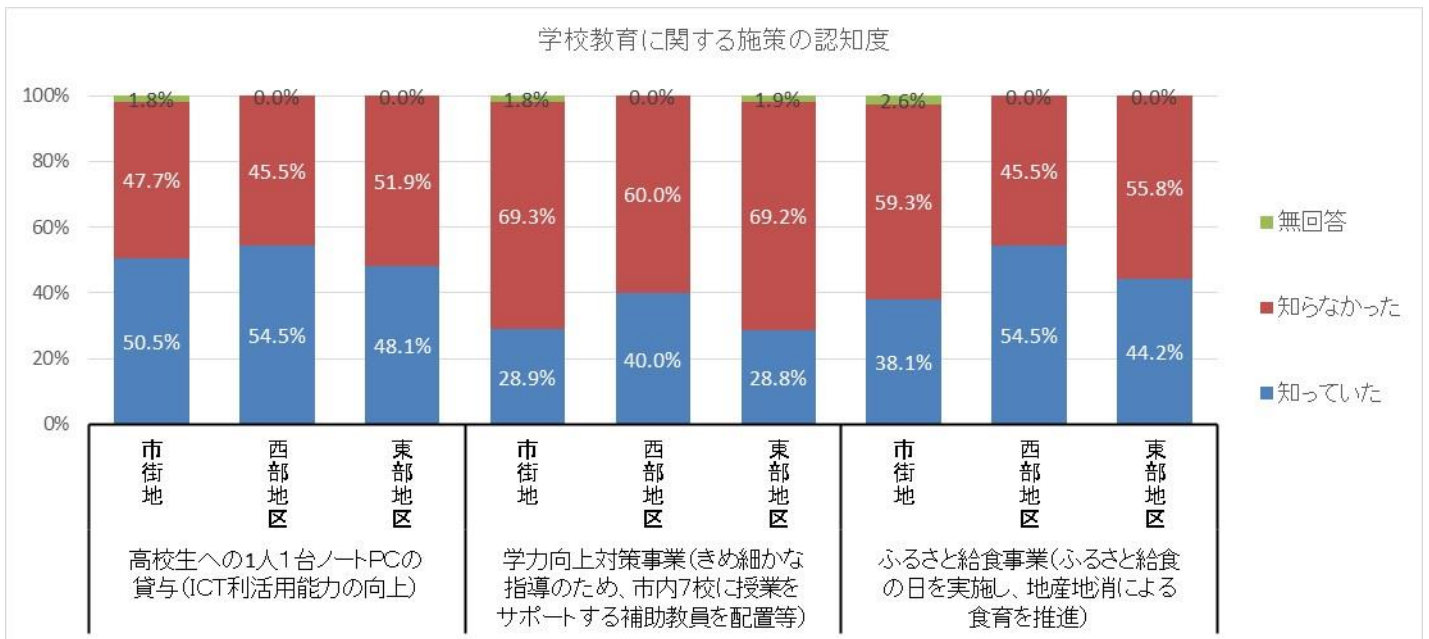
②地区別

学校教育に関する主要施策についての認知度を地区別にみると、各地区とも「ふるさと給食事業」が昨年度と比べて認知度が向上しており、特に西部地区での伸びが目立っている。「高校生への1人1台ノートPC貸与」「学力向上対策事業」に関しては各地区とも昨年度と同様の水準となっている。

<令和5年度調査>



<令和4年度調査>



(2) 教育施設や教育環境に対する満足度

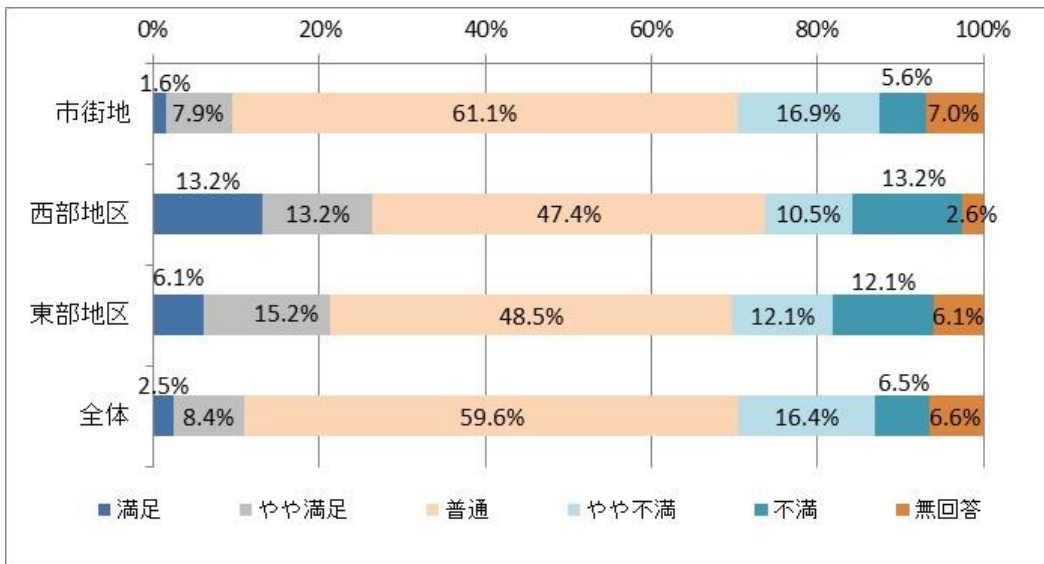
教育施設や教育環境に対する満足度についてみると、「満足」と「やや満足」を合わせた割合は市民全体で 10.9% となっており、昨年度の調査結果とほぼ同水準であった。

地区別に満足度の割合をみると、市街地が昨年度調査よりも低下しているが、西部地区と東部地区は昨年度調査よりも向上している。その一方で、各地区とも「普通」の割合が減少し、「やや不満」や「不満」の割合がやや増加している。

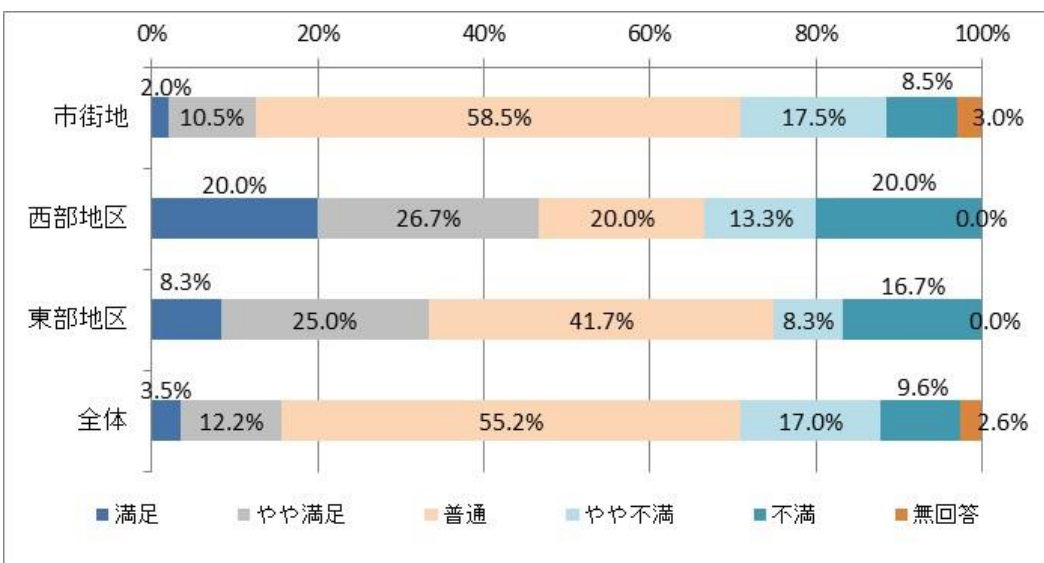
一方、子育て世代である 20 歳代～40 歳代の回答者の評価でみると、「満足」と「やや満足」を合わせた割合は、市民全体の評価と比べて高く、特に西部地区と東部地区での評価が高くなっている。昨年度調査の結果と比べると、市街地はほぼ同水準であったが、西部地区と東部地区の満足度が大きく向上している。

<令和 5 年度調査>

(回答者全体)

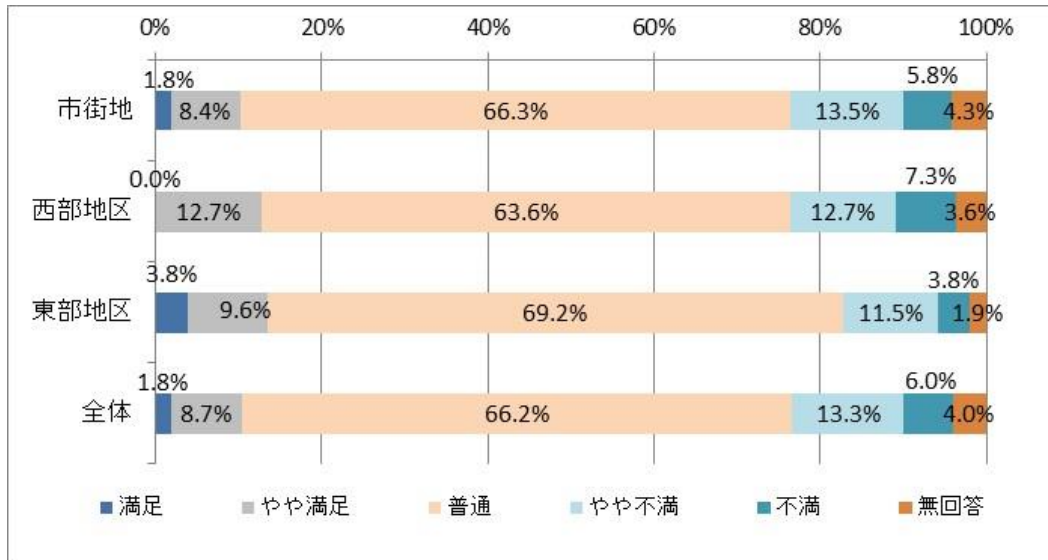


(20 歳代～40 歳代)

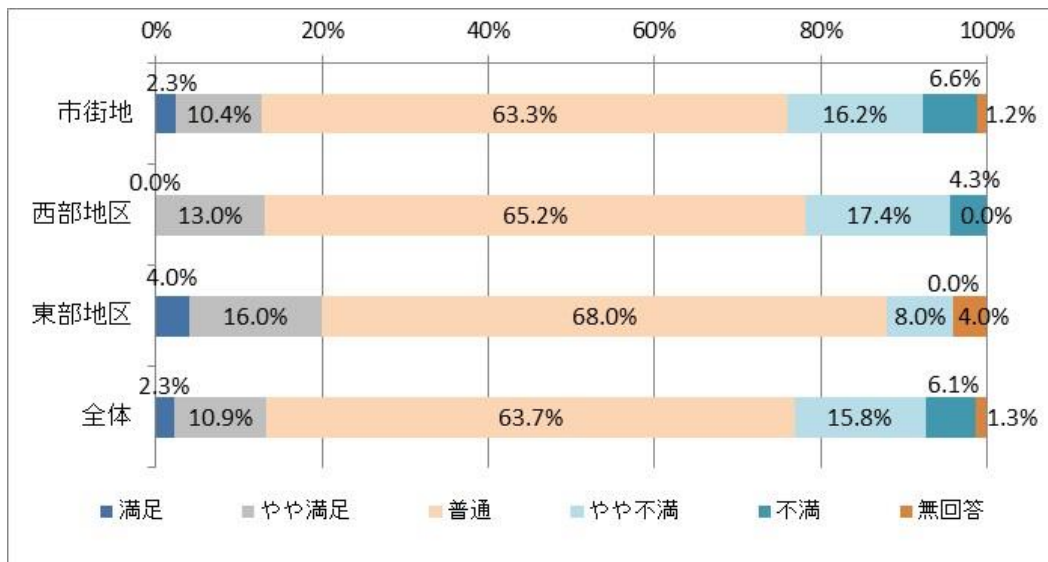


< 令和 4 年度調査 >

(回答者全体)



(20 歳代～40 歳代)

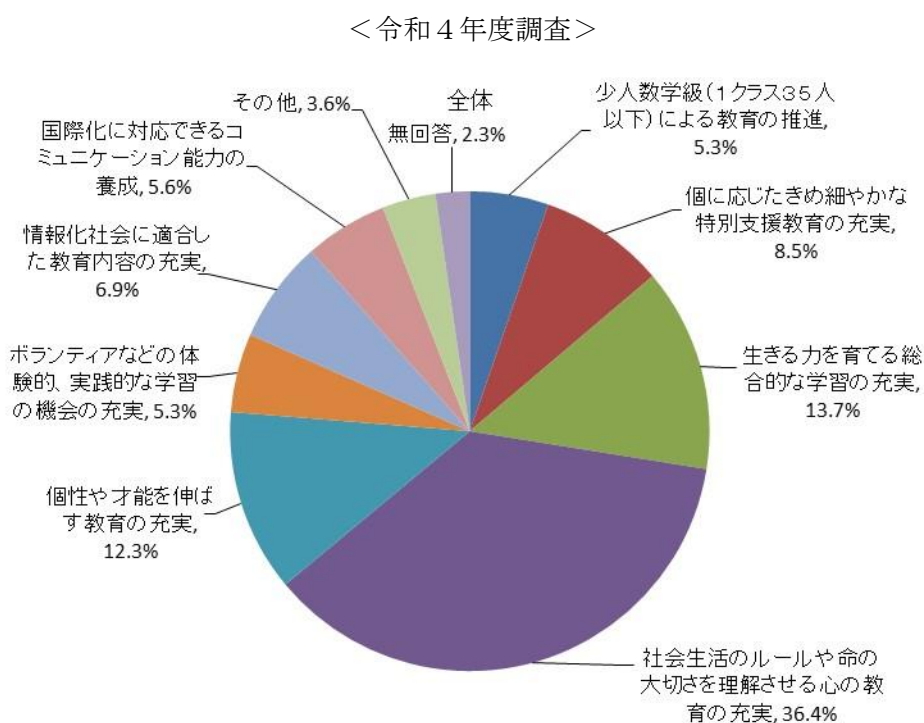
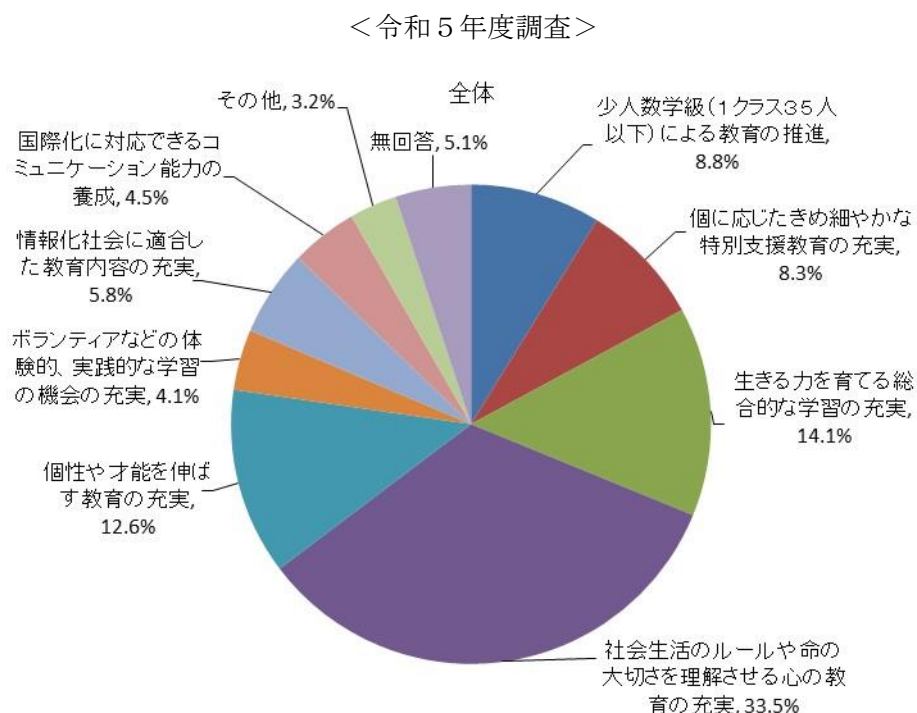


(3) 学校教育に関する施策について

①市民全体

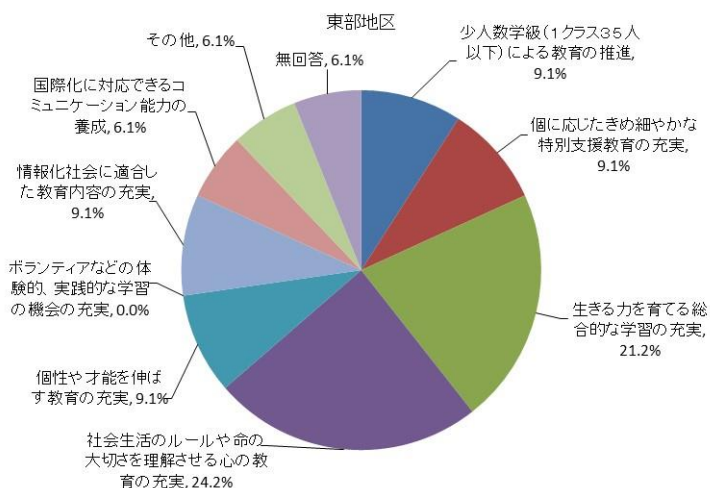
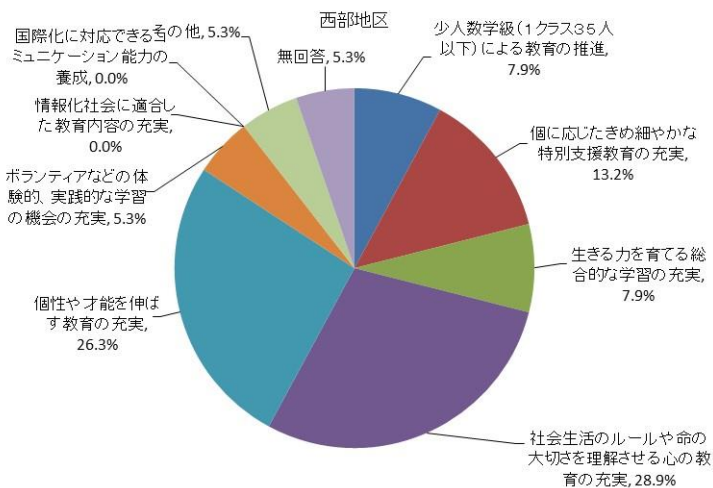
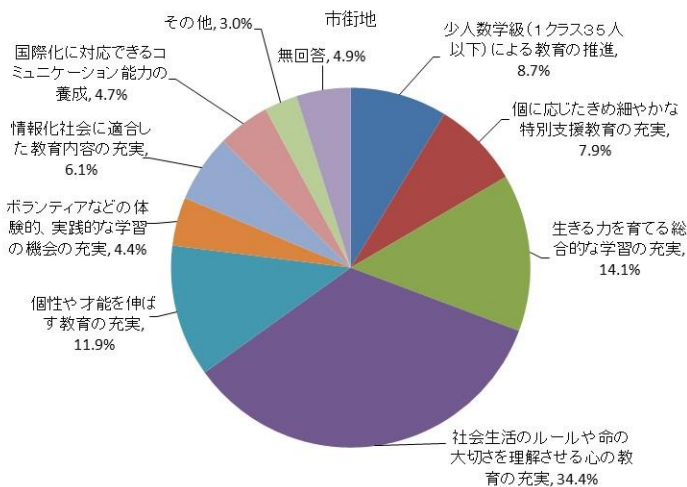
学校教育の充実のために市行政が力を注ぐべきと思う施策を1つ回答してもらった結果をみると、「社会生活のルールや命の大切さを理解させる心の教育の充実」が最も多くなっており、次いで、「生きる力を育てる総合的な学習の充実」、「個性や才能を伸ばす教育の充実」、「少人数学級（1クラス35人以下）による教育の推進」の順となっている。

昨年度調査の結果と比べると、「少人数学級（1クラス35人以下）による教育の推進」の回答割合がやや増加しているほかは、ほぼ同様の結果となっている。



②地区別

各地区とも「社会生活のルールや命の大切さを理解させる心の教育の充実」が最も多くなっているが、そのほかの項目については、地区によって順位が異なっている。市街地は「生きる力を育てる総合的な学習の充実」、「個性や才能を伸ばす教育の充実」、「少人数学級（1クラス35人以下）による教育の推進」と続いている一方で、西部地区は「個性や才能を伸ばす教育の充実」の回答割合が「社会生活のルールや命の大切さを理解させる心の教育の充実」に次いで高くなっている。また、東部地区は、「生きる力を育てる総合的な学習の充実」の回答割合が「社会生活のルールや命の大切さを理解させる心の教育の充実」に次いで高くなっている。



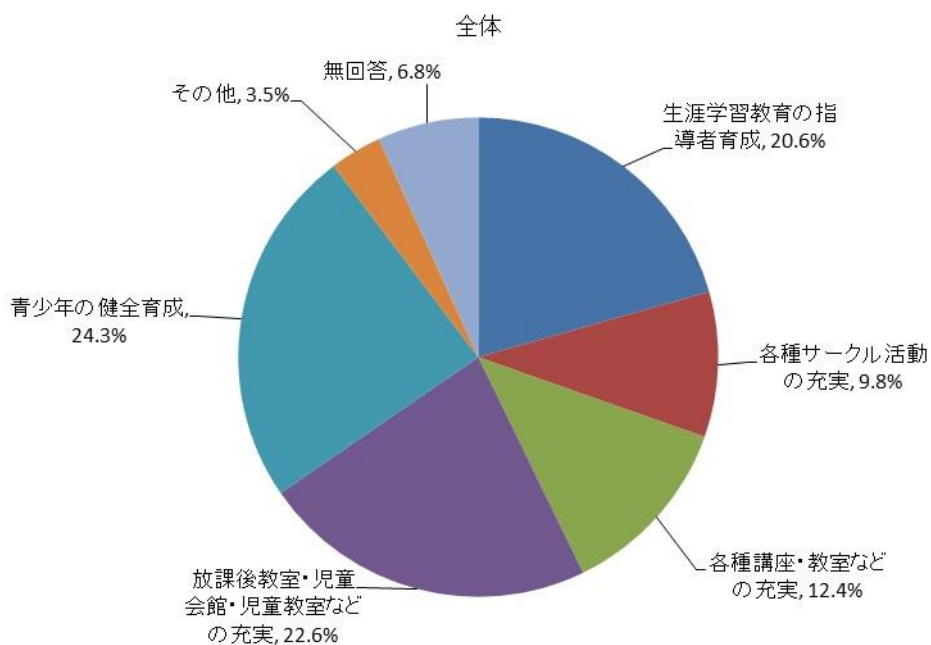
(4) 社会教育に関する施策について

①市民全体

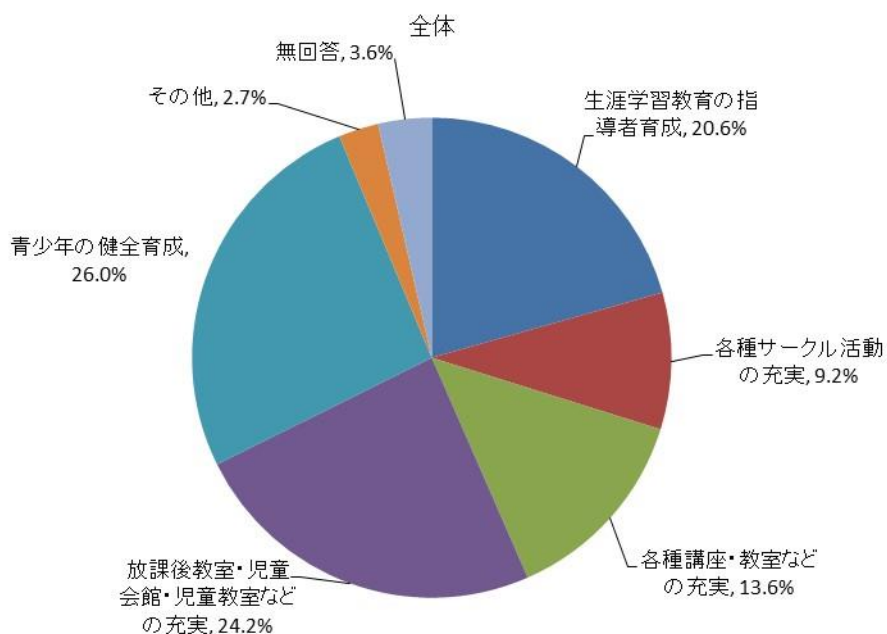
社会教育に関して重要であると考えられる項目 1 つを回答してもらった結果をみると、「青少年の健全育成」が 24.3%と最も多く、次いで、「放課後教室・児童会館・児童教室などの充実」、「生涯学習教育の指導者育成」の順となっている。

これは昨年度とほぼ同様の結果となっている。

<令和5年度調査>

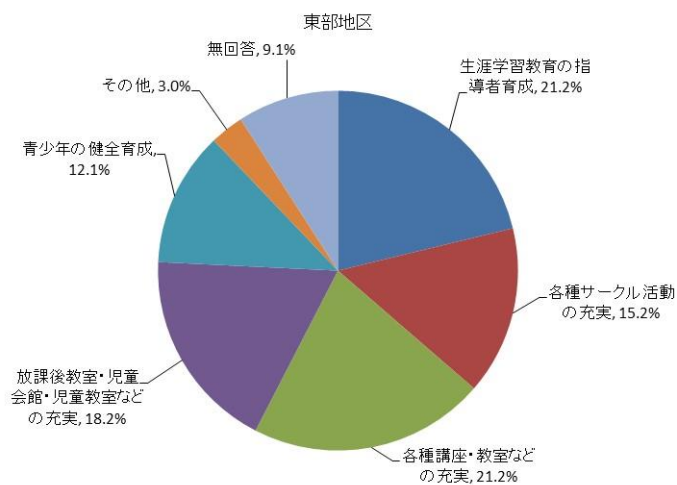
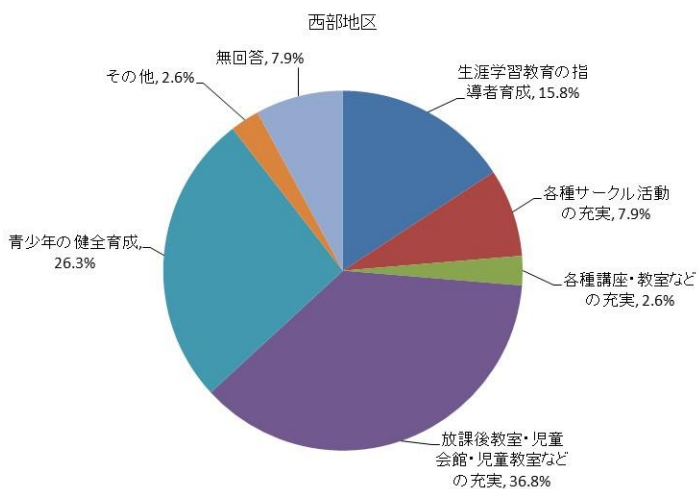
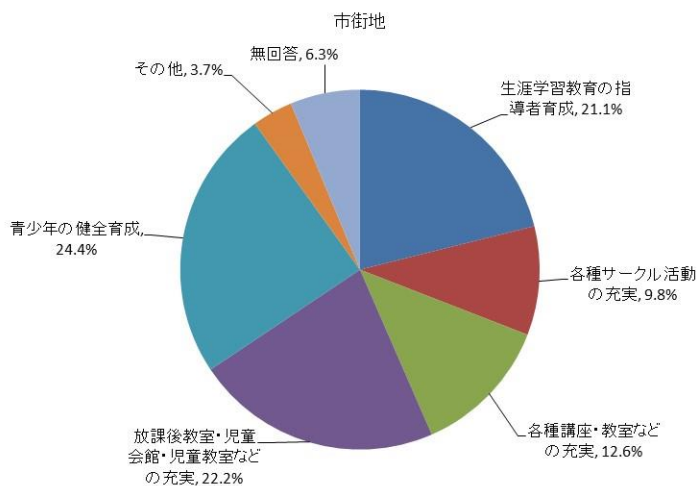


<令和4年度調査>



②地区別

地区別の状況をみると、市街地は「青少年の健全育成」が最も多く、西部地区は「放課後教室・児童会館・児童教室などの充実」が最も多く、東部地区は「生涯学習教育の指導者育成」と「各種講座・教室などの充実」が並んで最も多くなっているなど、地区によって順位がやや異なっている。



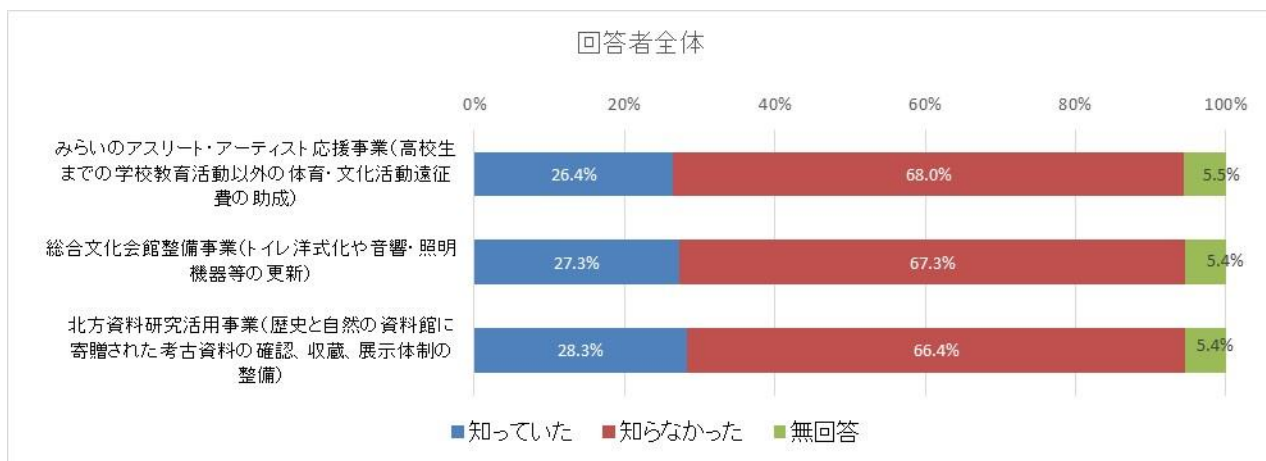
3. 13 スポーツ・レクリエーション・文化について

(1) 施策に対する認知度

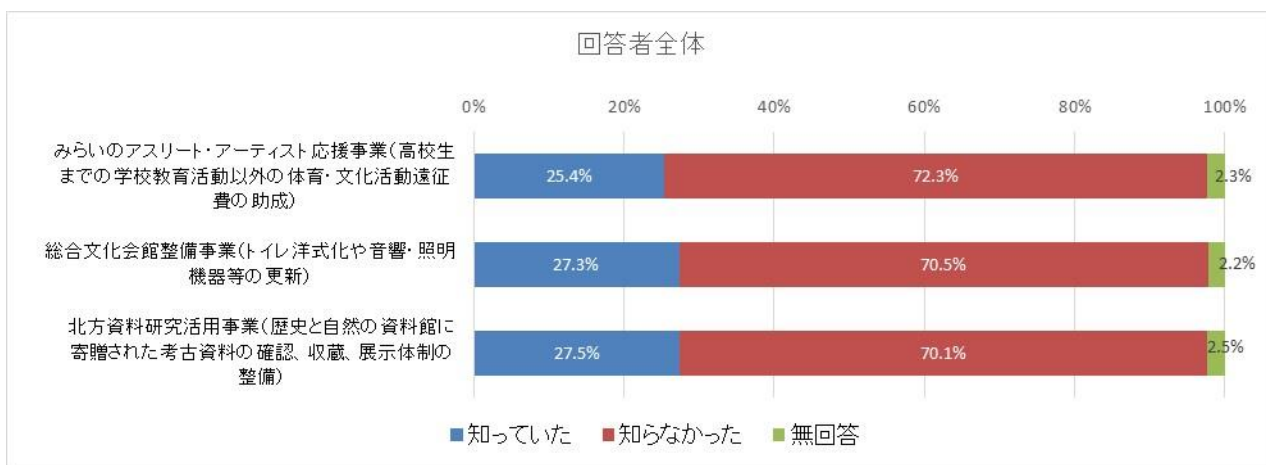
①市民全体

市で実施しているスポーツ・レクリエーション・文化に関する主要施策についての認知度をみると、いずれの施策も認知度が20%台となっており、昨年度までとほぼ同様の結果となっている。

<令和5年度調査>



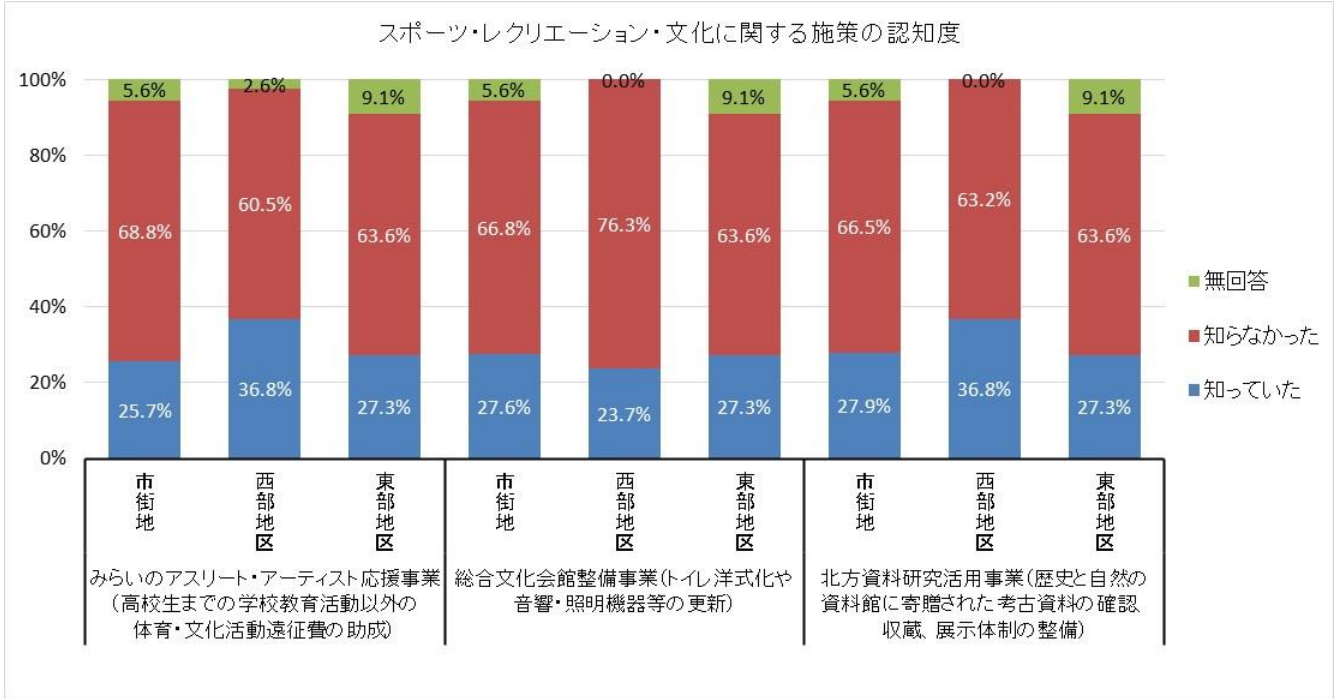
<令和4年度調査>



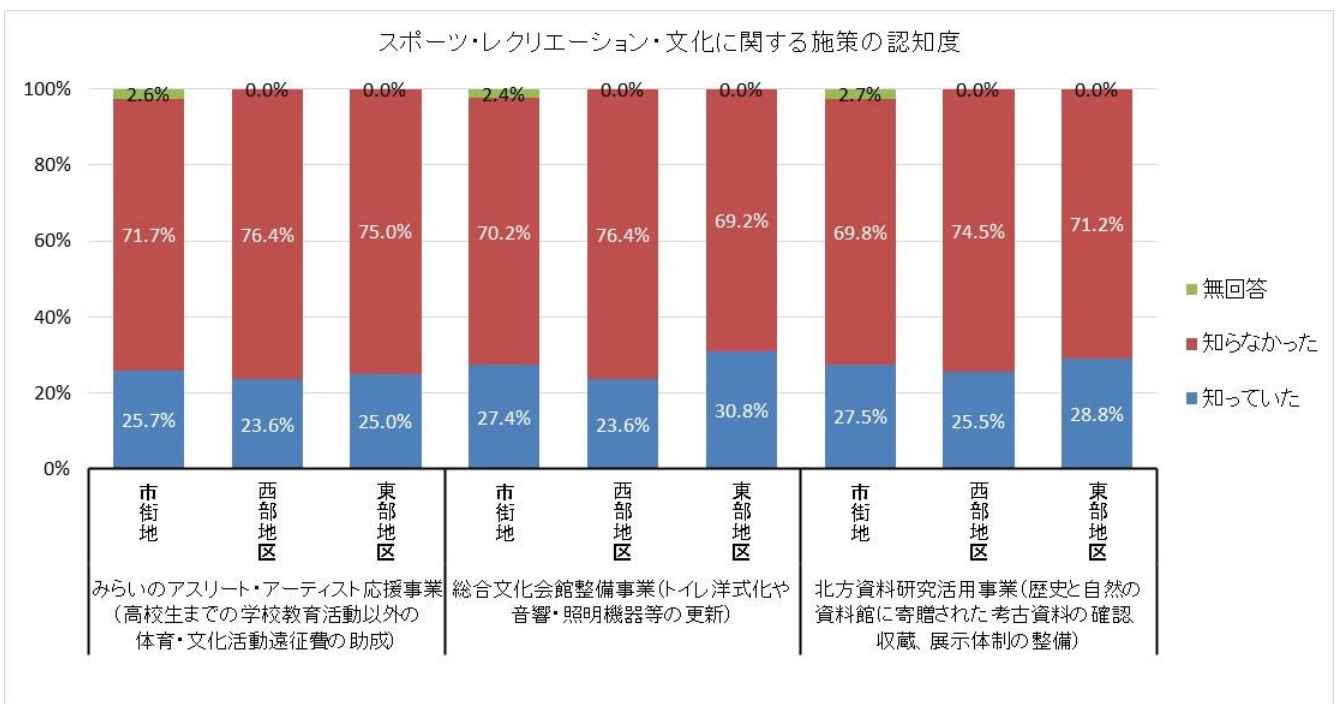
②地区別

スポーツ・レクリエーション・文化に関する主要施策についての認知度を地区別にみると、西部地区において「みらいのアスリート・アーティスト応援事業」と「北方資料研究活用事業」の認知度がやや高くなっている。

<令和5年度調査>



<令和4年度調査>

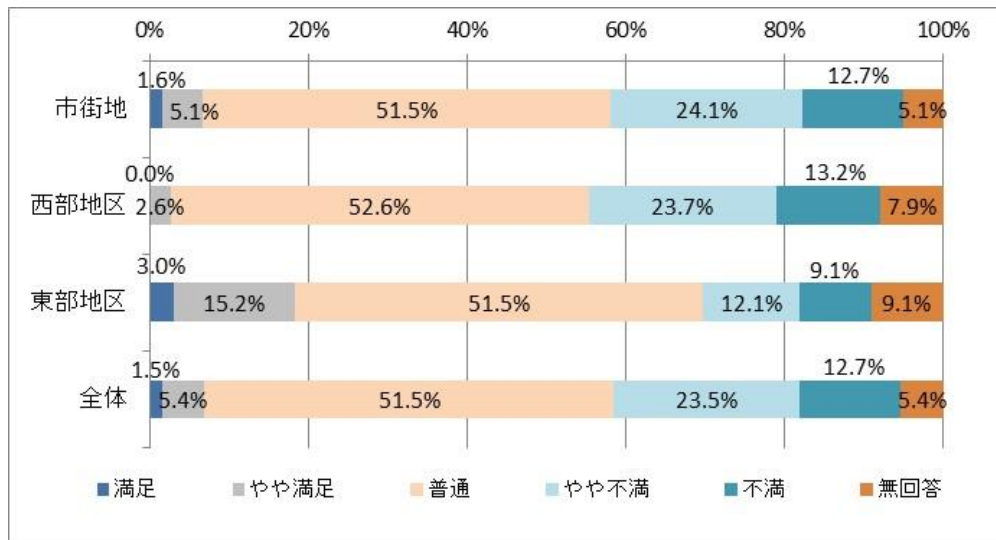


(2) スポーツ施設の状況に対する満足度

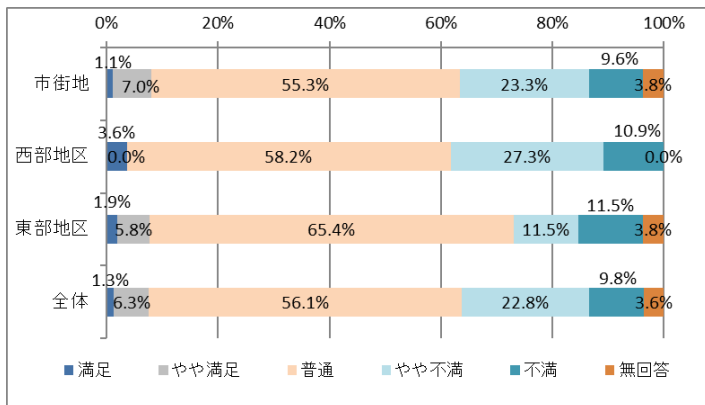
スポーツ施設の状況に対する満足度についてみると、「満足」と「やや満足」を合わせた満足とする回答割合は市民全体で6.9%となっており、昨年度の調査結果とほぼ同水準であった。

地区別に満足度の割合をみると、東部地区の満足度が高くなっている一方で、西部地区の満足度がやや低くなっている。

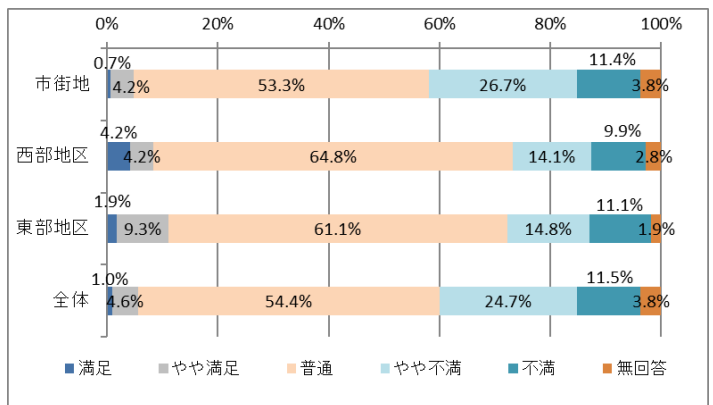
<令和5年度調査>



<令和4年度調査>



<令和3年度調査>



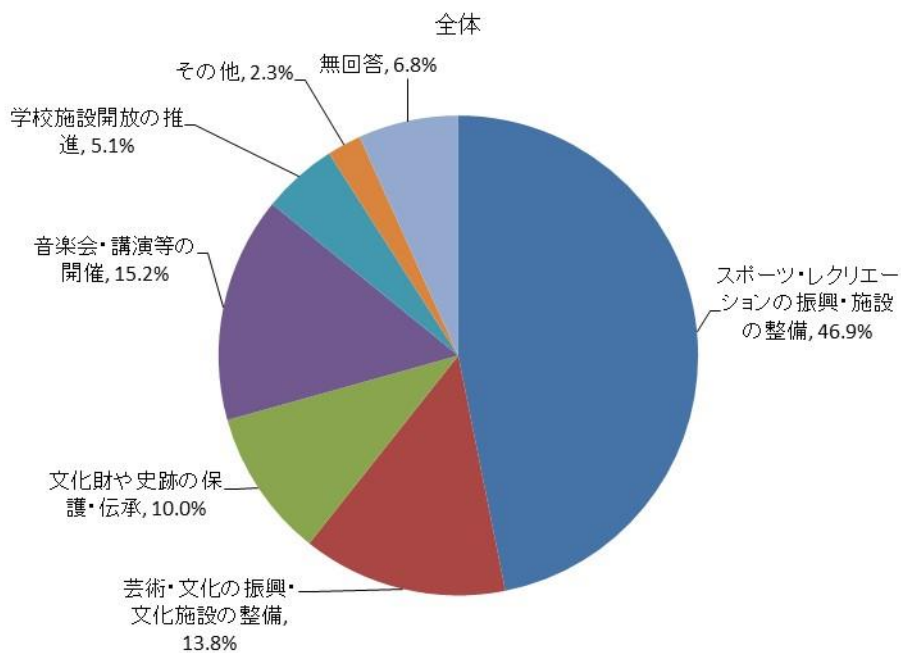
(3) スポーツ・レクリエーション・文化に関する施策について

①市民全体

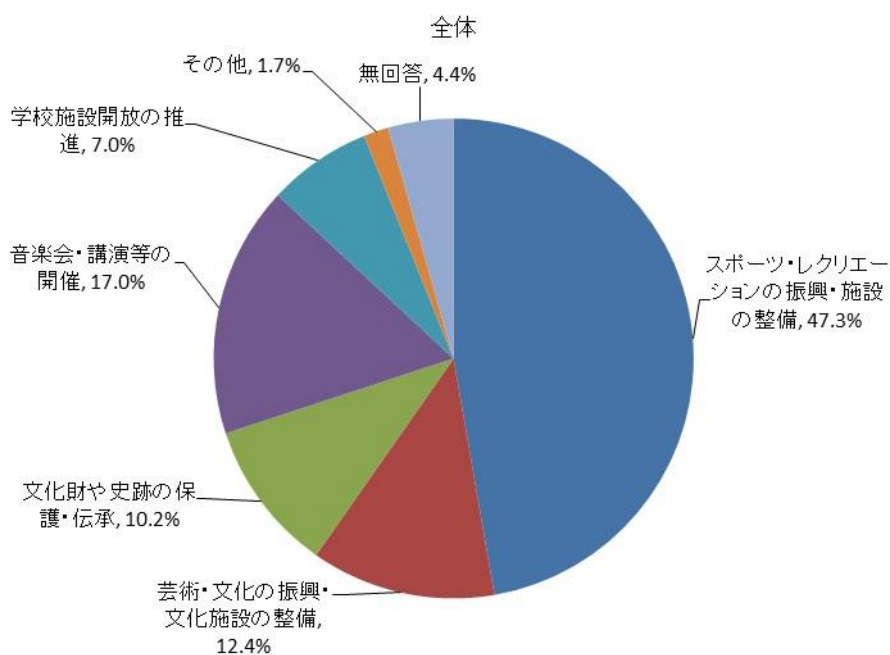
スポーツ・レクリエーション・文化について今後重点的に実施すべきと思う施策を1つ回答してもらった結果をみると、「スポーツ・レクリエーションの振興・施設の整備」が46.9%と最も多く、次いで、「音楽会・講演等の開催」、「芸術・文化の振興・文化施設の整備」、「文化財や史跡の保護・伝承」の順となっている。

これは昨年度とほぼ同様の結果となっている。

<令和5年度調査>

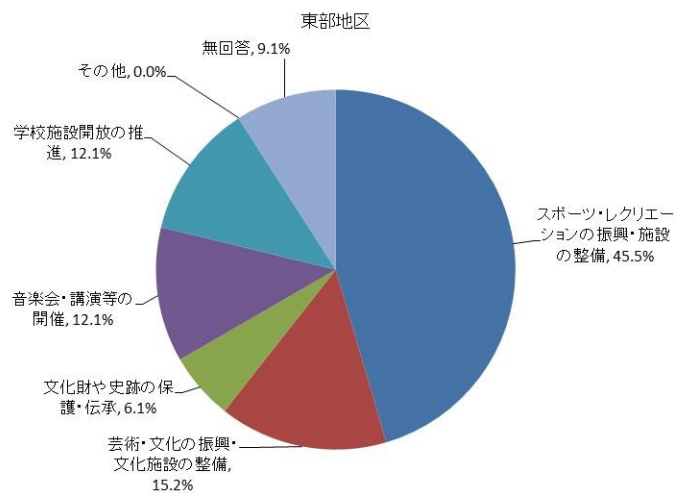
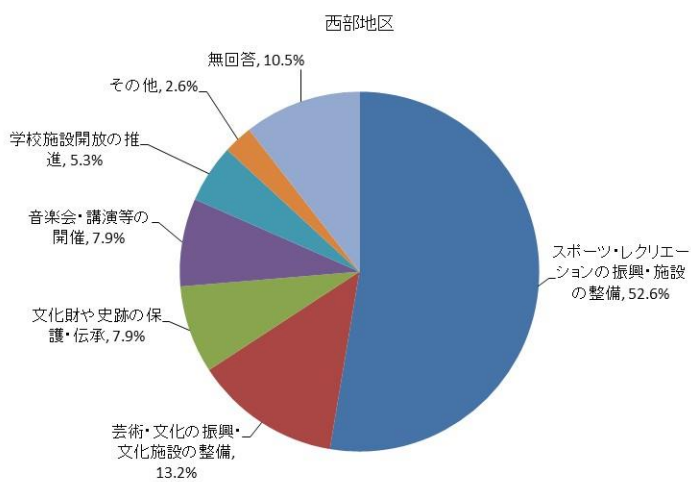
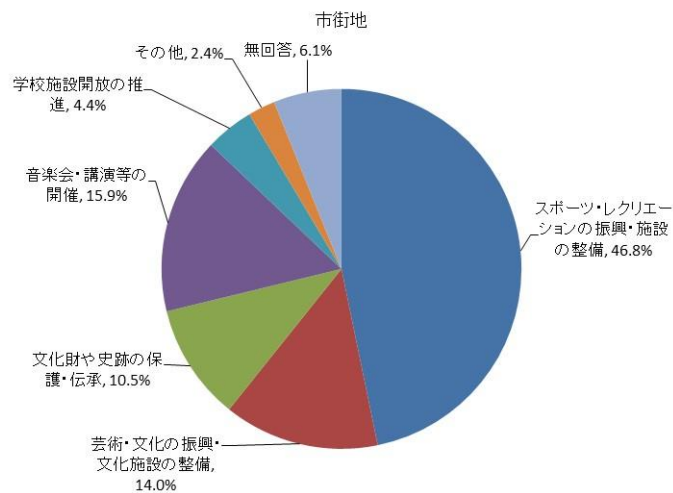


<令和4年度調査>



②地区別

地区別の状況を見ると、各地区とも「スポーツ・レクリエーションの振興・施設の整備」が最も多くなっている。そのほかの項目については、地区によって順位がやや異なっているが、市民全体と同様に「音楽会・講演等の開催」、「芸術・文化の振興・文化施設の整備」、「文化財や史跡の保護・伝承」が回答の中心となっている。ただし、東部地区においては、「学校施設開放の推進」の回答割合が他の地区と比べて高くなっている。



3. 14 産業の振興について

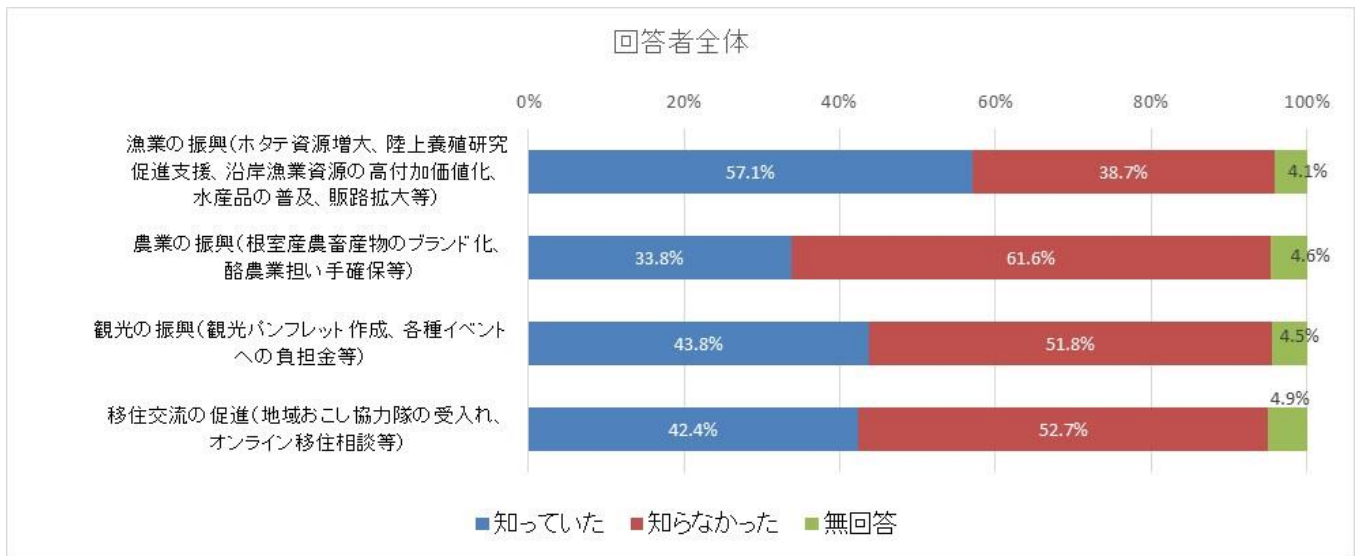
(1) 施策に対する認知度

①市民全体

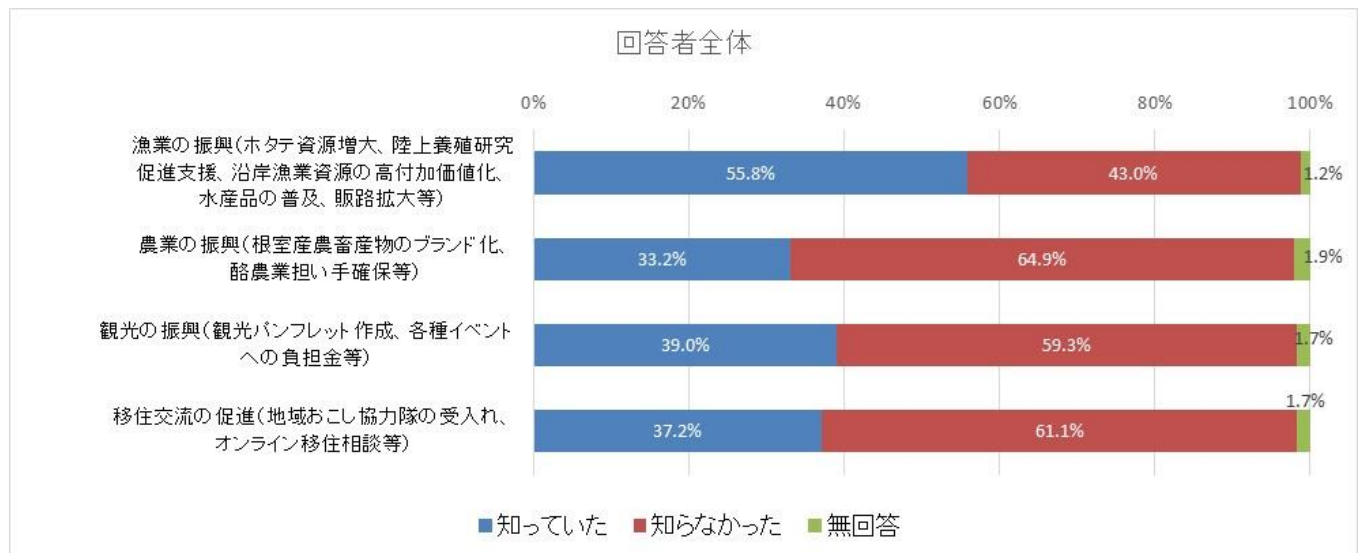
市で実施している産業振興に関する主要施策についての認知度をみると、「漁業の振興」に対する認知度が57.1%と最も高く、次いで「観光の振興」、「移住交流の促進」となっている。

昨年度の調査結果と比較すると、「農業の振興」がほぼ同水準になっているが、それ以外の施策はいずれも認知度が向上している。

<令和5年度調査>



<令和4年度調査>

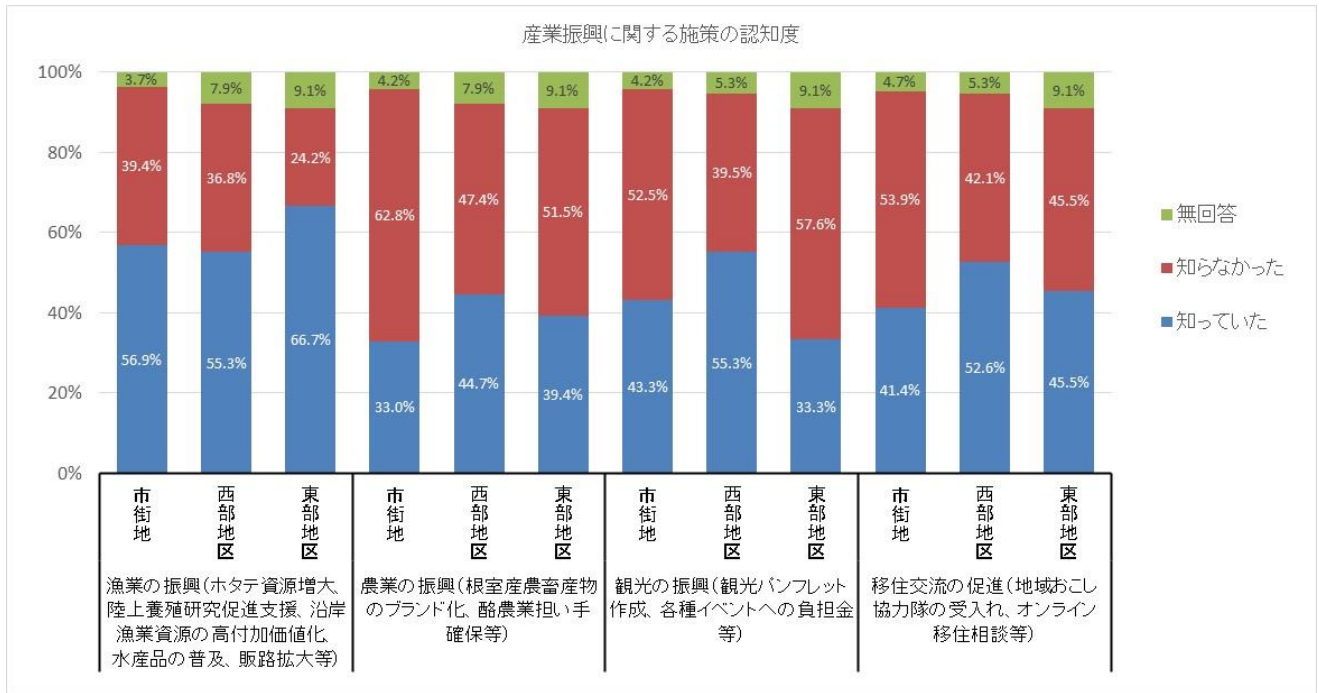


②地区別

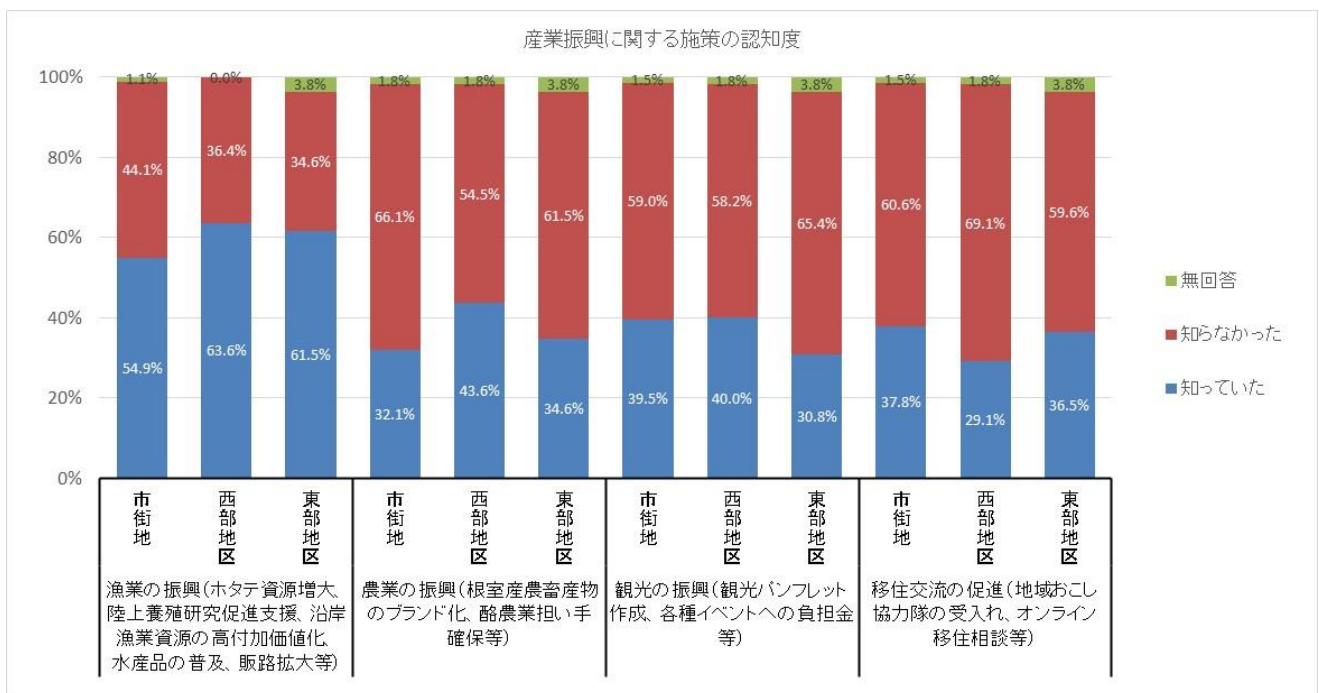
産業振興に関する主要施策についての認知度を地区別にみると、各地区とも「漁業の振興」の認知度が高く、「農業の振興」の認知度が低くなっている。

昨年度の調査結果と比べると、全体的に認知度が向上している傾向がうかがえるが、西部地区においては、農業、観光、移住交流に関する施策の認知度が大きく向上している一方で、漁業に関する施策の認知度が低下している。

<令和5年度調査>



<令和4年度調査>



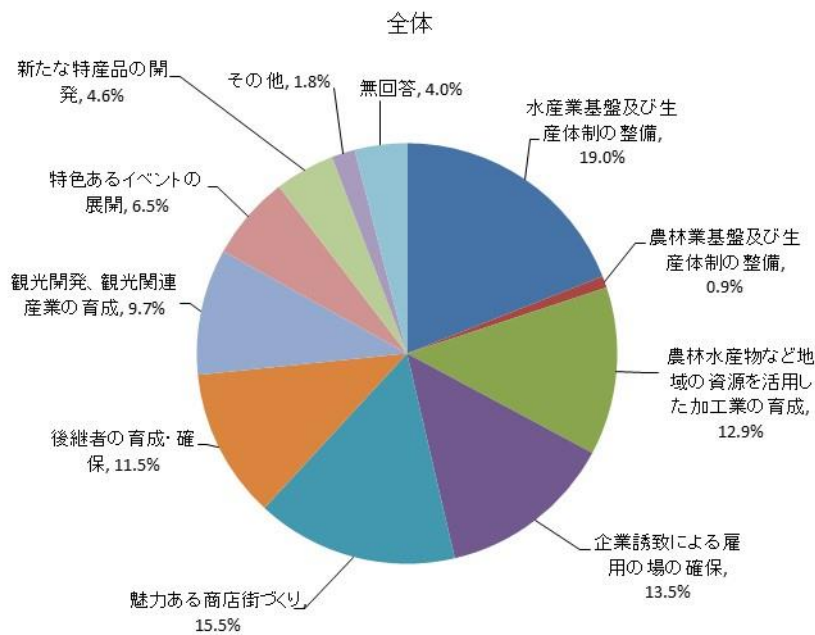
(2) 産業振興施策について

①市民全体

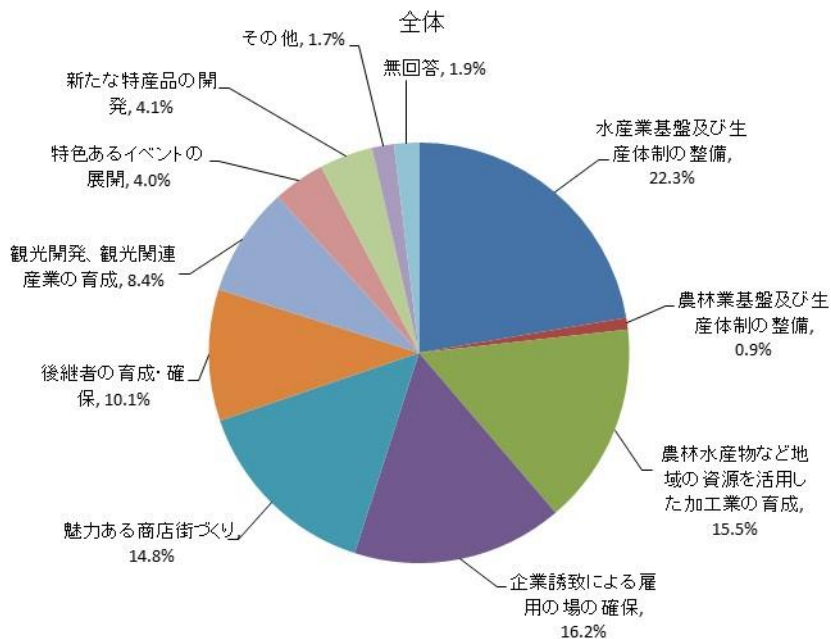
根室市の産業振興について、今後重点的に取り組むべきと思う施策を1つ回答してもらった結果、「水産業基盤及び生産体制の整備」が19.0%と最も多く、次いで、「魅力ある商店街づくり」、「企業誘致による雇用の場の確保」、「農林水産物など地域の資源を活用した加工業の育成」、「後継者の育成・確保」の順となっている。

昨年度の調査結果と比較すると、上位項目の順位にやや変動がみられるものの、ほぼ同様の結果となっている。

<令和5年度調査>

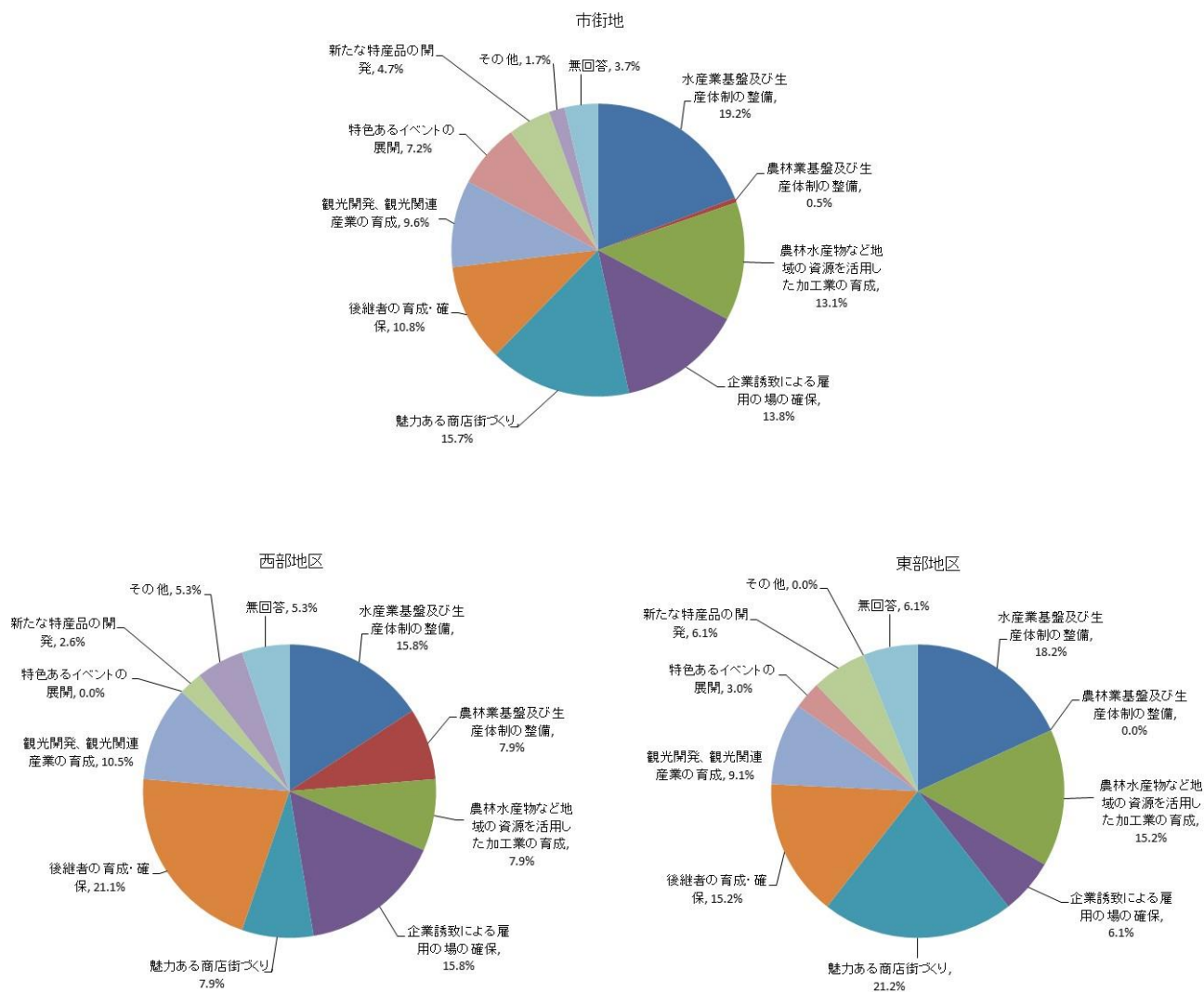


<令和4年度調査>



②地区別

地区別の状況を見ると、いずれの地区においても「水産業基盤及び生産体制の整備」の回答割合が1位又は2位と高くなっているが、そのほかの項目については、地区によって順位がやや異なっている。市街地では「魅力ある商店街づくり」、「企業誘致による雇用の場の確保」の回答割合が高く、西部地区では「後継者の育成・確保」、「企業誘致による雇用の場の確保」の回答割合が高く、東部地区では「魅力ある商店街づくり」、「農林水産物など地域の資源を活用した加工業の育成」、「後継者の育成・確保」の回答割合が高くなっている。



3. 15 情報の共有化について（行政からどのような情報提供を望むか）

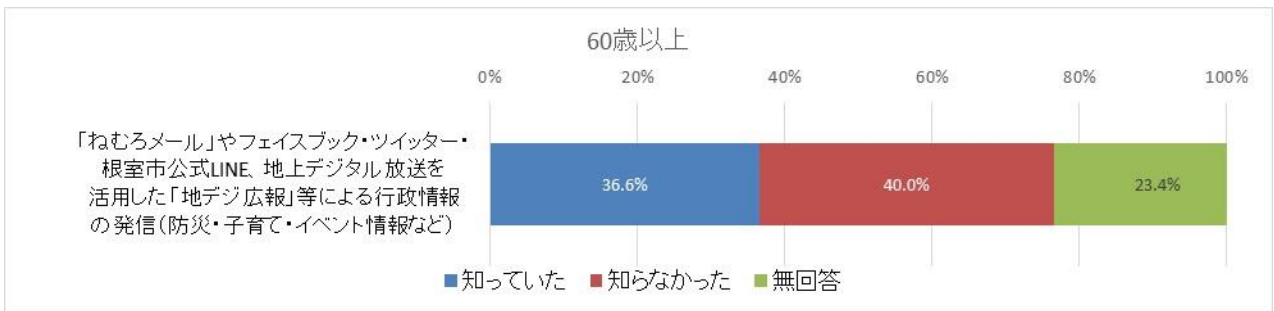
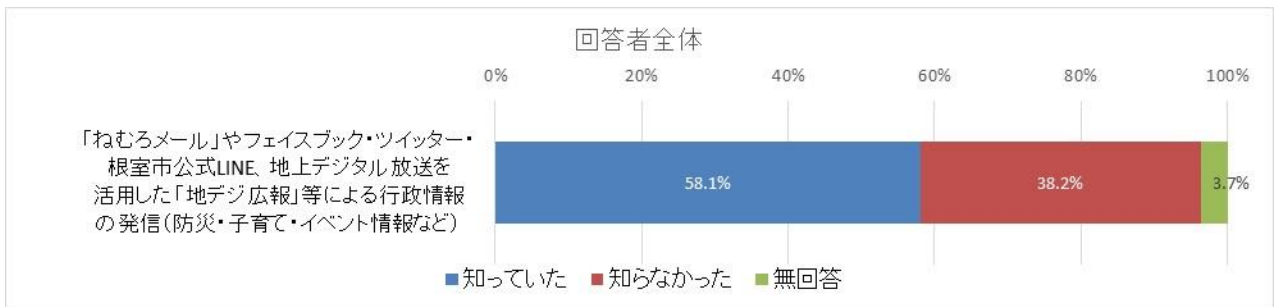
（1）施策の認知度

①市民全体

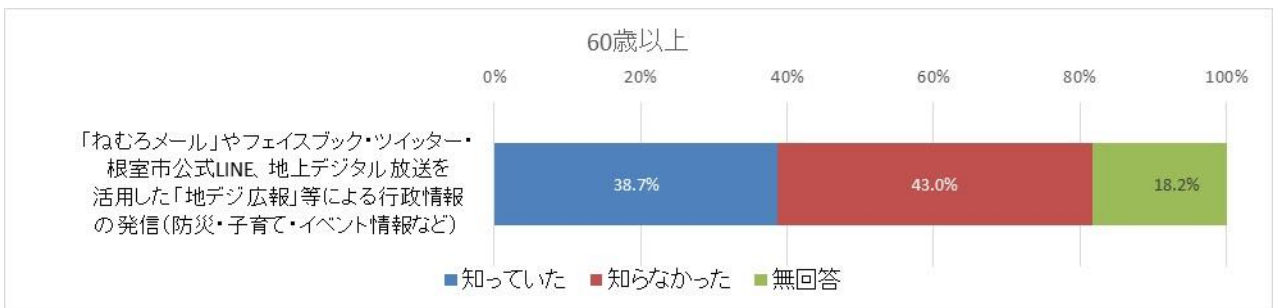
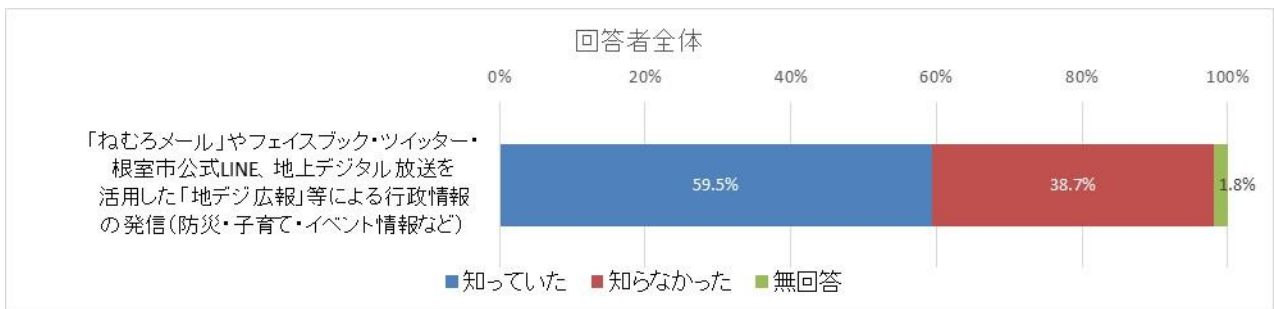
市で実施している情報の共有化に関する主要施策についての認知度をみると、58.1%となっている。昨年度の調査結果はやや下回ったものの、引き続き6割近い市民に認知されている。

60歳以上の市民についてみると、認知度は市民全体を大きく下回る36.6%にとどまっている。こうした状況は昨年度と同様である。

<令和5年度調査>



<令和4年度調査>

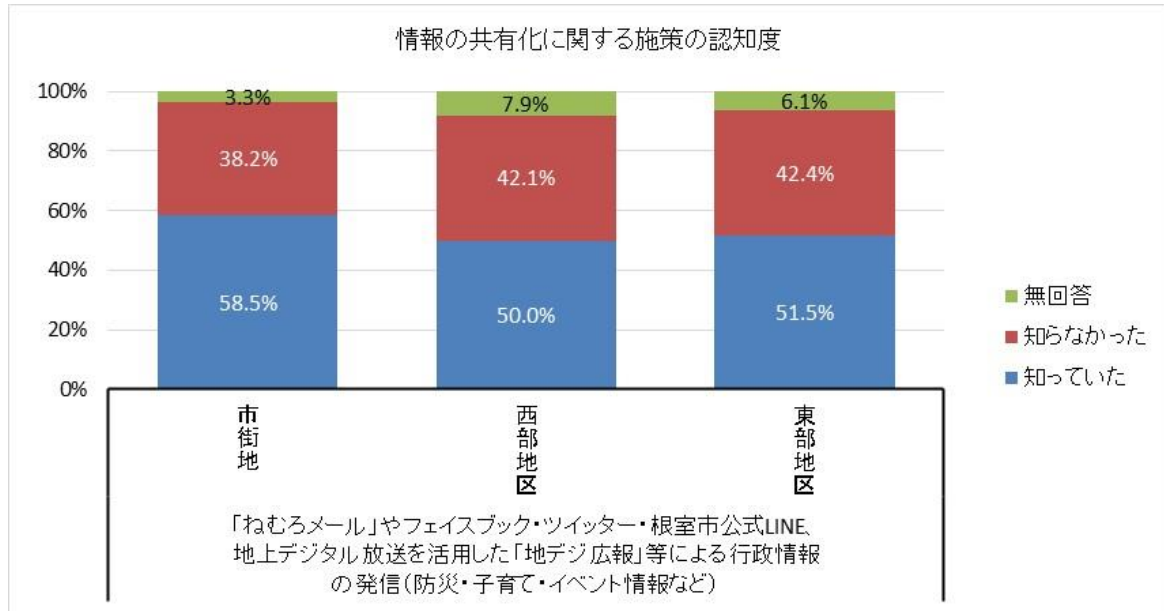


②地区別

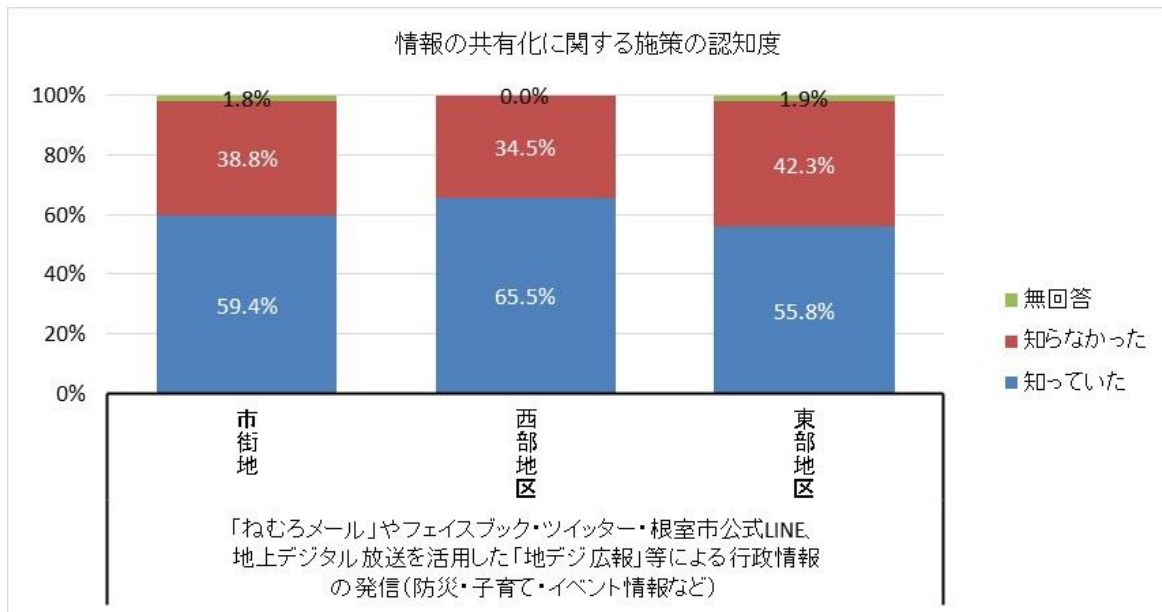
情報の共有化に関する施策についての認知度を地区別にみると、西部地区と東部地区の認知度が低くなっている。

昨年度調査の結果と比べると、いずれの地区も前年度調査を下回っており、特に西部地区の認知度が大きく低下している。

<令和5年度調査>



<令和4年度調査>



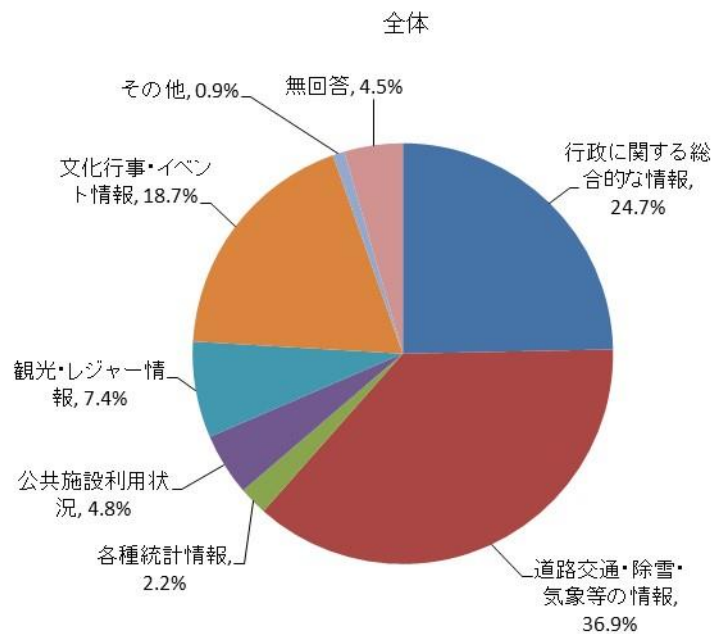
(2) 情報の共有化に関する施策について

①市民全体

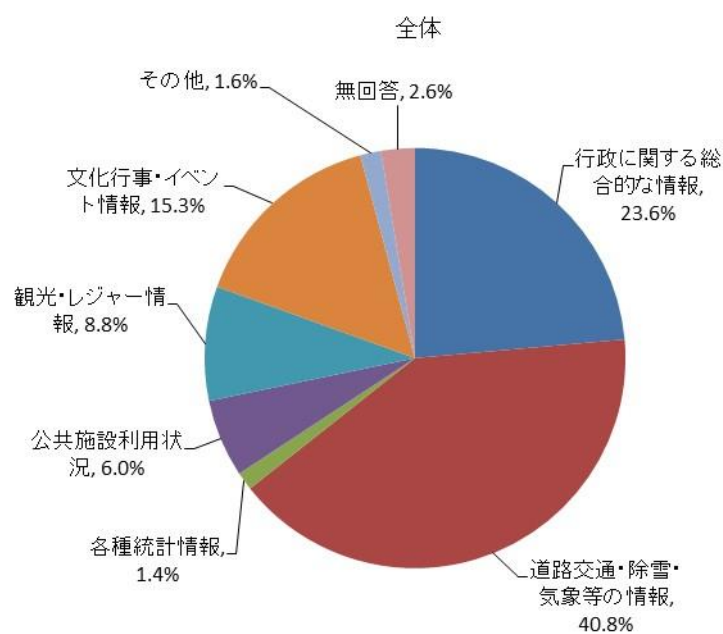
行政からの情報提供に対する要望を1つ回答してもらった結果をみると、「道路交通・除雪・気象等の情報」が36.9%と最も多く、次いで、「行政に関する総合的な情報」、「文化行事・イベント情報」と続いている。

これは昨年度とほぼ同様の結果となっている。

<令和5年度調査>

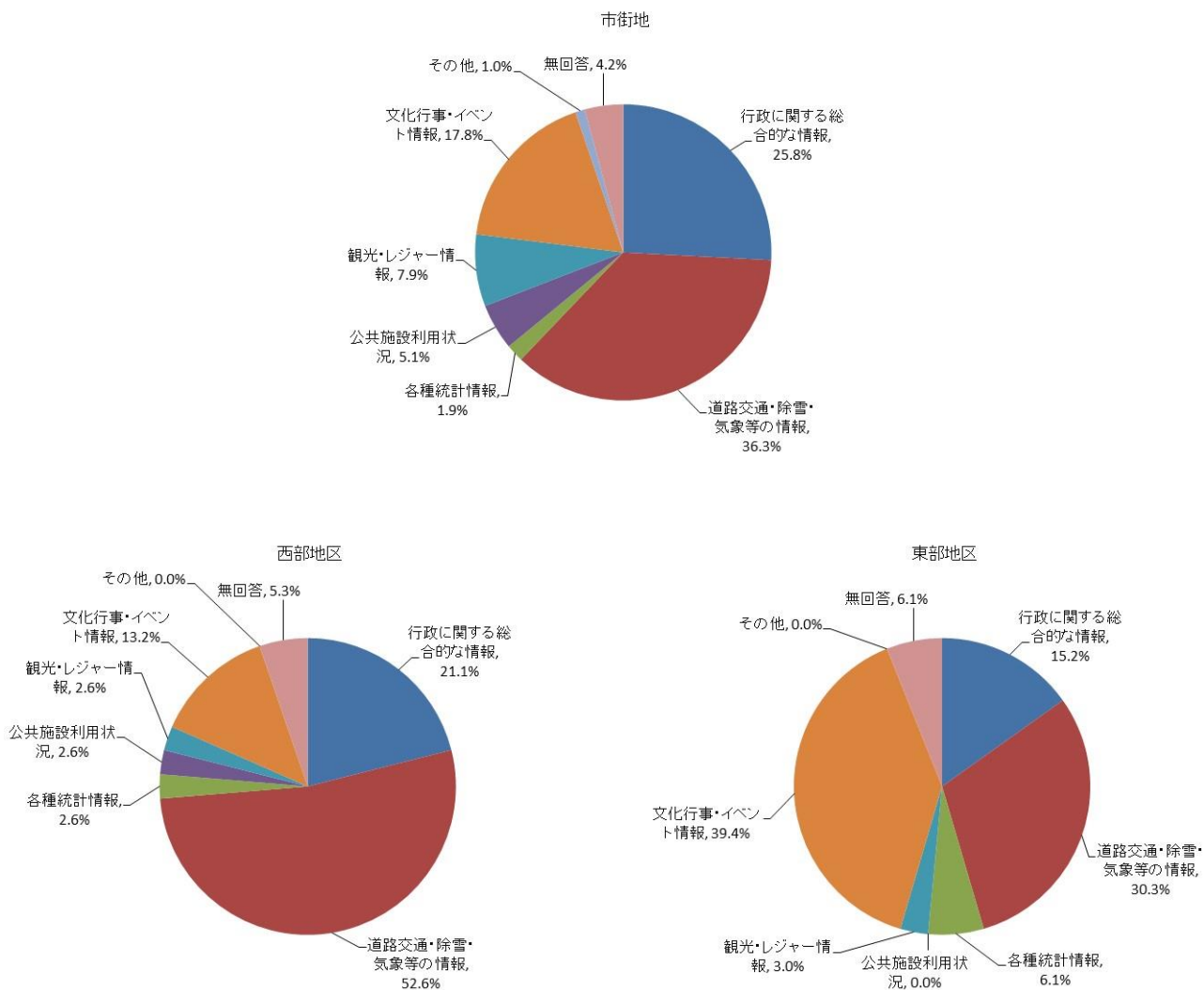


<令和4年度調査>



②地区別

地区別の状況を見ると、各地区とも「道路交通・除雪・気象等の情報」、「行政に関する総合的な情報」、「文化行事・イベント情報」が上位3項目となっている。ただし、その順位は地区によって異なっており、市街地と西部地区では「道路交通・除雪・気象等の情報」が最も多くなっている一方で、東部地区では「文化行事・イベント情報」が最も多くなっている。



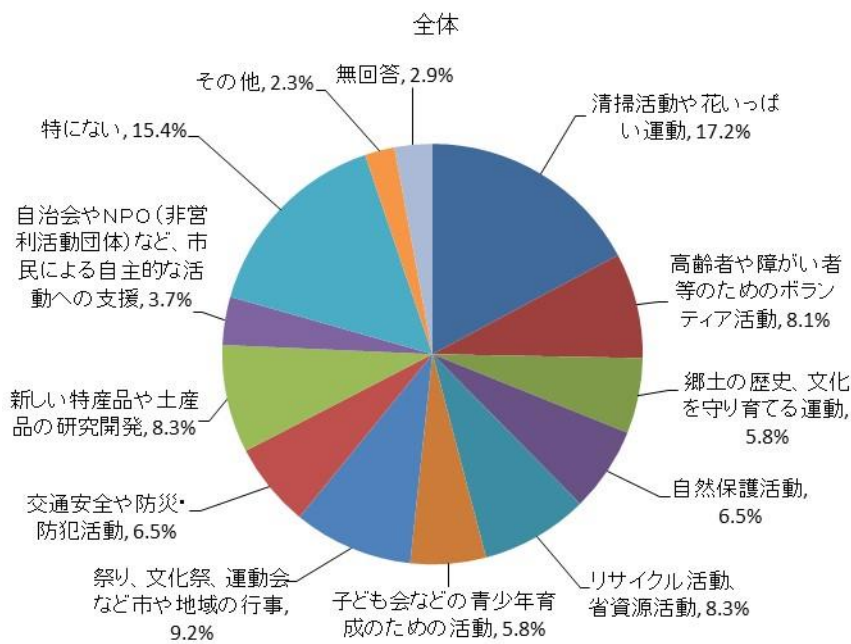
3. 16 市民協働について（「誰もが何か1つを受け持つ」とした場合に参加する活動）

（1）市民全体

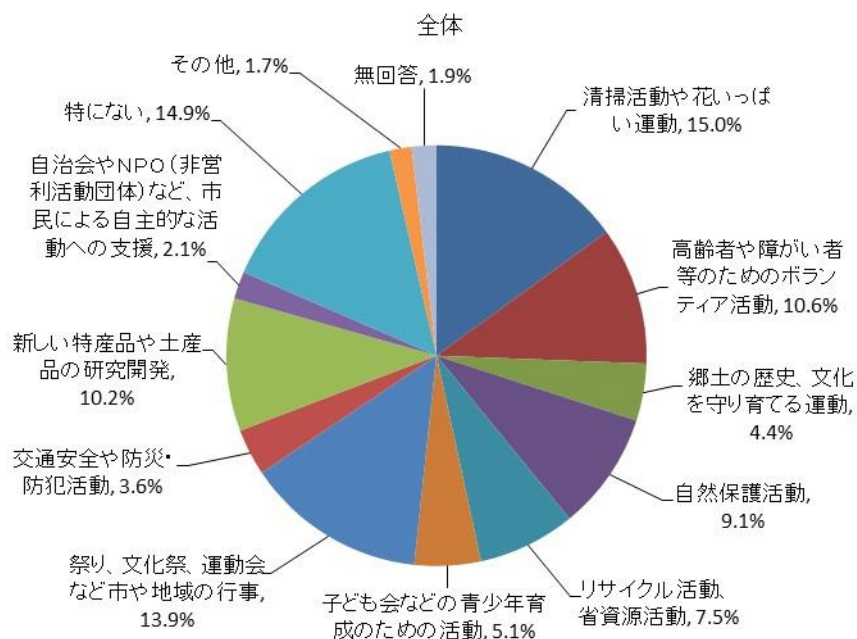
市民が自ら主体的にまちづくりの役割を担うとした場合に、参加する活動を1つ回答してもらった結果をみると、「清掃活動や花いっぱい運動」が17.2%と最も多く、次いで、「祭り、文化祭、運動会など市や地域の行事」、「リサイクル活動、省資源活動」、「新しい特産品や土産品の研究開発」、「高齢者や障がい者等のためのボランティア活動」の順となっていた。ただし、「特にない」とする回答も15.4%と多くみられた。

昨年度調査の結果と比べると、順位にやや変動がみられるが、上位2項目は同じであった。

<令和5年度調査>

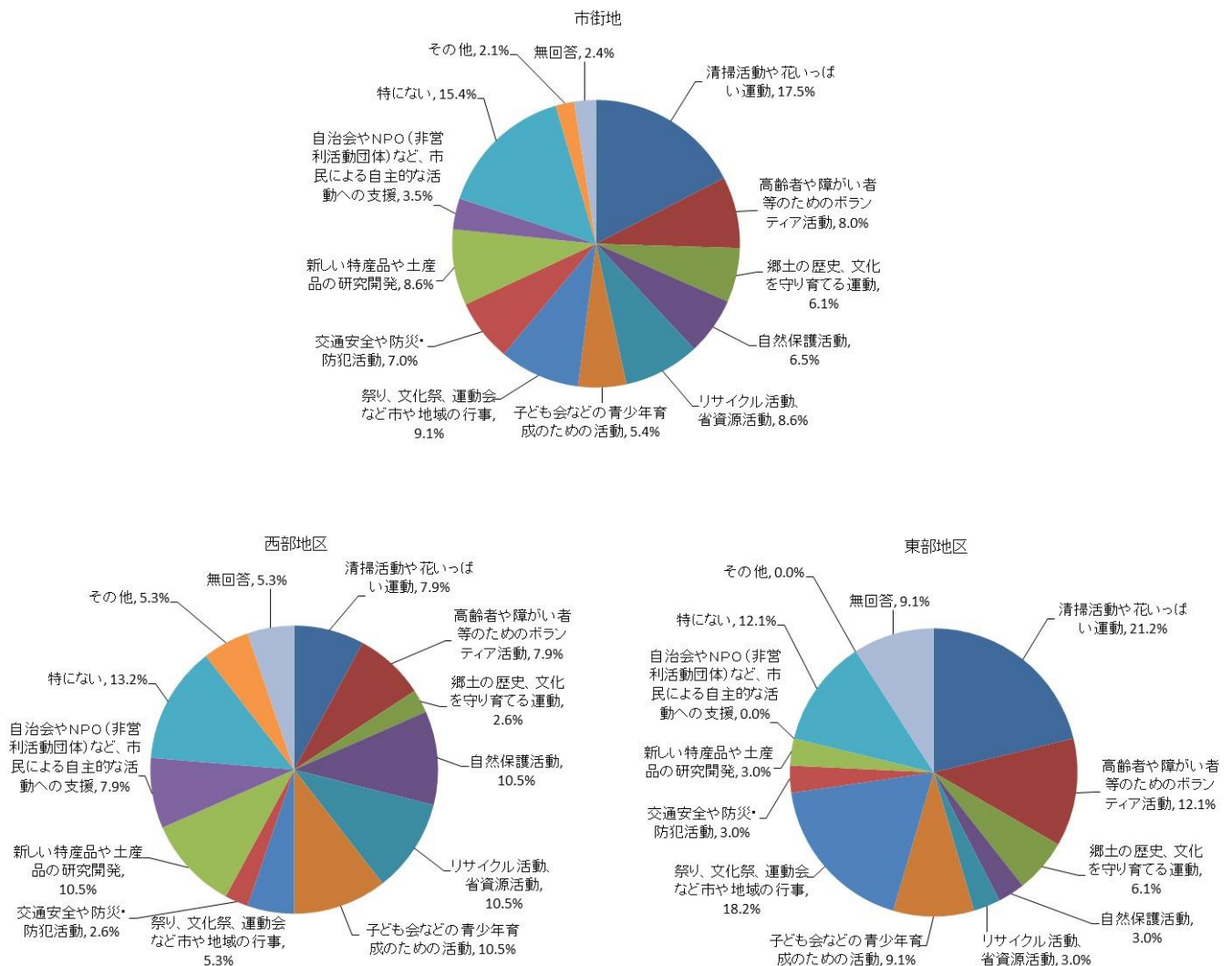


<令和4年度調査>



(2) 地区別

地区別の状況を見ると、市街地と東部地区では、「清掃活動や花いっぱい運動」が最も高く、次いで「祭り、文化祭、運動会など市や地域の行事」が続いている。また、東部地区では市街地よりも上位2項目に回答が集中する傾向がみられる。一方、西部地区では、回答が分散しており、「自然保護活動」、「リサイクル活動、省資源活動」、「子ども会などの青少年育成のための活動」、「新しい特産品や土産品の研究開発」の4項目が1位で並んでいる。

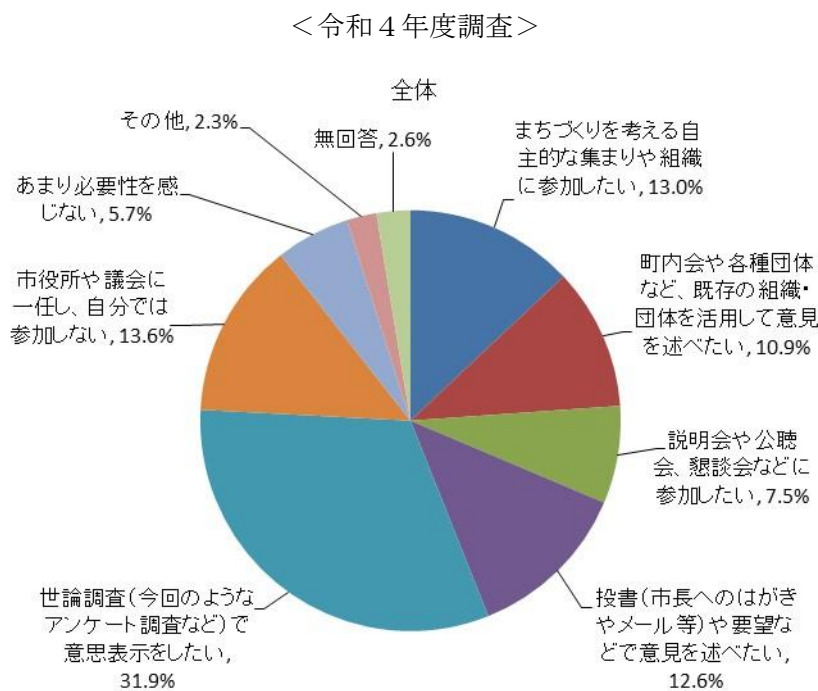
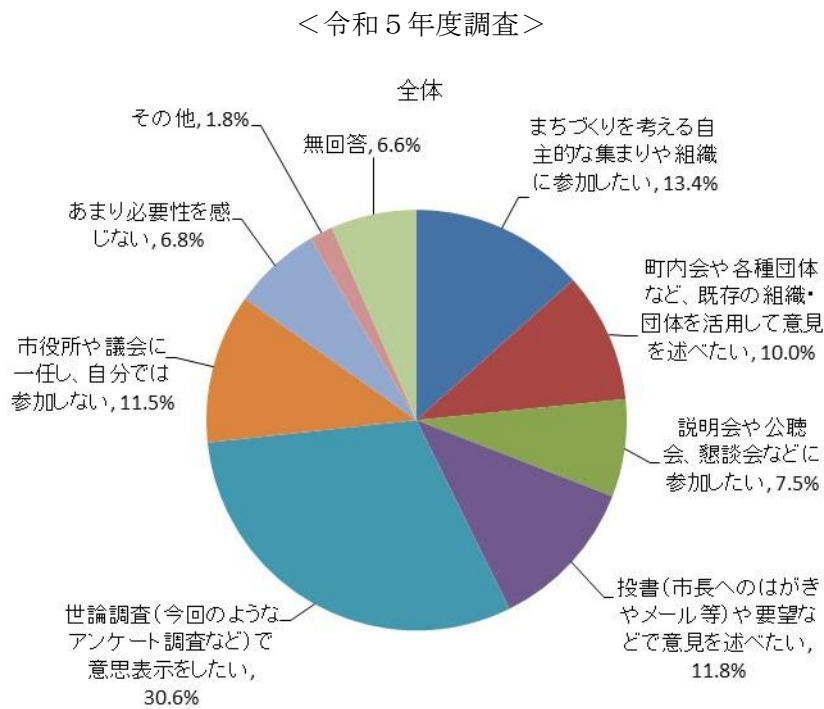


3. 17 市民参画の方法について（まちづくりのための市民参加の方法）

（1）市民全体

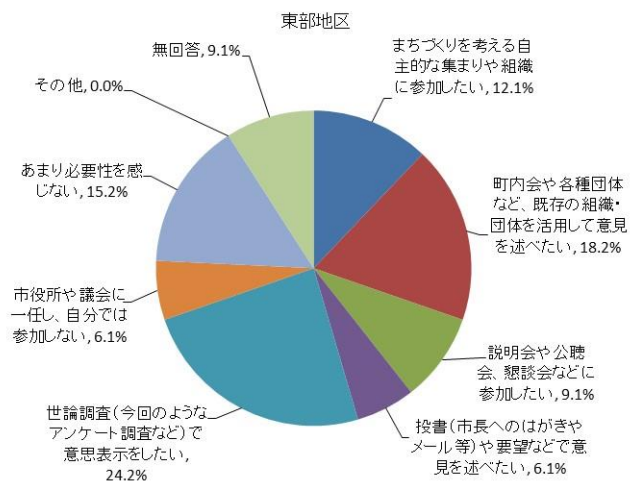
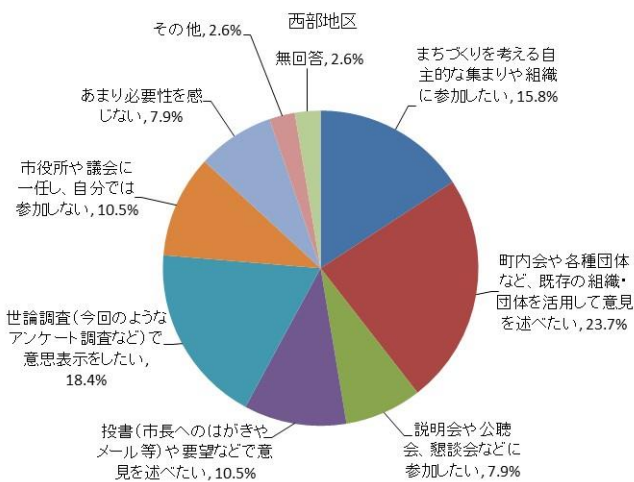
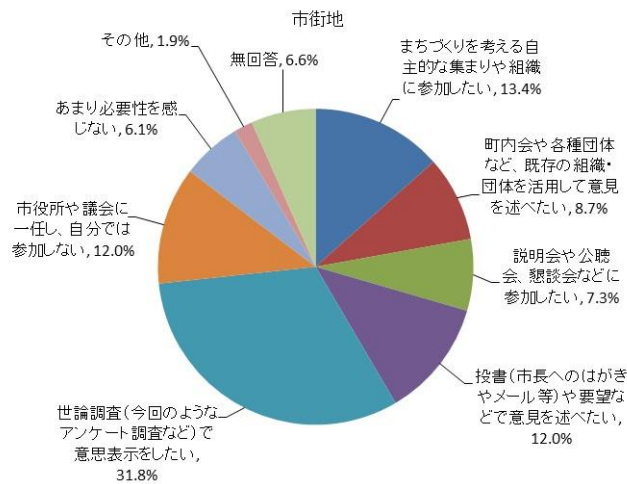
まちづくりへの参加方法を1つ回答してもらった結果をみると、「世論調査（今回のようなアンケート調査など）で意思表示をしたい」が30.6%と最も多く、次いで、「まちづくりを考える自主的な集まりや組織に参加したい」、「投書（市長へのはがきやメール等）や要望などで意見を述べたい」の順となっている。一方、「市役所や議会に一任し、自分では参加しない」とする回答も比較的多く、上位3項目に次ぐ回答割合がみられた。

これは昨年度とほぼ同様の結果となっている。



(2) 地区別

地区別の状況を見ると、いずれの地区においても「世論調査（今回のようなアンケート調査など）で意思表示をしたい」の回答割合が1位又は2位と高くなっているが、そのほかの項目については、地区によって順位がやや異なっている。市街地では、「世論調査（今回のようなアンケート調査など）で意思表示をしたい」の回答割合が30%を超えるなど、回答が集中する傾向がみられた。一方、西部地区と東部地区では「まちづくりを考える自主的な集まりや組織に参加したい」、「町内会や各種団体など、既存の組織・団体を活用して意見を述べたい」の回答割合が高くなる傾向がみられた。



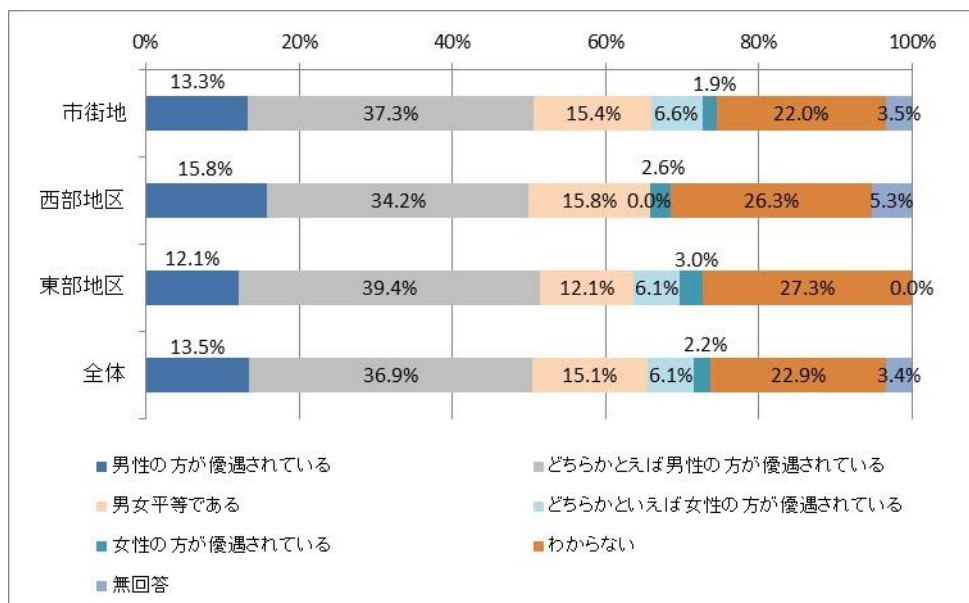
3. 18 男女共同参画について

生活全般を通しての男女平等については、市民全体では、「男性の方が優遇されている」「どちらかといえば男性の方が優遇されている」を合わせて 50.4%となっており、「男女平等である」は 15.1%と、男女平等意識が低い状況となっている。

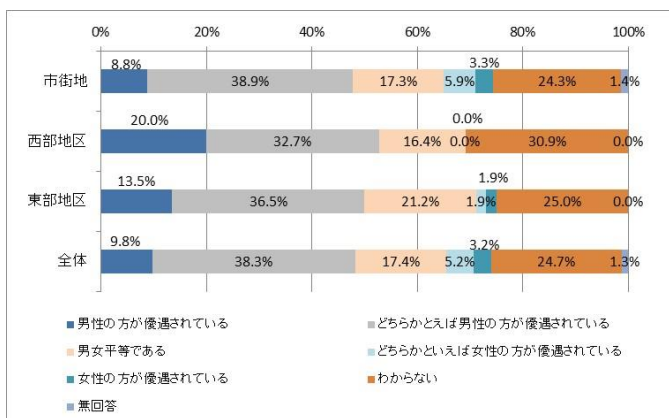
こうした男性の方が女性よりも優遇されていると考えている傾向は、各地区ともほぼ同様となっている。

昨年度調査と比べてもこうした傾向に変化はほとんどみられない。

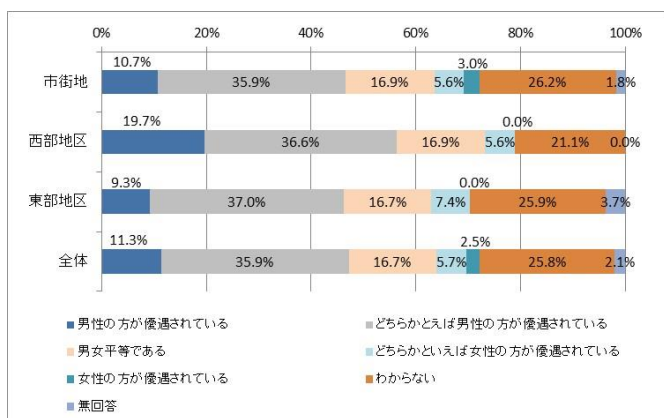
<令和5年度調査>



<令和4年度調査>



<令和3年度調査>



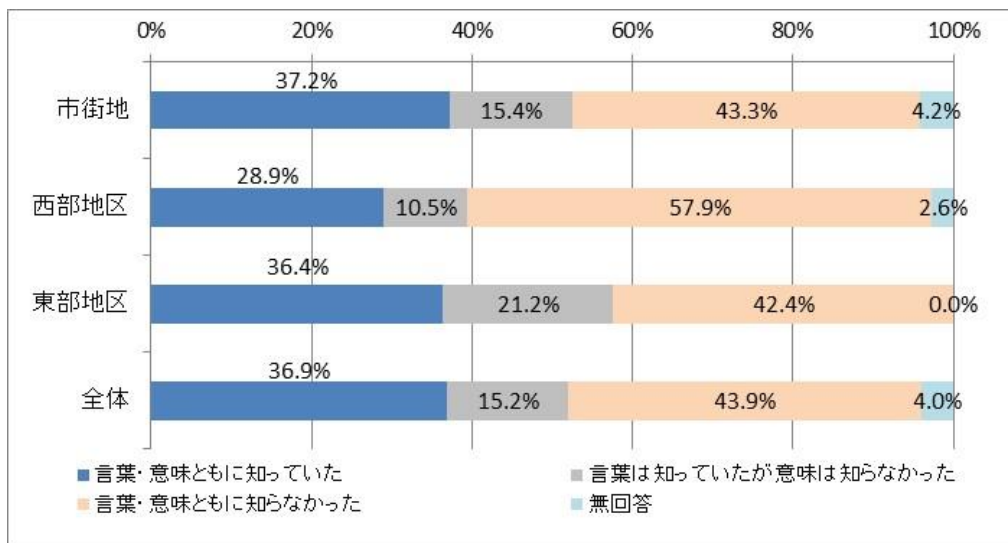
3. 19 「ワーク・ライフ・バランス」の認知度

「ワーク・ライフ・バランス」の認知度をみると、市民全体では「言葉・意味ともに知っていた」が36.9%、「言葉は知っていたが、意味は知らなかった」が15.2%となっており、言葉だけでも知っていたとする回答も含めると、認知度は52.1%となっている。

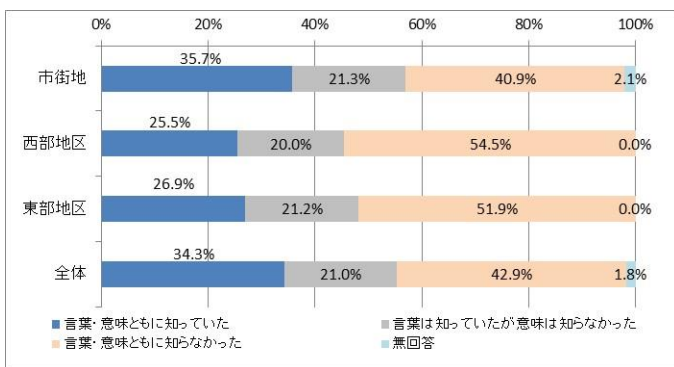
地区別にみると、西部地区での認知度が低くなっている。

昨年度調査の結果と比べると、認知度がやや低下しているものの、ここ数年、認知度は50%台で推移しており、余り大きな変化はみられていない。

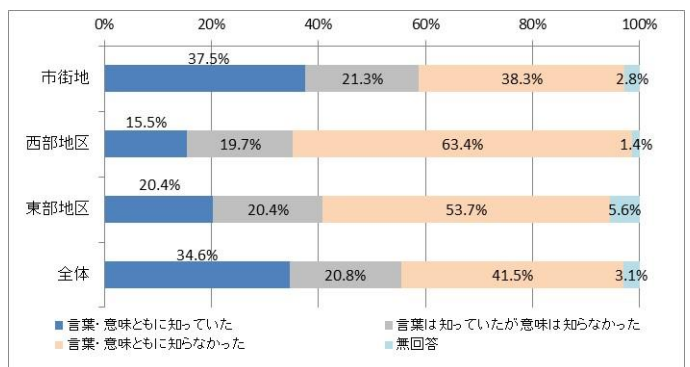
<令和5年度調査>



<令和4年度調査>



<令和3年度調査>



4. 市民意識調査結果のまとめ

本調査では、現行の第9期根室市総合計画（平成26年度策定）及び根室市創生総合戦略（平成27年度策定）の実施効果を評価するために設定した将来目標値またはKPIのうち、市民意識に関する指標を中心に、平成25年度に実施した市民意識調査との整合性を確保した項目を平成28年度以降の毎年調査において設定している。

また、平成30年度調査からは市政に対する認知度の項目を新たに設けている。これは、市政に対する認知度を把握するだけでなく、市政の周知も兼ねている。今回は6回目の調査となり、各種市政の周知効果の浸透度合いの増減評価が可能となっている。

本調査は、平成25年度に実施した市民意識調査実施時から8年経過時点の市民意識の結果であるが、その間にロシア200海里内サケマス流し網漁の禁止やサンマの不漁、令和2年からの新型コロナウイルス感染症の影響、さらには令和4年2月からのロシアによるウクライナ侵攻の影響等により、経済環境は大きく変化しており、市民の不安意識も増長されている状況が生じている。

そのような背景を踏まえ、本市民意識調査の結果を整理すると、概ね以下のとおりとなった。

<回収率>

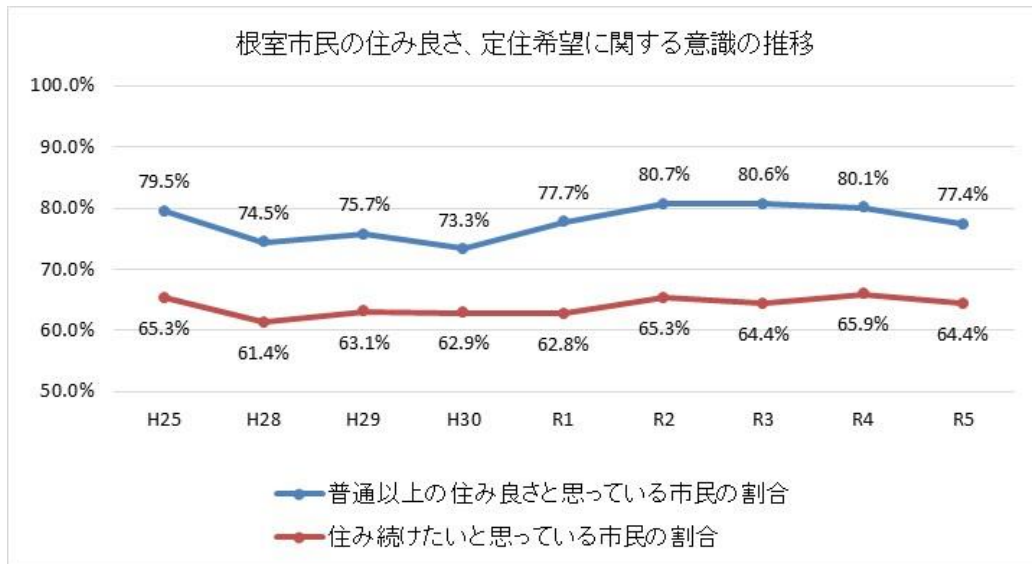
- ・本調査の有効回収率は21.5%であった。昨年度の25.6%を下回り、これまでの調査（概ね25～30%で推移）で最も低い回収率となった。
- ・この背景として、今年5月の新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴いコロナ禍で抑制されていた外出や旅行、出張等の行動が活発になり、自宅で過ごす時間が減っていること、調査が8回を数え、調査対象が一巡してしまっていることなどが影響していると考えられる。
- ・一方、これまでの調査結果でも明らかのように、市民の市政への参加方法として本調査のようなアンケート調査で意思を表示したいとの意向が高いこと、又本調査への回答を若い世代を含めた幅広い年齢層から回答いただけていることから、市民の市政に対する関心度合いは引き続き高い水準にあることがうかがえる。

<根室市のイメージについて>

- ・昨年からのロシアのウクライナ侵攻の影響に加えて、円安を背景にした物価及びエネルギー・資材価格の高騰もあって、根室市の基幹産業である漁業や水産加工業を取り巻く経済環境はますます深刻な状況となっている。令和2年度からの新型コロナウイルス感染症の影響は今年5月の5類移行をきっかけによりややく終息しつつあるものの、全体的に根室市の否定的なイメージは改善されていない。
- ・根室市のイメージとしては、これまでの結果と同様に「個性（特色）のあるまち」や「市民として誇りや郷土愛があるまち」をあげる住民が多くみられる一方で、「その他」の回答が最も多くなっている。
- ・この「その他」の記載内容を具体的にみると、「自然の豊かさ」「食べ物が美味しい」といったプラスイメージも一部みられたが、多くは「活気がない」「何もない」「寂しい」「暗い」「若い人が減っている」といったマイナスイメージであった。
- ・こうしたイメージに基づく、根室市での居住の満足度についてみると、満足とする回答は市民の4分の1程度となっており、これまでの調査結果と概ね同様の水準となっている。

<定住意識>

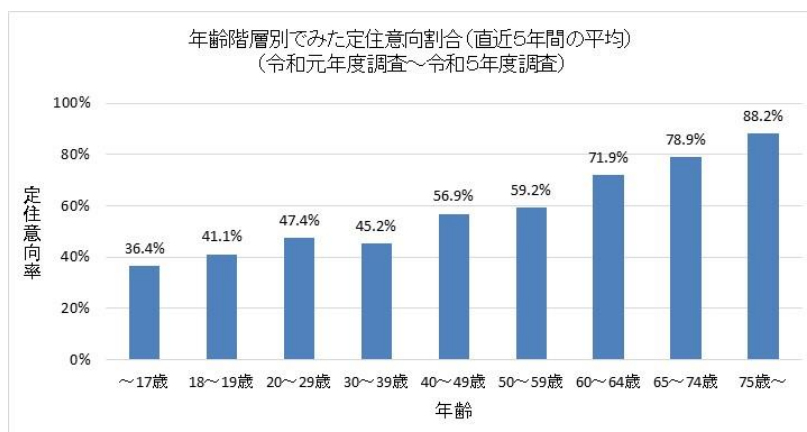
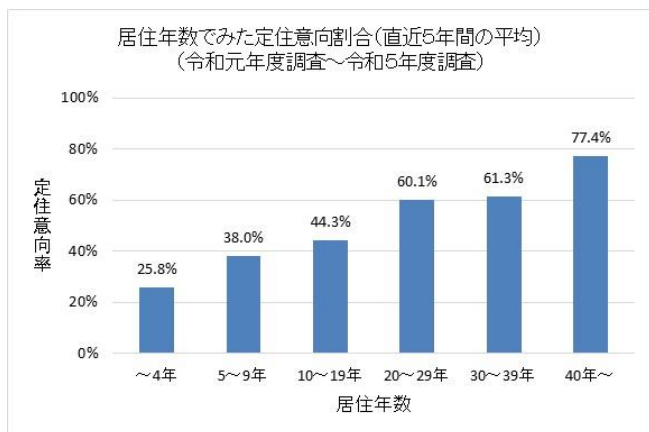
- ・市民の居住満足度及び定住意向についてみると、普通以上の住み良さと思っている市民の割合は、77.4%となっており、「ずっと住み続けたい」と「できれば住み続けたい」を合わせた「住み続けたい」という定住意向は64.4%となっている。いずれも昨年度調査を下回ったが、概ねこれまでの調査と同様の水準にある。



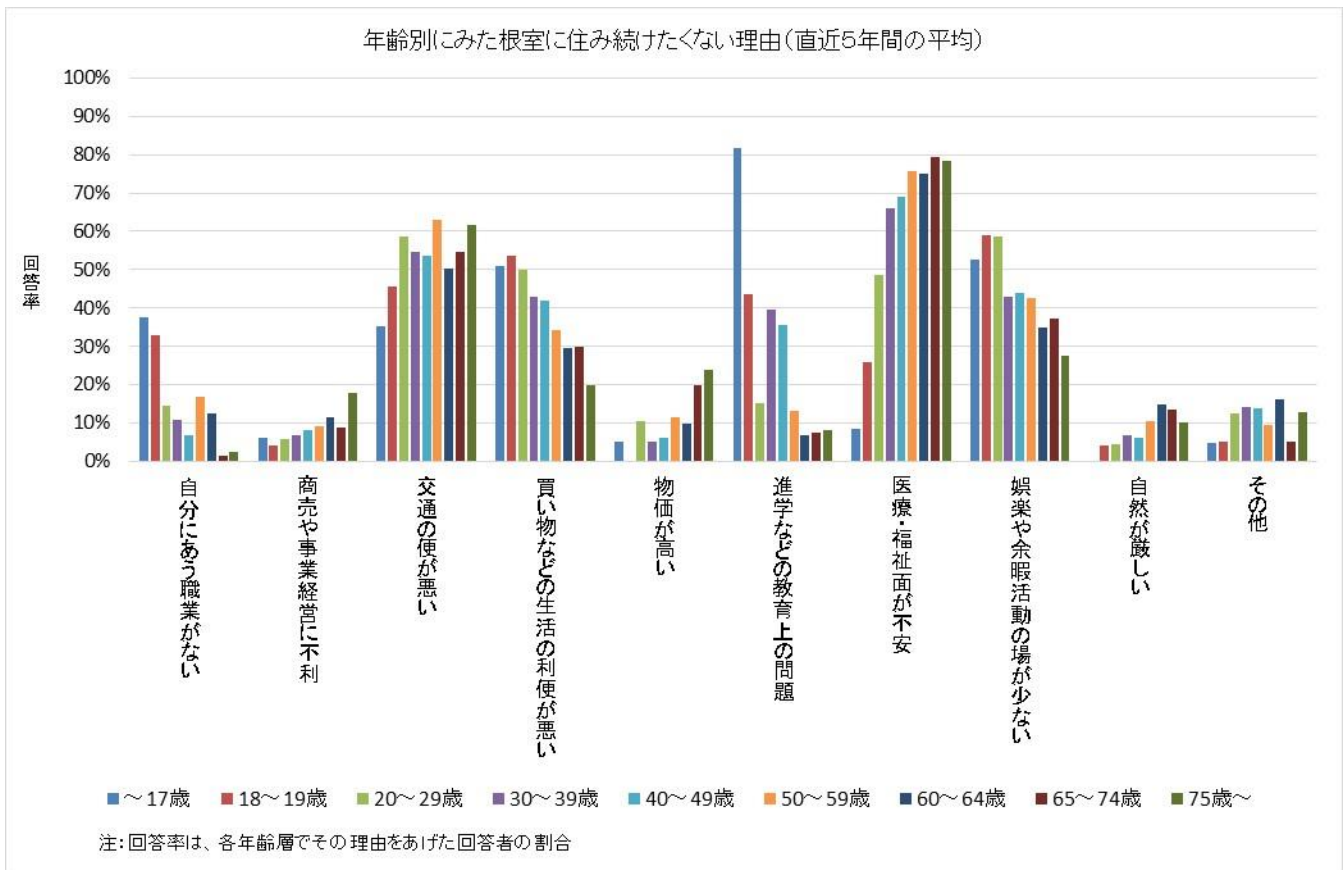
注：普通以上の住みやすさ：これまでの市民意識調査において、「とても住みよい」「住みよい」「普通」と回答した市民の割合

：住み続けたい：これまでの市民意識調査において、「ずっと住み続けたい」「できれば住み続けたい」と回答した市民の割合

- ・「住み続けたい」と考える市民は、居住年数が長いほど、また高齢者ほど割合が高くなる傾向がみられる。



- ・「住みたくない」とする市民の理由をみると、医療・福祉、交通の便、娯楽や余暇活動の場、買い物等の利便性に対する不満があげられている。これは、これまでの調査結果とほぼ同じ状況であり、市民の定住意識の促進に向けて、引き続き重要な課題であるといえる。



<保健医療支援・子育て支援・高齢者支援>

(保健医療支援)

- ・市民の健康管理意識は依然として高く、市民の70%以上が健康管理に努めていると回答している。健康のための運動意識もこれまでの調査結果とほぼ同様で、30分以上の運動を週に1度以上行っているとする市民の割合は50%を超えている。こうした健康管理意識や運動実施状況は、60歳以上の住民でさらに高くなっている。
- ・市立根室病院での分娩再開(平成29年4月)については、今年度で再開から7年目を迎えることもあり、昨年度と同様に60%以上の市民が知っているという回答している。特に20歳代~40歳代の子育て世代では70%程度が知っており、認知度が概ね定着している状況がうかがえる。
- ・ただし、医療環境全般でみると、総じて市民の評価は低く、満足あるいはやや満足とする市民は10%程度で、普通とする回答を含めると50%以下にとどまっている。これは、これまでと同様に、市内で受診できる診療科目が少ないこと、市立病院での分娩が経産婦のみ対象で初産への対応ができていないことなどのほか、市内の小児科医院が昨年廃業したことで小児科が市立病院のみとなったことへの不安感などが反映されたものと考えられる。

(少子化・子育て支援)

- ・少子化・子育て支援に関する市の施策に対する認知度は、こども医療費給付の高校生以下までの拡充、保育所等における給食費及び第3子目以降の保育料及び小中学校の給食費の無償化、出産祝金支給制度の創設といった経済的支援に関しては認知度が高くなっている一方で、人材確保対策に関する事業の認知度はそれほど高くない状況にあり、昨年度調査とほぼ同じような状況となっている。また、今年度調査から、調査項目に追加された、結婚新生活支援として住宅費用、引越し費用及び

新生活準備費用について最大 100 万円を助成する取り組みについては、今年 4 月から始まったばかりの施策であることもあって、認知度はまだ 30%台にとどまっている。

- ・これらの施策の認知度は、20 歳代～40 歳代の子育て世代でより高くなる傾向にあり、周知PRの成果がうかがえる。
- ・今後の子育てに関する支援策については、引き続き経済的負担の軽減を望む意見が多くなっている。新型コロナウイルス感染症の影響は徐々に収まりつつあるものの、ロシアによるウクライナ侵攻・円安等を背景に物価の高騰が続いていることが要因とみられる。一方、子どもがのびのびと遊べる施設に対する要望は、以前は要望が多かったものの、令和 3 年 12 月に子ども向け屋内遊戯施設「ふるさと遊びの広場」（愛称：わんぱーく）がオープンしたこともあって要望が減っており、昨年度調査と同様の水準となっている。

（高齢者支援）

- ・高齢者のための施設や支援制度に対する満足度は、いずれも例年と同様に、満足とする回答が 10% 未満にとどまっており、不満とする回答（25～30%程度）を大きく下回っている。
- ・市が実施している高齢者支援策の認知度について、高齢者見守りボランティア事業の認知度が比較的高い一方で、緊急通報サービス事業や人材育成事業の認知度が低いという状況は、昨年度までの調査の結果とほぼ同様であった。ただし、いずれの事業も認知度が徐々に向上する傾向がみられている。
- ・高齢者支援策としては、昨年度までの調査結果と同様、寝たきりの高齢者や一人暮らし高齢者への在宅福祉の充実、介護付き高齢者専用住宅の充実を望む意見が多い。

＜交通・生活環境・防災・減災＞

（交通）

- ・市民の交通インフラに対する満足度は決して高くないが、道路交通に関しては 70%以上が、公共交通機関に関しては 50%以上が「普通」以上の満足度となっている。ただし、道路交通の満足度については、昨年度までの調査結果と大きな変化はみられないものの、公共交通機関の満足度については、昨年度までの調査結果よりもやや低下しており、不満意識がやや高まっている状況がうかがえる。
- ・交通に関する施策に対する市民の認知度は、JR 花咲線の存続が課題となっている現状を背景として、JR 花咲線の維持確保対策に対する認知度が比較的高くなっている。ただし、これまでの調査と比べるとやや認知度が低くなっている。一方、市内乗合バスや中標津空港連絡バス等への財政支援の認知度は 40%台となっており、これまでの調査とほぼ同様の結果であった。街路灯 LED 化に関する事業の認知度は 30%台にとどまっており、昨年度までの 40%台を下回った。街路灯に関しては、暗い道路の解消の観点から、市民からの要望が多い施策ではあるものの、調査項目に加わったのが令和 3 年度からということもあり、認知度はまだ高くない状況にある。なお、今年度調査から、調査項目に加わった 18 歳以下の市民の市内路線バス利用料無償化の取り組みについては、今年 4 月から始まったばかりの施策であることもあって、認知度はまだ 30%台前半にとどまっている。
- ・交通施策に対する要望としては、昨年度までの調査の結果と同様に、「除雪やロードヒーティングなどの冬期対策の充実」に対する要望が最も多く、「高規格道路や国道などの広域幹線道路網の整備」「身近な生活道路の整備」「バス便の確保」に対する要望も引き続き多くみられている。

（生活環境・防災・減災）

- ・生活環境に対する市民の満足度は、身近な自然、上下水道、公園や広場とも、概ね 80%以上が普通以上と回答しており、これまでの調査と同様の結果となっている。
- ・しかしながら、買い物の利便性に関しては、普通以上とする回答が 60%を超えてはいるものの、これまでの調査結果と同様に、不満とする住民の割合が、満足とする住民の割合を大きく上回っている。
- ・今後の生活環境に関する施策については、「美しい景観（まちなみ）の創出」「公園や緑地、遊び場、憩いの場などの整備」の 2 項目に対する要望が多くなっている。こうした傾向は、これまでの調査の結果とほぼ同様であるが、今年度調査で初めて「美しい景観（まちなみ）の創出」の順位が 1 位になっている。
- ・防災・減災に関する施策についても、これまでの調査結果とほぼ同様の結果となっており、「食料・水・日常生活用品の備蓄」がほぼ半数を占め、次いで、「災害時の情報連絡手段の整備」、「指定避難場所など防災拠点の整備」が重要施策としてあげられている。

<教育・スポーツ・文化>

（教育）

- ・教育施設や教育環境に対する満足度は、例年と同様に、満足とする回答が 10%程度にとどまっており、不満とする回答（20～25%程度）を下回っている。
- ・学校教育に関する施策に対する市民の認知度は、「高校生への 1 人 1 台ノート PC の貸与」「ふるさと給食事業」に対する認知度が高い一方で、補助教員を配置する「学力向上対策事業」の認知度が低くなっている。なお、「ふるさと給食事業」については、昨年度調査において認知度が大きく低下したものの、今年度調査では令和 3 年度調査並みの水準まで認知度が回復している。同事業は平成 29 年度から始まった事業であり、当初は 30%台の認知度にとどまっていたが、子育て世代を中心に徐々に認知度が高まっている状況がうかがえる。
- ・学校教育の充実に向けて、今後に望む施策としては、これまでの調査結果とほぼ同様に、「社会生活のルールや命の大切さを理解させる心の教育の充実」「生きる力を育てる総合的な学習の充実」「個性や才能を伸ばす教育の充実」が上位にあげられている。
- ・社会教育に関して今後に望む施策としては、「青少年の健全育成」「放課後教室・児童会館・児童教室などの充実」「生涯学習教育の指導者育成」が上位にあげられており、昨年度までの調査結果と同様の結果となっている。

（スポーツ・文化）

- ・スポーツ施設の状況に対する市民の満足度は、例年と同様に、満足とする回答が 10%程度にとどまっており、不満とする回答（30～40%程度）を下回っている。
- ・スポーツ・文化に関して望む施策は、「スポーツ・レクリエーション施設の整備」「音楽会・講演等の開催」「芸術・文化の振興」「文化財や史跡の保護・伝承」が上位にあげられており、昨年度までの調査結果とほぼ同様の結果である。

<産業>

- ・近年の根室市の産業経済は、さんま、さけの不漁が続いていることで、依然として厳しい状況下にある。特に漁業においては、これまでもロシアとの漁業協力関係の影響を大きく受けている中で、

令和4年2月に始まったロシアのウクライナ侵攻に対する欧米・日本等の経済制裁へのロシアからの反発の影響も加わり、さらに厳しい状況となっている。

- ・こうした経済状況下において、市民の産業経済に対する関心は生活環境や教育などの他の施策よりも総じて高くなっている。根室市で実施している産業振興に関する施策の認知度をみると、特に「漁業の振興」に関する施策の認知度が高くなっている。
- ・今後に望む産業施策としては、これまでの調査と同様に「水産業基盤及び生産体制の整備」が最も高くなっているほか、「魅力ある商店街づくり」「企業誘致による雇用の場の確保」「農林水産物など地域の資源を活用した加工業の育成」「後継者の育成・確保」が上位にあげられている。

<行政情報・市民協働・市民参画>

- ・市で実施している行政情報に関する施策として、『ねむろメール』やフェイスブック、ツイッター、根室市公式 LINE 等による行政情報の発信」の認知度をみると、昨年度調査と同様に 60%近い認知度となっている。60歳以上の市民についても認知度が 40%近い高さとなっている。
- ・市民が行政からの提供を望む情報としては、これまでの調査結果と同様に、「道路交通・除雪・気象等の情報」「行政に関する総合的な情報」「文化行事・イベント情報」を望む意見が多くなっている。
- ・市民が自ら主体的にまちづくりの役割を担うとした場合に参加する活動を訪ねた設問については、「清掃活動や花いっぱい運動」「祭り、文化祭、運動会など市や地域の行事」が上位となっているが、「特になし」との回答もこれまでの調査結果と同様に多くなっている。
- ・まちづくりへの参加方法については、「世論調査（今回のようなアンケート調査など）で意思表示をしたい」「まちづくりを考える自主的な集まりや組織に参加したい」「投書（市長へのはがきやメール等）や要望などで意見を述べたい」が上位にあげられており、これまでの調査結果とほぼ同様の結果となっている。
- ・男女平等に関する意識については、男女平等であると考えている回答が 15.1%と例年とほぼ同じ水準となっており、依然として男性が有利との認識が 50%程度を占める状況が続いている。
- ・ワーク・ライフ・バランスの認知度については、言葉だけでも知っていたとする回答も含めると、認知度は 52.1%となっており、例年とほぼ同じ水準で推移している。

5. 総合計画における成果目標及び総合戦略におけるKPIの動向

現行の第9期根室市総合計画及び根室市創生総合戦略の将来目標値のうち、市民意識に関する指標について、その達成状況を以下に整理する。

なお、令和3年6月に策定された第2期根室市創生総合戦略において、第1期総合戦略の目標値やKPIをそのまま継続することが決められたほか、市民意識に関する重要業績評価指標（KPI）として市民意識調査におけるアンケート回収率が新たに加えられることになった。

ただし、総合計画で示される目標値の中には、今回の調査と同様の手法で実施した前回の市民意識調査のほかに、平成23年度に実施された「根室市高齢者実態把握調査」、平成26年度に実施された「根室市健康づくりのためのアンケート」、「子ども・子育て支援アンケート」の結果も用いられており、調査対象者数の違いなどから、直接的に比較することが困難な指標もある。

また、市民意識そのものには、「あいまいさ」という不安定要因が含まれていることから、今回の調査結果だけで判断するのではなく、継続的に調査を実施し傾向を把握することで、より適切な評価が可能になることに留意する必要がある。

本モニタリング調査は、平成28年度調査を第1回目調査として実施し、今年度が8年目の調査となることから、今年度調査の結果に関して、第9期根室市総合計画及び根室市創生総合戦略の将来目標値策定年度との比較に加えて、5年目調査である令和2年度調査との比較を行っている。

<上昇指標>

- ・総合計画及び総合戦略策定時の基準となった指標値から今年度調査で上昇が確認された指標は以下のとおりである。

【令和5年度調査において上昇が確認された指標】

- ・ **健康管理に努めている市民の割合**
 - ・ 子育ての環境や支援に満足している保護者の割合
 - ・ 乳幼児や子どものための福祉施設の状況に満足している市民の割合
 - ・ 趣味や生きがいを持っていると感じる高齢者の割合（60歳以上）
- ・ **健康管理に努めている市民の割合（60歳以上）**
 - ・ 上水道の整備状況におおむね満足している市民の割合
 - ・ 下水道の整備状況におおむね満足している市民の割合
 - ・ 公園等の利用しやすさに満足している市民の割合
 - ・ 市内幹線道路の整備状況におおむね満足している市民の割合
- ・ **教育施設や教育環境におおむね満足している市民の割合**
- ・ **スポーツ施設の状況におおむね満足している市民の割合**
- ・ **週1回以上スポーツ（運動）をする市民の割合**

注：太字はすでに総合計画及び総合戦略の目標を達成している指標を示す。

- ・総合計画及び総合戦略における市民意識に関する 22 個の指標のうち、令和 5 年度においてすでに目標を達成した指標は 7 個、目標を達成した指標を含め、計画策定時の指標を上回っている指標は上記に示した 12 個であった。
- ・すでに総合計画及び総合戦略の目標を達成している指標は、主として健康関連や生活インフラ関連の満足度に関するものである。
- ・そのほか、目標は達成していないが、評価が向上している項目としては、乳幼児や子どものための福祉施設の状況、子育てのための環境や支援などがあげられる。これは、給食費・保育費・医療費の無料化等の経済支援の実施、「子ども向け屋内遊戯施設『ふるさと遊びの広場』」のオープンなどにより、子育て世代を中心に市民の満足度が徐々に向上しているためと考えられる。

<減少指標>

- ・総合計画及び総合戦略策定時の基準となった指標値から今回低下（1 ポイント以上）が確認された指標は以下のとおりである。

【今回低下（1 ポイント以上）が確認された指標】

- ・健康状態が良好と感じている市民の割合
- ・病院などの医療機関の状況に満足している市民の割合
- ・町会行事や地域イベントなどに参加している高齢者の割合（60 歳以上）
- ・高齢者のための福祉施策に満足している高齢者の割合（65 歳以上）
- ・住んでいる地域の緑の豊かさに満足している市民の割合
- ・公共交通機関の便利さに満足している市民の割合
- ・郊外の森林景観について満足している市民の割合
- ・日常の買い物の便利さに満足している市民の割合
- ・まちづくりへ参加したいと思う市民の割合

- ・総合計画及び総合戦略における市民意識に関する 22 個の指標のうち、計画策定時の指標を下回っている項目は、上記に示した 9 個となっている。
- ・評価指標が計画策定時から低下している項目は、医療機関に関する項目が新たに加わったほかは、昨年度調査の結果と同様となっている。特に、医療機関、高齢者福祉、公共交通の利便性、買い物の利便性といった項目に関しては、これまでの調査と同様に複数の設問に対する回答からも市民の不満足意識が確認されていることから、より一層の重点的な対応が求められている分野と考えられる。
- ・ただし、計画策定時の指標値については、本調査で実施した市民意識調査以外の調査結果の値も含まれていることに留意する必要がある。

<令和2年度調査との比較>

- ・第1期根室市創生総合戦略が策定されてから5年目で、かつ総合計画の計画期間のほぼ中間年である令和2年度の調査結果（5回目の市民意識調査）と比較すると、新たに評価が向上した項目が3項目、評価が低下した項目が4項目あった。
- ・特に、令和3年度にオープンした愛称わんぱーくに対する評価や、給食費、医療費等の子育て支援に関する新規事業が相次ぎ実施されている子育て関連に関する評価は、自由回答においても確認されている。
- ・一方で、医療機関に対する評価は、令和5年4月の市立根室病院の病床数縮小もあって引き続き低くなっている。また、森林景観に対する評価も引き続き低く、アンケートの自由回答からは太陽光発電や風力発電施設等による景観への懸念がうかがえる。

令和2年度調査（5年目調査）結果との比較

	指 標
令和2年度調査結果より低下した指標	<ul style="list-style-type: none"> ・健康状態が良好と感じている市民の割合 ・病院などの医療機関の状況に満足している市民の割合 ・町会行事や地域イベントなどに参加している高齢者の割合（60歳以上） ・高齢者のための福祉施策に満足している高齢者の割合（65歳以上） ・上水道の整備におおむね満足している市民の割合 ・市内幹線道路の整備状況におおむね満足している市民の割合 ・教育施設や教育環境におおむね満足している市民の割合 ・スポーツ施設の状況におおむね満足している市民の割合 ・郊外の森林景観について満足している市民の割合 ・北方四島との交流拠点としての社会資本が充実していると思う市民の割合
令和2年度調査結果より上昇した指標	<ul style="list-style-type: none"> ・健康管理に努めている市民の割合 ・子育ての環境や支援に満足している保護者の割合 ・乳幼児や子どものための福祉施設の状況に満足している市民の割合 ・趣味や生きがいを持っていると感じる高齢者の割合（60歳以上） ・健康管理に努めている市民の割合（60歳以上） ・下水道の整備におおむね満足している市民の割合 ・公園等の利用しやすさに満足している市民の割合 ・住んでいる地域の緑の豊かさに満足している市民の割合 ・公共交通機関の便利さに満足している市民の割合 ・週1回以上スポーツ（運動）をする市民の割合 ・日常の買い物の便利さに満足している市民の割合 ・まちづくりへ参加したいと思う市民の割合

注：太字は、昨年度調査から入れ替わった項目

現行総合計画及び総合戦略における市民意識に関する指標の増減傾向

指標もしくはKPI	総合計画	総合戦略	目標値 (R6)	計画策定時の値		H28調査	増減	R02調査	増減	R05調査	計画時からの増減	R02からの増減
				調査年	値							
1	健康状態が良好と感じている市民の割合	○	45.0%	H26	39.8%	39.3%	▽	38.0%	▼	35.5%	▼	▼
2	健康管理に努めている市民の割合	○	66.0%	H26	66.0%	70.5%	△	72.4%	△	76.0%	△	△
3	病院などの医療機関の状況に満足している市民の割合	○	35.0%	H25	10.3%	6.0%	▼	10.6%	△	8.9%	▼	▼
4	子育ての環境や支援に満足している保護者の割合	○	30.0%	H25	7.7%	6.3% (注2)	▼	10.0% (注2)	△	17.4% (注2)	△	△
5	乳幼児や子どものための福祉施設の状況に満足している市民の割合	○	30.0%	H25	5.7%	4.0%	▼	10.3%	△	13.8%	△	△
6	趣味や生きがいを持っていると感じる高齢者の割合 (60歳以上)	○	65.0%	H26	61.1%	67.1%	△	56.9%	▼	62.8%	△	△
7	町会行事や地域イベントなどに参加している高齢者の割合 (60歳以上)	○	55.0%	H26	52.9%	52.7%	▽	48.2%	▼	44.9%	▼	▼
8	高齢者のための福祉施策に満足している高齢者の割合 (65歳以上)	○	30.0%	H23	21.9%	8.0% (注3)	▼	9.5% (注3)	▼	8.2% (注3)	▼	▼
9	健康管理に努めている市民の割合 (60歳以上)	○	75.0%	H26	69.6%	85.6%	△	82.4%	△	82.5%	△	△
10	上水道の整備状況におおむね満足している市民の割合	○	88.0%	H25	85.1%	84.0%	▼	88.2%	△	87.7%	△	▽
11	下水道の整備状況におおむね満足している市民の割合	○	83.6%	H25	78.0%	79.3%	△	85.7%	△	86.0%	△	△
12	公園等の利用しやすさに満足している市民の割合	○	44.4%	H25	20.0%	18.0%	▼	20.6%	△	22.7%	△	△
13	住んでいる地域の緑の豊かさに満足している市民の割合	○	59.7%	H25	36.4%	38.4%	△	27.5%	▼	28.9%	▼	△
14	公共交通機関の便利さに満足している市民の割合	○	28.0%	H25	9.5%	4.5%	▼	6.3%	▼	7.1%	▼	△
15	市内幹線道路の整備状況におおむね満足している市民の割合	○	74.1%	H25	62.6%	55.6%	▼	76.7%	△	71.9%	△	▼
16	教育施設や教育環境におおむね満足している市民の割合	○	60.0%	H25	48.5%	46.4%	▼	71.0%	△	70.5%	△	▼
17	スポーツ施設の状況におおむね満足している市民の割合	○	60.0%	H25	48.6%	39.8%	▼	63.4%	△	58.4%	△	▼
18	週1回以上スポーツ(運動)をする市民の割合	○	45.0%	H26	36.0%	55.4%	△	51.7%	△	56.2%	△	△
19	郊外の森林景観について満足している市民の割合	○	43.0%	H25	35.9%	37.8%	△	23.3%	▼	19.4%	▼	▼
20	日常の買い物の便利さに満足している市民の割合	○	36.0%	H25	22.5%	13.0%	▼	18.9%	▼	18.4%	▼	▽
21	北方四島との交流拠点としての社会資本が充実していると思う市民の割合	○	25.0%	H25	20.7%	17.1%	▼	22.9%	△	18.7%	—	▼
22	まちづくりへ参加したいと思う市民の割合	○	85.0%	H25	79.4%	79.3%	▽	71.7%	▼	73.3%	▼	△

注1：増減の「△」は総合計画・総合戦略策定時から上昇、「▽」は減少、「▼」は1ポイント以上減少を示す。

注2：分母を20歳代～40歳代の子育て世代の回答。(参考：市民全体ではH28：5.2%、R02：9.0%、R05：9.2%)。

注3：現状値は65歳以上6,578名の回答に対し、H28調査は275名、R02調査は357名、R05調査は269名。

注4：網掛けは目標値を達成していることを示す。

6. 根室市創生総合戦略の評価

平成 27 年度に策定された根室市創生総合戦略及び令和 3 年に策定された第 2 期根室市創生総合戦略は、客観的効果検証を行うとともに、社会経済の情勢、市民意向の変化等に的確に対応し、逐次改善していくための P D C A サイクルを構築している。

第 2 期根室市創生総合戦略では、第 1 期根室市創生総合戦略の総括及び今後の社会経済の潮流を踏まえ、人口減少問題や雇用情勢の変化、新型コロナウイルス感染症による地域社会の変容、医療、福祉、教育など社会全体への未来技術の活用に向けたデジタル・トランスフォーメーションの推進、技術革新（Society5.0 の実現に向けた技術活用）や持続可能な開発目標 S D G s、今後の段階的回復に向けたインバウンド対策などの新たな視点に着目した施策が立案されている。

6. 1 基本目標別の施策実施効果の評価検討

令和 3 年 6 月に策定された第 2 期根室市創生総合戦略は、戦略理念、基本目標は、第 1 期根室市創生総合戦略の基本目標を原則引き継ぐとともに、国や北海道の長期ビジョンを踏まえて、新たな施策を追加している。

このため、今回は、第 2 回根室市創生総合戦略の施策体系に基づく評価検討を行うこととし、第 1 期根室市創生総合戦略を踏襲している施策に関しては、昨年度までの評価を踏まえ市民意識の観点からの施策実施効果についての評価検討を行う。

評価検討の方法は、主として市民意識調査結果から、総合戦略に対する意識に関連する項目や自由意見を抜粋し、市民意識を整理した。

第 2 期根室市創生総合戦略においては、第 1 期根室市創生総合戦略と同じく「子どもたちに誇れるまち、ひと、しごと」を戦略理念として、若い女性をはじめ、次代を担う市民が働き、出会い、結婚し、出産・育児等のライフステージを根室市で過ごすことのできる地域を目指すとともに、段階的に移住・定住から関係人口、交流人口の受入れまで、人の流れを更に生み出すことを目標として、以下 3 つの基本目標が引き継がれている。

○雇用対策

「ひと」と「しごと」を呼び込み、稼げる仕組みづくりと安定した雇用、新しい人の流れをつくる。

○子育て支援

住み続けられる「安心」と「支え合い」の地域を守り、若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる。

○人材育成

みんなで実践する「市民協働」を推進し、時代にあった地域をつくり市民サービスを維持する。

ここでは、これらの基本目標別に市民の評価の動向を整理する。

(1) 基本目標1 「ひと」と「しごと」を呼び込み、稼げる仕組みづくりと安定した雇用、新しい人の流れをつくる

①経済・雇用対策の推進

根室市では、基本目標達成に向け、第1期根室市創生総合戦略に引き続き、以下の経済・雇用対策が推進されている。

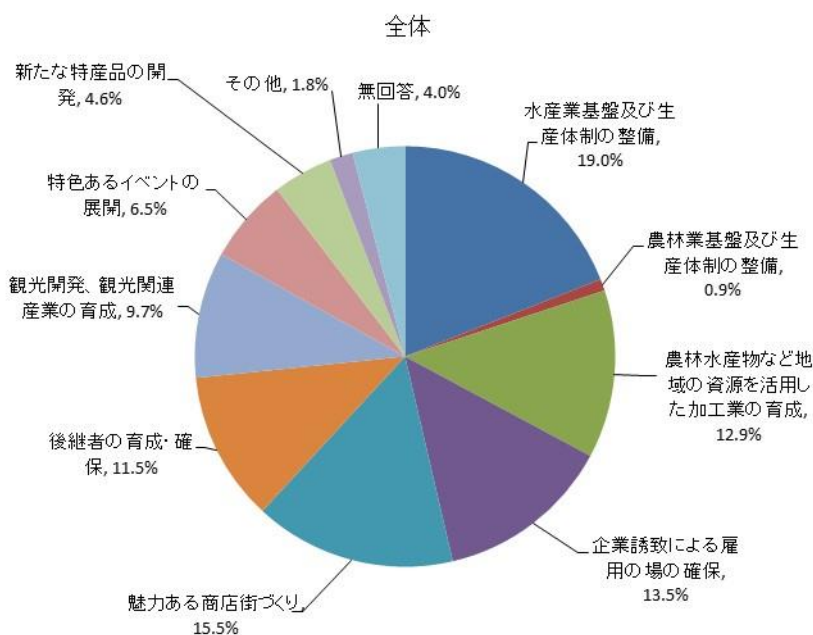
- a) 農林漁業の持続的な発展及び担い手対策の推進と若年就業者の定着化促進
- b) 労働力不足解消のための雇用のミスマッチ解消など需給不均衡の改善
- c) 商工業後継者の不足に伴う事業承継のための支援等の充実
- d) U I ターン者向け支援の充実による起業促進と労働力の確保
- e) 産学官金の連携及び農商工連携と6次産業化の促進

1) 産業振興について重要だと思う施策

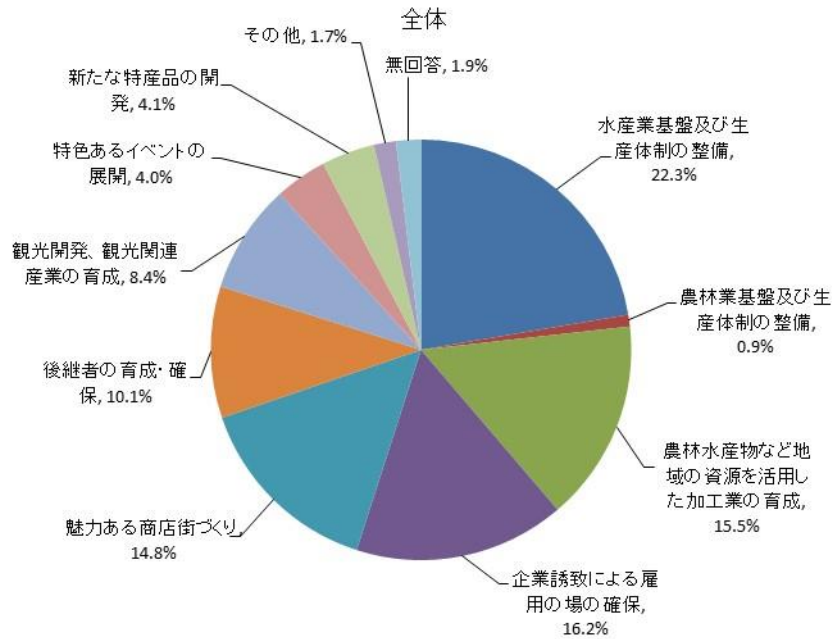
根室市の産業振興について、今回の市民意識調査から今後重点的に取り組むべきと思う施策についてみると、「水産業基盤及び生産体制の整備」をあげる住民の割合が最も高くなっている。この結果は昨年度調査の結果と同様であった。また、これに次ぐ施策には「魅力ある商店街づくり」、「企業誘致による雇用の場の確保」、「農林水産物など地域の資源を活用した加工業の育成」、「後継者の育成・確保」があげられており、「企業誘致による雇用の場の確保」の割合が増加している。

平成28年のロシア200海里内サケ・マス流し網漁の禁止、近年のサンマ、秋サケの不漁、新型コロナウイルス感染症の拡大による経済的影響に加えて、令和4年2月以降のロシアのウクライナ侵攻による様々な経済への影響、円安を背景とした物価高騰などの要因も加わり、根室の基幹産業に対する不安感が増している状況が一層強くなっていることから、中長期を見据えた産業振興だけでなく、より短期的な経済対策への期待が強くなっている状況がうかがえる。

<令和5年度調査>



＜令和4年度調査＞



2) 経済・雇用対策についての自由意見

今回の市民意識調査に記載いただいた自由回答の中から、経済・雇用対策に関する意見をみると、基幹産業である漁業と若者の雇用の場に関する意見が多くあがっていたほか、高齢者の働く場や商業の振興などに関する意見もみられた。

特に、漁業については、すでに市の政策として、育てる漁業への転換が継続的に推進されているところであるが、我が国とロシアとの関係悪化によって、さらに厳しさが増した状況下であり、早期の成果が強く求められているところである。

＜経済・雇用対策の推進に関する意見＞

年代	問 22 意見・提案
75 歳以上	・水産業が衰退した街に、なにか出来ることはないか。何かの産業を誘致する計画を考えてほしい。
60～64 歳	・根室市の基幹産業である漁業は今まで春の鮭鱒そしてサンマ・イカ・冬のタラ等を中心にコブや豊かな海の資源で支えられてきました。しかし、その状況が大きく変わった事は承知の通りです。養殖の大切さから市のほうでも、力を入れてきたことは知っております。益々力を入れていって下さい。基幹産業が良くなると、全て良い方へと雪だるまで進んでいくと思います。ふるさと納税で全国に支えられていることは、大変ありがたいと思います。その資金の中から飛行場跡地あたりにボーリングで温泉を掘って下さい。観光客を呼び込みできると思います。
—	・根室市には若い人が働く職場が少ない。だから都会に仕事を求めて身近な人がいなくなる。私は4歳の時にロシア兵に追われ根室港に逃げてきた。地元小・中学校を卒業して地元で結婚して3人の子供達も地方で就職して年に2回くらいしか会えない。でも健康に気を付けて病院に行くこともなく、散歩（冬も）パークゴルフ冬はフォークダンス料理教室と何とか頑張っています。
65～74 歳	・高齢者の仕事の場を多くほしい。冬の期間は家の中に居ることが多くなり集まる場所がほしいと思います。
65～74 歳	・若者が希望を持って仕事ができる市の取組を考えてほしい。賃金等安い会社もあり、パートで働く身としては、民間では最低賃金にもみたくない。

年代	問 22 意見・提案
40 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・もっと若い人が街に残ってくれる様な施設があれば良いと思う。ゲームセンターやファーストフード店やマンガとか。店も色々増やしてほしい。服や小物の店など。うちには子供はおらず、犬を飼っているのですが、子供のいない人にとっては子供のような存在でもあるので、一緒に入れる室内ドックランとかほしいです。外にはキツネやクマや鹿など多くいるので、エキノコックスも怖いので、室内で走って遊びたいです。根室に居ても何も無いと思われないような充実した街にしてほしいです。特に中標津みたいにせめてなれば良いと思います。
75 歳以上	<ul style="list-style-type: none"> ・根室市の基幹産業は漁業であり、自然の資源活用には既に限界があり創意工夫が必要である。
40 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども、高齢者の方への支援も大切だと思いますが、独身や子供がいない家庭も物価高騰で大変なので少し考えていただければと思います。まちづくりの意見ではないかと思いますがよろしく願います。
65～74 歳	<ul style="list-style-type: none"> ・人口比は女性が多いのに、女性が活躍する場が少ないと思う。特に市役所は率先して女性管理職を増やすことを検討する時期にきている。 ・街の中心部に、1人でも気軽に寄れるオープンカフェのような場所がほしい。
18～19 歳	<ul style="list-style-type: none"> ・自分は高校3年生で来年は進学のため根室市から離れます。卒業後根室市に戻って来たくても希望する仕事がないです。
30 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・最近若い子が根室を離れて行ってしまう傾向があり、町もだんだんと活気が無くなって行くので、高齢者施設もそうですが、短大・専門学校を近くに作るなど若い子が少しでも残ってくれるような対策が必要かと思えます。
65～74 歳	<ul style="list-style-type: none"> ・駅周りが活気ない。早朝（元旦）JR 利用時、休む所がほしいと聞いた。店が開いていない。お土産記念に買いたいと聞いた。
30 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・近年、漁業が衰退傾向にあり、一般企業は賃金の値上げ等取り組んでいる所もありますが、漁業者には無縁の話で、物価ばかり上がっている印象。養殖など取り組んでいる漁種もありますが、全ての漁業者に反映させてほしいです。そうすればもう少し担い手も増えると思いますし、昔のように活気が出てくると思います。各漁協だけではなく、市全体として付加価値をつけた流通に力を入れてほしいです。漁獲減少は致し方ないので。
65～74 歳	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て、少子化支援に力を入れているが、そもそも若い世代が根室の生活に魅力を感じていないし、雇用の場も少ない。もっと若い世代と交流を図りニーズをつかみまちづくりに活かしていくべきと思う。人材確保対策で資金貸付等の支援をしても返済した後、退職し根室から出て行ってしまう例も多い。住み続けてもらうために何が必要か、もっと行政の方から積極的に出向いていき市民の声を拾う努力が必要だと思う。選挙の時だけでなく、議員も含め定期的に懇談会を開くなどお金をかけて何かをするだけでなく、市民の受け身の意識を変え行政と市民がともにまちづくりを進めていく事で元気な根室ワクワクする根室になることを願っています。
75 歳以上	<ul style="list-style-type: none"> ・魚のまちと言いつつ、魚を食べさせる所がない。ウニを食べさせる所などが必要ではないか。
40 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもや 20 代の若者が、楽しいと思って生活できるまちになってほしい。根室で就職をしてもすぐにやめて地方へ行ってしまう現状を悲しく思っています。小・中・高校生が活躍出来る場、遊べる場、居場所づくりに力を入れてほしい。
60～64 歳	<ul style="list-style-type: none"> ・都会に比べて不公平なところがたくさんあるので、根室に住んでいる人への特典があるといい。たとえば、交通費の補助買い物の際の割引、お取り寄せサービス、美術館、スポーツ施設、野球場、レジャー施設、食料品、衣料品の品揃え（地元でも欲しい物が買えるように）。老後を安心して故郷で過ごせるようにしてほしい。
30 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・根室と言う街は、とにかく地元愛が強く感じられる。転勤等で来た身からすると、他人への興味がうすい気がする。他地域から来たが、ネームバリューを利用して何かを始めるべき。住んで一年経つが、根室と言う街はとにかく「北方領土」の事しか頭にないように感じる。この街を出てまた旅行で来たいかと問われれば来たいとは思わない。もっと前面に根室の良さをだすべき。個人店等も大事だが、他から来てもらうべきでは。歴史のある街だと言っているが、個人個人がもっと誘致にとりくむべき。また、学校関係がとにかくダメ。親身になって考えず他人まかせすぎる。高校等はとにかく根室じゃない所に通わせたい。
30 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・もっと遊べる場所が欲しい。健康的で質の良い飲食店が増えると良い。一人一人が自由で尊厳が守られる市であってほしい。
40 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・魅力ある商店街づくりは時間がかかるかもしれないが、全国チェーン店の導入と共に地場産業の活性化の両方を盛り上げる必要があると思う。また、根室是最東端であるにも関わらず、空港やフェリーなどが無く、どこに行くにも遠い、不便さがある。これからの将来、高齢化、少子化が進み、外国人労働者に頼らざるを得ないことを踏まえると、より一層の国際化、あるいは開かれたまちづくりが必要になってくると思います。
20 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・今まで以上に他市町村に負けない特産品や製品の開発を広い意見を取り入れてほしい。

年代	問 22 意見・提案
40 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ店が無いのでスポーツ施設よりも先に考えるべき。病気になり、夜に病院に連絡したら、「夜に來られても診察は無理なので朝まで頑張ってください」といわれた。病院が言う言葉ではない。病院は当たり前で 1 日かかる（特に小児科は異常）。スーパーのレジが行列になっている（サービスカウンターは暇そうに 2 名いる）。夜になると、1 社しか営業しないタクシー会社の現状。温泉なし。まずはなぜ人口が減少しているかを考えるべきでは。中標津は減っていないと思います。
30 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・屋内型 BBQ 施設。単身者向き市営住宅。街コン事業。害獣駆除、ハンターの支援。サウナ施設、浴場施設。
30 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・根室の強みは、やっぱり海産物だと思うので、その産業は大切にしていきたい。弱みを強みに変える努力ではなく、強みを伸ばしていく努力の方がいいと思う。 ・広い土地を活かして、音楽フェスでもしてみたら、面白いと思う。たぶん赤字だと思うけど。 ・空き家や古い家、その周辺の放置された草木（虫）が怖いので、どうにかなると嬉しい。空いた土地を小さな公園にでもしていただければ嬉しい。 ・加工場で働く海外の方が、活躍できる場があると有意義だなと思う。
20 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・学生や若い社会人が娯楽出来る場所を設けてほしい。高齢者や子供だけでなく、市民全員が得をするサービス（ふるさと納税金使ったもの）を平等にやってほしい。
30 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・高速道路を早くつなげてほしい。
40 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・根室独自の野菜を見つける。公務員の人材確保（教育関係）。そのために教員の給料を上げる。ローソン誘致。市民の声を聞いて税金を使う。鹿肉の有効活用。ガソリン価格の補助。養殖事業の活性化。朝日が見える場所の整備。根室の切手づくり。車の速度違反の取り締まりによる財源確保。
65～74 歳	<ul style="list-style-type: none"> ・人口減少、働く若者を安定して仕事に。高齢者の生きがい生活、若人の集る町。
30 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・住みよい町づくりにするには、まず人口を増やさなければならないと思う。根室は第一産業の町なので、漁業・農業が成長したり、収益が増えれば一般企業も仕事が舞い込んでくると思う。なので、第一産業の援助は今後大事になってくると思う。一般企業で働く人々も給料が上がらなくて困っていると聞くことが多く、今、何でも物が高くなっているのに対し、この状況なので、根室の人達の給料が上がる取組みを市でも考える必要があると思う。ふるさと納税をもっと市民のために使ってほしいと思うし、医師の確保や医療体制を整えてほしい。女性は男性よりも給料が少ないのは平等ではないと思う。男性と同じく、現場に行き、事務作業もする人も多いので平等に扱ってほしいと強く思う。根室市の魅力を他県にもっと伝えてほしい。
40 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・根室に越して来た時、合う人は口々に「何もない所に」といわれた。地域の魅力を魅力とっていないのか、それとも良い意味でも悪い意味でも謙虚なのか。年配者がそのような考えであれば若者は益々根室から離れていくように思う。誰もが根室を誇りに思えるような発信と若者を引き付ける産業が必要に思う。

②交流人口の拡大（市民意見）

根室市における交流人口の拡大に向けた施策は以下に示すとおりであり、誘客強化と観光プロモーションの強化となっており、特に、自然環境を活かした国際観光地に向けた取組みが進められている。

また、新型コロナウイルス感染拡大を契機としたテレワーク等の新たな就労形態に対応したワーケーション受入れ、根室市の医療が抱える課題解消に向けた医療従事者、介護人材の移住促進に向けた取り組みが進められている。

- | |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> a) 世界に誇る自然、歴史、食の魅力を発信する観光プロモーションの強化 b) 長期滞在者など交流人口の誘客強化と本格移住の促進 |
|--|

今回の市民意識調査に記載いただいた自由回答の中から交流人口の拡大に関する意見についてみると、これまでの調査の結果と同様に観光振興に関する意見が多く、今後の根室市の産業振興として観光に対する期待が大きい状況が把握される。

具体的な内容としては、宿泊施設や飲食店、観光スポット、駐車場等の観光客向けの施設整備、自然等の根室市が有する資源の有効活用など、これまでと同様の意見が多くを占めていたほか、根室ならではの特産品開発や情報発信の強化、景観対策に関する意見もみられた。

そのほか、外国人も含めた移住促進にも力を入れるべきとの意見もみられ、空き家対策等とあわせて住宅環境整備を行っていくべきとの意見もみられた。

<交流人口の拡大に関する意見>

年代	問 22 意見・提案
30 歳代	・観光客に朝市や食堂はあるかと聞かれた事があります。そのような施設（朝早くから開店している店舗）。
18～19 歳	・根室市にローソンがあったら人が集まると思う。新しい人気のあるお店を作って欲しい。 ・拾ってもゴミが次の日には落ちているので、どうにかして欲しい。最近設置されたペットボトルのゴミ箱があふれている所があるので回収してもらいたいです。
65～74 歳	・観光のまちづくり充実してほしい。観光客のために駐車場、施設の整備、市内イベントの宣伝、発信を多くして人が集まってくるまちに。
40 歳代	・駅前整備。観光施設の充実。子連れで1日中楽しめるようなお店があれば良いと思います。
60～64 歳	・この町の気質として新しい物を取り入れづらい所はありますが、移住者の積極的な共存方法を模索し、人口増に取り組んでほしいと思います。若年層の住みやすい町、子どもを産みやすい環境作りをより一層取り組んで頂きたいです。
30 歳代	・車社会なのに駐車場が少なく、危険な路上駐車が多数。路肩を広げるのではなく、駐車場を作って下さい。 ・ネット上に情報がなく、観光客や他地域からの転入者にとって不便が多い。観光地として案内されている場所が、駐車場がなかったり看板がわかりにくかったり、道の整備がされてなかったりと管理が行き届いていないと思われることがある。 ・風車やソーラーパネルが目に見えるスピードで増えている。自然や野鳥を観光資源にしていると思うが、環境への影響などは調べた上で建設の許可をしているのか気になる。 ・魅力的なお土産がない。釧路に行くのと根室で見たことのない根室土産があることがあり、なぜ根室で売っていないのか不思議に思ったことがある。個人向けの土産はあっても、学校や会社などで配れるようなお土産がない。（個包装が無地なのは配った際にどこの土産かわからないので好まれません。）
65～74 歳	・観光客も利用できるスーパー銭湯（宿泊、飲食、特産品購入、歴史や文化を観光客にも知ってもらう設備の設置 etc）の建設
30 歳代	・鮮魚店だけではなく、海鮮丼が食べられるような施設があったほうが観光客も増えると思う（港付近に）。昔はあったのかもしれないが、映画館があればワークライフバランスが充実する。
60～64 歳	・移住者対策にしても一軒家の貸家が少なく、あっても古い物件ばかりでリフォームなどして移住者を呼ぶことをお勧めします。 ・根室はバードフェスタなど開催されるほど、鳥が多い場所として認識されていますが、近年渡ってくる鳥が減少していることをご存知でしょうか。来るのを待つのではなく、鳥が来やすい環境づくりを。何故こんなことをいうのかといいますと、数年前、明治公園にハイマツの木がたくさんあり、それを抜いて桜を植えてしまったということを知りました。桜を植えるのは悪いわけではありませんが、そのハイマツにはイスカやギンザンマシコなど野鳥が好む木であって、それ以来数が減ったと観察を楽しんでいた方の話を聞きました。公園づくりにも鳥に詳しい方の意見など聞いて、鳥の好む木などを植えて行ってはいかがでしょうか。
65～74 歳	・人口が減少していくばかりですが、興味を持てるまちづくり移住を考えてもらえるようなまちづくりが出来たらと思います。自然がいっぱいで都会の人たちがここ良いねと思う場所はあると思います。根室で生まれて今の私でもそう思う所はたくさんあります。
50 歳代	・これからの根室は、漁業関係の仕事が減っているので、自然が多く良いところがあるので、観光開発をしていけば良いと思う。例えば、空家が沢山あるのでそれを利用する。調理とか自分たちで生活しているようにする。季節限定でインターネットを活用して呼び込んではいかがですか。冬は雪かき体験など、道内外から色々と発想の転換はできると思いますよ。
60～64 歳	・観光客が来てもお金を使うところがない。宿泊施設がない。素通りしない工夫。短期間移住制度を作る。
40 歳代	・旧柏陵中学校跡地の森や、上下水道を利用してオートキャンプ場を作る。管理棟の施設に根室の物産を販売、アピールして市外からの観光客やキャンパーに根室をアピールする。

年代	問 22 意見・提案
30 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナが落ち着いてきて、最近、道の駅や各公園でキャンピングカー等の車中泊を多く見ます。明治公園の一部をキャンプ場などにして旅行者の方や地元民が気軽にアウトドアを楽しめる場所がもっとあれば良いなど住んでいて感じました。あとは日帰り温泉施設（スパや岩盤浴など）が出来たら、高齢者が多い根室は活気がでるのではないかと思います。
65～74 歳	<ul style="list-style-type: none"> ・少子高齢化は一朝一夕に解決できる問題ではないと思う。各産業においても人手不足は深刻で、新卒者の採用など皆無に等しい状況であり、外国人労働者に頼らざるをえないのが実態だ。であればこうした外国人に永住してもらえような対策をすることも一案ではないか。現状こうした外国人と市民の交流は余り感じられず、外国人への疎外感を拭い、市民として迎入れる器量が必要。そのため市民との交流機会を増やし相互理解を深める事が必要ではないかと考えます。又根室から離れた若者が戻れる環境づくりや市内企業の労働条件の改善など迎入れる側の意識改革も必要と思います。
75 歳以上	<ul style="list-style-type: none"> ・根室の街が大好きです。魚もとれず、高齢者が増え、暗いイメージですが、皆が笑って元気でいられる街づくりを期待しています。新しい庁舎が出来、職員が元気であいさつするような市役所であってほしいと思います。不安な毎日を送っている高齢者や子供達が訪ねられるような人達がいたら、根室はもっと住みよい所になると思います。根室の人は良い人が多いですよな。
30 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・今使用されていない市所有の教員住宅を新築又はリフォーム等で整備し、貸別荘のように市外の人達に貸すようにして、交流人口を増やせると、根室も活気づくと思います。昨今は異常気象で高温になる事が多いですが、根室の気候はまだ安定しています。避暑地としてもっとアピールすべきです。
40 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度 4 月から根室に来て数か月、わかった事は、根室の方達は皆、根室以外の公共施設、中標津や釧路、川湯など、地方に遊びに行ってしまうという事。とにかく遊ぶ所が少ない。今の時代、昔と違い、気温も大分上昇し、根室でも水遊びをする場所があっても良いのではないかと思います。後、気軽に入れるファーストフード店や、キャンプ場も整備してほしいです。一時のイベントで地方客を集めても一時でしかありません。この地に住んでいる住民が休日ごとに他に遊びに行かなくても良い環境を造り上げていく、それが今の根室には足りないと思はいます。
20 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・保養センターのような施設があると嬉しいです。通勤族の若い世代、地元の方も含め幅広く利用者を見込めるのではないかと思います。根室産の地ビールを作ってほしいです。鶴居村でクラフトビールが巷で人気を集めているかと思いますが、根室でも作ることができれば魅力の一つになるのではないかと思います。美味しい魚もたくさんある市なので居酒屋においてもらったり、もっともっと根室の良さを引き出せると思います。イベント情報をインスタグラム、Twitter で公開してほしいです。魅力的なイベントがあるにも関わらず、紙での案内のみや、もしくは風の噂で聞く程度とものっていないと思います。使える SNS は駆使すべきだと思います。途中から根室に越してきた新参者ですが、魅力あふれる根室市をさらに魅力あふれる市に…という思いを込め書かせていただきました。
65～74 歳	<ul style="list-style-type: none"> ・企業誘致はこれからの根室の発展のために非常に大事になりますが、それと同時に、根室の既存企業を人口減少・高齢化等、労働者不足による存続危機から守るためにも、労働者不足解消に必要な、外国人労働者・国内他地域からの労働者受け入れに関する情報（手続き・方法）を提供してほしい。
40 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・根室の春国岱、風連湖、温根沼の自然はとても素晴らしいものなのに、知名度がとても低く、上手にアピールすればもっとたくさんの観光客が来ると思う。また、魚がとても新鮮でとても安い事は、根室に来るまで知らなかったのも、これも上手にアピールすれば良いと思う。道内の他自治体で、観光 PR の仕方で観光客が増加した例を参考にぜひ根室市も頑張ってください。
40 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・市民の協力が無いと難しいと思いますが、道路際にゴミが多いのでキレイな状態を保てることを願います。これからのシーズン、観光客も増えると思います。町はずれの道路際にはポイ捨てされたと思われるゴミが散乱していて自然の風景を邪魔しています。ポイ捨てやゴミ放置をさせない、出来ない、何か案はないのかと考えています。
30 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・ホテルをキレイにして、観光客を呼び込んで活性化できないかな（根室の海産物も取り入れて）。若い人の方がインスタ・SNS の使い方が上手いから、若い人に根室を発信してもらえば良いと思う。ギャルを使う。ありきたりなことをしていても、誰も注目しないから、違う視点、違うアイデアをどんどん試してみれば良いと思う。
40 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・市内 Free Wi-Fi。宿泊ホテルの改装。納沙布高層ホテル。新鮮な海産物を食べれる展望食堂。キャンピングカーが泊まるスペース類の完備（市内）。※トイレ、水、洗濯、お土産。
20 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・観光客が増えているので、もっと見せる物や休める施設を作った方が良いと思う。
65～74 歳	<ul style="list-style-type: none"> ・デュアルスクールの実現をめざしてほしいです。将来根室に就職する際にも一度根室の様子を体験していれば安心して来根できると思うし、他地域との交流を深める事に、新たに人材も生まれると思います。
30 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・根室がもっと活気のある町、観光客も増えたら良いと思います。観光客が来たいと思ってもらえるようになるには、やはり食べ物です。何がいいのだろう。後、住民も増えてほしいです。

年代	問 22 意見・提案
18 歳未満	<ul style="list-style-type: none"> 私は根室に 18 年住んでいる高校 3 年生ですが、根室が大好きです。大好きな根室がそのまま続いていくためにはやらなければいけないことがたくさんあると思います。まず、根室をたくさんアピールして観光事業を増やしていくべきだと思います。春国岱や公園をメインとした自然ツアーや海洋で釣りや養殖をするイベント、酪農など様々あるので色々な事ができると思います。その次にホテルなど宿泊施設や商業施設を充実していくべきだと思います。そうすれば根室の活気があふれ盛り上がると思います。
65～74 歳	<ul style="list-style-type: none"> 特に問 11 の質問に関する根室市の生活環境で取り組むべきで美しい景観を選びました。理由として、市内はもとより、納沙布までの道々の両側にゴミ（ペットボトル、缶他、袋に入ったままのゴミ袋等々）が非常に多い事です。観光地としてとても恥ずかしい事だと思います。「捨てない」「拾う」の意識をどのように市民に周知するか、課題の一つだと思います。道東らしい自然豊かな場所にソーラーパネルが設置され、根室の自然、植物がどんどん破壊されて行くのではと危惧しております。設置にあたり、何らかの規制が必要ではないでしょうか。 宿泊施設が不足している気がします。遠くても宿泊してみたい魅力ある宿泊施設や安価で宿泊できる施設などの誘致ができれば良いです。
—	<ul style="list-style-type: none"> 根室市と規模の変わらないむしろ小さな町が数十年単位で成長を続けています。富良野・美瑛・上富良野・中富良野の町をよく観察分析すべきでは。町をブランド化し国内外の戦略的に情報を発信し続けています。国の予算を使い町の開発に成功しています。 イベント見ても内輪だけで遠方から来る来訪者への配慮が全く無い。日程や時間、三大祭は内輪騒ぎして発展性がまるでない。市民が足を運びたくなる納沙布に、公共の入浴施設建設、大手ホテルの誘致、路線廃反対と駅前開発、駅舎を J R と協議して建て替え、市役所に駅舎位考えられないのか（複合施設）。最低キャンプ場必要です。鳴海公園キャンプ場として開放しては。

(1) 基本目標 2 住み続けられる「安心」と「支え合い」の地域を守り、若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

①Society5.0（ソサエティ 5.0）時代に向けた人材育成

第 2 期根室市創生総合戦略で追加された施策であり、次代を担う子どもたちの確かな学力向上に向けた取組みが推進されている。

a) 良好な教育環境の整備と義務教育の充実

1) 教育環境に対する満足度意識

今回の市民意識調査における関連項目から、根室市の教育環境に対する市民意識についてみる。

市民の根室市の教育環境に対する満足度意識について、昨年度までの市民意識調査の結果と比較してみると、令和 2 年度までは不満と感じている市民の割合が減少するとともに、満足と感じている市民の割合が増加するなど、満足度の改善傾向がみられていたが、それ以降は概ね横ばいでの推移となっている。

教育環境に対する市民の満足意識の変遷

項目	満足										不満足									
	R5	R4	R3	R2	R1	H30	H29	H28	計 画 策 定 時	増減	R5	R4	R3	R2	R1	H30	H29	H28	計 画 策 定 時	増減
「子どもの教育施設や教育環境」について	10.9%	10.5%	10.9%	6.8%	5.9%	4.2%	4.1%	4.7%	5.4%	△	22.9%	19.3%	23.2%	21.9%	25.7%	29.8%	46.6%	42.8%	43.3%	△

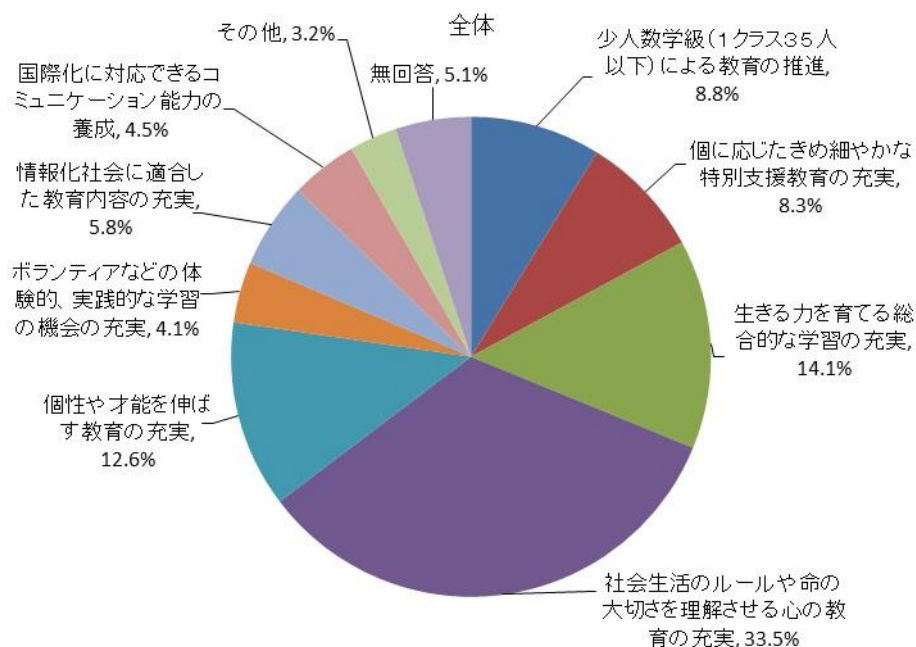
注：増減は、計画策定時に対する増減を示す。

△は満足度もしくは不満度が高まったことを、▼は満足度もしくは不満度が低下したことを意味する。

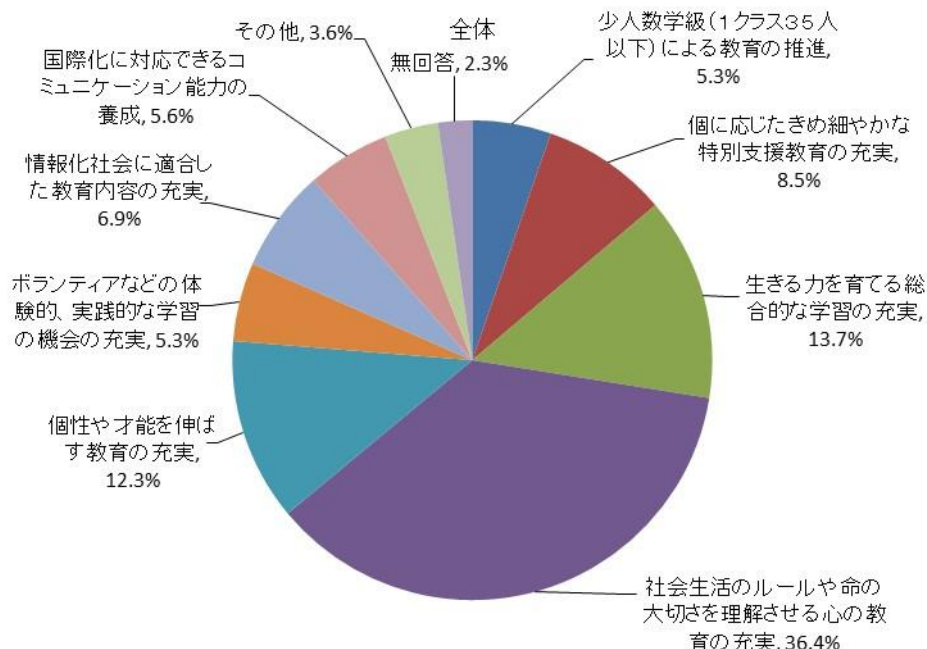
2) 教育環境について重要だと思う施策

根室市の教育環境について重要だと思う施策についてみると、例年と同様に「社会生活のルールや命の大切さを理解させる心の教育の充実」が最も多くなっており、次いで、「生きる力を育てる総合的な学習の充実」、「個性や才能を伸ばす教育の充実」が上位にあがっている。

<令和5年度調査>



<令和4年度調査>



3) 教育環境についての自由意見

今回の市民意識調査に記載いただいた自由回答から具体的意見をみると、街中に勉強できる場や学生同士が交流できる場を作ってほしいとの意見、学校・家庭・地域の連携体制に関する意見がみられた。

<教育環境に関する意見>

年代	問 22 意見・提案
50 歳代	・協力体制が大事。例えば空き家のまわりのゴミや雑草とりなど。観光客がきても恥ずかしくないまちづくり。毎日の清掃が大事です。これから将来のことを考えると全てにおいて清潔で社会生活のルール、マナー、命の大切さを理解させ大人も子どもも心の教育（根っこの教育）が大切であると思います。誇れるまちであるからこそ強く思います。
18 歳未満	・自習室やカフェなどもっと公共の場に勉強する場所が欲しい。（高校生に対する大人）学割もってほしい。
30 歳代	・テスト前など勉強できる場所が図書館しかなく、休館日や 18 時閉館により満足に集中して学習できる場がないそうです。学校の図書室開放や放課後でも教室を使えるようにするなど、テスト前だけでも良いので何かしらの対策をお願いしたいです。フードコートやファーストフード店など、学生が友達と気軽に訪れて交流できる場がない為、不便に感じます。青少年センターくらいしか遊べる所がなく、距離も遠いので交流の場があると良い。
30 歳代	・根室の学校では、タブレットを支給したりアプリを入れたり ICT を推進する体制が整っている一方で生徒指導面で苦勞することが多いです。学校・家庭・地域が連携して子供たちを育てていける環境を整えることが大切だと思います。
30 歳代	・学校教員の方向性、考え方が、子どもの成長にとってよろしくないと思うことがあるので改善してほしい。

②子育て・少子化対策の推進

根室市では、基本目標の達成に向け以下の政策に関する各種の施策が推進されている。

- | |
|---|
| a) 出会い、結婚、妊娠、出産、育児に関する機会や相談、支援体制の強化
b) 子ども医療費助成など子育て世代の経済的な負担軽減の推進
c) 保育施設の整備と多様な子育て支援サービスの充実 |
|---|

1) 子育て・少子化対策に対する満足度意識

今回の市民意識調査における関連項目から、これらの子育て・少子化対策に対する市民意識についてみる。

市民の子育て・少子化対策に関連する項目の満足度意識について、昨年度までの調査結果と比較してみると、平成 30 年度以降は、給食費の無償化、保育費無償化、医療費の無償化など、年々充実した経済対策の実施により、満足と感じている市民の割合が増加傾向にあり、不満足と感じている市民の割合も概ね減少傾向にある。

子育て・少子化に対する満足意識に関する市民意識調査の結果

項目	満足										不満足									
	R5	R4	R3	R2	R1	H30	H29	H28	計画策定時	増減	R5	R4	R3	R2	R1	H30	H29	H28	計画策定時	増減
「乳幼児や子どものための福祉施設の利用状況」について	13.8%	13.0%	8.1%	10.3%	7.9%	7.3%	4.3%	4.0%	5.8%	△	21.2%	17.4%	26.3%	17.5%	25.8%	28.9%	46.4%	47.7%	45.5%	△
「子育ての環境や支援制度の利用状況」について※	13.1%	11.9%	9.2%	9.0%	6.1%	5.8%	4.9%	5.2%	—	—	22.4%	21.0%	26.9%	20.0%	28.1%	31.1%	42.1%	41.6%	—	—

注：※は平成 28 年度調査から追加した項目。

増減は、計画策定時に対する増減を示す。

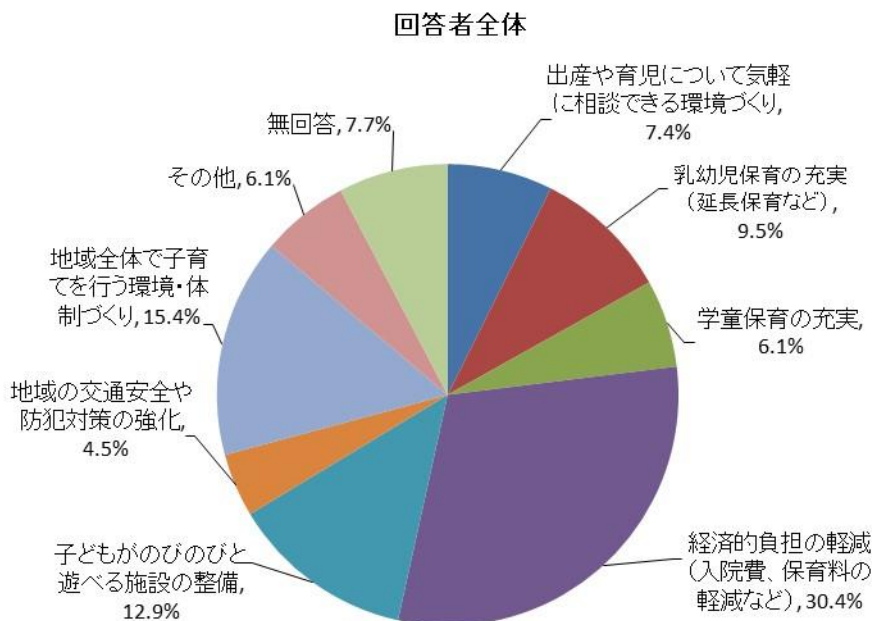
△は満足度もしくは不満度が高まったことを、▼は満足度もしくは不満度が低下したことを意味する。

2) 子育て・少子化について重要だと思う施策

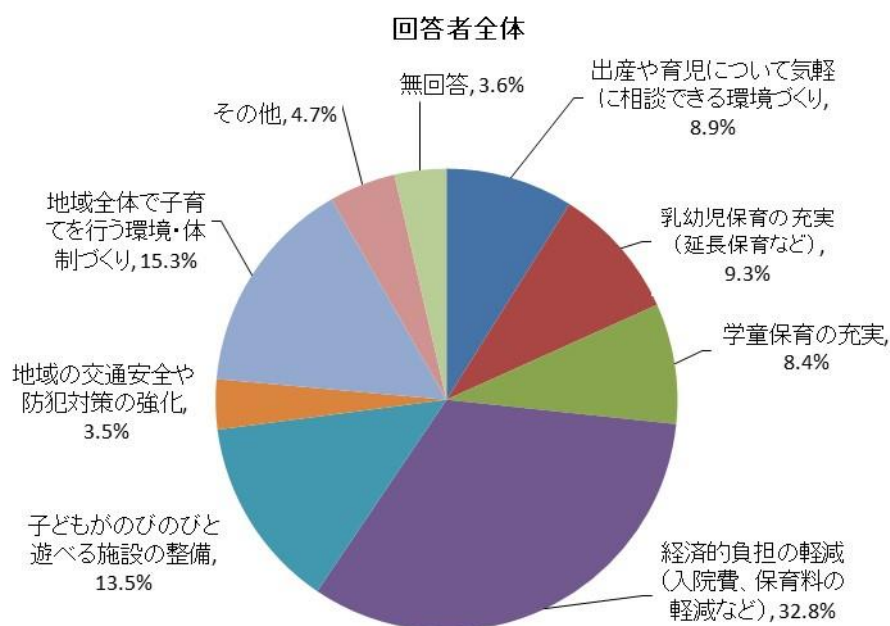
次に、子育て・少子化について重要だと思う施策についてみると、「経済的負担の軽減（保育料の軽減など）」と「地域全体で子育てを行う環境・体制づくり」、「子どもがのびのびと遊べる施設の整備」が多い状況は、昨年度までの調査結果と同様であった。

ただし、「子どもがのびのびと遊べる施設の整備」に関しては、令和3年12月に子ども向け屋内遊戯施設「ふるさと遊びの広場」（愛称：わんぱーく）が竣工したこともあって、令和4年度以降、回答割合が減っている。

<令和5年度調査>



<令和4年度調査>



3) 子育て・少子化についての自由意見

今回の市民意識調査に記載いただいた自由回答から具体的意見をみると、近年の給食費、医療費、保育費等に関する支援策の実施、子ども向け屋内遊戯施設「ふるさと遊びの広場」（愛称：わんぱーく）の整備などにより、子育て対策については評価が高くなっている。また、令和4年度から始まった根室市子育て世帯生活支援事業については、おむつ用品以外への適用を望む意見もみられるものの、概ね好評を得ている。

一方で、子どもがのびのびと遊べる施設整備のさらなる充実、学童保育も含めた保育体制の充実を望む意見などもみられた。

<子育て・少子化対策に関する意見>

年代	問 22 意見・提案
50 歳代	・子供たちにフリーパス（バス）が利用できるようになったが、活用する機会が少ない。子供にもわかるような路線バス案内があるとよい。
50 歳代	・楽しく子育てできるまちづくりをお願いします。
30 歳代	・根室市に住んで 17 年たちました。愛着もありますしこの自然あふれる町が好きだなと思いますが、子供がまさに進学という年齢になり、地方であるがゆえにこの地を離れるという選択も受け入れなければいけないときが来たのかなあと思っています。安心して進学させてあげられれば良いのですが、自宅外通学者は本当にお金のことなど余裕がないし家族にとっても負担が多すぎるのを痛感しています。これまでの生活の中で、根室市は各地方に比べても子育てに対して力を入れてくれていることを感じ、とても頑張ってくれているんだなと思います。ありがたいです。中学・高校の世代が思い切り遊べる施設ができると良いなとよく話しています。スケートボードなどよく一生懸命練習している子供たちを見かけます。本格的にできたら将来輝く選手になる子もいるかもしれないけど、そもそもの環境がないことはもったいないなあと思っています。何か 1 つでも「この市でしかないもの」ができたら良いなあと思っています。これから先、根室市を離れることになっても、この自然がずっとこのままでいてもらいたいです。何もなくても、ああ帰ってきたーと思えるそんな魅力があります。
65～74 歳	・自分も仕事と子育ての両立が大変だったので、保育のお手伝いをしたいと思います。特に保育園終了後から親の仕事が終わる時間までが大変だと思います。
30 歳代	・子どもが遊べる環境をつくってほしい（わんぱーくのような。昔のアスレチックも体力をつけるため大事だと思う）。ファミリーレストランの新設。
65～74 歳	・小学生の孫が少年野球のサークルに入っていますが、ほとんど行政がかかわらずに父兄がグラウンド整備や運営に携わっています。練習時には照明等もなくグラウンドも色々な場所でやり一定していません。自由に練習する場所もない様子です。室内練習場も一般市民の好意で使わせてもらっているようです。現在学校自体が校外のものに関係していないので、行政として手を貸したらいかがなものかと考えます。市営球場使う時も大人の人も使うのに子供と父兄が整備を頑張っている状況です。球が見えなくなる位夜にも練習していると子供達がかわいそうです。車のライトを点けての練習、今野球が注目されています。市としても協力してやってほしいです。
30 歳代	・乳児おむつ用品購入券はありがたいんですが、オムツだけでなくベビー用品とかにして欲しいです。オムツだけだと使うのも大変だし、せめて“おしりふき”はありにしてほしいですね。
30 歳代	・高齢者、子育てのための支援はある程度充実してきていると思いますが、結婚や妊活（不妊治療も含めて）の政策がもう少し充実してほしい。人それぞれライフスタイルは違うため、一定の条件をクリアするともらえる補助金や国からの補助金とは別に政策を作るなど。結婚や妊活に前向きになれるようになれば人口が増えたり、移住してくれる人も増えると思います。
30 歳代	・子供がいると働きにくい。育休も取りにくい。辞めて違う所へ行くよう言われた。少子化を目指すのであれば、児童手当を 1 歳から減らすのではなく、高校又は中学まで一定の額にしてほしい。幼稚園等の給食免除、仕事をしていなかったら保育所預けない（育休）。子供のためにタブレットかパソコンを支給したと聞いたが、何か間違っている気がします。
18～19 歳	・自分の家族を見て思うのは、小学 1 年の弟がいますが、親が子育てで悩んでいます。厚床には学童がないので弟が 1 人で留守番をしています。自分の希望で厚床に住み始めたのに、弟の放課後（留守番）で親が悩んでいるのは見たくないです。これでは子育てに力を入れているとは言えません。力を入れているのは、市街地だけですか？市の教育委員会に言ってもダメだったと親が言っていました。もっとたくさんの人が住みやすいと思えるまちづくりをして下さい。

年代	問 22 意見・提案
30 歳代	・子供が通っている学校でできる部活動が増えると良いと思う。
65～74 歳	・子供が外で健全に遊べる施設を考えてほしい。
20 歳代	・ファミレスが最低でも 1 店舗あるといかもしません。学生の憩いの場にもなれば、家族で外食できる場でもあるので、学生だけでも行けるような所があると便利かなと思います。学生なら勉強会、家族なら団らんできるようなファミレスがあると良いかな。路線バスの本数が増え、時間帯も細かくあると良いのかも。タクシーの台数が少ない上、料金が高いと感じます。路線バスが充実していれば、利用客も多くなるのかなと思います。学生が親の車で来ることが多いので、親の負担も減るのかなと思います。中学・高校直行便の 1 ルートだけでなく、近くに停まるバスとかの 2 ルート目があつたりという感じです。ゲームセンターの種類がもう少しあればなと思います。※あくまでも小学生～高校生を対象として書いてみました。根室市に来てまだ年数が経っていないので、詳しくは分かりませんが、今時代に生きる若者が住んでて楽しいと思えたらと思います。
30 歳代	・子供にかかる費用が負担なので、軽減する取り組みをやって下さい。思い切って保育料全面無償化など共働きですが、保育料の割合が大きく大変です。新しい体育館を早く作って下さい。青少年センターは古くて限界だと思えます。いずれにしても、子供が過ごしやすい子供を育てやすいまちづくりをお願いします。
30 歳代	・子どもが遊べる場所が少ない。公園が汚いのが気になる。
65～74 歳	・市街地のため、若い人が仕事に忙しく子育ての時間が取れないなど、是非 0 才児の保育を実施して頂きたい。また、市内外地のサービス面でも差がありできる限り、この差を縮めていただきたい。住み良い厚床にするために。
20 歳代	・色々な支援をしてほしい。乳児おむつ用品購入券でオムツ以外のもの（ミルクやおしりふきなど）を使えるようにしてほしい。
30 歳代	・乳児おむつ用品購入券がすごく助かっています。病院代もほぼかからないことや保育料 3 歳からかからないこと、他にもあったと思いますが、もっと発信しても良いんじゃないでしょうか。家建てる人に補助金のようなものを出すのはどうでしょうか。もうあつたらすみません。人がどんどん減っているので子供の将来が不安です。
30 歳代	・子供のオムツ支援とても助かりました。ありがとうございます。私の時はオムツやオムツライナーにのみ使用できる券だったので「おしりふき」にも使用できたらもっと良いと思いました。妊婦健診の助成もありたいですが、それでも毎回 1500～3000 円はかかるのもう少し出費がなくなると嬉しいです。妊婦の歯科検診もあればうれしいです。
30 歳代	・小中学校の給食費は無償ですが、教員は毎月 6500 円も払っています。高すぎるし、給食の内容も良くない。まずは無償化するより、給食センターの設備を整えて、子供達が「美味しい」と思える給食を提供してほしい。
30 歳代	・子供が遊べる施設が少ないです。ふるさと遊びの広場わんぱーくのような小さい遊び場では子供はすぐに飽きてしまいます。市外からも利用する人が来るような魅力的なレジャー施設を作ってください。
40 歳代	・文化会館等で実施している子どものための展示やイベントいつもありがとうございます。これからも色々な方面で幅広い興味を持った子供たちに対応できるよう、体験型のイベントが増えたら、根室にいても他地域に住む子との差が少なくなるのかと思いますが、未来ある子どもが、本当に根室だと経験できることが少ない。地元愛の強い子を育てたいです。皆さん少し車を走らせて中標津や釧路へ行ってしまう。今も、ねむろわんぱくチャレンジ中心に都合が合えば参加させていただいております。
30 歳代	・子供 2 人を育てています。ふるさと遊びの広場わんぱーくの開設、給食費の無償化、18 歳以下の医療費給付の拡充など、大変ありがたく思います。私は社会福祉法人しらかば保育園に下の子を通園させております。先生はとても明るく優しく感謝の気持ちでいっぱいです。ただ、園の決まりで仕事が休みの際は、子供も休ませて自宅で保育をとあるのですが、できれば仕事が休みの時は、自分の時間も過ごしたいです。そうすることで子供との時間もより大切に笑顔で過ごせます。保育士の負担軽減のための決まりだと思います。できればこの先、保育士の待遇をもっと良くしていただけると、子供を預けている私達にも、子供自身にも良い環境になると思います。社会福祉法人しらかば保育園や根室市立成央小学校駐車場に通じる道路がとても危険だと思います。道は狭いにもかかわらず、一方通行では無いので、車がすれ違う際が危険です。できれば上から下へ抜けていく一方通行にする方が安全だと思います。市立病院小児科の待ち時間が長すぎるのもう少し工夫してほしいです。一人の先生の診察が長くなってしまっているのは分かります。その方針はそのままいいと思います。ただ、順番を教えていただくとか 3 人前くらいに電話をいただくなど、工夫してほしいと以前から思っています。待ち時間の間に新たな病気をもらってきてしまったことがあります。

②周産期医療と小児医療体制の整備

根室市では、市立根室病院の充実を図るため、分娩の早期再開をはじめ、医師、看護師等の確保、充実に向けた周産期医療及び小児医療体制の整備に向けた対応を図っているところである。

分娩に関しては、平成 29 年 4 月に市立根室病院で 11 年ぶりに経産婦を対象に分娩が再開されている。

a)安心して子どもを産み育てられる周産期医療と小児医療体制の整備

1)周産期医療と小児医療体制に対する満足度意識

今回の市民意識調査における関連項目から、これらの周産期医療と小児医療体制に対する市民意識についてみると、不満と感じている市民の割合は計画策定時よりも 8.6%低下しているものの、満足と感じている市民の割合が昨年度から 2.5%低下し4年ぶりに 10%を下回るなど、ここに来て不満意識がやや高まっている状況がうかがえる。

このような満足度の低下の要因としては、市内の小児科医院が令和 3 年末に閉鎖され、小児科医療が市立根室病院のみとなったこと、市立根室病院の病床数が看護師不足の影響で令和 5 年 4 月にそれまでの 3 病棟 135 床から、2 病棟 107 床に縮小されたことなどがあげられる。

医療体制に対する満足意識に関する市民意識調査の結果

項目	満足										不満足									
	R5	R4	R3	R2	R1	H30	H29	H28	計 画 策 定 時	増減	R5	R4	R3	R2	R1	H30	H29	H28	計 画 策 定 時	増減
「病院などの医療機関の状況」について	8.9%	11.4%	12.0%	10.6%	6.6%	7.7%	7.8%	6.0%	10.3%	▼	53.3%	50.8%	47.9%	47.6%	55.1%	55.7%	64.1%	69.5%	61.9%	▼

注：増減は、計画策定時に対する増減を示す。

△は満足度もしくは不満度が高まったことを、▼は満足度もしくは不満度が低下したことを意味する。

2)医療環境についての自由意見

今回調査における医療環境に対する自由意見をみると、市民の医療環境に対する不安意識が幅広い分野にわたっていることがうかがえる。

従前からの市立病院の診療科目や診療体制などへの不満、市内の医療機関の数に対する不満の多い状況がみられるほか、周産期医療や小児医療だけではなく、高齢者の医療環境についても不安意識が高い状況がうかがえる。

<周産期医療と小児医療体制ほか、医療環境に関する意見>

年代	問 22 意見・提案
20 歳代	<p>・医療人材の確保。ただお金で支援しているだけでは人は来ないと思う。(地元民戻ってこない) お金を借りていた分の年数働く…。これからその年数が延びると聞きました。ただただ束縛されている感が強くなるだけ。→戻ってくる人少なくなる→少人数で業務を回してしんどくなる→辞める人が出る、このループ。派遣の人からすると、根室に魅力を感じて自然が好きで海鮮が好きで・・・でも業務がキツイですね。そうやって魅力を感じてくれている人がいる、そういう人をもっと雇うと医療人材が増えて地元に戻ってくる人も増えるのでは？でも戻ってくる人がいたとしても多分若い人はたくさん経験の積みたいので 3 年ほど働いて、実家でお金を貯めたら地方に出る。それは仕方のないことだと思います。束縛はよくないと個人的には思います。地元民が戻ってこなくても、地方民で魅力を感じてくれる人がいれば、そういう人をもっと惹きつけられるような政策を。</p>

年代	問 22 意見・提案
20 歳代	・市内唯一の病院の市立病院がひどすぎる。看護師、医師どちらも対応がありえない。釧路の病院の対応が素敵すぎてどんな事があっても根室市立には行かないと決めた。一度教育し直した方が市民のためだと思う。言葉遣いなど。
20 歳代	・初産をできるような医療体制へ。
65～74 歳	・市立病院の看護師さんはじめせつかく市が学校へ行かせてあげる資金を利用しているにもかかわらず、3年経ったら退職してしまうのはどうしてなのですか？市の病院体制に問題があるのですか？市立病院にはとても良い医師がいます。私供年寄り毎月釧路に通院することもできないので、根室市立病院の医師はとても感謝申し上げます。年寄りにとっては、身体の不安を抱える中で、とても親切に診てもらっています。過去には手術したこともあり、札幌や釧路に行かなくても治していただきました。身体に不安を抱えるお年寄りにとってもっと安心出来る病院だという事をアピールしてはどうでしょうか。
40 歳代	・釧路などの病院に行かずに、根室ですぐ診てもらえ入院できるようにしてほしい。市立病院の医師の対応が感じ悪い。根室の病院で診察してもらうのが不安で、大きな病院に行くべきかと思ってしまう。釧路の病院等に行くために、花咲線維持してほしいのががんばってください。
60～64 歳	・安心して通える医療環境。
20 歳代	・第1子を産むとき釧路に行かないと産むことができないため、妊娠後期から釧路に通わなといけない不安。
60～64 歳	・高齢者医療について。脳疾患などで寝たきりになると、根室市立病院では一定の期間が過ぎると、他の医療機関にまわされますが、根室ではその患者の受け入れ先が精神科であり、認知症の病名をつけなければ、入院できない病院ばかりで、これからもっと多くなるであろう高齢者の医療を根室はどう考えているのか全く見えてきません。介護施設の中で医療をとまなう医療介護病棟があればもう少し不安なく根室で生活を送れるかもしれません。
65～74 歳	・医療が充実していると、人口の流出が少なくなると思います。別海町、中標津町でできる外科手術が根室ではできないのは理解できない。
30 歳代	・根室市立病院の外来での待ち時間が長すぎる。受付してブロック受付で呼ばれるまで何十分以上待たされる。大人なら我慢できても小さい子供を連れて行く人は、あまりの長さであきらめて帰る人も多い。受付に QR コードなどをつけてスマホで待ち時間を示したり、呼び出しすることは難しのか。呼び出しの時間がわかれば、一度家に戻って安静にしていられる人も多いはず。呼び出し 10 分前などにメールか LINE で知らせる。薬だけの受取なら、オンラインなどもっと周知してほしい。
75 歳以上	・高齢になって大きな病の人達地元では治療できず難儀しています。検査、手術、医師、看護師、是非地元で安心して通えるようになってほしいと切望します。
65～74 歳	・医療の面からみると不安な気持ちがあります。根室を離れる人の理由は病院（医療の）が不安だからです。この私もできれば根室に最後までと思いますが、現実札幌の病院に年に一度出かけます。（健診）
60～64 歳	・体調を崩した時、色々な症状があつて、何科にかかっているかわからない。適切な判断を下せる総合案内サービスがあるといい。医者、看護師の充実。待ち時間の短縮。
20 歳代	・根室市に住んで、まだ日が浅いですが、小さい子供がいるのもっと医療機関が充実してほしいと思いました。町で一番大きい病院のレビューがびっくりするほど低く、不安に思っています。それ以外では食べ物もおいしくて良い所だと思います。
30 歳代	・眼科、皮膚科、耳鼻科、小児科など、個人病院の誘致をしてほしい。
40 歳代	・医療の方も何とかならないでしょうか。小児科は朝一から行ってやっと診てもらったのがお昼近くとは。誰も住みたいとは思えない1件ではないでしょうか。何も対策はないのでしょうか。
50 歳代	・根室市立病院の看護師が不足しているの、人材確保に努めてほしい。3年たった、やめてしまう人が多い、長く働いてもらうためにはどうしたら良いのか。なぜ3年たったやめてしまうのかをしっかりと考えてほしい。個人で経営しているクリニックが岡田病院かトキワ病院しか無い、もう少し増やしてほしい。
50 歳代	・市立病院の医師、看護師の対応がよくないという話を耳にする。キャパオーバーで大変なのかもしれないが、患者に寄り添った対応を望む。
30 歳代	・もっと病院をなんとかしたほうがいいと思います。医療がちゃんとしていないので、子供を住ませたいと思えません。病院の対応が適当すぎではないでしょうか。小さい子供のいるお家は不満しかありません。なにかあればすぐ釧路などに行かなければならないのは、辛すぎます。今までこんな病院と出会ったのは初めてです。なんとかならないと少子化対策とかの話にもなりません。

(3) 基本目標3 みんなで実践する「市民協働」を推進し、時代にあった地域をつくり市民サービスを維持する

①コミュニティの維持・活性化

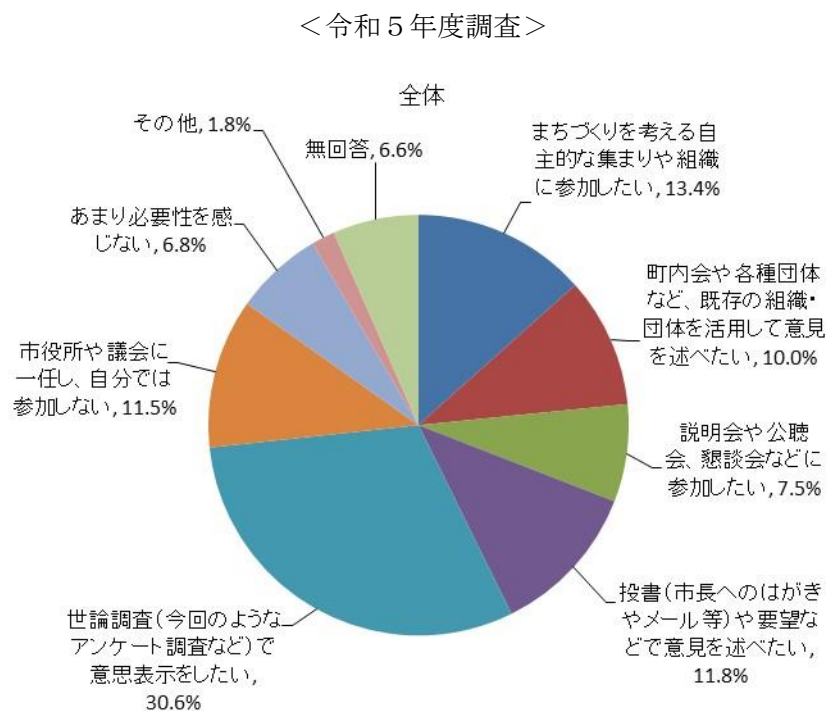
根室市の総合戦略においては、基本目標達成に向け以下のコミュニティの維持・活性化が推進されている。

- a) 市民活動団体の育成や市民活動の組織化、ネットワーク化の支援並びにシビックプライドの醸成
- b) 多様な主体がまちづくりに関わる市民協働・市民参画の推進
- c) 地域と多様な関わりを持つ関係人口の創出・拡大

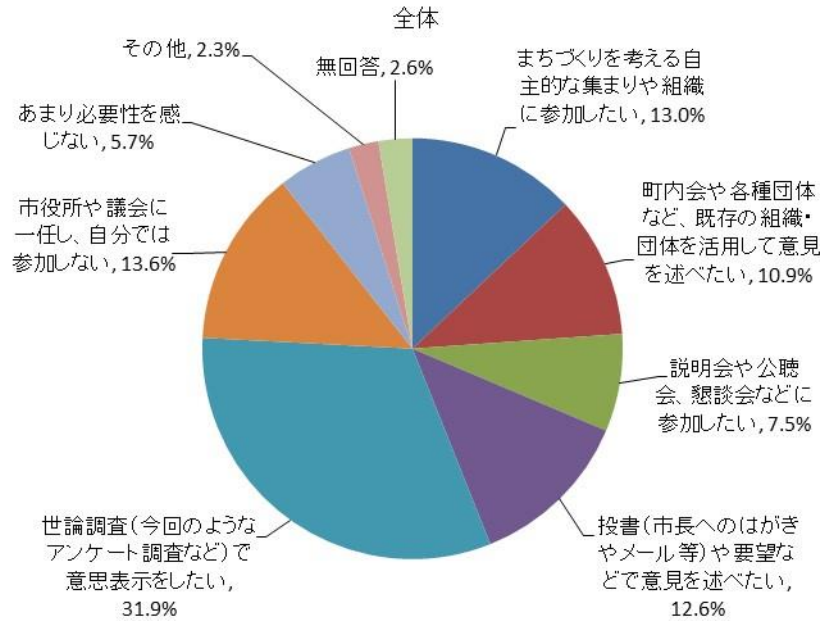
1) 市民のまちづくりへの参加意識に関する市民意識

今回実施した市民意識調査の結果からまちづくりへの参加方法についてみると、最も多かったのは、昨年度までの調査結果と同様に「世論調査（今回のようなアンケート調査など）で意思表示をしたい」とする要望である。このほか、「まちづくりを考える自主的な集まりや組織に参加したい」や「投書（市長へのはがきやメール等）や要望などで意見を述べたい」といった要望が多かった。

また、自主的にまちづくりに参加したいとする市民の割合は73.3%となっており、昨年度までと同様に70%を上回っていた。



<令和4年度調査>



2) コミュニティの維持・活性化に関する意見

今回の市民意識調査における自由意見の中からコミュニティの維持・活性化に関する内容をみると、情報提供のあり方、公共施設や娯楽施設などに関する要望、生活環境への要望に関する意見が多くみられた。

情報提供については、大きく行政情報と地域イベント等の情報発信を求める意見がみられ、このうち行政情報に関しては、市で実施している事業や施策情報の周知を求める意見があったほか、防災情報や交通情報の即時性を求める意見もみられた。地域イベントに関しては、SNSのさらなる活用やイベント情報を集約したポータルサイトの構築などを求める意見がみられたほか、こうした情報提供の充実を図ることでイベント自体の活性化につながるとの意見もみられた。

公共施設や娯楽施設に関しては、公園や体育館、店舗、娯楽施設の充実を望む意見が多くみられたほか、バリアフリー化に関する要望などもみられた。

生活環境に関しては、防犯カメラや街灯の設置など、安心して暮らすことのできる環境を望む意見がみられた。

<コミュニティの維持・活性化に関する意見>

年代	問 22 意見・提案
75 歳以上	・私は市民の森へたまに歩行機で歩いて行きますが、休む椅子がありません。1か所でもあればうれしいのですが。おけないでしょうか、あればうれしいのですが。
50 歳代	・町内会毎に草刈り、花壇の整備などを行っているが、高齢化が進み役員さんの負担が大きくなっていると感じる。若い人、小中高生も一緒に参加活動できる仕組みがあるとよい。通学路、観光で訪れる方々にも根室がきれいな街の印象が残るよう自分も参加したい。
60～64 歳	・花が好きなので、桜の木の下でごはんでも…。このような公園があれば。

年代	問 22 意見・提案
65～74 歳	<ul style="list-style-type: none"> ・老後生活（現職）の身ですが、周囲の方からもよく耳にするのは楽しめる場がないことです。パークゴルフ場老人福祉センターや公園があるとはいえ、映画館、美術館はなく（これについては総合文化会館で移動展示できませんか？）、スポーツ施設も 1 施設のみです。病院の先生からは歩くことをすすめられグラウンドを 10 周したことを聞いていますが、楽しくありませんね。明治公園のような広い公園がもっとあればと思います。そして一休みできるようなお店（喫茶）なんかもあると楽しさも倍増です。街の中心でさえ、ゴミが転がっていたり花壇や街路樹の周囲は草でぼうぼうです。とうとう一年を通して一回きりの除草でしたが雑でした。とにかく汚い。もし可能なら（世代を問わず楽しめる温泉施設、浜中町「霧多布温泉ゆうゆ」のような温泉じゃなくても良いですが）、家族で楽しめる施設、その中に小さいながらもスポーツやレジャー、講演会や演奏会ができる場があっても良いですね。それと映画館（たまに上演するとか）もあれば。
60～64 歳	<ul style="list-style-type: none"> ・根室市内にきれいな場所（鮮やかな色彩の花がいっぱいとか）を作ってください。
18～19 歳	<ul style="list-style-type: none"> ・私の出身中学校が啓雲中学校で啓雲中学校が閉校になってしまった。コロナでイオンの近くにあったカラオケ店があったけど閉店してしまった。そしてコロナ禍で大変で閉店ラッシュをしているパチンコ店がなんと根室市内 5 店舗中現在 3 店舗その 2 店舗閉店してしまった。復活してほしいし、グラウンドオープンは厳しいよね。
40 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・近年重大な犯罪が多く、検挙率が高い日本ではありますが、市民の安心安全のためにも、主要交差点などへの防犯カメラ設置や見回り等を検討していただきたく思います。犯罪者の一刻も早い逮捕、しいては防犯に繋がると考えます。
30 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・イベント情報のアプリを作ったらどうでしょう。
75 歳以上	<ul style="list-style-type: none"> ・行事その他の事、市内外への発信が弱い。役所人のボランティアでの参加や協力でリードしてほしい。
40 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・根室市民はイベントなどをする事が大変下手に思います。他の地域の方が上手です。もっとそういうことも 100%良くなるよう頑張してほしいものです。（フリーマーケットなど）←市役所で運用している。
60～64 歳	<ul style="list-style-type: none"> ・活気のない根室市。街灯の整備を明るくしたり、町全体が暗くて出歩きたくないです。
40 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・まず、消防出勤情報が活用できていません。できるだけタイムリーに情報を知りたいです。 ・最近で言うとう舟漕ぎレース。せっかく 1 位から 5 位まで賞金がもらえるのなら、何がもらえるか等他地方へどんどんアピールすべきです。ネットでのアピールが全然足りないと思います。北海道 3 大祭の根室のお祭りをもっとアピールすべきだし、有料の観覧車を用意するなど他の地域がやっていることを勉強してほしいです。そういったお金を祭典句の子供達に還元して、もっと子供たちが参加し活気あるものにしてほしいです。 ・北方領土関連の建造物で初の有形文化財になっている陸揚庫をもっと活用すべきです。 ・もう少し車を止めやすいよう整備し、エリカちゃんの大きいオブジェを置くなど、明るいイメージで目にとどまるようにする等してほしいです。
30 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・今は LINE 等の拡充により、前よりも地域の情報や防災情報を早く知る事が出来て助かってます。ヒグマ目撃情報等も毎日のように届きますが、どの辺によくいて気をつければいいのかかわかるので、少しは対策しようがあるかとも思います。このまま、冬には交通情報（通行止め）がリアルタイムで更新になればいいなと思います。仕事へ行くとき帰る時などはすぐに通行止めになる地域なので、どこを通ればいいのか等正確に知りたいので、交通情報等も流して頂ければ助かります。
40 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども、高齢者の方への支援も大切だと思いますが、独身や子供がいない家庭も物価高騰で大変なので少し考えていただければと思います。まちづくりの意見ではないかと思いますがよろしく願います。 ・冬の除雪で雪山が高いと対向車や歩行者が来ているのか見えにくいので、あまり高く積み上げないほうが良いかと思います。夜間の除雪は大変かと思いますが、早めに除雪をして少しでも安全に車や歩行者が通れるようにしてほしい。
30 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・根室だから安全とは限らないので、あらゆる所への防犯カメラの設置。違う国から根室に住んでいる人もいる。子供が安全に、大人も安心して暮らしていけるようにしてほしい。
50 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・落石の街路灯が少なすぎるので、増やして欲しい。私の家の街路灯もそうですが。 ・道路が穴あいて車が運転しづらい。毎年直しているのにすぐ穴があく。ちゃんと修理していないのではないかと思います。しっかり直してほしいです。車が傷みます。 ・根室で衣料品を購入できる所が、イオンとしまむらのみ。車のある人は釧路などに行けるが、車のない高齢者は買い物にも行けない。お店が増えると助かると思います。タクシーチケットも 3 年ではなくてずっとほしいですね。回数券も倍くらいあってもいいと思いますよ。
30 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・根室市で開催されるイベント（花火大会・地域のお祭り・コンサート等）を一つの情報サイトで見られるように一元化して欲しい。現状は、HP・Twitter 等で載せる情報がまちまちのため、知らずに終わることがある。外部の人間ならもっと分からない事だらけだと思います。

年代	問 22 意見・提案
65～74 歳	<ul style="list-style-type: none"> ・青少年センターを立て替えて頂きたいです。(カビでいっぱい)
50 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート内容についてとても大切な事とは思いましたが、根室市の人口が減っている事も重視した方が良くはないのでしょうか。30代～50代転出が多いかと思えます。 ・個々に家庭の事情などで孤独に生活をしている市民が多いことはご存知でしょうか。重病を患い保険等では補えずにただ死を待つ市民もおります。1件1件訪問は難しいと思えますので、せめて相談窓口の配布などしてはどうですか。根室は広報も市民全員には届いておりません。20代は結婚していても町内会に入っていない人も多いです。 ・町内にもよりますが、空家や廃墟も多いかと思えます。個人の持物という事もあって取り壊し難いと思えますが、少額の支援金又は相談窓口の設置など市民の声がもっと身近にしてもらいたいです。 ・自然環境も良く野鳥も多い町です。コロナ明けでこれから観光客も多くなる事でしょう。観光だけではなく、ぜひ中間世代が残るよう戻ってきたくなるまちづくりを願います。
75 歳以上	<ul style="list-style-type: none"> ・日頃根室市民のために住みよい街づくり、豊かで平和な生活が送れるよう又健やかな児童の成長をその他あらゆる面で心尽くして下さっている受政者、市職員の皆様に感謝しております。人口の減少、高齢者対策も大切ですが、心の病を抱えていて次々仕事をやめる若者も多いと聞きます。ふるさと納税の利用などで健全な若者が楽しめるよう、体育館の新設、娯楽施設の充実なども視野に入れていただきたいものと思えます。
30 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・根室市で開催されるイベント（花火大会・地域のお祭り・コンサート等）を一つの情報サイトで見られるように一元化して欲しい。現状は、HP・Twitter 等で載せる情報がまちまちのため、知らずに終わることがある。外部の人間ならもっと分からない事だらけだと思います。
30 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・バリアフリーについてはもっと当事者の声をあつめてほしい。健常者だけで集まって話しても、気が付かないことが多いと思う。根室のバリアフリーは使いにくい。スロープなどあっても急すぎる。総合文化会館とか。図書館など公共なのにエレベーターがないなど。
65～74 歳	<ul style="list-style-type: none"> ・根室市には総合計画や都市計画、防災計画、最近ではブランドデザインなどのほか様々な計画が定められていますが、各計画ごとの優位性や関連性が明確ではないと思われるような施設整備や対策が進められてまちづくりがばらばらと見受けられます。何が根本になる基本の計画で、何が従たる計画なのか、どのように関連付けられて整備されているのか等が伝わらない。それは、多分計画の実施、進捗度、完成等、照査検証したものが無いからと思われる。今後は計画に沿った施設整備や事業実施が適証されて、それが市民へ情報提供されるよう現状を改善していただきたい。
40 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・子供向け広場や地域会館、学校や体育館など、次々に箱物を建てられているが、将来負担を考えられていないように感じている。また時代からか無料になる事業が多いが、これも、今は良いが将来不安を持っている。町の環境や景観（道路、空家、歩道整備など）にお金をかけ、「便利なまち」より「住んでいて気持ちの良いまち」になる方が、人口が減少している中では良いのではないかと。市は、イベントばかりしないで、もう少し住民に接して、市民をたいせつにしてください。近い場所を見る人材をつくってください。
50 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・もう少し働きやすい環境とイジメを無くすこと。生き物に優しいまちづくり。
40 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て世代にお金を使っても大きくなったら根室から出て行ってしまふ。他に使い道を考えてほしい。何でも子供子供とお金を使いすぎ。高齢者が多い。物価の値上げで大変なのは子育て世代だけではない。ワーク・ライフ・バランスは理想で、現実には仕事に追われる毎日。
50 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・まちの大きさに対して、図書館が小さい。高齢者が過ごしやすいように、学生がもっと勉強しやすいように利用者がもっと増えるような魅力ある場所になると良い。 ・高齢者はバスを利用する事が多いので、道路の反対側に渡らなくてもバスに乗れるように、バス会社に交渉してほしい。また、スーパー、病院の中にバスやタクシーを持つ場所、椅子をもっと多くして、玄関前までバスが来てくれるようになると良い。
50 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・道外から転居して数年がたちました。全く環境の違う場所、土地になじむのに最初はとても時間がかかっていました。今でもそう感じる所は多いですが、生活していく上で大切に思うのは共感できる気持ちだと思えました。道路を作る職業、医療関係、介護関係の方々の話を聞けたり、お手伝いする機会があったりで、以前より不満に感じていた事柄に対しての印象は共感できる部分に気付けたことで少しずつですが解消されていると思うようになりました。情報の少なさ、コミュニケーションの少なさがもう少し少なくなってくれば良くなるのではないかと思えました。市がより良くなるために励んでいる根室の職員に感謝します。
50 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者が多く、持ち家を人に譲りたいがもらい手がいなく、空き家にする人が多い（しかたなく壊す人が多い）。根室の賃貸は、札幌などに比べて高いので、古い家を活用する事はできないのかと思っています。
—	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者が増加する根室。コンパクトシティを目指していくのはどうでしょうか。銭湯の不便さ、買い物、交通の不便、ひとりひとりがあちこちに住んでいると難しいが、集結して生活することで、手助けする事も楽になるし、高齢者も安心して暮らせると思えます。根室で実現してみたらどうでしょうか。

年代	問 22 意見・提案
60～64 歳	・親も歳をとり普通でできることができなくなって、現在ヘルパーさんのお世話に（部分的ですが）なっています。そうなる買い物、家事、清掃と仕事以外にやることが増えてくるようになります。たぶんこういう状況の家庭が年々増えてくると予想されますので、そういう援助される人材の確保と賃貸体制の充実を進めていただき、ある意味他にはない、思い切った政策をとって他地域のモデルケースとしていただきたい。そういう風土があたりまえの市のイメージを共有し、みんなで街を支えていけるようなものを、目指していただきたいと考えます。
40 歳代	・総合体育館（武道場もある）が欲しい。
50 歳代	・カラフルな童話の世界に入ったような町にしてみんなが安心してどんどん人口を増やして欲しいです。
30 歳代	・防犯カメラ設置。暗い所への街灯設置。熊の駆除。避難場所の定期的掃除。

②地方創生の計画的な推進

第 2 期根室市創生総合戦略においては、基本目標 3 の達成に向け、以下の地方創生の計画的推進が図られている。

a) ふるさと納税制度の推進と寄附金を活用した地方創生

根室市では、根室市総合計画及び根室市創生総合戦略の着実な推進のため、ふるさと納税制度を推進し、地方創生関連基金への計画的な積み増しと積極的活用することとしている。

根室市のふるさと納税額は、毎年、全国上位に位置する規模となっており、地方創生の計画的推進に大きく寄与している。

また、企業版ふるさと納税制度を活用することで、企業との協働による着実な創生総合戦略が推進されている。

③広域連携の推進

第 2 期根室市創生総合戦略においては、基本目標 3 の達成に向け、広域連携が推進されている。

a) 広域ネットワークの構築

根室市では、人口減少下においても一定の圏域人口の確保、市民サービスの維持向上、社会経済活動の利便性向上のため、近隣の自治体や企業、大学等の多くの分野での連携強化が推進されている。

また、高等学校以降の教育機関がない状況を踏まえ、市内小・中学校等の義務教育学校、高等学校と、根室市が連携協定を締結している大学（東海大学海洋学部（2010 年相互協力協定）、北海道科学大学（2019 年包括連携協定））との教育活動が推進されている。

さらに、こうした大学等との連携による水産資源や観光資源の活用促進や根室管内の自治体による連携に向けた取組みが行われている。

今回の市民意識調査における自由意見の中から広域連携や他地域の大学や企業、自治体等の連携に関する内容をみると、特に産業振興に関して先進的な他地域事例を参考にしてほしいとの要望、将来に向けたビジョンを示してほしいとの要望がみられた。

<広域連携、大学、企業、自治体等との連携に関する意見>

年代	問 22 意見・提案
75 歳以上	<ul style="list-style-type: none"> 根室市の将来的発展についてどう考えそれをどう具体的に行おうとしているのか、またどうしなければならないのかが見えない。根室市の基幹産業は水産加工業だと思います。それに将来は根室市で原材料確保をし、人材や設備を確保していく必要があります。その具体策を明示してほしいと思います。
75 歳以上	<ul style="list-style-type: none"> 根室が持つ魅力はいったい何かを探さる必要があるのでは。土地活用の観点でのまちづくりを考えるにあたって、まず利用されていない土地の所有者を公私ともども調査すべきでは。何はともあれ空き家となっている公営住宅撤去して町をきれいにしては。
60～64 歳	<ul style="list-style-type: none"> 市民が普通に参加できる事業で、活性化を図ってもらいたい。
30 歳代	<ul style="list-style-type: none"> 根室市が 20 年ほどで消滅可能性都市になると言われております。人口増加のための施策や人材流出を防ぐための施策など、市民からは見えてこないのが不安です。自分が食べていければ良い、自分の子は市外へ出て働けば良い、そのような声が多くあるのが非常に悲しいですが、今のままだと自分もそのような考えを持ってしまいます。医療体制の充実も以前の方が活動的な話を耳にしましたが、現在は更に医師不足を実感しております。まちの活性化のためにも、今一度対策の見直しをよろしく願います。
40 歳代	<ul style="list-style-type: none"> 根室市単独でまちづくりを考えても、人・金・物に限界がある。広域連携で考えざるを得ないと思う。我が家では各地域のイベントに積極的に参加、毎週末に釧路・中標津に足を伸ばすのが当たり前であった。ただ、交通の便が悪く、自家用車で移動せざるを得ず、燃料高で行動が著しく制限されているのが現状。交通網の整備に限界があるのは承知している。人・物を広域連携でより流動的に動かせるように交通にかかる助成（燃料代補助等）を検討していただきたい。
18～19 歳	<ul style="list-style-type: none"> 総合体育館が今どのように進んでいるのか、全くわからない。最低でも、中標津の体育館くらいの規模でないといけない。中途半端な施設はいらんと思います。
40 歳代	<ul style="list-style-type: none"> 10 年 20 年先を本気で見通したビジョンが全く見えてこないで、どちらを向いて協働して良いのかわかりません。出来ることは、微力ですが協力したいと思っています。
40 歳代	<ul style="list-style-type: none"> 市民参画の方法についてですが、市役所で市民の方が参加するふるさと納税を活用する会議や学生のインターシップの会議や評議オブザーバーなどの会議では、いつも同じ人がメンバーに選ばれているように思います。（根室商工会議所青年部創陽クラブの方とか）かたよっているように思います。知り合いだから声掛けたような声もききます。こういう会に参加してくれる方は貴重ですが、毎回同じ人だと思ってしまう。
—	<ul style="list-style-type: none"> 根室市と規模の変わらないむしろ小さな町が数十年単位で成長を続けています。富良野・美瑛・上富良野・中富良野の町をよく観察分析すべきでは。町をブランド化し国内外の戦略的に情報を発信し続けています。国の予算を使い町の開発に成功しています。

6. 2 まとめ

平成 27 年度に策定された第 1 期根室市創生総合戦略は、少子高齢化や人口減対策として、若い女性をはじめとした次世代の若者、子育て世代が安心して働くことができ、結婚し、出産し、子育てしていけるまちづくりを目指すとともに、もって移住者等の新しい人の流れを創り出すことを目的とした計画である。

このため、戦略の目標は、結婚支援、出産・子育て支援であったり、産業の活性化・雇用の創出、観光客等の交流人口の創出であったり、コミュニティの確保と市民協働のまちづくりによる市民サービスの充実等であり、高齢者や障がい者等の社会福祉、教育、交通・生活インフラ、環境、北方領土対策等を含めた根室市総合計画の一部を重点的に戦略化したものである。

一方、令和 3 年 6 月に策定された第 2 期根室市創生総合戦略は、第 1 期根総合戦略における戦略理念、「雇用対策」「子育て支援」「人材育成」の政策パッケージを引き続き重点的に展開し、継続的な効果を求めていくこととし、加えて、人口減少を抑制するという観点から定住人口や交流人口とは異なる関係人口の概念を再認識し、「まち・ひと・しごと創生」に前向きに取り組むこととしている。

その上で、今後の展開方向として、人口減少・雇用情勢の変化に加え、新型コロナウイルス感染症を契機とした地域社会の変容、さらには、医療、福祉、教育分野を含めた新たな社会システムの形成に向けたデジタル・トランスフォーメーション (DX) 技術の推進、Society5.0 の実現、持続可能な開発目標 (SDGs) 達成への貢献、脱炭素社会の実現に向けたグリーン・トランスフォーメーション (DX) の推進などの新たな視点に着目した施策展開が立案されている。

本調査は、総合計画に加え、この総合戦略に基づく各種の施策の現時点での実施効果を把握するために平成 28 年度から実施されているものである。

調査は、主として根室市総合計画や総合戦略で実施されている各種事業や施策の効果等に対する市民の評価を満足度意識や各種事業に対する認知度、改善に向けた施策ニーズ等の変化を把握するために、実施しているものである。

今年度の調査では、第 2 期根室市創生総合戦略に対する評価や、現在、市で実施している施策の認知度の把握を行った。

その結果、総じて、子育て、医療関連、教育関連、水産業の振興に関する施策については、比較的認知度が高かったものの、生活環境、文化関連、行政情報などに関する施策への認知度は低いことが把握されていることから、施策効果を把握するためには、こうした各種施策の周知を図ることが重要と考えられる。

特に、近年の根室市の基幹産業である漁業を取り巻く目まぐるしい環境変化は、生活・経済基盤に対する根室市民の不安意識を助長しており、安定した育てる漁業の早期実現や、根室市の特徴を活かした観光展開等の産業振興への期待がより一層大きくなっていると考えられる。

また、総合戦略に基づく子育て支援施策の実施に対して市民から一定の評価が得られているのに対して、高齢者支援の充実を望む意見が多くみられたことも特徴であった。

そのほか、医療、買い物環境、交通体系に対する市民の不満足意識は、恒常的に高い状況が把握されている。

(1)「ひと」と「しごと」を呼び込み、稼げる仕組みづくりと安定した雇用、新しい人の流れをつくる。

(基本目標1)

- ・現在、根室市の課題は、人口減少、少子高齢化、雇用の場の確保などがあげられるが、最大の課題は、根室市の基幹産業である漁業や水産加工業の低迷にある。平成28年から禁止となったロシア200海里内サケマス流し網漁に加え、近年のさんまや秋サケの不漁の影響、さらには、令和4年度のロシアによるウクライナ侵攻をきっかけとしたロシアとの関係悪化が、根室市経済に大きな影響を与えているだけでなく、市民生活の不安を助長している。さらに、令和5年8月に始まった福島第一原発の処理水の海洋放出により中国が日本産水産物の輸入を全面停止していることも、今後に向けての不安材料となっている。
- ・このような状況下にあつて、漁業に関しては、特に、育てる漁業（養殖事業）の推進を求める市民からの意見が最も多くあがっていた。
- ・一方、水産業を取り巻く環境悪化を背景として、より即効性の高い企業誘致に対する期待が昨年度に引き続き高い状況がみられるほか、観光振興や移住も含めた交流人口の拡大、新たな特産品の開発など、継続して取り組まなければならない課題に対する認識が高い状況も引き続きみられている。
- ・特に、観光振興に対する市民の期待は依然として大きく、宿泊施設や飲食店、観光スポット、駐車場等の観光客向けの施設整備、自然等の根室市が有する資源の有効活用、特産品開発、情報発信の強化、景観対策が市民の意見として多くあげられており、宿泊需要創出のための観光客誘致に向けた具体的戦略の立案が喫緊の課題となっている。
- ・また、移住促進に向けては、雇用の場の創出だけでなく、空き家の有効活用等による移住者向けの住宅整備、新たな働き方ニーズに対応した環境整備、ワーケーションへの対応などを進めていくとともに、そのための情報発信が重要と考えられる。

(2)住み続けられる「安心」と「支え合い」の地域を守り、若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる。(基本目標2)

- ・根室市における児童・生徒の学力の向上が課題となっていることから、そのためのICTの活用や外国語指導助手の配置、通級教室の開設等の取組みが令和3年度から新規事業として実施されている。これらの取組みの成果検証を適宜行い、児童や生徒の学力向上により効果的な事業へと継続・発展させていくことが重要である。
- ・また、多くの市民からは、高校卒業後の就職先の必要性が指摘されており、そのためには(1)でも整理したような産業振興政策を進めていくことが重要になる。
- ・子育て対策としては、給食費の無償化、保育料の無償化、医療費の無償化などの経済対策や子ども向け屋内遊戯施設「ふるさと遊びの広場」(愛称:わんぱーく)の整備など、市の政策に対する一定の評価がみられているものの、厳しい経済環境を反映してか、さらなる支援の充実を望む意見もみられている。また、共働き世帯が多い中、学童保育の充実なども望まれている。
- ・一方、医療環境に関しては、小児科医院の閉鎖、市立根室病院の病床数縮小などにより、市民の不安はさらに高まっていることから、診療科目の充実、医療スタッフの充実など、引き続きさらなる医療体制の充実に向けた対応が求められている。
- ・ただし、この医療体制の充実は、根室市だけでなく地方に課せられた課題でもあり、他地域との連携を図りながら地道な取り組みを進めていくことが必要である。

- ・根室市での居住年数が長いほど、また、高齢者ほど、根室市に住み続けたいとする希望が高いことから、子育て支援だけでなく、働く場の提供も含めて、高齢者が健康で安心して住み続けられるまちづくりが求められている。

(3) みんなで実践する「市民協働」を推進し、時代にあった地域をつくり市民サービスを維持する。

(基本目標3)

- ・市民意識調査の自由回答から市民協働、市民参加、地域コミュニティ、地域環境との共生等に関する意見をみると、情報提供のあり方、公共施設や娯楽施設などに関する要望、生活環境への要望に関する内容が多かった。
- ・このうち情報提供のあり方については、行政情報のみならず地域イベント等の情報発信力の弱さが指摘されており、市の広報やSNSをはじめとする情報提供のあり方が引き続き課題となっている。
- ・根室市においては、人口の減少、産業経済の停滞が続く中で、ふるさと納税制度の活用により大きな成果が得られており、創生総合戦略の計画的で、かつ着実な推進に大きく寄与しているが、さらに市民ニーズを十分に把握することで、市内経済や市民生活の向上に向けたより効果的な施策立案を期待する意見もみられている。
- ・また、市民が期待する観光振興や特産品開発に向け、他地域の大学や企業、自治体と連携することで、観光資源の活用策の検討や新しいアイデアの創出に寄与することが期待される。

資 料 編

資料 1. 市民意識調査自由回答

年代	問 22 意見・提案
20 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・医療人材の確保。ただお金で支援しているだけでは人は来ないと思う。(地元民戻ってこない)お金を借りていた分の年数働く…。これからその年数が延びると聞きました。ただただ束縛されている感が強くなるだけ。→戻ってくる人少なくなる→少人数で業務を回してしんどくなる→辞める人が出る、このループ。派遣の人からすると、根室に魅力を感じて自然が好きで海鮮が好きで・・・でも業務がキツイですねと。そうやって魅力を感じてくれている人がいる、そういう人をもっと雇うと医療人材が増えて地元に戻ってくる人も増えるのでは？でも戻ってくる人がいたとしても多分若い人はたくさんの経験を積みたいので3年ほど働いて、実家でお金を貯めたら地方に出る。それは仕方のないことだと思います。束縛はよくないと個人的には思います。地元民が戻ってこなくても、地方民で魅力を感じてくれる人がいれば、そういう人をもっと惹きつけられるような政策を。
75 歳以上	<ul style="list-style-type: none"> ・私は市民の森へたまに歩行機で歩いて行きますが、休む椅子がありません。1か所でもあればうれしいのですが。おけないでしょうか、あればうれしいのですが。
30 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・観光客に朝市や食堂はあるかと聞かれた事があります。そのような施設(朝早くから開店している店舗)。
50 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・町内会毎に草刈り、花壇の整備などを行っているが、高齢化が進み役員さんの負担が大きくなっていると感じる。若い人、小中高生も一緒に参加活動できる仕組みがあるとよい。通学路、観光で訪れる方々にも根室がきれいな街の印象が残るよう自分も参加したい。 ・子供たちにフリーパス(バス)が利用できるようになったが、活用する機会が少ない。子供にもわかるような路線バス案内があるとよい。
30 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・根室高校の入試に合格最低点を設ける。
50 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・楽しく子育てできるまちづくりをお願いします。
60～64 歳	<ul style="list-style-type: none"> ・花が好きなので、桜の木の下でごはんでも…。このような公園があれば。今やなにもない根室市。がんばれ根室。
65～74 歳	<ul style="list-style-type: none"> ・老後生活(現職)の身ですが、周囲の方からもよく耳にするのは楽しめる場がないことです。パークゴルフ場老人福祉センターや公園があるとはいえ、映画館、美術館はなく(これについては総合文化会館で移動展示できませんか?)、スポーツ施設も1施設のみです。病院の先生からは歩くことをすすめられグラウンドを10周したことを聞いていますが、楽しくありませんね。明治公園のような広い公園がもっとあればと思います。そして一休みできるようなお店(喫茶)なんかもあると楽しさも倍増です。街の中心でさえ、ゴミが転がっていたり花壇や街路樹の周囲は草でぼうぼうです。とうとう一年を通して一回きりの除草でしたが雑でした。とにかく汚い。もし可能なら(世代を問わず楽しめる温泉施設、浜中町「霧多布温泉ゆうゆ」のような温泉じゃなくても良いですが)、家族で楽しめる施設、その中に小さいながらもスポーツやレジャー、講演会や演奏会ができる場があっても良いですね。それと映画館(たまに上演するとか)もあれば。
30 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・根室市に住んで17年たちました。愛着もありますしこの自然あふれる町が好きだなと思いますが、子供がまさに進学という年齢になり、地方であるがゆえにこの地を離れるという選択も受け入れなければいけないときが来たのかなあと考えています。安心して進学させてあげられれば良いのですが、自宅外通学者は本当にお金のことなど余裕がないし家族にとっても負担が多すぎるのを痛感しています。これまでの生活の中で、根室市は各地方に比べても子育てに対して力を入れてくれていると感じ、とても頑張ってくれているんだなと思います。ありがたいです。中学・高校の世代が思い切り遊べる施設ができると良いなとよく話しています。スケートボードなどよく一生懸命練習している子たちを見かけます。本格的にできたら将来輝く選手になる子もいるかもしれないけど、そもそもの環境がないことはもったいないなあとと思います。何か1つでも「この市でしかないもの」ができれば良いなあとと思います。これから先、根室市を離れることになっても、この自然がずっとこのままでいてもらいたいです。何もなくても、ああ帰ってきた一と思えるそんな魅力があります。
65～74 歳	<ul style="list-style-type: none"> ・自分も仕事と子育ての両立が大変だったので、保育のお手伝いをしたいと思います。特に保育園終了後から親の仕事が終わる時間までが大変だと思います。
75 歳以上	<ul style="list-style-type: none"> ・水産業が衰退した街に、なにか出来ることはないか。何かの産業を誘致する計画を考えてほしい。
60～64 歳	<ul style="list-style-type: none"> ・根室市内にきれいな場所(鮮やかな色彩の花がいっぱいとか)を作ってください。
60～64 歳	<ul style="list-style-type: none"> ・根室市の基幹産業である漁業は今まで春の鮭鱒そしてサンマ・イカ・冬のタラ等を中心にコンブや豊かな海の資源で支えられてきました。しかし、その状況が大きく変わった事は承知の通りです。養殖の大切さから市のほうでも、力を入れてきたことは知っております。益々力を入れていって下さい。基幹産業が良くなると、全て良い方へと雪だるまで進んでいくと思います。ふるさと納税で全国に支えられていることは、大変ありがたいと思います。その資金の中から飛行場跡地あたりにボーリングで温泉を掘って下さい。観光客を呼び込みできるとと思います。

年代	問 22 意見・提案
—	<ul style="list-style-type: none"> 根室市には若い人が働く職場が少ない。だから都会に仕事を求めて身近な人がいなくなる。私は4歳の時にロシア兵に追われ根室港に逃げてきた。地元小・中学校を卒業して地元で結婚して3人の子供達も地方で就職して年に2回くらいしか会えない。でも健康に気を付けて病院に行くこともなく、散歩(冬も)パークゴルフ冬はフォークダンス料理教室と何とか頑張っています。
18～19歳	<ul style="list-style-type: none"> 私の出身中学校が啓雲中学校で啓雲中学校が閉校になってしまった。コロナでイオンの近くにあったカラオケ店があったけど閉店してしまった。そしてコロナ禍で大変で閉店ラッシュをしているパチンコ店がなんと根室市内5店舗中現在3店舗その2店舗閉店してしまった。復活してほしいし、グランドオープンが嬉しいよね。
65～74歳	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者の仕事の場を多くほしい。冬の期間は家の中に居ることが多くなり集まる場所がほしいと思います。
18～19歳	<ul style="list-style-type: none"> 根室市にローソンがあったら人が集まると思う。新しい人気のあるお店を作って欲しい。 拾ってもゴミが次の日には落ちていたので、どうにかして欲しい。最近設置されたペットボトルのゴミ箱があふれている所があるので回収してもらいたいです。 光洋トンネルが夜暗いので危ないです。(東根室駅の下のトンネル)
65～74歳	<ul style="list-style-type: none"> 根室も支庁の住宅など利用してた住宅が空室になり、雑草が茂って空き住宅の周りなど良い環境ではなくなっています。道も市も元住宅として使っていた建物の周りの雑草をなんとかしてほしいと思います。草が茂ると虫も多く犬猫もかくれて、ネズミなどもいると思います。元官舎として使用していた建物の周りを見てほしいと思います。
30歳代	<ul style="list-style-type: none"> 子どもが遊べる環境をつくってほしい(わんぱくのような。昔のアスレチックも体力をつけるため大事だと思う)。ファミリーレストランの新設。
65～74歳	<ul style="list-style-type: none"> 観光のまちづくり充実してほしい。観光客のために駐車場、施設の整備、市内イベントの宣伝、発信を多くして人が集まってくるまちに。
20歳代	<ul style="list-style-type: none"> 市内唯一の病院の市立病院がひどすぎる。看護師、医師どちらも対応がありえない。釧路の病院の対応が素敵すぎてどんな事があっても根室市立には行かないと決めた。大した知識もないくせに偉そうに診察する内科の医者看護師。一度教育し直した方が市民のためだと思う。言葉遣いなど。 手入れされていない空家。草が生えっぱなしになっている土地。もっと有効活用してほしい。空き家、使っていない土地、もっと市が管理して売ったり、新しくきれいな市営住宅を作るなど子供のいない世帯のためにも、ふるさと納税を使ってほしい。他の所から来た人が、家を建てたりしたいのに空き家になっている所ばかりなのに土地が売ってないから、家が建てられず、古くて高い賃貸に住まなくてはいけない。もっとふるさと納税をしっかりと使って下さい。
40歳代	<ul style="list-style-type: none"> 駅前の整備。観光施設の充実。子連れで1日中楽しめるようなお店があれば良いと思います。
75歳以上	<ul style="list-style-type: none"> 青少年センター体育館が面積的に狭く使いづらく不便だ。(例) ミニテニスのコートが後方3面のみ使えるが、全面は舞台が邪魔である。
65～74歳	<ul style="list-style-type: none"> 小学生の孫が少年野球のサークルに入っていますが、ほとんど行政がかかわらずに父兄がグラウンド整備や運営に携わっています。練習時には照明等もなくグラウンドも色々な場所でやり一定していません。自由に練習する場所もない様子です。室内練習場も一般市民の好意で使わせてもらっているようです。現在学校自体が校外のものに関係していないので、行政として手を貸したらいかがなものかと考えます。市営球場使う時も大人の人も使うのに子供と父兄が整備を頑張っている状況です。球が見えなくなる位夜にも練習していると子供達がかわいそうです。車のライトを点けての練習、今野球が目目されています。市としても協力してやってほしいです。
30歳代	<ul style="list-style-type: none"> 言っても改善されたことないですが、乳児おむつ用品購入券はありがたいんですが、オムツだけじゃなくベビー用品とかにして欲しいです。オムツだけだと使うのも大変だし、せめて“おしりふき”はありにしてほしいですね。正直ありがたいけどやるのが中途半端ですよね。
20歳代	<ul style="list-style-type: none"> 総合運動公園に生えている木が邪魔くさいです。通行人のさまたげになるので、ある程度切ってほしいです。地面も木から落ちた葉だらけで汚いので歩く時にとても気になります。
40歳代	<ul style="list-style-type: none"> 近年重大な犯罪が多く、検挙率が高い日本ではありますが、市民の安心安全のためにも、主要交差点などへの防犯カメラ設置や見回り等を検討していただきたく思います。犯罪者の一刻も早い逮捕、しいては防犯に繋がると考えます。
65～74歳	<ul style="list-style-type: none"> 子育てばかりで、高齢者はないがしろの様な気がする。子育て支援も大切だと思うが、介護の支援ももっと考えるべき。お金のある人は良いが施設に入居できないものが居ること、家庭で介護しなければならない家庭が沢山ある事を考えてほしい。
50歳代	<ul style="list-style-type: none"> 道路やそのふちのゴミがすごいといつも思っています。買い物袋に入ったまとまったゴミが普通に投げられています。特に根室高校の坂を下がったあたりから、納沙布までの道路がすごい。何か対策をとるべきです。捨てた人への罪の意識をもってもらうための罰則も必要だと思います。

年代	問 22 意見・提案
75 歳以上	・老後に関する施設等の情報など。
60～64 歳	・この町の気質として新しい物を取り入れづらい所はありますが、移住者の積極的な共存方法を模索し、人口増に取り組んでほしいと思います。若年層の住みやすい町、子どもを産みやすい環境作りをより一層取り組んで頂きたいです。
30 歳代	・上下水道が高すぎるので不満です。近郊の自治体でも最下位だと思います。それ以外は大満足ですので、上下水道何とか頑張ってください。
20 歳代	・初産をできるような医療体制へ。
30 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・車社会なのに駐車場が少なく、危険な路上駐車が多数。路肩を広げるのではなく、駐車場を作って下さい。 ・ネット上に情報がなく、観光客や他地域からの転入者にとって不便が多い。観光地として案内されている場所が、駐車場がなかったり看板がわかりにくかったり、道の整備がされてなかったりと管理が行き届いていないと思われることがある。 ・風車やソーラーパネルが目に見えるスピードで増えている。自然や野鳥を観光資源にしていると思うが、環境への影響などは調べた上で建設の許可をしているのか気になる。 ・魅力的なお土産がない。釧路に行くと根室で見たことのない根室土産があることがあり、なぜ根室で売っていないのか不思議に思ったことがある。個人向けの土産はあっても、学校や会社などで配れるようなお土産がない。(個包装が無地なのは配った際にどこの土産かわからないので好まれません。)
65～74 歳	・観光客も利用できるスーパー銭湯(宿泊、飲食、特産品購入、歴史や文化を観光客にも知ってもらう設備の設置 etc) の建設
30 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者、子育てのための支援はある程度充実してきていると思いますが、結婚や妊活(不妊治療も含めて)の政策がもう少し充実してほしい。人それぞれライフスタイルは違うため、一定の条件をクリアするともらえる補助金や国からの補助金とは別に政策を作るなど。結婚や妊活に前向きになれるようになれば人口が増えたり、移住してくれる人も増えると思います。 ・空港までの道のりが遠いため直行バスを追加したり、道路を整備してもう少し時間をかけずに行ける便利だと思います(特に釧路空港までの道のり)。よろしくお願いします。
30 歳代	・イベント情報のアプリを作ったらどうでしょう。
65～74 歳	・空き家が多すぎ。道路はゴミだらけ。本当に恥ずかしい。
65～74 歳	<ul style="list-style-type: none"> ・若者が希望を持って仕事ができる市の取組を考えてほしい。賃金等安い会社もあり、パートで働く身としては、民間では最低賃金にもみたくない。 ・市立病院の看護師さんはじめせつかく市が学校へ行かせてあげる資金を利用しているにもかかわらず、3年経ったら退職してしまうのはどうしてのですか？市の病院体制に問題があるのですか？市立病院にはとても良い医師がいます。私供年寄りには毎月釧路に通院することもできないので、根室市立病院の医師はとても感謝申し上げます。年寄りにとっては、身体の不安を抱える中で、とても親切に診てもらっています。過去には手術したこともあり、札幌や釧路に行かなくても治していただきました。身体に不安を抱えるお年寄りにとってもっと安心出来る病院だという事をアピールしてはどうでしょうか。
75 歳以上	・行事その他の事、市内外への発信が弱い。役所人のボランティアでの参加や協力でリードしてほしい。
40 歳代	・もっと若い人が街に残ってくれる様な施設があれば良いと思う。ゲームセンターやファーストフード店やマンガとか。店も色々増やしてほしい。服や小物の店など。うちには子供はおらず、犬を飼っているのですが、子供のいない人にとっては子供のような存在でもあるので、一緒に入れる室内ドックランとかほしいです。外にはキツネやクマや鹿など多くいるので、エキノコックスも怖いので、室内で遊ばせたいです。根室に居ても何も無いと思われないような充実した街にしてほしいです。特に中標津みたいにせめてなればいいと思います。
75 歳以上	・根室市の基幹産業は漁業であり、自然の資源活用には既に限界があり創意工夫が必要である。
40 歳代	・根室市民はイベントなどをやる事が大変下手に思います。他の地域の方が上手です。もっとそういうことも 100%良くなるよう頑張ってください。フリーマーケットなど←市役所で運用している。
75 歳以上	・根室市の将来的発展についてどう考えそれをどう具体的に行おうとしているのか、またどうしなければならぬのかが見えない。根室市の基幹産業は水産加工業だと思います。それに将来は根室市で原材料確保をし、人材や設備を確保していく必要があります。その具体策を明示してほしいと思います。
75 歳以上	・根室が持つ魅力はいったい何かを探す必要があるのでは。土地活用の観点でのまちづくりを考えるにあたって、まず利用されていない土地の所有者を公私ともども調査すべきでは。何はともあれ空き家となっている公営住宅撤去して町をきれいにしたい。
60～64 歳	・活気のない根室市。街灯の整備を明るくしたり、町全体が暗くて出歩きたくないです。

年代	問 22 意見・提案
40 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・まず、消防出勤情報が活用できていません。できるだけタイムリーに情報を知りたいです。 ・最近で言うと舟漕ぎレース。せっかく 1 位から 5 位まで賞金がもらえるのなら、何がもらえるか等他地方へどんどんアピールすべきです。ネットでのアピールが全然足りないと思います。北海道 3 大祭の根室のお祭りをもっとアピールすべきだし、有料の観覧車を用意するなど他の地域がやっていることを勉強してほしいです。そういったお金を祭典句の子供達に還元して、もっと子供たちが参加し活気あるものにしてほしいです。 ・北方領土関連の建造物で初の有形文化財になっている陸揚庫をもっと活用すべきです。 ・もう少し車を止めやすいよう整備し、エリカちゃんの大きいオブジェを置くなど、明るいイメージで目にとどまるようにする等してほしいです。
65～74 歳	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者にわかりやすくして下さい。
40 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども、高齢者の方への支援も大切だと思いますが、独身や子供がいない家庭も物価高騰で大変なので少し考えていただければと思います。まちづくりの意見ではないかと思いますがよろしくお願ひします。 ・冬の除雪で雪山が高いと対向車や歩行者が来ているのか見えにくいので、あまり高く積み上げないほうが良いかと思います。夜間の除雪は大変かと思いますが、早めに除雪をして少しでも安全に車や歩行者が通れるようにしてほしい。 ・釧路などの病院に行かずに、根室ですぐ診てもらえ入院できるようにしてほしい。市立病院の医師の対応が感じ悪い。根室の病院で診察してもらおうのが不安で、大きな病院に行くべきかと思ってしまう。釧路の病院等に行くために、花咲線維持してほしいのでがんばってください。
30 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・どこに行っても駐車場がせまい。止めづらい。
65～74 歳	<ul style="list-style-type: none"> ・人口比は女性が多いのに、女性が活躍する場が少ないと思う。特に市役所は率先して女性管理職を増やすことを検討する時期にきている。 ・街の中心部に、1 人でも気軽に寄れるオープンカフェのような場所がほしい。
75 歳以上	<ul style="list-style-type: none"> ・年齢的にこのような調査は大変でした。特に目の調子が悪い等。○の付けていない点もありますが、お許しください。鉛筆書きでごめんなさい。
65～74 歳	<ul style="list-style-type: none"> ・ソーラー発電が増加しているが、太平洋側の海拔がゼロメートル地に大量に設置されているのはなぜ？津波が来たら全てアウト。 ・水道関係の配管更新はできるだけ早く進めてほしい。上下とも。個人宅の下水関係でも土の移動によって(雨や自然による動きの影響)変形しているものも多いようなので。
30 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・根室だから安全とは限らないので、あらゆる所への防犯カメラの設置。違う国から根室に住んでいる人もいる。子供が安全に、大人も安心して暮らしていけるようにしてほしい。 ・子供がいると働きにくい。育休も取りにくい。辞めて違う所へ行くよう言われた。少子化を目指すのであれば、児童手当を 1 歳から減らすのではなく、高校又は中学まで一定の額にしてほしい。高給とりだと税金関係でお金が無くなる。幼稚園等の給食免除、仕事をしていなかったら保育所預けない(育休)、ふるさと納税は本当に市民のために使っていますか？根室に住んでいても、何に使われているか。子供のためにタブレットかパソコンを支給したと聞いたが、何か間違っている気がします。
18～19 歳	<ul style="list-style-type: none"> ・自分は高校 3 年生で来年は進学のため根室市から離れます。卒業後根室市に戻って来たくても希望する仕事がないです。 ・また自分の家族を見て思うのは、小学 1 年の弟がいますが、親が子育てで悩んでいます。厚床には学童がないので弟が 1 人で留守番をしています。自分の希望で厚床に住み始めたのに、弟の放課後(留守番)で親が悩んでいるのは見たくないです。これでは子育てに力を入れていると言えません。力を入れているのは、市街地だけですか？市の教育委員会に言ってもダメだったと親が言っていました。もっとたくさんの人が住みやすいと思えるまちづくりをして下さい。
30 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・子供が通っている学校でできる部活動が増えると良いと思う。
65～74 歳	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者が低料金で楽しめる娯楽があると良い。在宅障害者が利用できる施設を考えてほしい。 ・子供が外で健全に遊べる施設を考えてほしい。
75 歳以上	<ul style="list-style-type: none"> ・暑さ対策について、老人福祉センターへのエアコンの設置のお願い。今年は例年になく猛暑が続き体調管理に苦労しています。今後の気象の変化等を考えるとエアコンの設置も考えています。つきましては、公共施設の老人福祉センターへのエアコンを設置して頂きたい。高齢者が集まる施設は、暑い時の避難場所的役割も持つべきでしょう。自宅で暑さを我慢するより老人福祉センターで憩うのも高齢者にとっては意義のある事と思います。早めの対策をお願い致します。
65～74 歳	<ul style="list-style-type: none"> ・水道料金が他の都市と比べて高いのでもう少し安くしてほしい。
20 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・水道料金が他の都市と比べて高いので、もう少し安くしてほしい。

年代	問 22 意見・提案
30 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・ 鮮魚店だけではなく、海鮮丼が食べられるような施設があったほうが観光客も増えると思う（港付近）。昔はあったのかもしれないが、映画館があればワークライフバランスが充実する。
30 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今は LINE 等の拡充により、前よりも地域の情報や防災情報を早く知る事が出来て助かっています。ヒグマ目撃情報等も毎日のように届きますが、どの辺によくいて気をつければいいかがわかるので、少しは対策しようがあるかとも思います。このまま、冬には交通情報（通行止め）がリアルタイムで更新になればいいなと思います。仕事へ行くとき帰る時などはすぐに通行止めになる地域なので、どこを通ればいいのか等正確に知りたいので、交通情報等も流して頂ければ助かります。 ・ あとは最近若い子が根室を離れて行ってしまう傾向があり、町もだんだんと活気が無くなって行くので、高齢者施設もそうですが、短大・専門学校を近くに作るなど若い子が少しでも残ってくれるような対策が必要かとも思います。
60～64 歳	<ul style="list-style-type: none"> ・ 安心して通える医療環境。
65～74 歳	<ul style="list-style-type: none"> ・ 駅周りが活気ない。早朝(元旦)JR 利用時、休む所がほしいと聞いた。店が開いていない。お土産記念に買いたいと聞いた。
75 歳以上	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市長さんも大変だと思います。若い人たちは都会へと出て行くし、又秋鮭サンマ他の魚も不漁となり（ウクライナの件）根室はロシアの方への漁ですので。墓参も遠くなり、高齢者は亡くなり二世三世と続いています。島は無理ですので。墓参りが自由になると良いですね。私たちは、高齢で一日一日が大変ですが、何とか頑張ろうと明日の身は病院かもと思うだけです。
30 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今年転居して来たばかりで、市内の事業についてほとんど把握していませんでした。転入の際に根室市の事業一覧や魅力が一目でわかるものがあると嬉しいです。
50 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・ 協力体制が大事。例えば空き家のまわりのゴミや雑草とりなど。観光客がきても恥ずかしくないまちづくり。毎日の清掃が大事です。これから将来のことを考えると全てにおいて清潔で社会生活のルール、マナー、命の大切さを理解させ大人も子どもも心の教育(根っここの教育)が大切であると思います。誇れるまちであるからこそ強く思います。
18 歳未満	<ul style="list-style-type: none"> ・ コンビニやスーパーなどの店員の態度が悪い。教育者なのにしっかり教育してくれない。アルバイトの人に対する接し方が悪すぎる。 ・ 自習室やカフェなどもっと公共の場に勉強する場所が欲しい。(高校生に対する大人)学割ももっとしてほしい。
50 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・ 単身でも働くことは必要で、心臓の持病がある中、きびしい生活でもあります。地域によっては自動車が必要。子育て支援など様々な対策の他にも持病で生活をして生きていることも気にかけて欲しいと思います。プライバシーが先にきてしまいそうです。
20 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・ ファミレスが最低でも 1 店舗あるといかもかもしれません。学生の憩いの場にもなれば、家族で外食できる場でもあるので、学生だけでも行けるような所があると便利かなと思います。学生なら勉強会、家族なら団らんでできるようなファミレスがあると良いかな。路線バスの本数が増え、時間帯も細かくあると良いのかも。タクシーの台数が少ない上、料金が高いと感じます。路線バスが充実していれば、利用客も多くなるのかなと思います。学生が親の車で来ることが多いので、親の負担も減るのかなと思います。中学・高校直行便の 1 ルートだけでなく、近くに停まるバスとかの 2 ルート目があったりという感じです。ゲームセンターの種類がもう少しあればなと思います。※あくまでも小学生～高校生を対象として書いてみました。根室市に来てまだ年数が経っていないので、詳しくは分かりませんが、今時代に生きる若者が住んで楽しいと思えたらと思います。
60～64 歳	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者医療について。脳疾患などで寝たきりになると、根室市立病院では一定の期間が過ぎると、他の医療機関にまわされますが、根室ではその患者の受け入れ先が精神科であり、認知症の病名をつけなければ、入院できない病院ばかりで、これからはもっと多くなるであろう高齢者の医療を根室はどう考えているのか全く見えてきません。介護施設の中で医療をとまなう医療介護病棟があればもう少し不安なく根室で生活を送れるかもしれません。 ・ 移住者対策にしても一軒家の貸家が少なく、あっても古い物件ばかりでリフォームなどして移住者を呼ぶことをお勧めします。 ・ 根室はバードフェスタなど開催されるほど、鳥が多い場所として認識されていますが、近年渡ってくる鳥が減少しているをご存知でしょうか。来るのを待つのではなく、鳥が来やすい環境づくりを。何故こんなことをいうのかといひますと、数年前、明治公園にハイマツの木がたくさんあり、それを抜いて桜を植えてしまったということを知りました。桜を植えるのは悪いわけではありませんが、そのハイマツにはイスカやギンザンマシコなど野鳥が好む木であって、それ以来数が減ったと観察を楽しんでいた方の話を聞きました。公園づくりにも鳥に詳しい方の意見など聞いて、鳥の好む木などを植えて行ってはいいでしょうか。根室は桜よりも、ハイマツの方が環境に適しています。

年代	問 22 意見・提案
20 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・歯舞は津波の避難所がほとんどの人が歯舞学園なのですが、歯舞学園への道が 1 つしかないので混雑すると思うので避難する道を増やした方が良いと思います。 ・第 1 子を産むとき釧路に行かないと産むことができないため、妊娠後期から釧路に通わなといけない不安。
65～74 歳	<ul style="list-style-type: none"> ・青少年センターを立て替えて頂きたいです。(カビでいっぱい)
65～74 歳	<ul style="list-style-type: none"> ・医療が充実していると、人口の流出が少なくなると思います。別海町、中標津町でできる外科手術が根室ではできないのは理解できない。
30 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・根室市のまちづくりに関して、市民が情報交換できる場所や機会を増やしてほしい。その際、ただの意見交換ではなく、外部からまちづくりの専門家を招いて(ファシリテーターとして)ワークショップなどを通してまちづくりを進めてほしい。
65～74 歳	<ul style="list-style-type: none"> ・ここ数年少子化でしょうか。子供のいる世帯に非常に手厚く(無償化・給付等)高齢者にはやさしくないと感じます。年金だけの生活は苦しいものです。
30 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・学生向け施設の確保。テスト前など勉強できる場所が図書館しかなく、休館日や 18 時閉館により満足に集中して学習できる場がないそうです。学校の図書室開放や放課後でも教室を使えるようにするなど、テスト前だけでも良いので何かしらの対策をお願いしたいです。フードコートやファーストフード店など、学生が友達と気軽に訪れて交流できる場がない為、不便に感じます。青少年センターくらいしか遊べる所がなく、距離も遠いので交流の場があると良い。 ・活気ある港町。近年、漁業が衰退傾向にあり、一般企業は賃金の値上げ等取り組んでいる所もありますが、漁業者には無縁の話で、物価ばかり上がっている印象。養殖など取り組んでいる漁種もありますが、全ての漁業者に反映させてほしいです。そうすればもう少し担い手も増えると思いますし、昔のように活気が出てくると思います。各漁協だけではなく、市全体として付加価値をつけた流通に力を入れてほしいです。漁獲減少は致し方ないので。
30 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・根室市立病院の外来での待ち時間が長すぎる。受付してブロック受付で呼ばれるまで何十分以上待たされる。大人なら我慢できて小さい子供を連れて行く人は、あまりの長さであきらめて帰る人も多い。受付に QR コードなどをつけてスマホで待ち時間を示したり、呼び出しすることは難しのか。呼び出しの時間がわかれば、一度家に戻って安静にいられる人も多いはず。呼び出し 10 分前などにメールか LINE で知らせる。薬だけの受取なら、オンラインなどもっと周知してほしい。
65～74 歳	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て、少子化支援に力を入れているが、そもそも若い世代が根室の生活に魅力を感じていないし、雇用の場も少ない。もっと若い世代と交流を図りニーズをつかみまちづくりに活かしていくべきと思う。人材確保対策で資金貸付等の支援をしても返済した後、退職し根室から出て行ってしまいう例も多い。住み続けてもらうために何が必要か、もっと行政の方から積極的に出向いていき市民の声を拾う努力が必要だと思う。選挙の時だけでなく、議員も含め定期的に懇談会を開くなどお金をかけて何かをするだけでなく、市民の受け身の意識を変え行政と市民がともにまちづくりを進めていく事で元気な根室ワクワクする根室になることを願っています。
75 歳以上	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢になって大きな病の人達地元では治療できず難儀しています。検査、手術、医師、看護師、是非地元で安心して通えるようになってほしいと切望します。
75 歳以上	<ul style="list-style-type: none"> ・魚のまちと言いながら、魚を食べさせる所がない。ウニを食べさせる所などが必要ではないか。
30 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・子供にかかる費用が負担なので、軽減する取り組みをやって下さい。思い切って保育料全面無償化など共働きですが、保育料の割合が大きく大変です。新しい体育館を早く作って下さい。青少年センターは古くて限界だと思います。いずれにしても、子供が過ごしやすい子供を育てやすいまちづくりをお願いします。
50 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケート内容についてとても大切な事とは思いましたが、根室市の人口が減っている事も重視した方が良いのではないのでしょうか。30 代～50 代転出が多いかと思えます。 ・個々に家庭の事情などで孤独に生活をしている市民が多いことはご存知でしょうか。重病を患い保険等では補えずにただ死を待つ市民もおります。1 件 1 件訪問は難しいと思いますので、せめて相談窓口の配布などしてはどうですか。根室は広報も市民全員には届いておりません。20 代は結婚していても町内会に入っていない人も多いです。 ・町内にもよりますが、空家や廃墟も多いかと思えます。個人の持物という事もあって取り壊し難いと思いますが、少額の支援金又は相談窓口の設置など市民の声がもっと身近にしてもらいたいです。 ・自然環境も良く野鳥も多い町です。コロナ明けでこれから観光客も多くなる事でしょう。観光だけではなく、ぜひ中間世代が残るよう戻ってきたくなるまちづくりをお願いします。

年代	問 22 意見・提案
50 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・落石の街路灯が少なすぎるので、増やして欲しい。私の家の街路灯もそうですが。 ・道路が穴あいて車が運転しづらい。毎年直しているのにすぐ穴があく。ちゃんと修理していないのではないかと思います。しっかり直してほしいです。車が傷みます。 ・根室で衣料品を購入できる所が、イオンとしまむらのみ。車のある人は釧路などに行けるが、車のない高齢者は買い物にも行けない。お店が増えると助かると思います。タクシーチケットも 3 年ではなくてずっとほしいですね。回数券も倍くらいあってもいいと思いますよ。
65～74 歳	<ul style="list-style-type: none"> ・人口が減少していくばかりですが、興味の持てるまちづくり移住を考えてもらえるようなまちづくりが出来たらと思います。自然がいっぱいで都会の人たちがここ良いねと思う場所はあると思います。根室で生まれて今の私でもそう思う所はたくさんあります。 ・医療の面からみると不安な気持ちがあります。根室を離れる人の理由は病院（医療の）が不安だからです。この私でもできれば根室に最後までと思っていますが、現実札幌の病院に年に一度出かけます。（健診）
50 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・これからの根室は、漁業関係の仕事が減っているので、自然が多く良いところがあるので、観光開発をしていけば良いと思う。例えば、空家が沢山あるのでそれを利用する。調理とか自分たちで生活するようにする。季節限定でインターネットを活用して呼び込んではいかがでしょうか。冬は雪かき体験など、道内外から色々発想の転換はできると思いますよ。
75 歳以上	<ul style="list-style-type: none"> ・日頃根室市民のために住みよい街づくり、豊かで平和な生活が送れるよう又健やかな児童の成長をその他あらゆる面で心尽くして下さっている受政者、市職員の皆様に感謝しております。人口の減少、高齢者対策も大切ですが、心の病を抱えていて次々仕事をやめる若者も多いと聞きます。ふるさと納税の利用などで健全な若者が楽しめるよう、体育館の新設、娯楽施設の充実なども視野に入れていただきたいものと思います。
60～64 歳	<ul style="list-style-type: none"> ・市民が普通に参加できる事業で、活性化を図ってもらいたい。 ・アンケート項目が多すぎて途中で答えるのが嫌になる。
30 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・根室市で開催されるイベント（花火大会・地域のお祭り・コンサート等）を一つの情報サイトで見られるように一元化して欲しい。現状は、HP・Twitter 等で載せる情報がまちまちなため、知らずに終わることがある。外部の人間ならもっと分からない事だらけだと思います。
40 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもや 20 代の若者が、楽しいと思って生活できるまちになってほしい。根室で就職をしてもすぐにやめて地方へ行ってしまいう現状を悲しく思っています。小・中・高校生が活躍出来る場、遊べる場、居場所づくりに力を入れてほしい。
40 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・市長、市役所、市役所に働く人、すべてが子どもの事を考えず、今が良かったらそれで良いと思える感じがします。もっと未来ある子供達に対して色々やってあげても良いのではないですか。やりたい事ができなかったりかわいそうです。
60～64 歳	<ul style="list-style-type: none"> ・太陽光パネルの増設により、木や自然が失われています。雪がつもる。有害物質が流出する可能性があります。根室市も規制法を望みます。 ・コロナワクチン接種は世界的にどうでしょうか。接種により免疫力が下がる、症状が悪化している方も多い実態です。打ちましようの一方的な呼びかけだけでなく現実の様子も把握しながらと思います。 ・LGBTQを進めるような働きかけは断じてしていただきたくありません。社会が混乱し、犯罪が増えその方々も人生をよりよく生きたということが出来なくなってしまうのです。
30 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・バリアフリーについてはもっと当事者の声をあつめてほしい。健常者だけで集まって話しても、気が付かないことが多いと思う。根室のバリアフリーは使いにくい。スロープなどあっても急すぎる。総合文化会館とか。図書館など公共なのにエレベーターがないなど。
50 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時のペットと一緒に過ごせる場所の確保に取り組んでほしい。 ・花がたくさんある街にして欲しい。
30 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・根室市が 20 年ほどで消滅可能性都市になると言われております。人口増加のための施策や人材流出を防ぐための施策など、市民からは見えてこないのが不安です。自分が食べていければ良い、自分の子は市外へ出て働けば良い、そのような声が多くあるのが非常に悲しいですが、今のままだと自分もそのような考えを持ってしまいます。医療体制の充実も以前の方が活動的な話を耳にしましたが、現在は更に医師不足を実感しております。まちの活性化のためにも、今一度対策の見直しをよろしくお願いいたします。
75 歳以上	<ul style="list-style-type: none"> ・一人暮らし、身内がいらない。認知症の方が入所出来る所が(お金が安く)ほしい。
60～64 歳	<ul style="list-style-type: none"> ・北方領土返還と安全操業の確保。
75 歳以上	<ul style="list-style-type: none"> ・国道や幹線道路の整備を願いたい。

年代	問 22 意見・提案
60～64 歳	<ul style="list-style-type: none"> ・体調を崩した時、色々な症状があって、何科にかかっていかわからない。適切な判断を下せる総合案内サービスがあるといい。医者、看護師の充実。待ち時間の短縮。 ・観光客が来てもお金を使うところがない。宿泊施設がない。素通りしない工夫。短期間移住制度を作る。 ・都会に比べて不公平なところがたくさんあるので、根室に住んでいる人への特典があるといい。たとえば、交通費の補助買い物の際の割引、お取り寄せサービス、美術館、スポーツ施設、野球場、レジャー施設、食料品、衣料品の品揃え（地元でも欲しい物が買えるように）。老後を安心して故郷で過ごせるようにしてほしい。
40 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・漁師さんの口の悪さや行動があまりにも目にあります。 ・ゴミがいっぱい棄てられているのがショック。
30 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが遊べる場所が少ない。公園が汚いのが気になる。
30 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・根室と言う街は、とにかく地元愛が強く感じられる。転勤等で来た身からすると、他人への興味がうすい気がする。他地域から来たが、ネームバリューを利用して何かを始めるべき。住んで一年経つが、根室と言う街はとにかく「北方領土」の事しか頭にないように感じる。この街を出てまた旅行で来たいかと問われれば来たいとは思わない。もっと前面に根室の良さをだすべき。個人店等も大事だが、他から来てもらうべきでは。歴史のある街だと言っているが、個人個人がもっと誘致にとりくむべき。また、学校関係がとにかくダメ。親身になって考えず他人まかせすぎる。高校等はとにかく根室じゃない所に通わせたい。
40 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・旧柏陵中学校跡地の森や、上下水道を利用してオートキャンプ場を作る。管理棟の施設に根室の物産を販売、アピールして市外からの観光客やキャンパーに根室をアピールする。
30 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナが落ち着いてきて、最近、道の駅や各公園でキャンピングカー等の車中泊を多く見ます。明治公園の一部をキャンプ場などにして旅行者の方や地元民が気軽にアウトドアを楽しめる場所がもっとあれば良いなど住んでいて感じました。あとは日帰り温泉施設（スパや岩盤浴など）が出来たら、高齢者が多い根室は活気がでるのではないかと思います。確かに道路工事をたくさんして頂きキレイにはなっていますが。なかなか市外に出られるお年寄りの方も少ないのではないかと思います。記入させて頂きました。
50 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・石垣市長ありがとうございます。
65～74 歳	<ul style="list-style-type: none"> ・少子高齢化は一朝一夕に解決できる問題ではないと思う。各産業においても人手不足は深刻で、新卒者の採用など皆無に等しい状況であり、外国人労働者に頼らざるをえないのが実態だ。であればこうした外国人に永住してもらえるような対策をすることも一案ではないか。現状こうした外国人と市民の交流は余り感じられず、外国人への疎外感を拭い、市民として迎え入れる器量が必要。そのため市民との交流機会を増やし相互理解を深める事が必要ではないかと考えます。又根室から離れた若者が戻れる環境づくりや市内企業の労働条件の改善など迎え入れる側の意識改革も必要と思います。
65～74 歳	<ul style="list-style-type: none"> ・根室市には総合計画や都市計画、防災計画、最近ではブランドデザインなどのほか様々な計画が定められていますが、各計画ごとの優位性や関連性が明確ではないと思われるような施設整備や対策が進められてまちづくりがばらばらと見受けられます。何が根本になる基本の計画で、何が従たる計画なのか、どのように関連付けられて整備されているのか等が伝わらない。それは、多分計画の実施、進捗度、完成等、照査検証したものが無いからと思われる。今後は計画に沿った施設整備や事業実施が適証されて、それが市民へ情報提供されるよう現状を改善していただきたい。
75 歳以上	<ul style="list-style-type: none"> ・根室の街が大好きです。魚もとれず、高齢者が増え、暗いイメージですが、皆が笑って元気でいられる街づくりを期待しています。新しい庁舎が出来、職員が元気であいさつするような市役所であってほしいと思います。不安な毎日を送っている高齢者や子供達が訪ねられるような人達がいたら、根室はもっともっと住みよい所になると思います。根室の人は良い人が多いですね。
50 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・どちらかと言えば現状は、子育て支援へのウェイトが高いように思います。それはもちろん賛成です。“子育てと高齢者に優しいまち”になって欲しいです。とにかく介護職員が足りません。対価が見合わないのだと思います。確かに、子供が成長していく楽しみとは全く別の世界があります。しかし、利用者様が残りの人生を穏やかに過ごすことは長く働き家族を守り抜いてきた最期を寂しいものにしたくない、長生きを後悔させたくないと思います。職員が足りないということは、一人一人の業務負担が増えていることだと思います。その中で質を重んじて利用者さんの最期を本気で寄り添って欲しいと思う事は困難なのだと思います。私自身は在宅の利用者さんを支える業務ですが、在宅業務も同様です。外部(市外)から職員が応募してくるくらい、何か魅力のある対策を希望します。誇りを持って仕事をしていました。今は業務が大変すぎて心が折れそうです。

年代	問 22 意見・提案
65～74 歳	<ul style="list-style-type: none"> 雪が積もって除雪でゴミ収集車が休みの時来るか来ないか分からない事。市役所に TEL することあり。フェイスブックはパソコンなし。
30 歳代	<ul style="list-style-type: none"> 今使用されていない市所有の教員住宅を新築又はリフォーム等で整備し、貸別荘のように市外の人達に貸すようにして、交流人口を増やせると、根室も活気づくと思います。昨今は異常気象で高温になる事が多いですが、根室の気候はまだ安定しています。避暑地としてもっとアピールすべきです。
40 歳代	<ul style="list-style-type: none"> 子供向け広場や地域会館、学校や体育館など、次々に箱物を建てられているが、将来負担を考えられていないように感じている。また時代からか無料になる事業が多いが、これも、今は良いが将来不安を持っている。町の環境や景観(道路、空家、歩道整備など)にお金をかけ、「便利なまち」より「住んでいて気持ちの良いまち」になる方が、人口が減少している中では良いのではないかと。市は、イベントばかりしないで、もう少し住民に接して、市民をたいせつにしてください。近い場所を見る人材をつくってください。
50 歳代	<ul style="list-style-type: none"> もう少し働きやすい環境とイジメを無くすこと。生き物に優しいまちづくり。
75 歳以上	<ul style="list-style-type: none"> 市営住宅の整備ですが、光洋町とかでなく交通の便の良い所に建ててほしいと思ってます。
30 歳代	<ul style="list-style-type: none"> 根室の学校では、タブレットを支給したりアプリを入れたり ICT を推進する体制が整っている一方で生徒指導面で苦勞することが多いです。学校・家庭・地域が連携して子供たちを育てていける環境を整えることが大切だと思います。
20 歳代	<ul style="list-style-type: none"> 根室市に住んで、まだ日が浅いですが、小さい子供がいるのもっと医療機関が充実してほしいと思いました。町で一番大きい病院のレビューがびっくりするほど低く、不安に思っています。それ以外では食べ物もおいしくて良い所だと思います。
30 歳代	<ul style="list-style-type: none"> 眼科、皮膚科、耳鼻科、小児科など、個人病院の誘致をしてほしい。
40 歳代	<ul style="list-style-type: none"> 子育て世代にお金を使っても大きくなったら根室から出て行ってしまふ。他に使い道を考えてほしい。何でも子供子供とお金を使いすぎ。高齢者が多い。物価の値上げで大変なのは子育て世代だけではない。ワーク・ライフ・バランスは理想で、現実には仕事に追われる毎日。
30 歳代	<ul style="list-style-type: none"> もっと遊べる場所が欲しい。健康的で質の良い飲食店が増えると良い。一人一人が自由で尊厳が守られる市であってほしい。 学校教員の方向性、考え方が、子どもの成長にとってよろしくないと思うことがあるので改善してほしい。 活気の無い市と感じる。もっとのびのびと暮らせる市であってほしい。市の職員の高圧的な態度はやめてほしい。道営住宅も市民が住む住宅なのだから、もっと綺麗に提供してほしい。
40 歳代	<ul style="list-style-type: none"> 魅力ある商店街づくりは時間がかかるかもしれないが、全国チェーン店の導入と共に地場産業の活性化の両方を盛り上げる必要があると思う。また、根室は最東端であるにも関わらず、空港やフェリーなどが無く、どこに行くにも遠い、不便さがある。これからの将来、高齢化、少子化が進み、外国人労働者に頼らざるを得ないことを踏まえると、より一層の国際化、あるいは開かれたまちづくりが必要になってくると思います。
20 歳代	<ul style="list-style-type: none"> 今まで以上に他市町村に負けない特産品や製品の開発を広い意見を取り入れてほしい。
50 歳代	<ul style="list-style-type: none"> 道外から転居して数年がたちました。全く環境の違う場所、土地になじむのに最初はとても時間がかかっていました。今でもそう感じる所は多いですが、生活していく上で大切に思うのは共感できる気持ちだと思います。道路を作る職業、医療関係、介護関係の方々のお話を聞けたり、お手伝いする機会があったりで、以前より不満に感じていた事柄に対しての印象は共感できる部分に気付けたことで少しずつですが解消されていると思うようになりました。情報の少なさ、コミュニケーションの少なさがもう少し少なくなってくれば良くなるのではないかと思います。市がより良くなるために励んでいる根室の職員に感謝します。
50 歳代	<ul style="list-style-type: none"> 税金、保険料、水道料が高すぎる。釧路より悪い。
40 歳代	<ul style="list-style-type: none"> 今年度 4 月から根室に来て数か月、わかった事は、根室の方達は皆、根室以外の公共施設、中標津や釧路、川湯など、地方に遊びに行ってしまうという事。とにかく遊ぶ所が少ない。今の時代、昔と違い、気温も大分上昇し、根室でも水遊びをする場所があっても良いのではないかと思います。後、気軽に入れるファーストフード店や、キャンプ場も整備してほしいです。一時のイベントで地方客を集めても一時でしかありません。この地に住んでいる住民が休日ごとに他に遊びに行かなくても良い環境を造り上げていく、それが今の根室には足りないと思います。 最後に、医療の方も何とかならないでしょうか。小児科は朝一から行ってやっと診てもらったのがお昼近くとは。誰も住みたいとは思えない 1 件ではないでしょうか。何も対策はないのでしょうか。

年代	問 22 意見・提案
50 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・まちの大きさに対して、図書館が小さい。高齢者が過ごしやすいうに、学生がもっと勉強しやすいように利用者がもっと増えるような魅力ある場所になると良い。 ・高齢者はバスを利用する事が多いので、道路の反対側に渡らなくてもバスに乗れるように、バス会社に交渉してほしい。また、スーパー、病院の中にバスやタクシーを持つ場所、椅子をもっと多くして、玄関前までバスが来てくれるようになると良い。
75 歳以上	<ul style="list-style-type: none"> ・特に弥生町方面は海岸が近いので、高潮、雨、雪、下水道の不備のせいか、水が付きやすいのでいつも心配です。もっと整備されるようお願いします。
40 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ店が無いのでスポーツ施設よりも先に考えるべき。病気になり、夜に病院に連絡したら、「夜に来られても診察は無理なので朝まで頑張ってください」といわれた。病院が言う言葉ではない。病院は当たり前で 1 日かかる(特に小児科は異常)。スーパーのレジが行列になっている(サービスカウンターは暇そうに 2 名いる)。夜になると、1 社しか営業しないタクシー会社の現状。温泉なし。まずはなぜ人口が減少しているかを考えるべきでは。中標津は減っていないと思います。
20 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・保養センターのような施設があると嬉しいです。転勤族の若い世代、地元の方も含め幅広く利用者を見込めるのではと思います(サウナ付き希望)。根室産の地ビールを作してほしいです。鶴居村でクラフトビールが巷で人気を集めているかと思いますが、根室でも作ることができれば魅力の一つになるのではないかと思います。美味しい魚もたくさんある市なので居酒屋においてもらうなり、もっともっと根室の良さを引き出せると嬉しいです。イベント情報をインスタグラム、Twitter で公開してほしいです。魅力的なイベントがあるにも関わらず、紙での案内のみや、もしくは風の噂で聞く程度でもったいないと思います。使える SNS は駆使すべきだと思います。途中から根室に越してきた新参者ですが、魅力あふれる根室市をさらに魅力あふれる市に…という思いを込め書かせていただきました。
65～74 歳	<ul style="list-style-type: none"> ・企業誘致はこれからの根室の発展のために非常に大事になりますが、それと同時に、根室の既存企業を人口減少・高齢化等、労働者不足による存続危機から守るためにも、労働者不足解消に必要な、外国人労働者・国内他地域からの労働者受け入れに関する情報(手続き・方法)を提供してほしい。
30 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・屋内型 BBQ 施設。単身者向き市営住宅。街コン事業。害獣駆除、ハンターの支援。サウナ施設、浴場施設。
75 歳以上	<ul style="list-style-type: none"> ・墓地を清掃した後のごみを市で収集して頂ければ、墓地の環境も良くなると思いますので、お願いいたします。
50 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者で寝たきりに近い人の送迎のストレッチャーを利用するのに、社協で安くしたり、利用しやすい基準にするかしてほしい。民間で維持が大変との事で補助金を出すとか工夫してほしい。プレミアム付商品券を買いに行くのが歩行とかで行けない人のために代わりにヘルパーが購入できるようにしてほしい。
50 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者が多く、持ち家を人に譲りたいがもらい手がいなく、空き家にする人が多い(しかたなく壊す人が多い)。根室の賃貸は、札幌などに比べて高いので、古い家を活用する事はできないのかと思っています。
40 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・根室市単独でまちづくりを考えても、人・金・物に限界がある。広域連携で考えざるを得ないと思う。我が家では各地域のイベントに積極的に参加、毎週末に釧路・中標津に足を伸ばすのが当たり前であった。ただ、交通の便が悪く、自家用車で移動せざるを得ず、燃料高で行動が著しく制限されているのが現状。交通網の整備に限界があるのは承知している。人・物を広域連携でより流動的に動かせるように交通にかかる助成(燃料代補助等)を検討していただきたい。
65～74 歳	<ul style="list-style-type: none"> ・市街地のため、若い人が仕事に忙しく子育ての時間が取れないなど、是非 0 才児の保育を実施して頂きたい。また、市内外地のサービス面でも差がありできる限り、この差を縮めていただきたい。住み良い厚床にするために。 ・高齢者は出て行ってサービスを受けるのは心身ともに大変であり、厚床でデイサービスを受けたいものです。出張サービスも今後は検討してほしいものです。
40 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・まずは、生活弱者の見直しをしてほしい。本当に必要な人なら分かるが、パチンコに行ったり、たばこを吸ったり、酒を飲んだり、楽に生活している人がいます。そんな人のためにこのような制度があるわけではありませので、お金をもっと大切に使う努力をして下さい。とても不満です。見直しをして下さい。母子家庭も同じです。おかしいです。平等ではないです。それが市役所の人達の仕事です。
40 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・若い方に市長になってほしい。あんなに大きな庁舎を建ててしまった、現市長の責任は大きい。今後、人口が減る中で、無駄な市役所庁舎になりそう。ランニングコストもバカにならない。もっと、真剣に将来の根室市の事を考える事の出来る若くてしっかりした方に市長になってほしい。このままでは人手がなくなって、街が成り立たなくなる。医療・介護の問題を軽視しているように思う。産業の事も大事だが、もっと現実的に目を向けてほしい。北方領土など、誰がやっても返ってくることは期待できないし、誰も期待していない。

年代	問 22 意見・提案
40 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・若い方に市長になってほしい。あんなに大きな庁舎を建ててしまった、現市長の責任は大きい。今後、人口が減る中で、無駄な市役所庁舎になりそう。ランニングコストもバカにならない。もっと、真剣に将来の根室市の事を考える事の出来る若くてしっかりした方に市長になってほしい。このままでは人手がなくなって、街が成り立たなくなる。医療・介護の問題を軽視しているように思う。産業の事も大事だが、もっと現実に目を向けてほしい。北方領土など、誰がやっても返ってくることは期待できないし、誰も期待してない。
30 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・水道料金が道内の他所に比べ圧倒的に高く、基本料金が免除されても家計に痛手。改善してほしい。高い理由が知りたい。
40 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・根室の春国岱、風連湖、温根沼の自然はとても素晴らしいものなのに、知名度がとても低く、上手にアピールすればもっとたくさんの観光客が来ると思う。また、魚がとても新鮮でとても安い事は、根室に来るまで知らなかったの、これも上手にアピールすれば良いと思う。道内の他自治体で、観光 PR の仕方で観光客が増加した例を参考にぜひ根室市も頑張ってください。
50 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・圧倒的に高齢者の多い街で、その対策は多岐に渡るだろう。夫婦または独居が多いので、生前の福祉面での情報発信と支援はもちろんだが、生前に死後の後始末等を自治体と契約するといったシステムの構築を検討していただきたい。他の自治体で導入している所があるので、参考にしてほしい。
50 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・根室市立病院の看護師が不足しているので、人材確保に努めてほしい。3 年たったら、やめてしまう人が多いため、長く働いてもらうためにはどうしたら良いのか。なぜ 3 年たったらやめてしまうのかをしっかりと考えてほしい。個人で経営しているクリニックが岡田病院かトキワ病院しか無いため、もう少し増やしてほしい。
40 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・朝、昼、夕の防災放送（サイレン・音楽）を止めてほしい。やるなら、週一か月一にしてほしい。それぞれの生活スタイルがある中、単に騒音と感じる。
60～64 歳	<ul style="list-style-type: none"> ・市営住宅が高すぎる 10 万円だ。初めは 1 万円だったのに。歳に合わせてくれ 60 歳働いても無駄になる。田舎なのに。
40 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・市民の協力が無いと難しいと思いますが、道路際にゴミが多いのでキレイな状態を保てることを願います。これからのシーズン、観光客も増えると思います。町はずれの道路際にはポイ捨てされたと思われるゴミが散乱していて自然の風景を邪魔しています。ポイ捨てやゴミ放置をさせない、出来ない、何か案はないのかと考えています。
30 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・根室の強みは、やっぱり海産物だと思うので、その産業は大切にしていきたい。弱みを強みに変える努力ではなく、強みを伸ばしていく努力の方がいいと思う。 ・広い土地を活かして、音楽フェスでもしてみたら、面白いと思う。たぶん赤字だと思うけど。 ・空き家や古い家、その周辺の放置された草木(虫)が怖いので、どうにかなると嬉しい。空いた土地を小さな公園にでもしていただければ嬉しい。 ・加工場で働く海外の方が、活躍できる場があると有意義だなと思う。 ・ホテルをキレイにして、観光客を呼び込んで活性化できないかな（根室の海産物も取り入れて）。若い人の方がインスタ・SNS の使い方が上手いから、若い人に根室を発信してもらえば良いと思う。ギャルを使う。ありきたりなことをしていても、誰も注目しないから、違う視点、違うアイデアをどんどん試してみれば良いと思う。
20 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・根室市全土で上水道が美味しくないと聞くので、せめて変な味はしないような水を提供してほしい。
—	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者が増加する根室。コンパクトシティを目指していくのはどうでしょうか。銭湯の不便さ、買い物の不便、交通の不便、ひとりひとりがあちこちに住んでいると難しいが、集結して生活することで、手助けする事も楽になるし、高齢者も安心して暮らせると思います。根室で実現してみたらどうでしょうか。
40 歳代	<p>市内 Free Wi-Fi。宿泊ホテルの改装。納沙布高層ホテル。新鮮な海産物を食べれる展望食堂。キャンピングカーが泊まるスペース類の完備(市内)。※トイレ、水、洗濯、お土産。</p>
20 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・学生や若い社会人が娯楽出来る場所を設けてほしい。高齢者や子供だけでなく、市民全員が得をするサービス（ふるさと納税金使ったもの）を平等にやってほしい。 ・観光客が増えているので、もっと見せる物や休める施設を作った方が良いと思う。 ・色々な支援をしてほしい。乳児おむつ用品購入券でオムツ以外のもの（ミルクやおしりふきなど）を使えるようにしてほしい。
18～19 歳	<ul style="list-style-type: none"> ・総合体育館が今どのように進んでいるのか、全くわからない。最低でも、中標津の体育館くらいの規模でないと意味がない。中途半端な施設はいらんと思います。
30 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ・高速道路を早くつなげてほしい。

年代	問 22 意見・提案
60～64 歳	<ul style="list-style-type: none"> 親も歳をとり普通でできることができなくなって、現在ヘルパーさんのお世話に（部分的ですが）なっています。そうなる買い物、家事、清掃と仕事以外にやるが増えるようになります。たぶんこういう状況の家庭が年々増えてくると予想されますので、そういう援助される人材の確保と賃貸体制の充実を進めていただき、ある意味他にはない、思い切った政策をとって他地域のモデルケースとしていただきたい。そういう風土があたりまえの市のイメージを共有し、みんなで街を支えていけるようなものを、目指していただきたいと考えます。
40 歳代	<ul style="list-style-type: none"> 10 年 20 年先を本気で見通したビジョンが全く見えてこないの、どちらを向いて協働して良いのかわかりません。出来ることは、微力ですが協力したいと思っています。
75 歳以上	<ul style="list-style-type: none"> 根室市内の若手のみなさんにもっとがんばって頂きたいと思います。
40 歳代	<ul style="list-style-type: none"> 問 19 の市民参画の方法についてですが、市役所で市民の方が参加するふるさと納税を活用する会議や学生のインターシップの会議や評議オプザバーなどの会議では、いつも同じ人がメンバーに選ばれているように思います。（根室商工会議所青年部創陽クラブの方とか）かたよっているように思います。知り合いだから声掛けたような声もききます。こういう会に参加してくれる方は貴重ですが、毎回同じ人だと思ってしまう。 LINE で根室の情報が知れて助かります。最近ヒグマ情報。根室もヒグマ対策のゴミの捨て方とか、強く発信していくべきだと思います。事件が発生する前に対策を。 景観が美しいと思っていた根室ですが、近年太陽光パネルにうんざり、特に桂木の海岸とか海が見えないほどの建立。規制して下さい。
65～74 歳	<ul style="list-style-type: none"> 青森から来た友人と「根室十景」をまわりました。友人曰く、「こんな近くに建てたらだめだろう」と風力発電の大きな風車が景観を損ねていることを残念がっていました。最低限度の規制は必要ではないでしょうか。
75 歳以上	<ul style="list-style-type: none"> 海岸線の景観保持～土地買収熱がエスカレートして太陽パネル、風力だらけになってしまいます。空き家対策条例改定などで、解体撤去を進める（例えば東根室駅前の空き家/国道縁の空ガソリンスタンドなどみたくないです）。標高標識を見やすく面白い工夫のもの街中あちこちに子供、年寄りも理解可能なもの。港周辺、海水汚染がひどいし、ゴミの量がひどい（不要の漁網など目立つ）。交通マナー悪い（進路変更、徐行、一時停止、速度違反など）。自宅周辺の道路清掃は住民も進んでやることを PR していく（草刈り、草取り、掃除くらいは自分の家周辺の市道、道道など住民ができるよね）。工場などの排水汚染の細部所点検指導（特に海岸周り）。無駄の少ない街灯間隔、設置見直し（犯罪防止）。 （追記）市民共同墓石及び周辺の様相を心安らかな気持ちになれる環境に整備直しを希望。今のままだと将来入りたいとは思いつらい。とっても寂しい状況です（参考～遠軽町のものを見習うととてもいいと思います）。
75 歳以上	<ul style="list-style-type: none"> 密漁やどろぼうの町でなくなってほしい。常識教育をしないと人口が減るだらしない市民が増える。市の職員も教育しないと事務の対応がむかつく。レベルアップをしてください。
50 歳代	<ul style="list-style-type: none"> 市立病院の医師、看護師の対応がよくないという話を耳にする。キャパオーバーで大変なのかもしれないが、患者に寄り添った対応を望む。 青少年センター（運動施設）の建替えはいつでしょう。災害時避難場所として利用するなど大事な施設と考える。
65～74 歳	<ul style="list-style-type: none"> デュアルスクールの実現をめざしてほしいです。将来根室に就職する際にも一度根室の様子を体験していれば安心して来根できると思うし、他地域との交流を深める事に、新たに人材も生まれると思います。
75 歳以上	<ul style="list-style-type: none"> 環境はとっても良いところ。交通の便が悪い。高齢者の施設をもっと整備してほしい。
30 歳代	<ul style="list-style-type: none"> もっと病院をなんとかしたほうがいいと思います。ここに書いても意味ないと思いますが、医療がちゃんとしていないので、子供を住ませたいと思えません。病院の対応が適当すぎではないでしょうか。小さい子供のいるお家は不満しかありません。なにかあればすぐ釧路などに行かなければならないのは、辛すぎます。今までこんな病院と出会ったのは初めてです。なんとかならないと少子化対策とかの話にもなりません。よろしくをお願いします。
30 歳代	<ul style="list-style-type: none"> 乳児おむつ用品購入券がすごく助かっています。病院代もほぼかからないことや保育料 3 歳からかからないこと、他にもあったと思いますが、もっと発信しても良いんじゃないでしょうか。家を建てる人に補助金のようなものを出すのはどうでしょうか。もうあったらすみません。人がどんどん減っているので子供の将来が不安です。
65～74 歳	<ul style="list-style-type: none"> 人口減少、働く若者を安定して仕事に。高齢者の生きがい生活、若人の集る町。
40 歳代	<ul style="list-style-type: none"> 根室独自の野菜を見つける。公務員の人材確保（教育関係）。そのために教員の給料を上げる。ローソン誘致。市民の声を聞いて税金を使う。鹿肉の有効活用。ガソリン価格の補助。養殖事業の活性化。朝日が見える場所の整備。根室の切手づくり。車の速度違反の取り締まりによる財源確保。

年代	問 22 意見・提案
75 歳以上	<ul style="list-style-type: none"> 旧柏陵中学校の跡地利用と管理について。現状のまま放置すると大事などんぐり林が喪失され、跡地（校舎グラウンド）全体が荒地と化し、野生動物（鹿・キツネ）のたまり場となり、景観もそこないます。草刈り等の適切な管理を要望します。国道沿いの立地条件を考え、また、緊急時の住民の避難等も考え、市民が利用できる公共施設等の具体策を要望します（街づくりの一環）。
40 歳代	<ul style="list-style-type: none"> 総合体育館（武道場もある）が欲しい。
30 歳代	<ul style="list-style-type: none"> 住みよい町づくりにするには、まず人口を増やさなければならないと思う。根室は第一産業の町なので、漁業・農業が成長したり、収益が増えたと一般企業も仕事が舞い込んでくると思う。なので、第一産業の援助は今後大事になってくると思う。一般企業で働く人々も給料が上がらなくて困っていると聞くことが多く、今、何でも物が高くなっているのに対し、この状況なので、根室の人達の給料が上がる取組みを市でも考える必要があると思う。ふるさと納税をもっと市民のために使ってほしいと思うし、医師の確保や医療体制を整えてほしい。女性は男性よりも給料が少ないのは平等ではないと思う。男性と同じく、現場に行き、事務作業もする人も多いので平等に扱ってほしいと強く思う。根室市の魅力を他県にもっと伝えてほしい。
65～74 歳	<ul style="list-style-type: none"> 少子化子育て支援は未来のために必要不可欠ではあるけれど、高齢者に対する支援に不公平を感じる。共に大切にしなければ、歪みが生じ、子供達に良い認識を育てるとは思えない。 ゴミ収集について思う所は、5 週と祝日などがぶつかり資源の収集が 4 週間後に成るのはとても不便に思う。リサイクルする意識が薄れる。
40 歳代	<ul style="list-style-type: none"> 根室に越して来た時、合う人は口々に「何もない所に」と言われた。地域の魅力を魅力とっていないのか、それとも良い意味でも悪い意味でも謙虚なのか。年配者がそのような考えであれば若者は益々根室から離れていくように思う。誰もが根室を誇りに思えるような発信と若者を引き付ける産業が必要に思う。
40 歳代	<ul style="list-style-type: none"> 図書館の祝日開館。他の施設と統一してほしい。休みの日に開館していないのはおかしい。利用できない。放課後教室の閉まる時間を 18 時にしてほしい。長年言い続けても変えないのはなぜなのか教えて欲しい。母が働けない。職員(図書館・保育所・本庁など)の髪色が明るすぎ、多様化の時代でうるさいと思われるかもしれませんが、市民の税金から給料をもらっているものとしての自覚が足りない。不快。電話対応が近所の人みたいに「は～い、は～い」と言って電話を切る。教育足りないと思います。
30 歳代	<ul style="list-style-type: none"> 根室がもっと活気のある町、観光客も増えたら良いと思います。観光客が来たいと思ってもらえるようになるには、やはり食べ物です。何がいいのだろう。後、住民も増えてほしいです。 子供のオムツ支援とても助かりました。ありがとうございます。私の時はオムツやオムツライナーにのみ使用できる券だったので「おしりふき」にも使用できたらもっと良いと思いました。妊婦健診の助成もありがたいですが、それでも毎回 1500～3000 円はかかるのでもう少し出費がなくなると嬉しいです。妊婦の歯科検診もあればうれしいです。
18 歳未満	<ul style="list-style-type: none"> 現状、市民の意見が市政に反映されていない気がします。人口も全盛期から見て 1/2 と深刻な問題になっています。何か対策は打っているのでしょうか。地域おこし協力隊が根室にいるのは知っているのですが、存在を知っているのは何人もいないように感じます。また、存在を知っていても、どんな活動しているのか知らず、本末転倒な気がします。人口減少に危機感をもって予算を回してほしいです。
60～64 歳	<ul style="list-style-type: none"> 年金受給者となり社会保障を受ける年齢となり、ずっと根室に住み続けたいと思えるような魅力ある根室市であってほしい。
20 歳代	<ul style="list-style-type: none"> 市役所の体制を見直しましょう。組織が腐れば人も腐ります。
50 歳代	<ul style="list-style-type: none"> 少子化、ひとり親ばかりが取り上げられ、たくさんのサポートをしてもらっている事が不満です。進学させて、奨学金という借金をして働いている子や、現大学生や親にはサポートがなく苦勞して働いている。仕事についても職場環境が悪く、市役所を退職した人も知人にいます。高齢者のサービスも別世帯だが、同居（金銭は別々）というだけでサービスを受けられず、受けられるサービス等も市職員からの情報提供はない。こちらから問い合わせた時にある事を教えてくれる（不親切だ）。今は若年者でも認知やうつにより障がい者となってしまうがそれに対するサービスが不十分だ。また、市職員も知識が足りず、担当の係をたらいまわしにされ、後に市民が問いかけても「そんな事も知らないのですか」とバカにした口調で対応されて腹がたった事がある。まずは、市役所職員のマナーの悪さ改善をする事で、市民が意見を言いやすく、しっかり耳を傾ける事によって根室市の目指すまちづくりをしていけるのではないのでしょうか。
20 歳代	<ul style="list-style-type: none"> 北海道立北方四島交流センター「ニ・ホ・ロ」は税金の無駄遣いではないのか。施設全体ともいえるが、細部でいえば、非常に手入れされた芝等
50 歳代	<ul style="list-style-type: none"> 地域おこし協力隊の活動状況が見えない。（期待しているが、盛り上がり欠ける。頑張ってください。）

年代	問 22 意見・提案
18 歳未満	<ul style="list-style-type: none"> 私は根室に 18 年住んでいる高校 3 年生ですが、根室が大好きです。大好きな根室がこのまま続いていくためにはやらなければいけないことがたくさんあると思います。まず、根室をたくさんアピールして観光事業を増やしていくべきだと思います。春国岱や公園をメインとした自然ツアーや海洋で釣りや養殖をするイベント、酪農など様々あるので色々な事ができると思います。その次にホテルなど宿泊施設や商業施設を充実していくべきだと思います。そうすれば根室の活気があふれ盛り上がると思います。
75 歳以上	<ul style="list-style-type: none"> 問 21 は何のために設けたのか、生活者は公費も含め諸物価数千件も値上がり、一方の収入は環境から減じ、一方でアンバランスが大多数。意味を知っているか否か調べて均衡化する術があるというのか。
50 歳代	<ul style="list-style-type: none"> カラフルな童話の世界に入ったような町にしてみんなが安心してどんどん人口を増やして欲しいです。
75 歳以上	<ul style="list-style-type: none"> 介護の人員不足のためヘルパーの提供が受けられない。入浴サービスが 7 月から休止しています。一日も早い実施を願います。介護付き高齢者施設があれば良いと思います。少々高額でも安心して入居できる。例：釧路市春採ときわ台ヒルズ
30 歳代	<ul style="list-style-type: none"> 札幌から引越してきて良かったこと。冬雪が少なく、夏も涼しく過ごしやすい。幼稚園に 1~2 歳児のクラスがある。ふるさと遊びの広場わんぱーく等の子供が遊べる施設がある。おむつゴミの無料収集（どうせなら園からの持ち帰りもなくしてほしい）。 不満に思ったこと。プラスチックごみの日が少ない（毎週でもいっぱいになる）。病院で科によっては 5 時間待たされた。高速道路がないので、帰省にすごく時間がかかる。他にもいろいろありますが、良い所はもっとアピールして、不満に思うような所を改善してほしいです。
30 歳代	<ul style="list-style-type: none"> 防犯カメラ設置。暗い所への街灯設置。熊の駆除。避難場所の定期的掃除。
65~74 歳	<ul style="list-style-type: none"> 特に問 11 の質問に関する根室市の生活環境で取り組むべきで美しい景観を選びました。理由として、市内はもとより、納沙布までの道々の両側にゴミ（ペットボトル、缶他、袋に入ったままのゴミ袋等々）が非常に多い事です。観光地としてとても恥ずかしい事だと思います。「捨てない」「拾う」の意識をどのように市民に周知するか、課題の一つだと思います。道東らしい自然豊かな場所にソーラーパネルが設置され、根室の自然、植物がどんどん破壊されて行くのではと危惧しております。設置にあたり、何らかの規制が必要ではないでしょうか。 宿泊施設が不足している気がします。遠くても宿泊してみたい魅力ある宿泊施設や安価で宿泊できる施設などの誘致ができれば良いです。
30 歳代	<ul style="list-style-type: none"> 小中学校の給食費は無償ですが、教員は毎月 6500 円も払っています。高すぎるし、給食の内容も良くない。まずは無償化にするより、給食センターの設備を整えて、子供達が「美味しい」と思える給食を提供してほしい。
—	<ul style="list-style-type: none"> 根室市と規模変わらないむしろ小さな町が数十年単位で成長を続けています。富良野・美瑛・上富良野・中富良野の町をよく観察分析すべきでは。町をブランド化し国内外の戦略的に情報を発信し続けています。国の予算を使い町の開発に成功しています。対して、根室はやる気が全く無い。能力も無い。無駄な事業に多額の税を投じて、結果人口減少を放置し経済活動の縮小につなげている高齢者や個人に税をばらまいているだけでその先のビジョンがまるで無い。国税使って市役所立替え本当に必要あったのか。すべての事業が安易で他都市と比べて何一つ誇りに思えるものがない。 イベント見ても内輪だけで遠方から来る来訪者への配慮が全く無い。日程や時間、三大祭は強制的寄付でにぎわって内輪騒ぎして発展性がまるで無い。市民が足を運びたくなる納沙布に、公共の入浴施設建設、大手ホテルの誘致、路線廃反対と駅前開発、駅舎を JR と協議して建て替え、市役所に駅舎位考えられないのか（複合施設）。最低キャンプ場必要です。鳴海公園キャンプ場として開放しては。考える能力が無さすぎるからこの街は発展しないのです。将来何を望んで立派な庁舎建てているのですか。人口減ならスリム化、コンパクト化、第一優先でしょう。国と同じく観光に力を割くべきか。
30 歳代	<ul style="list-style-type: none"> 子供が遊べる施設が少ないです。ふるさと遊びの広場わんぱーくのような小さい遊び場では子供はすぐに飽きてしまいます。市外からも利用する人が来るような魅力的なレジャー施設を作って下さい。 去年のふるさと納税ランキングで 3 位だった根室ですが、200 億円程のお金が一体どこに使用されたのか見えにくい。何か一つでも新しい建物が増えましたか。市民の暮らしもさほど変わらず疑問です。根室のアピールポイントとして「北方領土返還運動始まりの地」みたいなキャッチフレーズはダサいです。個人的には一つの市町村レベルの運動では返還はおろか対話すら難しいと思います。国レベルで「外交カード」としてロシアに利用されているものですし、今さら返還されても現地民はどうするのですか。昨今のロシア人を見て経済協力ができるとは思いますが、すぐに約束も反故にされるでしょう。ですから、根室はもっとアピールポイントを広げていく必要があるのです。原付のご当地ナンバーに「北方領土返還運動始まりの地」の文言が入っていてダサくてやめました。「北方領土返還」を売りにしたアピールはやめてください。

年代	問 22 意見・提案
65～74 歳	<ul style="list-style-type: none"> 私の家は築 50 年以上なりますが、あちこち痛んで直さなければいけない所が沢山ありすぎてきりが無いくらいです。公営住宅に移りたいと思うのですが、持ち家があると解体しないと、公営住宅に入れないと聞きましたが、解体の費用が大変で、今、悩んでおります。最近あちらこちらに空家が多いのにびっくりしてます。
40 歳代	<ul style="list-style-type: none"> 文化会館等で実施している子どものための展示やイベントいつもありがとうございます。これからも色々な方面で幅広い興味を持った子供たちに対応できるよう、体験型のイベントが増えたら、根室にいても他地域に住む子との差が少なくなるのかと思いましたが、未来ある子どもが、本当に根室だと経験できることが少ない。地元愛の強い子を育てたいです。皆さん少し車を走らせて中標津や釧路へ行ってしまう。今も、ねむろわんぱくチャレンジ中心に都合が合えば参加させていただいております。
30 歳代	<ul style="list-style-type: none"> 子供 2 人を育てています。ふるさと遊びの広場わんぱく一くの開設、給食費の無償化、18 歳以下の医療費給付の拡充など、大変ありがたく思います。私は社会福祉法人しらかば保育園に下の子を通園させております。先生はとても明るく優しく感謝の気持ちでいっぱいです。ただ、園の決まりで仕事が休みの際は、子供も休ませて自宅で保育をとるのですが、できれば仕事が休みの時は、自分の時間も過ごしたいです。そうすることで子供との時間もより大切に笑顔で過ごせます。保育士の負担軽減のための決まりだと思います。できればこの先、保育士の待遇をもっと良くしていただけると、子供を預けている私達にも、子供自身にも良い環境になると思います。社会福祉法人しらかば保育園や根室市立成央小学校駐車場に通じる道路がとても危険だと思います。道は狭いにもかかわらず、一方通行では無いので、車がすれ違う際に危険です。できれば上から下へ抜けていく一方通行にする方が安全だと思います。市立病院小児科の待ち時間が長すぎるのももう少し工夫をしてほしいです。一人の先生の診察が長くなってしまっているのは分かります。その方針はそのままでいいと思います。ただ、順番を教えていただくとか 3 人前くらいに電話をいただくなど、工夫をしてほしいと以前から思っています。待ち時間の間に新たな病気をもらってきってしまったことがあります。
60～64 歳	<ul style="list-style-type: none"> 春国岱の出入口がわかりづらく残念です。道の駅 スワン 44 ねむろ、夏場だけでも休みを無くしてほしいです。
50 歳代	<ul style="list-style-type: none"> 国境を守るという事。国防の大切さとロシアを敵にするのではなく友好関係を築いていけるようにしたい。領土紛争のものは、北方四島の問題を抱えています、どの国に生まれても、自分を卑下する必要はありませんし、あまりにも高い自尊心を持ちすぎて、他の国を見下すことも正しい行為であるとは言えないと思います。ウクライナの戦争から教訓を引き出して、平和条約で安心と安全を宣言できるようにできないものか。
40 歳代	<ul style="list-style-type: none"> ふるさと納税で根室が全国 3 位と聞きました。この財源を小中学生の給食費無償化だけではなく、市民皆に「目に見えて」わかる使い方をしてほしい。街づくりなどでもいいので、全国から頂いた財源を利用して街づくりしてほしい。
30 歳代	<ul style="list-style-type: none"> 根室市はふるさと納税が全国でも上位に入っていることから、根室市としての強み、産業等労働者の町として特化するべきではないか。教育、福祉等全てにおいて優れようとする、いわゆる器用貧乏の出来上がりである。高齢者も国税からくる年金を基軸とした消費者、児童も親がいる以上、その親が消費者及び納税者ではあるが、高齢者と児童が市内に在住することによる税収よりも支出が多いものと考えられる。よって、ふるさと納税が全国上位であることから、費用対効果が悪い年齢に予算を投入するよりも労働者の町として根室市の価値を高めるべきではないか。これにより、高齢者や児童が住み辛くなるころではあるが、住み辛いのであれば市外に移住してもらうだけであり、それでもなお根室市に在住するのであれば財源を投入する必要はない。また、住み辛くなるからといって、高齢者や児童が全員移住する可能性は極めて低いことから、市内に高齢者や児童を一切見ない不気味な市の印象は発生しないものとする。誘致すべき労働者は単身赴任や期間が定められた出稼ぎ労働者を主力とするべきである。単身赴任や出稼ぎ労働者であれば、一定年数経過すれば市外に出ていくことにより、労働者の老後を考える必要がなくなる利点がある。以上のことから、根室市は労働者の町としての価値を見出すべきではないか。

市民意識調査

「市民意識調査」へのご協力をお願い

根室市は、平成26年度に「第9期根室市総合計画」を、翌平成27年度には「根室市創生総合戦略」をそれぞれ策定し、将来のまちづくりの目標や将来像を定め、豊かで活力のある市民生活の実現を図るための施策を推進しているところです。

これらの計画を実現していくためには、市民みなさんのご理解と参画をいただきながら推進していくことが不可欠です。

本調査は、市民のみなさんのまちづくりに関する率直なご意見をお伺いし、市政に反映していくことを目的として毎年実施しているもので、これまでに、産業振興施策、市内分娩の再開、保育施設の整備などの医療、子育て環境施策などの具体施策に取り組んできております。

今回の調査は、市内の16歳以上の住民の方々の中から、無作為に3,000名を抽出した結果、あなたが調査の対象となったものです。

これまでに何度か本調査の対象に選ばれた方もいらっしゃるかと思いますが、改めて現在のご意見をお聞かせください。

また、この調査は無記名となっておりますことから、個人の意見が直接発表されることや、ご迷惑をおかけすることは決してありませんので、ご協力をお願いいたします。

令和5年7月

根室市総合政策部

「市民意識調査」記載要領

1. あて名のご本人がお答え下さい。
2. お答えは、あてはまる項目の番号を○で囲んで下さい。
3. 「その他」などを選ばれた場合は、()内にその内容や理由をできるだけ具体的に記入して下さい。
4. ご記入が終わりましたら、お手数ですが同封の返信封筒に調査票を入れて、令和5年8月10日(木)までに切手を貼らずにご投函をお願いします。
5. この調査についてのお問い合わせは、下記までご連絡ください。

■根室市総合政策部

TEL: 0153-23-6111 (内線2255)

FAX: 0153-24-8692

E-mail: sog_seisaku@city.nemuro.hokkaido.jp

調 査 票

問1. 最初に、あなた自身のことについてお伺いします。(1)～(5)の各項目について、該当する番号1つに○印をつけて下さい。

(1) 年齢

- | | | | |
|----------|-----------|-----------|-----------|
| 1. 18歳未満 | 2. 18～19歳 | 3. 20歳代 | 4. 30歳代 |
| 5. 40歳代 | 6. 50歳代 | 7. 60～64歳 | 8. 65～74歳 |
| 9. 75歳以上 | | | |

(2) 職業（その他の方は、具体的に記入してください）

- | | | |
|----------------|----------------|--------------|
| 1. 農業・林業 | 2. 漁業 | 3. 製造業・建設業 |
| 4. 商業・金融・サービス業 | 5. 公務員・教育・団体職員 | 6. パート・アルバイト |
| 7. 主婦（専業） | 8. 学生 | 9. 年金受給者 |
| 10. 無職 | 11. その他（ | ） |

(3) 根室市での居住年数（通算でお答えください）

- | | | | |
|-----------|----------|-----------|-----------|
| 1. 5年未満 | 2. 5～9年 | 3. 10～19年 | 4. 20～29年 |
| 5. 30～39年 | 6. 40年以上 | | |

(4) 居住地域

- | | | | | |
|---------|---------|----------|----------|---------|
| 1. 北浜町 | 2. 琴平町 | 3. 弁天町 | 4. 駒場町 | 5. 汐見町 |
| 6. 海岸町 | 7. 千島町 | 8. 栄 町 | 9. 月見町 | 10. 明治町 |
| 11. 曙 町 | 12. 宝 町 | 13. 有磯町 | 14. 朝日町 | 15. 鳴海町 |
| 16. 本 町 | 17. 花咲町 | 18. 松ヶ枝町 | 19. 弥栄町 | 20. 幸 町 |
| 21. 大正町 | 22. 常盤町 | 23. 緑 町 | 24. 梅ヶ枝町 | 25. 弥生町 |
| 26. 清隆町 | 27. 光和町 | 28. 北斗町 | 29. 平内町 | 30. 岬 町 |
| 31. 定基町 | 32. 松本町 | 33. 敷島町 | 34. 花園町 | 35. 西浜町 |
| 36. 月岡町 | 37. 宝林町 | 38. 昭和町 | 39. 光洋町 | 40. 牧の内 |
| 41. 桂 木 | 42. 花咲港 | 43. 穂 香 | 44. 幌茂尻 | 45. 温根沼 |
| 46. 東 梅 | 47. 酪 陽 | 48. 東和田 | 49. 西和田 | 50. 長 節 |
| 51. 浜 松 | 52. 昆布盛 | 53. 落石東 | 54. 落石西 | 55. 別当賀 |
| 56. 初田牛 | 57. 東厚床 | 58. 厚 床 | 59. 西厚床 | 60. 明 郷 |
| 61. 湖 南 | 62. 川 口 | 63. 槍 昔 | 64. 友 知 | 65. 双 沖 |
| 66. 鹵 舞 | 67. 瑠瑠瑠 | 68. 納沙布 | 69. 温根元 | 70. 豊 里 |

《根室市の印象について》

問2. 根室市の印象（イメージ）についてお尋ねします。

次の中から該当する番号を1つだけ選んで番号に○印をつけて下さい。

- 1. 明るいまち
- 2. 清潔なまち
- 3. 活気のあるまち
- 4. 個性（特色）のあるまち
- 5. ふれあいや連帯感のあるまち
- 6. 市民として誇りや郷土愛があるまち
- 7. その他（具体的に：)

《居住の満足度について》

問3. あなたにとって根室市は、住みよいまちだとお考えですか。

次の中から該当する番号を1つだけ選んで番号に○印をつけて下さい。

- 1. とても住みよい
- 2. 住みよい
- 3. 普通
- 4. 住みにくい（理由：)
- 5. とても住みにくい（理由：)

《定住度について》

問4. あなたは、今後も根室市に住み続けたいと思いますか。

次の中から該当する番号を1つだけ選んで番号に○印をつけて下さい。

- 1. ずっと住み続けたい
 - 2. できれば住み続けたい
 - 3. できれば住みたくない
 - 4. 住みたくない
- } ⇒問6へ
} ⇒問5へ

問5. 問4で、「3. できれば住みたくない」、「4. 住みたくない」とお答えされた方にお尋ねします。

そう思われた主な理由は何でしょうか。次の中から該当する番号を3つまで選んで番号に○印をつけて下さい。

- 1. 自分にあう職業がない
- 2. 商売や事業経営に不利
- 3. 交通の便が悪い
- 4. 買い物などの生活の利便が悪い
- 5. 物価が高い
- 6. 進学などの教育上の問題
- 7. 医療・福祉面が不安
- 8. 娯楽や余暇活動の場が少ない
- 9. 自然が厳しい
- 10. その他（具体的に：)

《保健医療について》

問6. あなたの健康状態と根室市の保健医療についてお尋ねします。

(1) あなたの現在の健康状態はいかがですか。

1. きわめて良好 2. 良好 3. 普通 4. 悪い 5. きわめて悪い

(2) あなたは日頃の健康管理に努めていますか。

1. 努めている 2. 努めていない

(3) あなたは1日30分以上の運動をどの程度行っていますか。

1. 毎日している 2. 週に2日以上している 3. 週に1日程度している
4. 月に2～3日している 5. 月に1日している 6. ほとんどしていない

(4) あなたは、平成29年4月1日から経産婦の方を対象に市立根室病院にて分娩が再開されていることをご存知でしたか。

1. 知っていた 2. 知らなかった

(5) あなたは、市で実施している(実施した)以下の事業をご存知でしたか。

①人材確保対策(医師及び医療従事者(令和5年度から歯科衛生士を追加)として働くことを希望する学生等への月々の修学資金の貸付)	1. はい 2. いいえ
②新生児聴覚検査費助成(新生児の聴覚障害の早期発見及び早期療養につなげるため、検査費用を助成し保護者負担を軽減)	1. はい 2. いいえ
③母子手帳アプリ「すくすくねむる by 母子モ」の導入(妊娠・子育て期の方に向けた多様な情報発信と母子手帳のサポート機能)	1. はい 2. いいえ

(6) あなたは、市内の病院などの医療機関の状況について、どの程度満足されていますか。

1. 満足 2. やや満足 3. 普通 4. やや不満 5. 不満

(7) 根室市の保健医療について、財源に限りがある中で、今後どのような政策を重点的に取り組むべきだと思いますか。特に重要と思う項目を1つ選んで番号に○印をつけて下さい。

1. 高齢者の医療の充実
2. 乳幼児・母子等医療の充実
3. 保健(健康づくり)対策の推進
4. 健康診断や予防対策の充実
5. 休日夜間などの救急医療対策
6. 人材確保対策
7. その他(具体的に：)

《交通について》

問10. 根室市内の交通状況についてお尋ねします。

(1) あなたは、市で実施している(実施した)下記の事業をご存知でしたか。

①市内乗合バス路線、中標津空港連絡バス、JR 標津線廃止に伴う代替バスへの財政支援	1. はい	2. いいえ
②JR花咲線維持確保対策としての利用促進の取組み(花咲線存続に向けたブランド再構築や魅力の情報発信)	1. はい	2. いいえ
③街路灯LED化事業(街路灯の長寿命化や消費電力の縮減を図るためLED化を実施)	1. はい	2. いいえ
④18歳以下の市民について市内路線バス利用料を無償化する取組み	1. はい	2. いいえ

(2) あなたは、市内の幹線道路の整備状況にどの程度満足されていますか。

1. 満足 2. やや満足 3. 普通 4. やや不満 5. 不満

(3) あなたは、市外へ通じる道路の整備状況にどの程度満足されていますか。

1. 満足 2. やや満足 3. 普通 4. やや不満 5. 不満

(4) あなたは、公共交通機関の利便性にどの程度満足されていますか。

1. 満足 2. やや満足 3. 普通 4. やや不満 5. 不満

(5) 根室市の交通について、今後どのような政策を重点的に取り組むべきだと思いますか。特に重要と思う項目を1つ選んで番号に○印をつけて下さい。

1. 高規格道路や国道などの広域幹線道路網の整備
 2. 鉄道便の確保
 3. バス便の確保
 4. 身近な生活道路の整備
 5. 高齢者や障がい者等に配慮した安全な歩道の整備
 6. 除雪やロードヒーティングなどの冬期対策の充実
 7. 街路灯・防犯灯や案内板の整備
 8. 信号・ガードレールなどの安全対策
 9. 駐車場や駐輪場の整備
 10. その他(具体的に: _____)

《生活環境について》

問11. 根室市内の生活環境についてお尋ねします。

(1) あなたは、市で実施している(実施した)以下の事業をご存知でしたか。

①公園の遊具等更新(既設遊具の定期点検・維持補修等整備)	1. はい	2. いいえ
②市営住宅整備事業(市営住宅(光洋団地)の建替を実施)	1. はい	2. いいえ

(2) あなたは、郊外の森林景観にどの程度満足されていますか。

1. 満足 2. やや満足 3. 普通 4. やや不満 5. 不満

《学校教育・社会教育全般について》

問13. 学校教育についてお尋ねします。

(1) あなたは、市で実施している（実施した）以下の事業をご存知でしたか。

①高校生への1人1台ノートPCの貸与（ICT利活用能力の向上）	1. はい 2. いいえ
②学力向上対策事業（きめ細かな指導のため、市内7校に授業をサポートする補助教員を配置等）	1. はい 2. いいえ
③ふるさと給食事業（ふるさと給食の日を実施し、地産地消による食育を推進）	1. はい 2. いいえ

(2) あなたは、子どもの教育施設や教育環境にどの程度満足されていますか。

1. 満足	2. やや満足	3. 普通	4. やや不満	5. 不満
-------	---------	-------	---------	-------

(3) あなたは、「学校教育」を充実させるために、市がどのようなことに力を注ぐべきだと思いますか。特に重要と思う項目を1つ選んで番号に○印をつけて下さい。

1. 少人数学級（1クラス35人以下）による教育の推進 2. 個に応じたきめ細やかな特別支援教育の充実 3. 生きる力を育てる総合的な学習の充実 4. 社会生活のルールや命の大切さを理解させる心の教育の充実 5. 個性や才能を伸ばす教育の充実 6. ボランティアなどの体験的、実践的な学習の機会の充実 7. 情報化社会に適合した教育内容の充実 8. 国際化に対応できるコミュニケーション能力の育成 9. その他（具体的に：)
---	---

問14. 根室市の社会教育について、今後どのような政策を重点的に取り組むべきと思いますか。特に重要と思う項目を1つ選んで番号に○印をつけて下さい。

1. 生涯学習教育の指導者育成 2. 各種サークル活動の充実 3. 各種講座・教室などの充実 4. 放課後教室・児童会館・児童教室などの充実 5. 青少年の健全育成 6. その他（具体的に：)
--	---

《スポーツ・レクリエーション・文化について》

問15. 根室市のスポーツ・レクリエーション・文化についてお尋ねします。

(1) あなたは、市で実施している（実施した）以下の事業をご存知でしたか。

①みらいのアスリート・アーティスト応援事業（高校生までの学校教育活動以外の体育・文化活動遠征費の助成）	1. はい 2. いいえ
②総合文化会館整備事業（トイレ洋式化や音響・照明機器等の更新）	1. はい 2. いいえ
③北方資料研究活用事業（歴史と自然の資料館に寄贈された考古資料の確認、収蔵、展示体制の整備）	1. はい 2. いいえ

(2) あなたは、行政からの情報提供において、どのような情報を受けたいと考えていますか。特に、受けたいと思う項目を1つ選んで番号に○印をつけて下さい。

1. 行政に関する総合的な情報
2. 道路交通・除雪・気象等の情報
3. 各種統計情報
4. 公共施設利用状況
5. 観光・レジャー情報
6. 文化行事・イベント情報
7. その他（具体的に： _____)

《市民協働について》

問18. まちづくりには、市民みなさんの主体的な活動が不可欠です。市民みなさんの一人ひとりが「誰もが何か1つを受け持つ」とすれば、あなたは、どのような活動に参加しますか。次の中から該当する番号を1つだけ選んで番号に○印をつけて下さい。

1. 清掃活動や花いっぱい運動
2. 高齢者や障がい者等のためのボランティア活動
3. 郷土の歴史、文化を守り育てる活動
4. 自然保護活動
5. リサイクル活動、省資源活動
6. 子ども会などの青少年育成のための活動
7. 祭り、文化祭、運動会など市や地域の行事
8. 交通安全や防災・防犯活動
9. 新しい特産品や土産品の研究開発
10. 自治会やNPO（非営利活動団体）など、市民による自主的な活動への支援
11. 特にない
12. その他（具体的に： _____)

《市民参画の方法について》

問19. これからのまちづくりには、市民みなさんの参加が必要ですが、あなたは、どのような形で参加したいと思いますか。次の中から該当する番号を1つだけ選んで番号に○印をつけて下さい。

1. まちづくりを考える自主的な集まりや組織に参加したい
2. 町内会や各種団体など、既存の組織・団体を活用して意見を述べたい
3. 説明会や公聴会、懇談会などに参加したい
4. 投書（市長のはがきやメール等）や要望などで意見を述べたい
5. 世論調査（今回のようなアンケート調査など）で意思表示をしたい
6. 市役所や議会に一任し、自分では参加しない
7. あまり必要性を感じない（理由： _____)
8. その他（具体的に： _____)

